

根 室 市
市民意識調査報告書

令和 3 年 1 0 月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	8
3. 5 保健医療について	14
3. 6 少子化・子育て支援について	27
3. 7 高齢者支援について.....	35
3. 8 社会福祉全般について	46
3. 9 交通について.....	48
3. 10 生活環境について.....	55
3. 11 防災・減災対策について.....	65
3. 12 学校教育・社会教育について.....	69
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について	77
3. 14 産業の振興について	82
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	86
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	90
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	92
3. 18 男女共同参画について.....	94
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	95
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	96
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向.....	100
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	104
6. 1 第1期総合戦略の基本目標別施策実施効果に評価検討.....	104
6. 2 第2期根室市創生総合戦略の概要と関連数値目標	125
6. 3 まとめ.....	127
資 料 編.....	129
資料1. 市民意識調査自由回答	130
資料2. 市民アンケート調査票	146

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を、さらに令和 3 年には「第 2 期根室市創生総合戦略」（対象期間：令和 3 年度～令和 6 年度）を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じた対応が不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度より毎年実施しているものである。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標；事業の目標達成度合いを示す指標）に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、昨年度の調査票を基本とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保し、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は 873 票であり、有効回収率は 29.0%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,012	873	873	29.0%

3. 2 回答者の属性

（1）地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 84.5%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ、8.1%、6.2%であった。

令和3年度調査

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	738	71	54	10	873
	84.5%	8.1%	6.2%	1.1%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

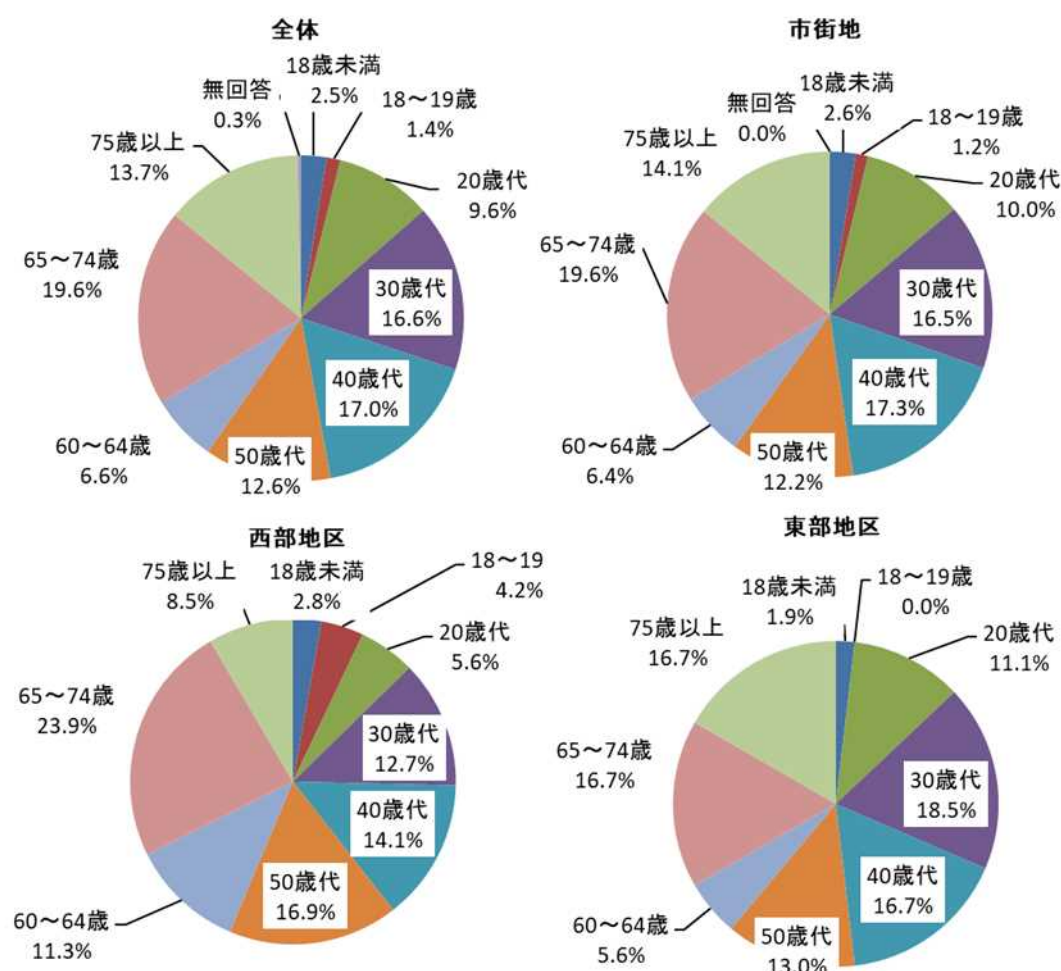
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、槍昔
東部地区	友知、双沖、齒舞、瑯瑤瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、いずれの地区も 65～74 歳の割合が最も多かった。

前回調査と比較すると 60 歳代以下の割合がやや減少し、30 歳代以下及び 40～50 歳代の割合がやや増加しているものの、これまでの傾向に大きな変化はない。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	19	2	1	0	22
18～19歳	9	3	0	0	12
20歳代	74	4	6	0	84
30歳代	122	9	10	4	145
40歳代	128	10	9	1	148
50歳代	90	12	7	1	110
60～64歳	47	8	3	0	58
65～74歳	145	17	9	0	171
75歳以上	104	6	9	1	120
無回答	0	0	0	3	3
計	738	71	54	10	873

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	2.6%	2.8%	1.9%	0.0%	2.5%
18～19歳	1.2%	4.2%	0.0%	0.0%	1.4%
20歳代	10.0%	5.6%	11.1%	0.0%	9.6%
30歳代	16.5%	12.7%	18.5%	40.0%	16.6%
40歳代	17.3%	14.1%	16.7%	10.0%	17.0%
50歳代	12.2%	16.9%	13.0%	10.0%	12.6%
60～64歳	6.4%	11.3%	5.6%	0.0%	6.6%
65～74歳	19.6%	23.9%	16.7%	0.0%	19.6%
75歳以上	14.1%	8.5%	16.7%	10.0%	13.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

調査年度	回答者の年齢階層別構成の推移		
	30歳代以下	40～50歳代	60歳以上
令和3年度調査	30.1%	29.6%	40.0%
(増減率(ポイント))	(+2.1)	(+2.5)	(-4.8)
令和2年度調査	28.0%	27.0%	44.8%
(増減率(ポイント))	(-1.8)	(+0.2)	(+2.3)
令和元年度調査	29.8%	26.8%	42.5%
(増減率(ポイント))	(+0.4)	(-2.8)	(+2.2)
平成30年度調査	29.4%	29.7%	40.3%
(増減率(ポイント))	(-0.4)	(+2.4)	(-2.0)
平成29年度調査	29.8%	27.3%	42.3%
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-3.4)	(+4.5)
平成28年度調査	31.2%	30.7%	37.9%

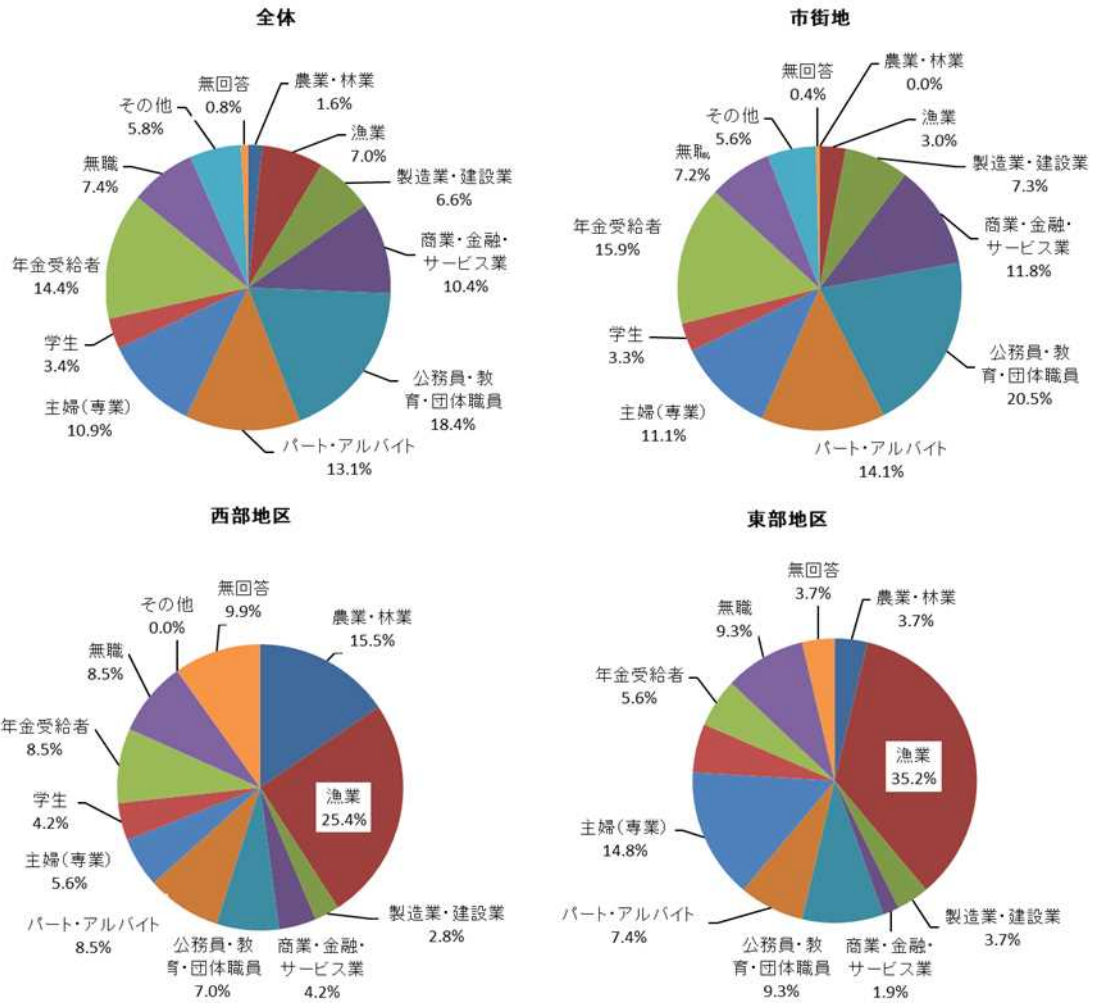
注：無回答を除く

(3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では公務員・教育・団体職員、年金受給者、パート・アルバイト、専業主婦、商業・金融サービス業の順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

回答者の84.5%を占める市街地は、ほぼ全体と同様の構成であるが、西部地区では、漁業、農業・林業の構成が高く、特に、農業・林業の割合が高い。また、東部地区は漁業が35.2%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。ただし、東部地区の漁業の割合は、過去3年で見ると55.4%（令和2年度）、64.9%（令和元年度）、50.9%（平成30年度）となっており、今年度は最も低かった。

このような地区別の職業構成はこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

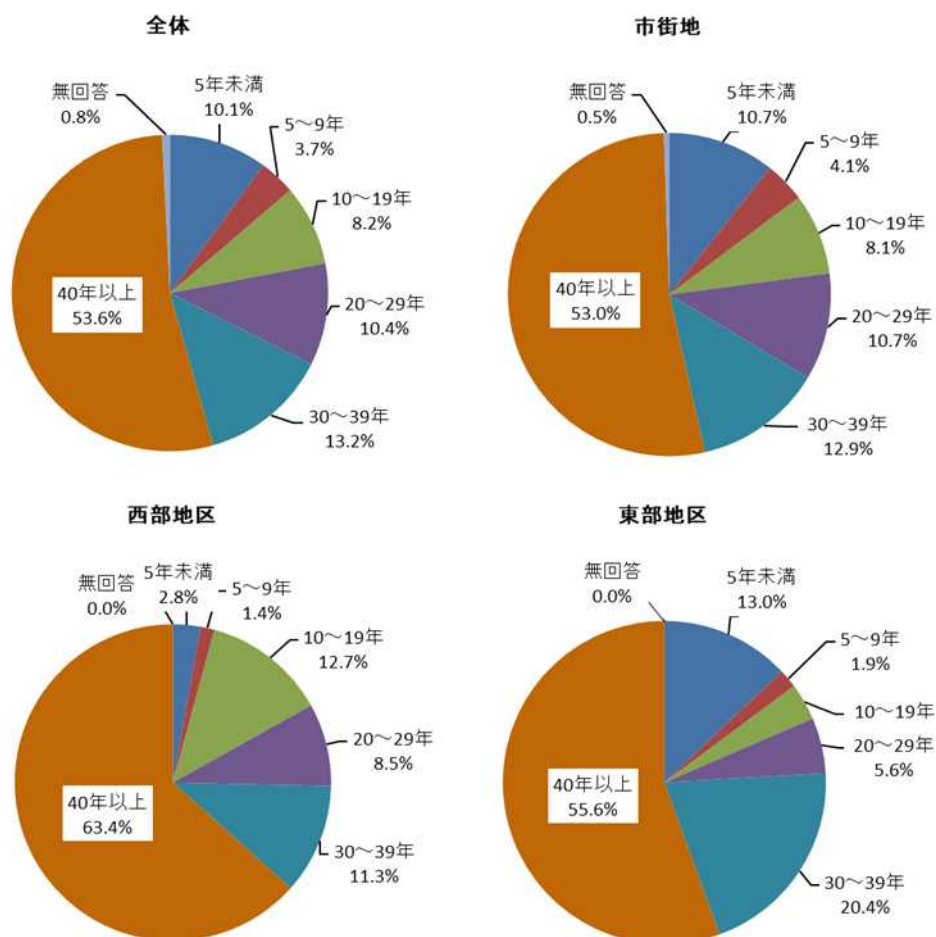


	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0	11	2	1	14
漁業	22	18	19	2	61
製造業・建設業	54	2	2	0	58
商業・金融・サービス業	87	3	1	0	91
公務員・教育・団体職員	151	5	5	0	161
パート・アルバイト	104	6	4	0	114
主婦(専業)	82	4	8	1	95
学生	24	3	3	0	30
年金受給者	117	6	3	0	126
無職	53	6	5	1	65
その他	41	7	2	1	51
無回答	3	0	0	4	7
計	738	71	54	10	873

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.0%	15.5%	3.7%	10.0%	1.6%
漁業	3.0%	25.4%	35.2%	20.0%	7.0%
製造業・建設業	7.3%	2.8%	3.7%	0.0%	6.6%
商業・金融・サービス業	11.8%	4.2%	1.9%	0.0%	10.4%
公務員・教育・団体職員	20.5%	7.0%	9.3%	0.0%	18.4%
パート・アルバイト	14.1%	8.5%	7.4%	0.0%	13.1%
主婦(専業)	11.1%	5.6%	14.8%	10.0%	10.9%
学生	3.3%	4.2%	5.6%	0.0%	3.4%
年金受給者	15.9%	8.5%	5.6%	0.0%	14.4%
無職	7.2%	8.5%	9.3%	10.0%	7.4%
その他	5.6%	9.9%	3.7%	10.0%	5.8%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	40.0%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住年数

回答者の根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、いずれの地区も40年以上居住している回答者の割合が最も高い。また、市街地と東部地区では5年未満の回答者の割合も比較的高く、特に、東部地区では5%以下であったこれまでに比して高くなっている。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	79	2	7	0	88
5～9年	30	1	1	0	32
10～19年	60	9	2	1	72
20～29年	79	6	3	3	91
30～39年	95	8	11	1	115
40年以上	391	45	30	2	468
無回答	4	0	0	3	7
計	738	71	54	10	873

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	10.7%	2.8%	13.0%	0.0%	10.1%
5～9年	4.1%	1.4%	1.9%	0.0%	3.7%
10～19年	8.1%	12.7%	3.7%	10.0%	8.2%
20～29年	10.7%	8.5%	5.6%	30.0%	10.4%
30～39年	12.9%	11.3%	20.4%	10.0%	13.2%
40年以上	53.0%	63.4%	55.6%	20.0%	53.6%
無回答	0.5%	0.0%	0.0%	30.0%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

根室市のイメージとして最も回答割合が高かったのは、市民全体では「その他」で、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」、「個性（特色）のあるまち」であった。

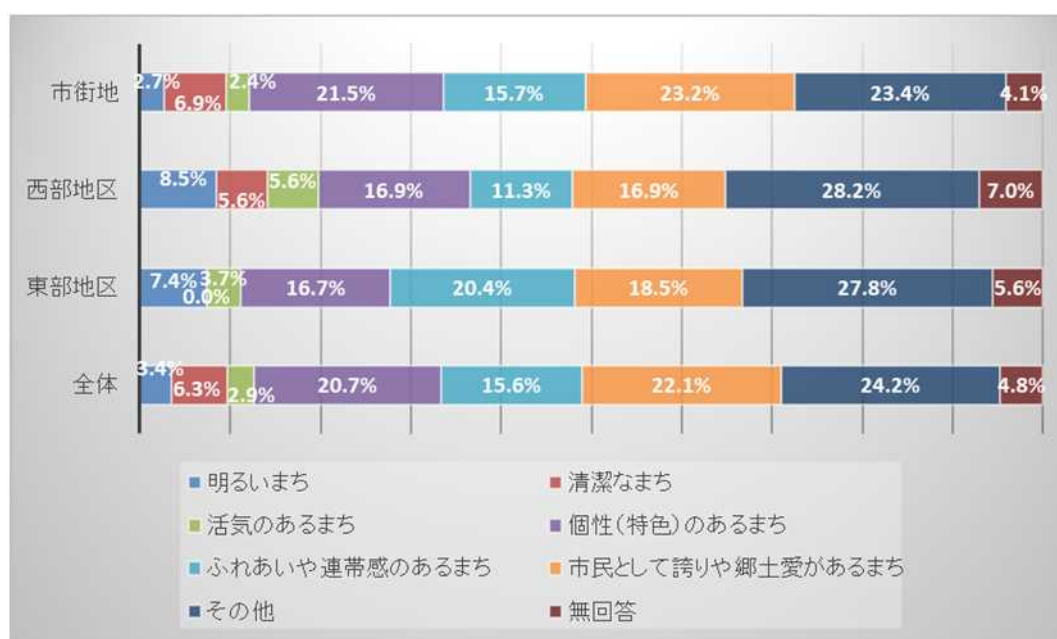
地区別では、市街地住民は、「その他」が最も高く 23.4%となっており、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 23.2%、「個性（特色）のあるまち」が 21.5%となっている。

西部地区も「その他」が 28.2%で最も高く、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」と「個性（特色）のあるまち」が 16.9%となっている。

東部地区は「その他」が 27.8%と最も高く、次いで「ふれあいや連帯感のあるまち」が 20.4%となっている。

「その他」の内容としては、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「暗いまち」「何もなく不便」「病院が不安」「若い人達が出ていって寂しい」「教育環境が低い」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。そのほかには、「自然が豊か」「漁業のまち」「水産物のブランドが高い」といったプラスイメージをあげる回答もみられている。

この「その他」の回答内容は、概ね、過去調査と同様の結果となっている。



過去の調査結果（平成 28 年、29 年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性(特色)のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%
その他	29.3%	17.0%	17.0%	27.7%	25.0%	26.0%	32.5%	25.6%

	令和2年度調査結果				令和3年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.3%	3.6%	4.6%	3.4%	2.7%	8.5%	7.4%	3.4%
清潔なまち	6.8%	7.3%	6.2%	6.8%	6.9%	5.6%	0.0%	6.3%
活気のあるまち	1.3%	0.0%	4.6%	1.5%	2.4%	5.6%	3.7%	2.9%
個性(特色)のあるまち	24.6%	21.8%	20.0%	24.0%	21.5%	16.9%	16.7%	20.7%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.6%	20.0%	26.2%	16.7%	15.7%	11.3%	20.4%	15.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.0%	23.6%	15.4%	19.9%	23.2%	16.9%	18.5%	22.1%
その他	23.6%	18.2%	15.4%	22.6%	23.4%	28.2%	27.8%	24.2%

注：平成 28 年度及び 29 年度調査は、イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を 5 点、「やや思う」を 4 点、「さほど思わない」を 2 点、「思わない」を 1 点、「わからない」を 3 点として、平均得点を算出した。

：黄色マーカーは、「その他」以外の項目の中で最も回答割合が高い数値であることを示す。

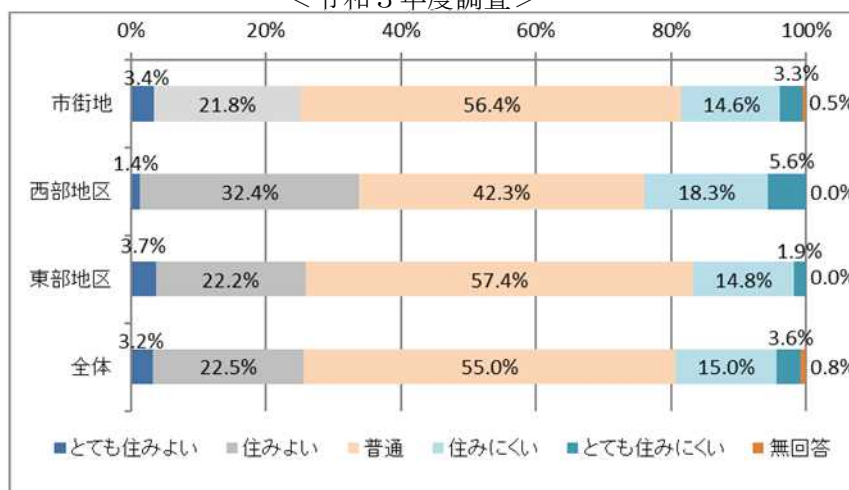
3. 4 居住の満足度についての市民意識

(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

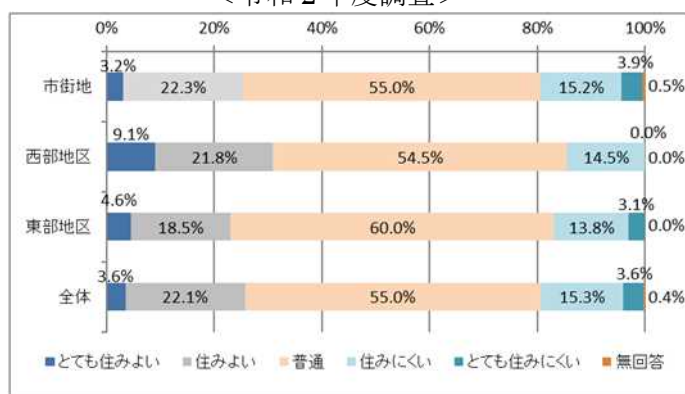
根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は25.7%となっており、これまでの調査結果の中では昨年度と同じく最も高くなっている。地区別でも西部地区及び東部地区は、これまでの調査で最も高くなった。

住みにくいとする回答の理由をみると、「医療体制が不安」、「交通の利便性が悪い」「買い物の利便性が悪い」「楽しめるところがない」といった回答があり、特に、市外への交通の利便性、医療体制に対する不安を挙げる回答が多かった。

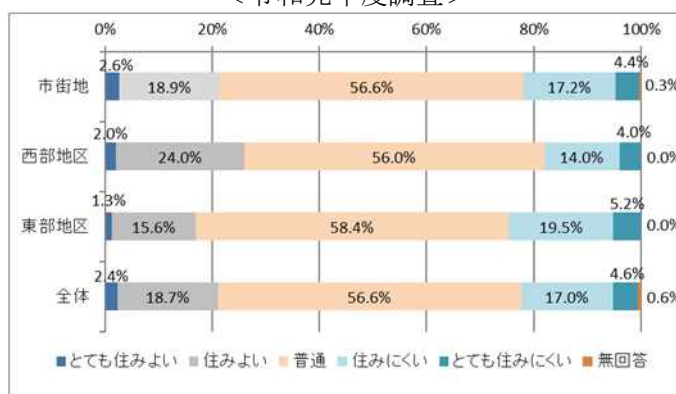
＜令和3年度調査＞



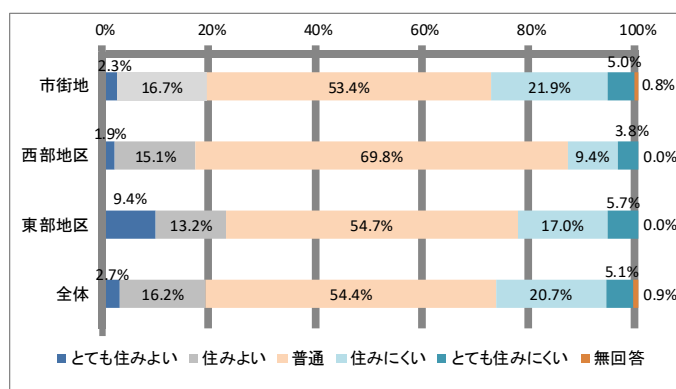
＜令和2年度調査＞



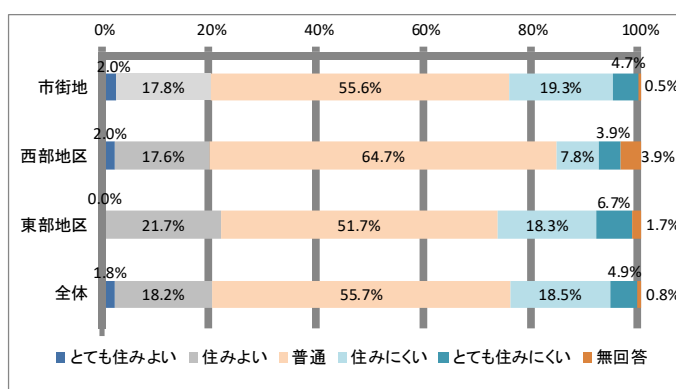
＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞

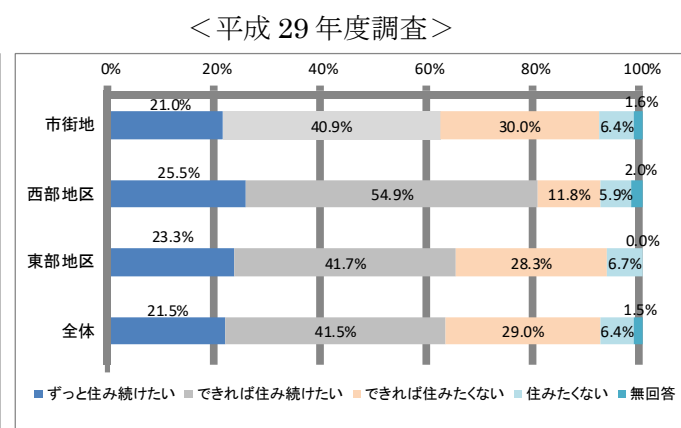
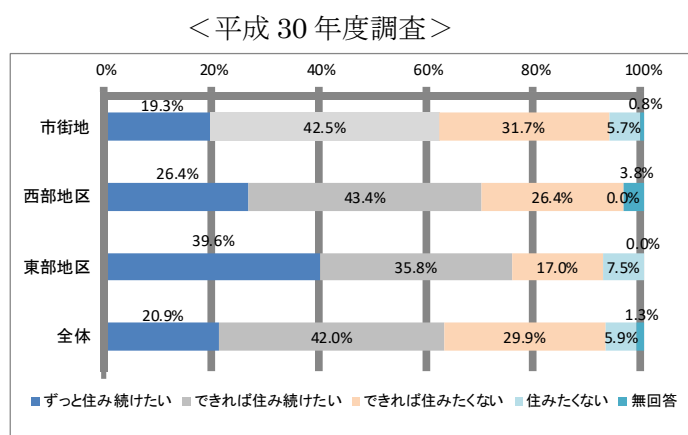
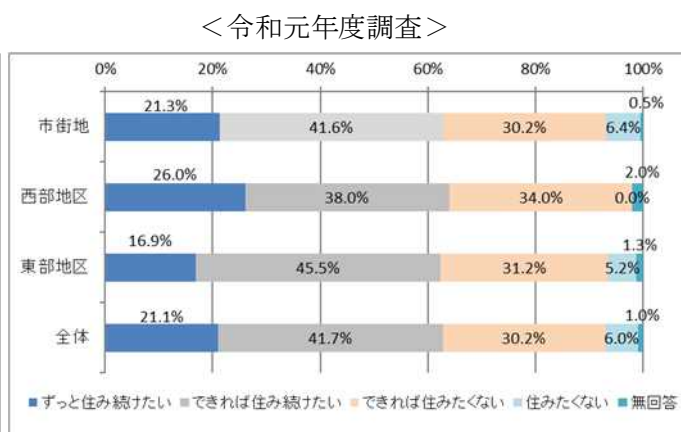
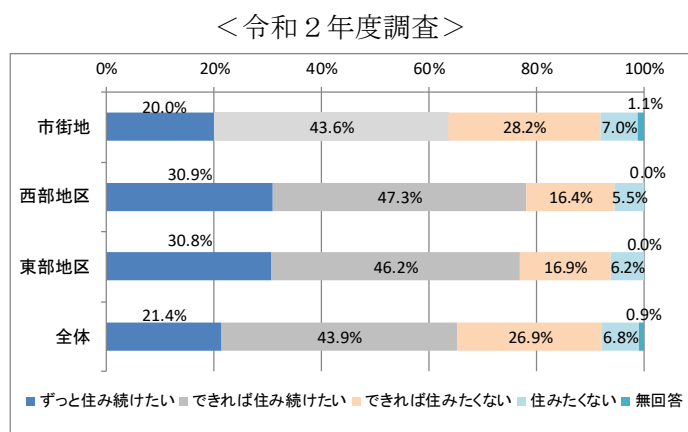
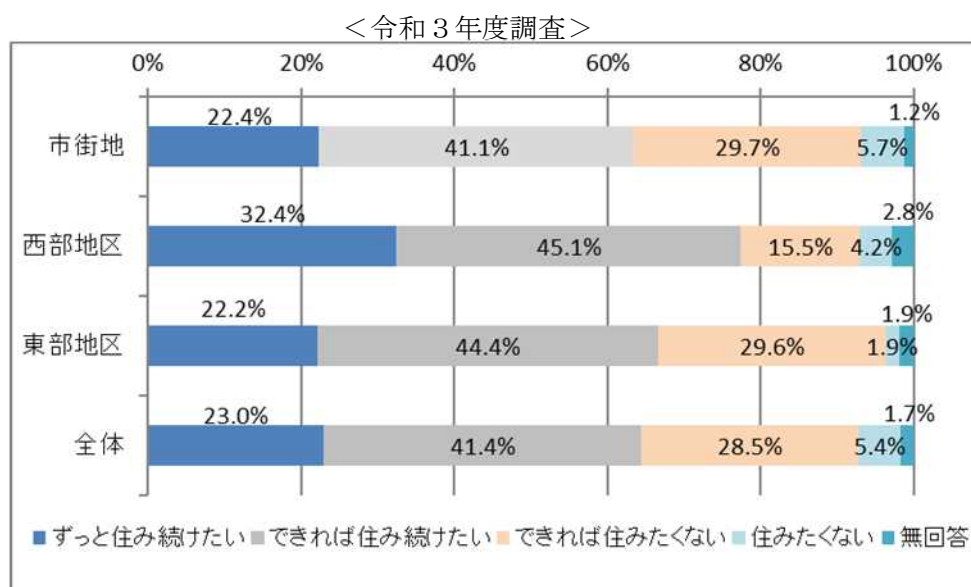


＜平成29年度調査＞



(3) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

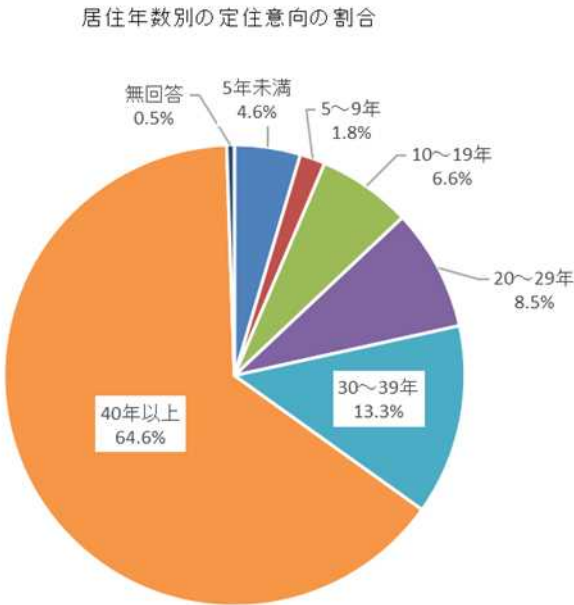
例年、根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多いものの、住み続けたいかどうかについては、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」との回答が多く、今年度調査においても市民全体で64.4%となっており、これまでの調査結果と同様に高い割合となっている。



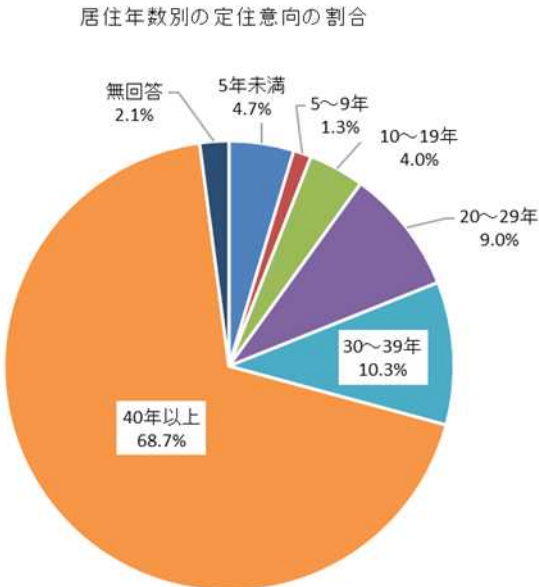
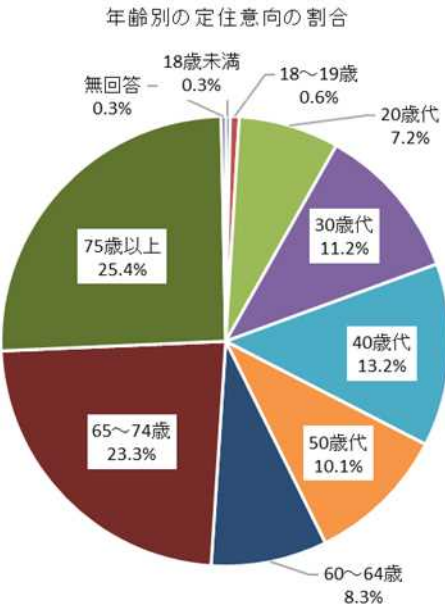
この「住み続けたい」とする市民を年齢別でみると 60 歳以上で半数以上を占め、居住年数でみると「40 年以上」とする市民が 64.6%を占める。

令和 2 年度と比較すると 40 年以上居住の市民の割合が 6 割以上を占める状況など、大きな変化はみられていない。

＜令和 3 年度調査＞



＜令和 2 年度調査＞

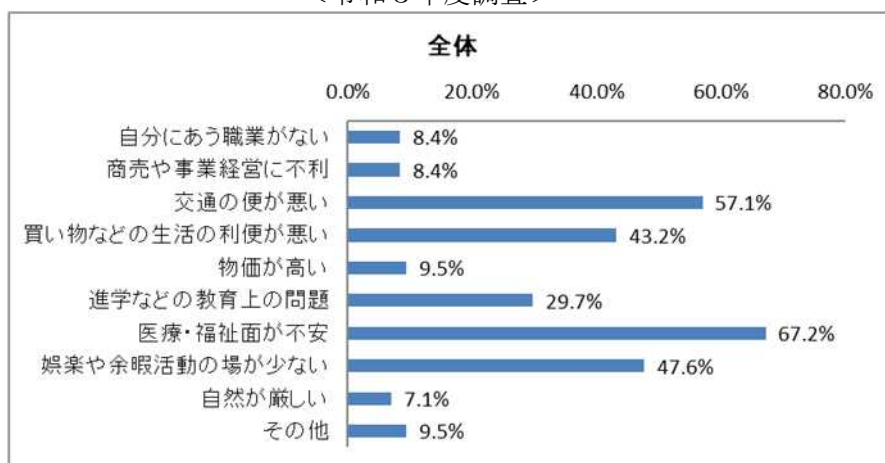


(3) 住み続けたくない理由

①市民全体

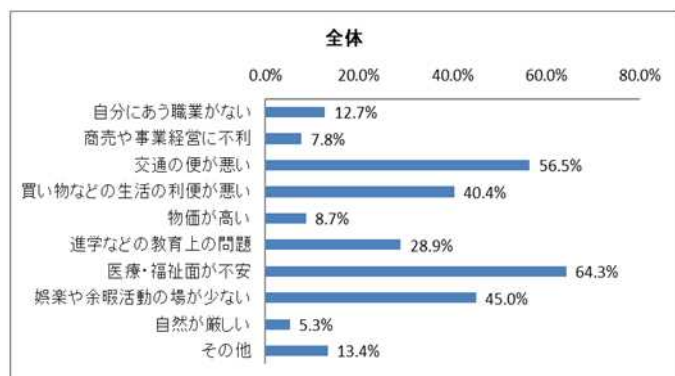
定住度に関する回答結果では、根室市に住み続けたくないとする住民割合は、これまでの調査結果に比してやや減少してはいるものの市民全体で33.9%となっており、前回までの調査結果とほぼ同程度となっていた。この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が67.2%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら4項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

＜令和3年度調査＞



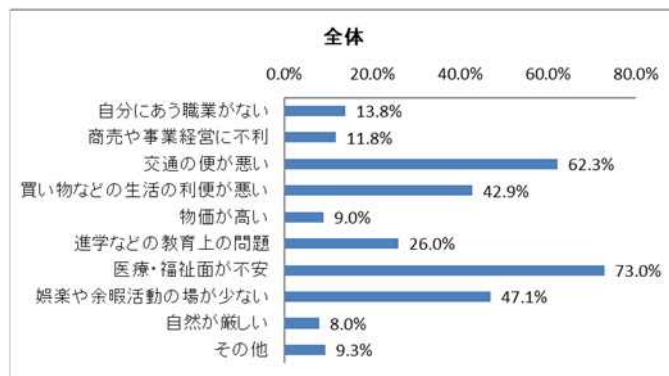
住み続けたくないとする回答数：全体 296（地区不明含む）

＜令和2年度調査＞



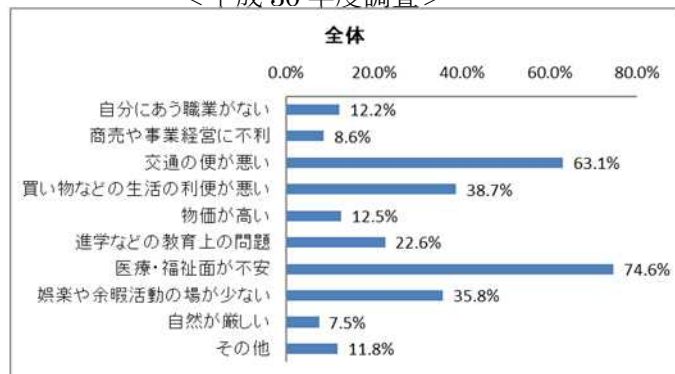
住み続けたくないとする回答数：全体 322（地区不明含む）

＜平成元年度調査＞



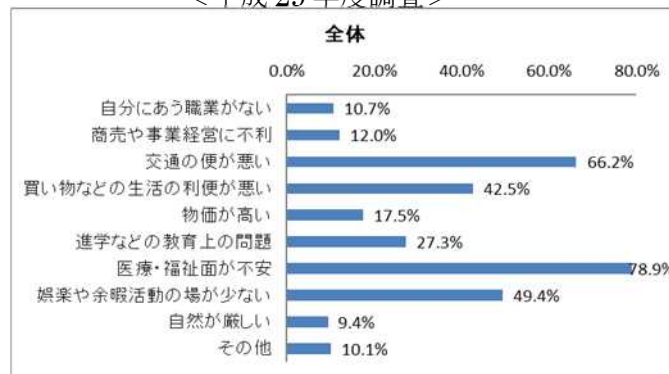
住み続けたくないとする回答数：全体 289（地区不明含む）

＜平成30年度調査＞



住み続けたくないとする回答数：全体 279（地区不明含む）

＜平成29年度調査＞



住み続けたくないとする回答数：全体 308（地区不明含む）

注：各年度の調査とも3つまでの選択を求めている

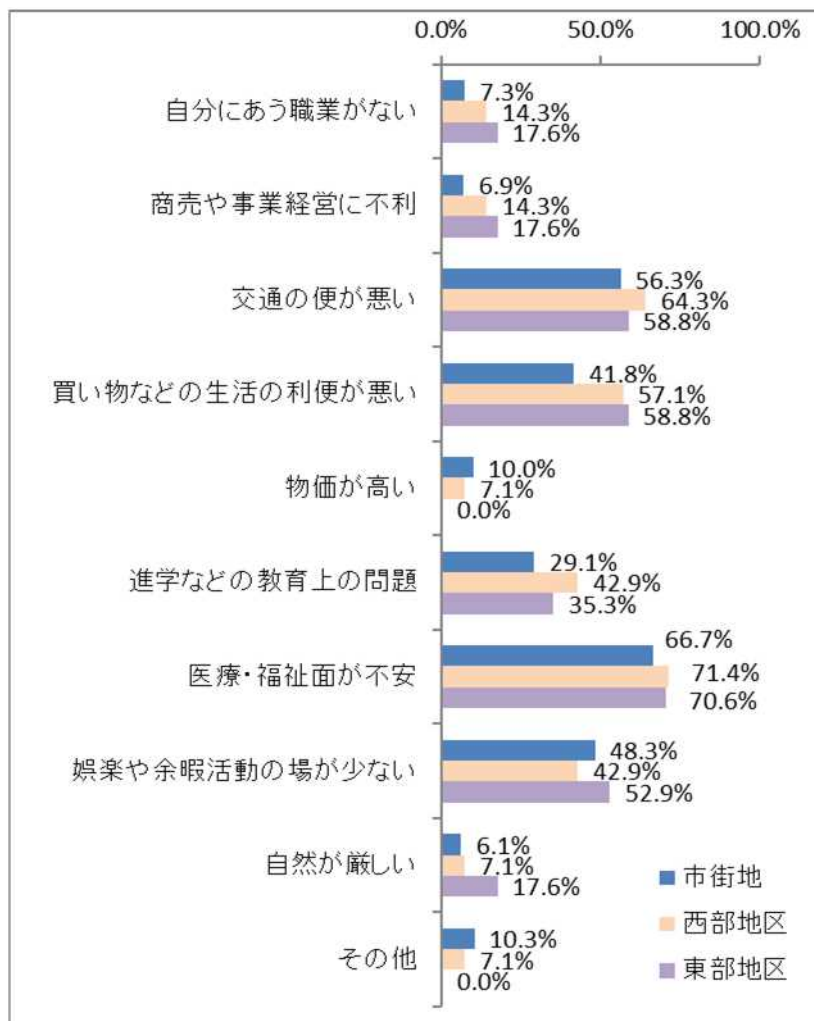
②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に、3地区とも高くなっている。

「交通の便が悪い」を理由とする割合は昨年とほぼ同様ではあるが、「医療・福祉面での不安」を理由にあげる市民の割合は、昨年度よりも高まっている傾向が伺える。

一方、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる割合は、調査年度により変動がみられるものの、3地区とも上位にあげられている。

<令和3年度調査>



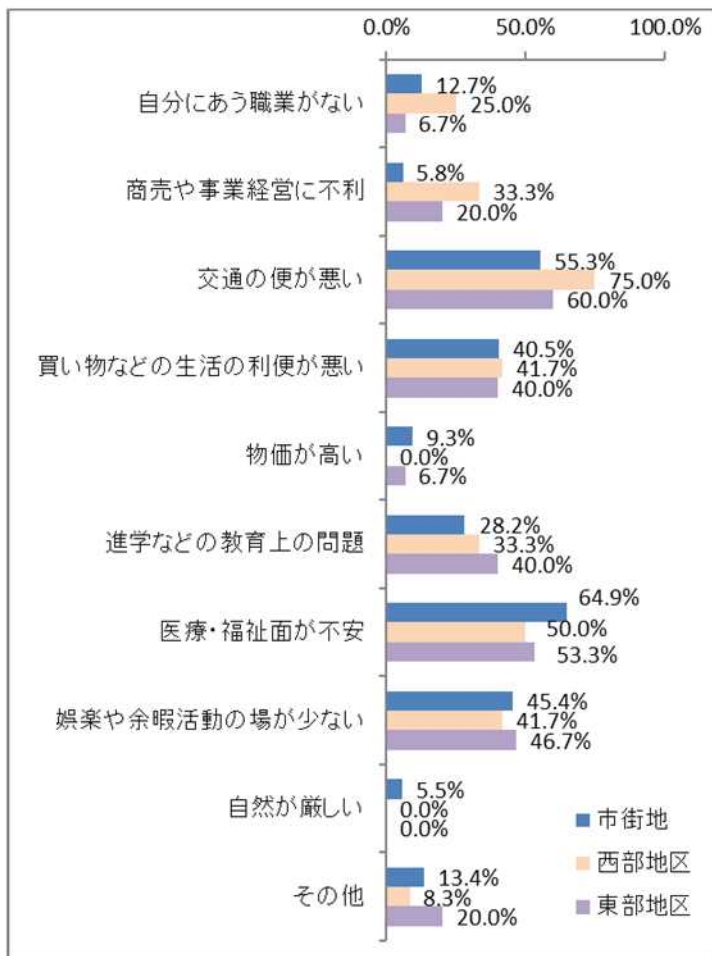
住み続けたくないとする回答数

市街地 : 261 件

西部地区 : 14 件

東部地区 : 17 件

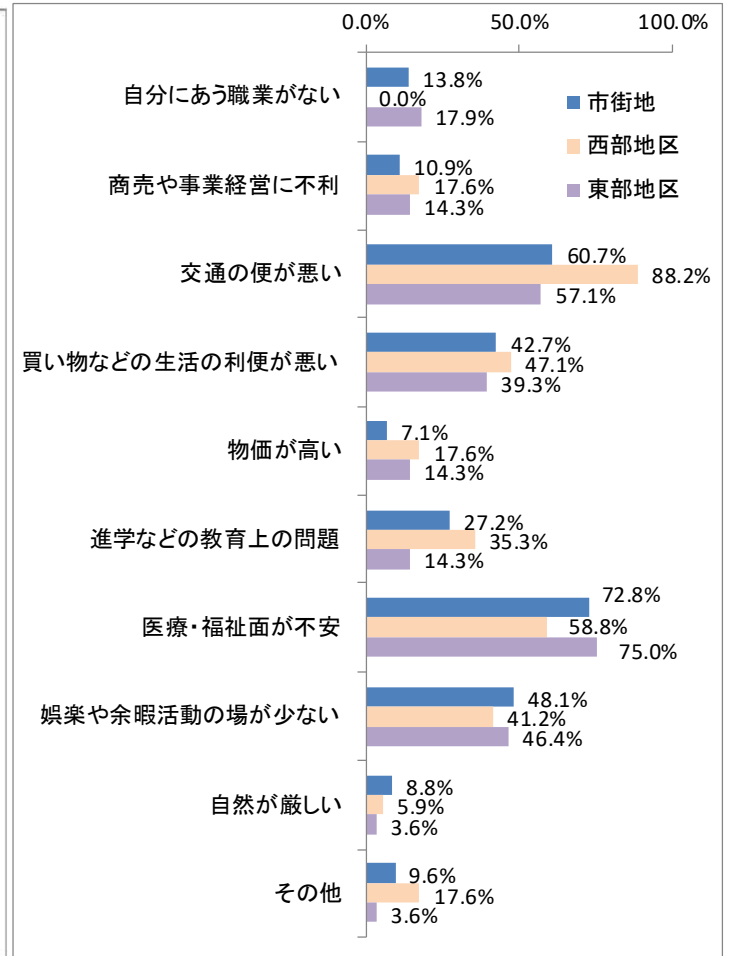
<令和2年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 291 件
西部地区 : 12 件
東部地区 : 15 件

<令和元年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 239 件
西部地区 : 17 件
東部地区 : 28 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

3. 5 保健医療について

(1) 現在の健康状態

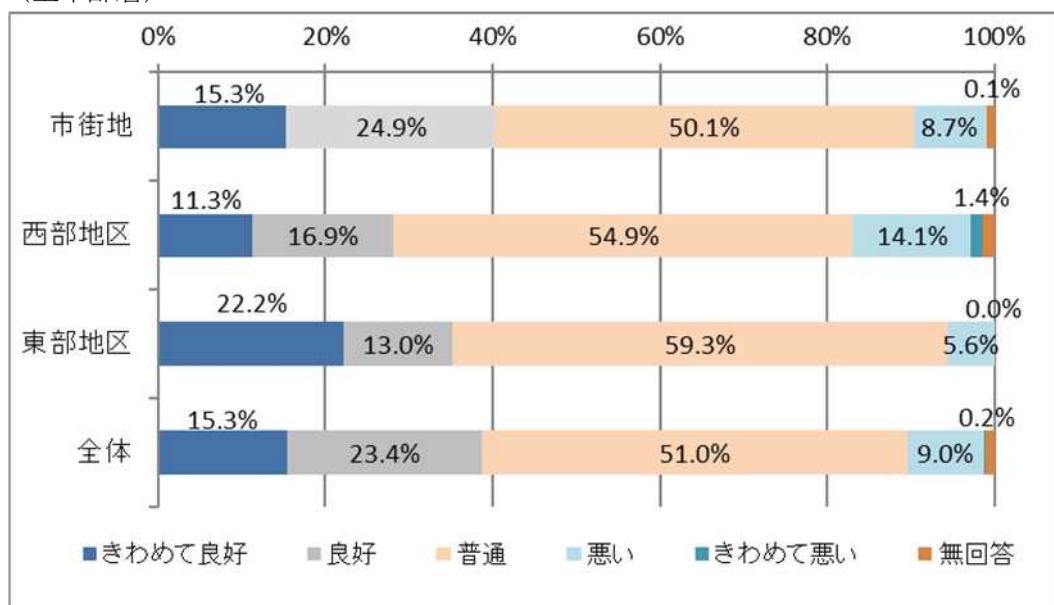
現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」とする割合は、回答者全体で 38.7%となっており、これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は 9.2%となっている。

60 歳以上の回答者についてみると、「良好」の割合は東部地区が最も高く 28.5%、次いで市街地が 22.6%、西部地区が 9.7%となっており、西部地区でやや低くなっていた。

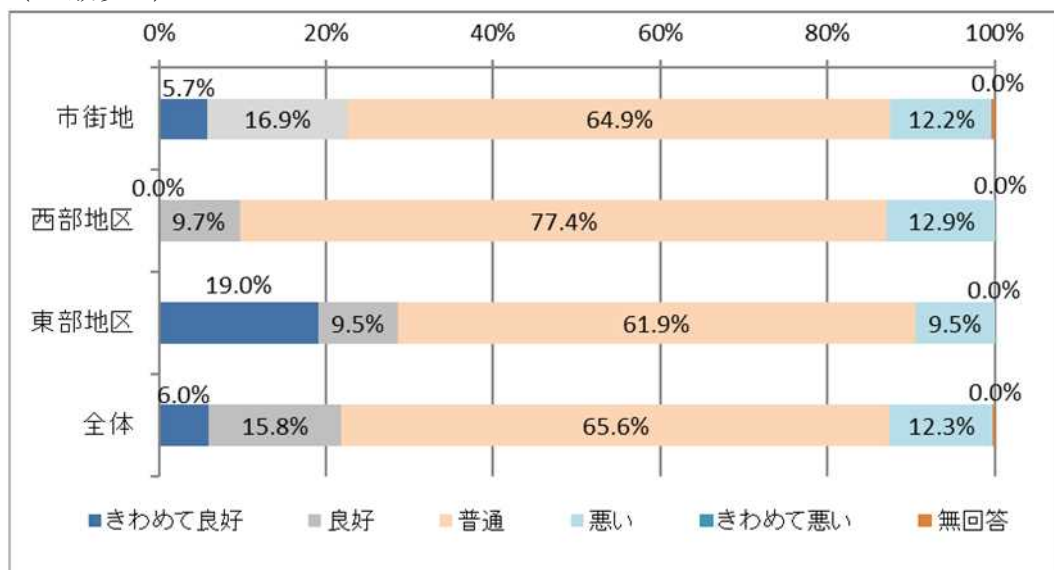
健康状態が悪化しているとする回答は、いずれの地区とも 10%前後となっており、これまでの調査結果をみてもこの割合は低下してきている。

＜令和 3 年度調査＞

(全年齢層)

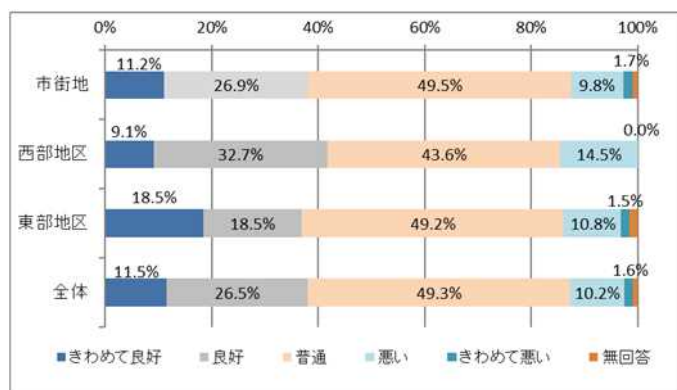


(60 歳以上)



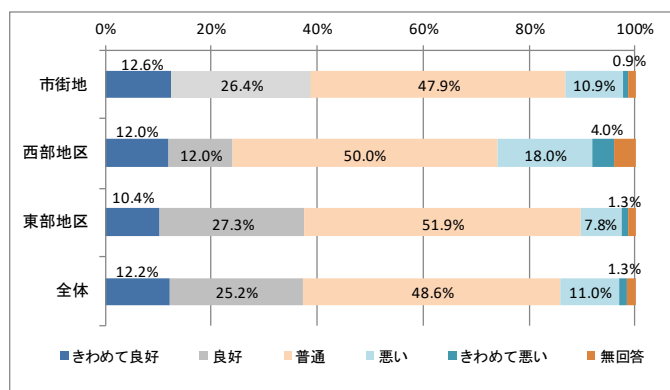
< 令和 2 年度調査 >

(全年齢層)

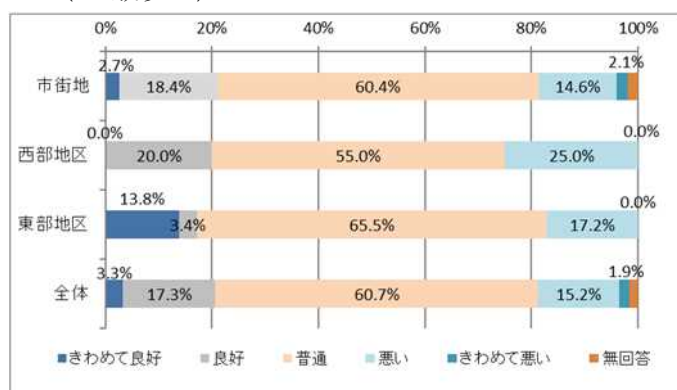


< 令和元年度調査 >

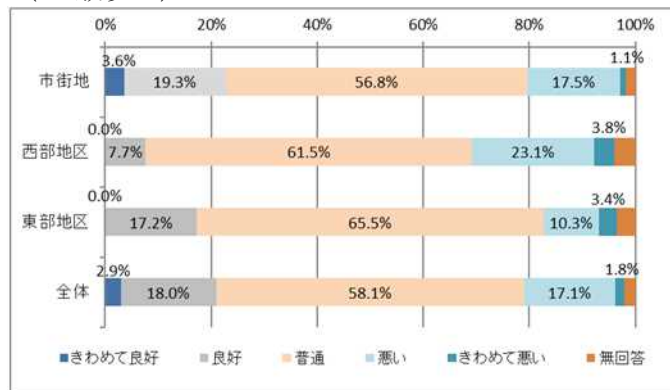
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)



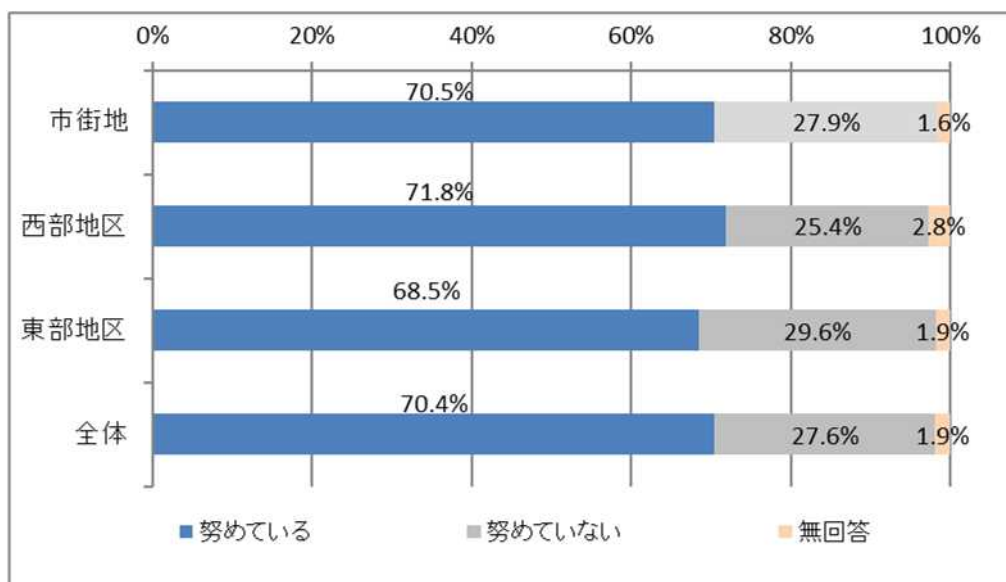
(2) 健康管理

日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では70.4%が、60歳以上の回答者では83.1%が「努めている」としているなど、健康管理への意識が高い状況が把握される。

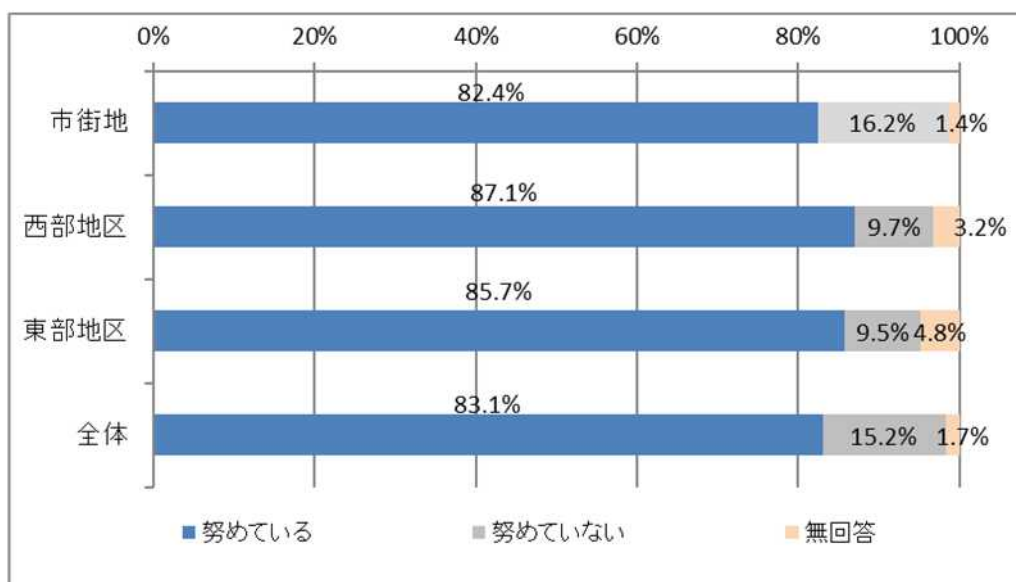
昨年度までの調査結果と比較すると、全年齢層、60歳以上の回答者とも、健康管理に「努めている」とする割合は、ほぼ同水準を維持している。

<令和3年度調査>

(全年齢層)

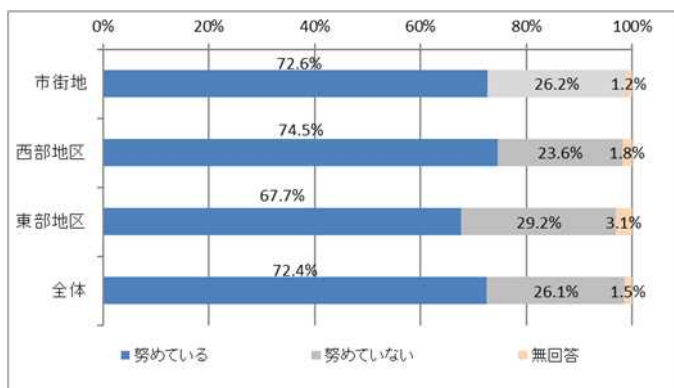


(60歳以上)



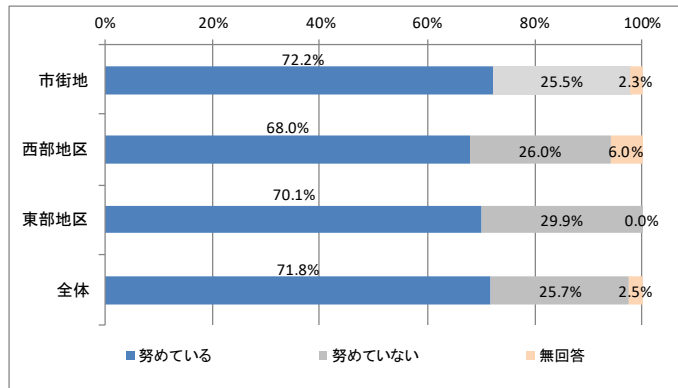
<令和2年度調査>

(全年齢層)

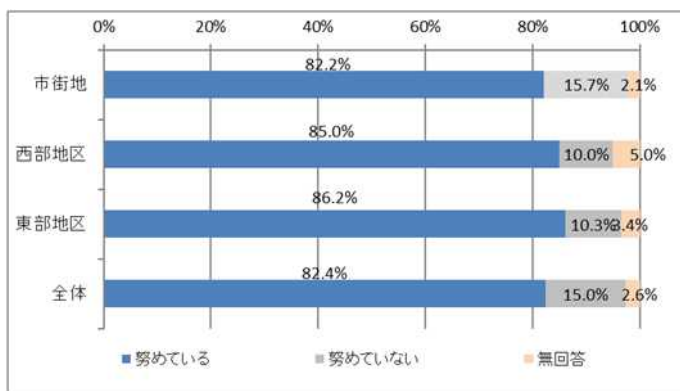


<令和元年度調査>

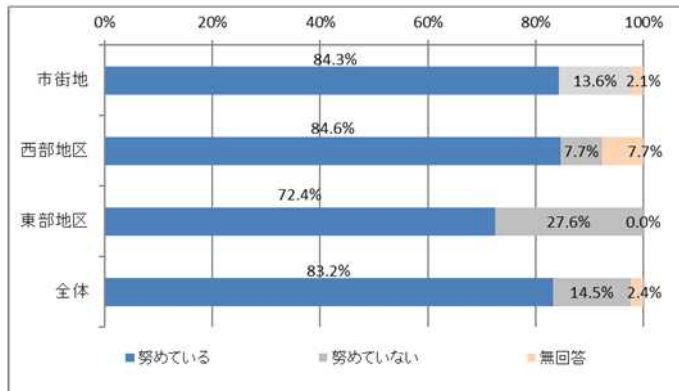
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

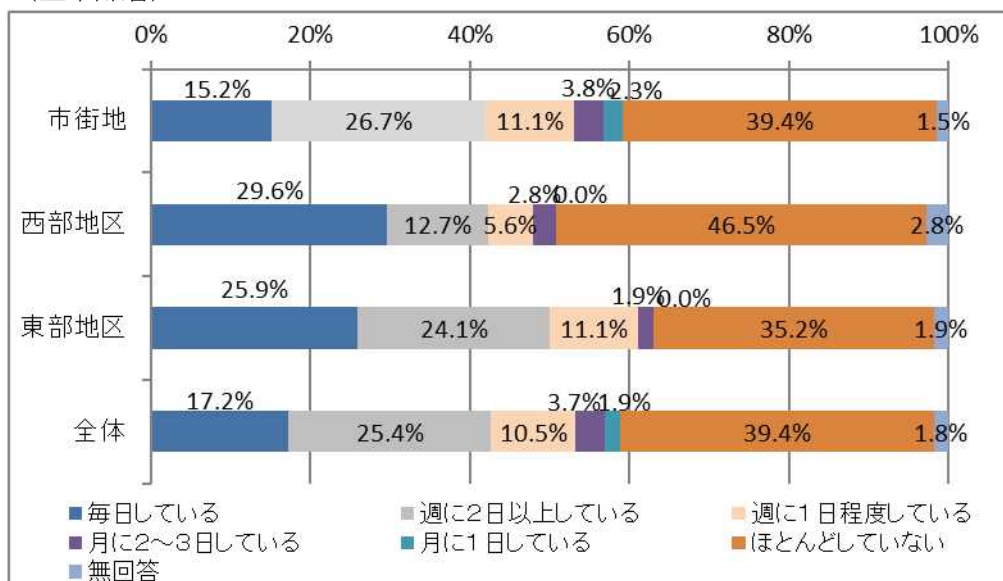
1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く39.4%となっている反面、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、53.1%と半数を超えている。

一方、60歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が29.8%と最も多くなっており、週に1日以上運動している割合は65.3%と、市民全体よりも高い割合を示している。

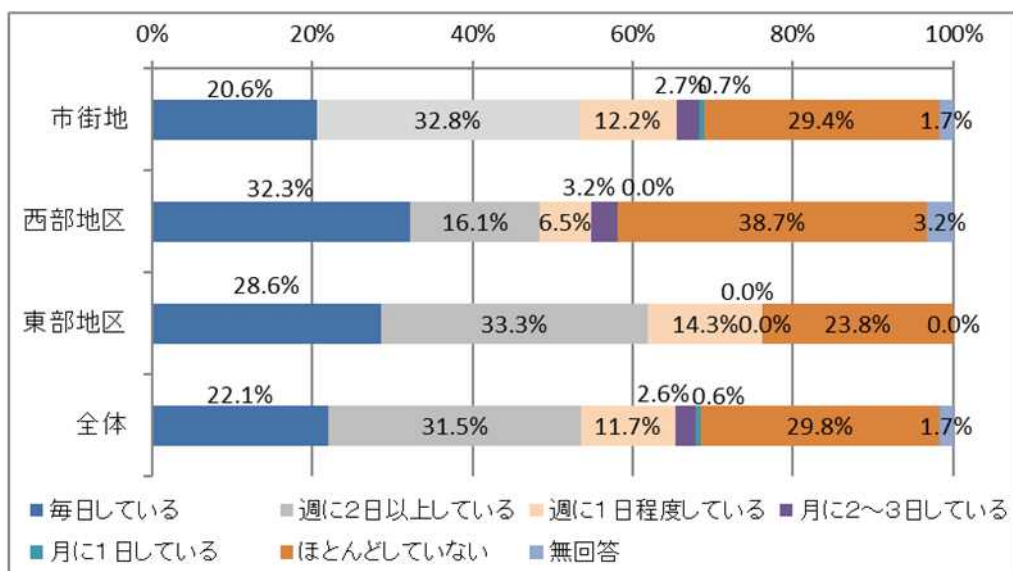
総じて30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、全年齢層、60歳以上とも、ほぼこれまでの調査結果と同様となっている。

<令和3年度調査>

(全年齢層)

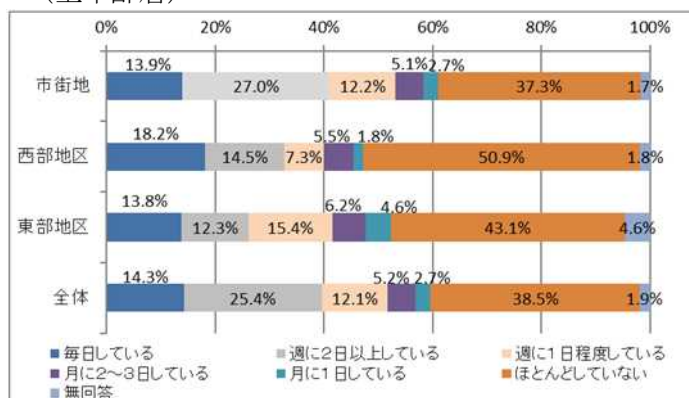


(60歳以上)



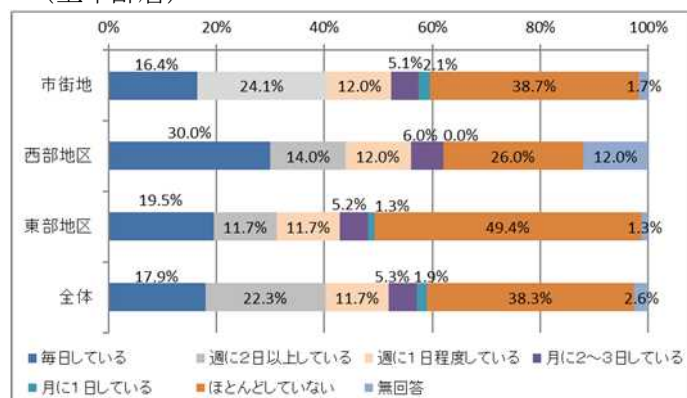
<令和2年度調査>

(全年齢層)

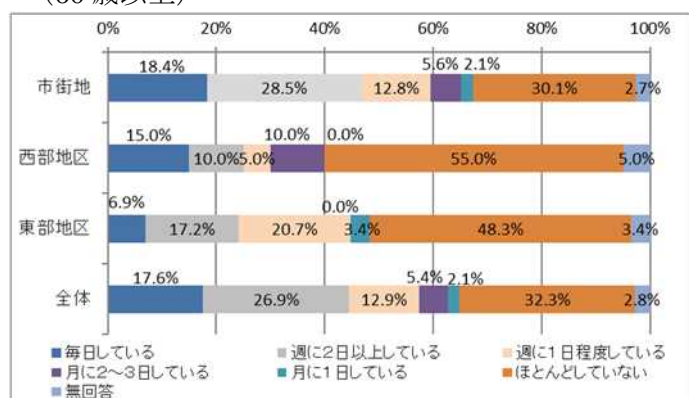


<令和元年度調査>

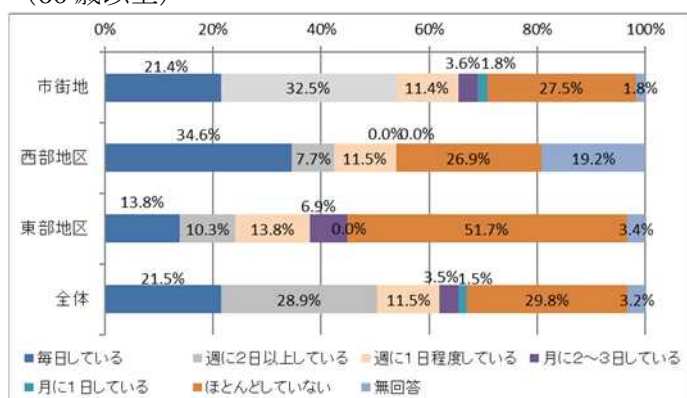
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目で、今年は分娩が再開されてから 5 年目となる。

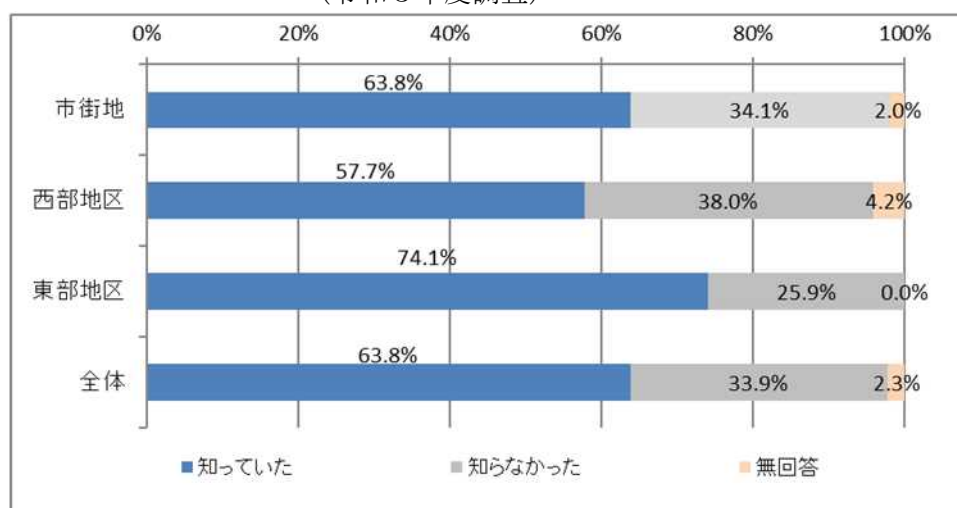
根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、63.8%の方が「知っていた」としており、過去 3 年間の結果をみると、認知度は概ね 60%程度にとどまっている状況となっている。

年齢階層別でも総じて認知度が低くなっており、特に 20 歳代未満で低くなっており、50%以下となっている。

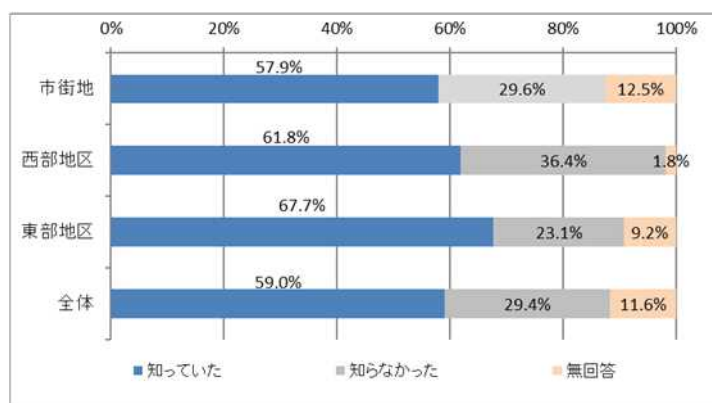
また、20 歳代～40 歳代の子育て世代の認知度は、69.8%となっており、概ね 70%前後の認知度となっているものの、20 歳代の認知度は、例年 50%前後にとどまっている。

市立根室病院の分娩再開の認知度

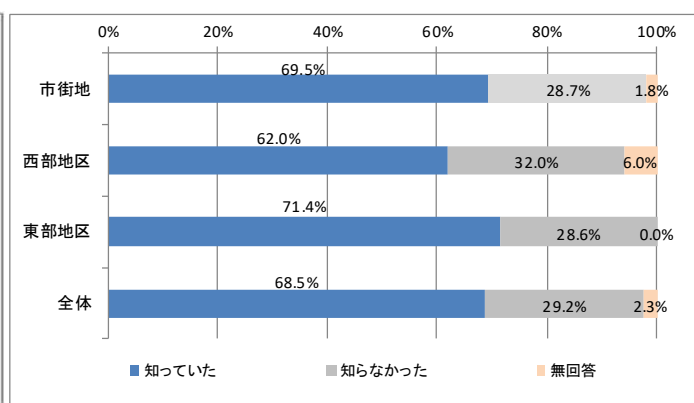
(令和 3 年度調査)



(令和 2 年度調査)



(令和元年度調査)



年齢階層別分娩開始の認知度

(令和3年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	10	43	112	108	70	214	0	557	263
知らなかった	23	40	32	39	38	123	1	296	111
無回答	1	1	1	1	2	12	2	20	3
計	34	84	145	148	110	349	3	873	377
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	29.4%	51.2%	77.2%	73.0%	63.6%	61.3%	0.0%	63.8%	69.8%
知らなかった	67.6%	47.6%	22.1%	26.4%	34.5%	35.2%	33.3%	33.9%	29.4%
無回答	2.9%	1.2%	0.7%	0.7%	1.8%	3.4%	66.7%	2.3%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和2年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	8	43	99	98	62	252	1	563	240
知らなかった	16	49	35	46	30	104	0	280	130
無回答	6	5	6	8	14	71	1	111	19
計	30	97	140	152	106	427	2	954	389
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	26.7%	44.3%	70.7%	64.5%	58.5%	59.0%	50.0%	59.0%	61.7%
知らなかった	53.3%	50.5%	25.0%	30.3%	28.3%	24.4%	0.0%	29.4%	33.4%
無回答	20.0%	5.2%	4.3%	5.3%	13.2%	16.6%	50.0%	11.6%	4.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和元年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	9	43	93	103	58	239	2	547	239
知らなかった	20	33	36	30	21	90	3	233	99
無回答	2	0	2	0	2	10	2	18	2
計	31	76	131	133	81	339	7	798	340
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	29.0%	56.6%	71.0%	77.4%	71.6%	70.5%	28.6%	68.5%	70.3%
知らなかった	64.5%	43.4%	27.5%	22.6%	25.9%	26.5%	42.9%	29.2%	29.1%
無回答	6.5%	0.0%	1.5%	0.0%	2.5%	2.9%	28.6%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 施策に対する認知度

①市民全体

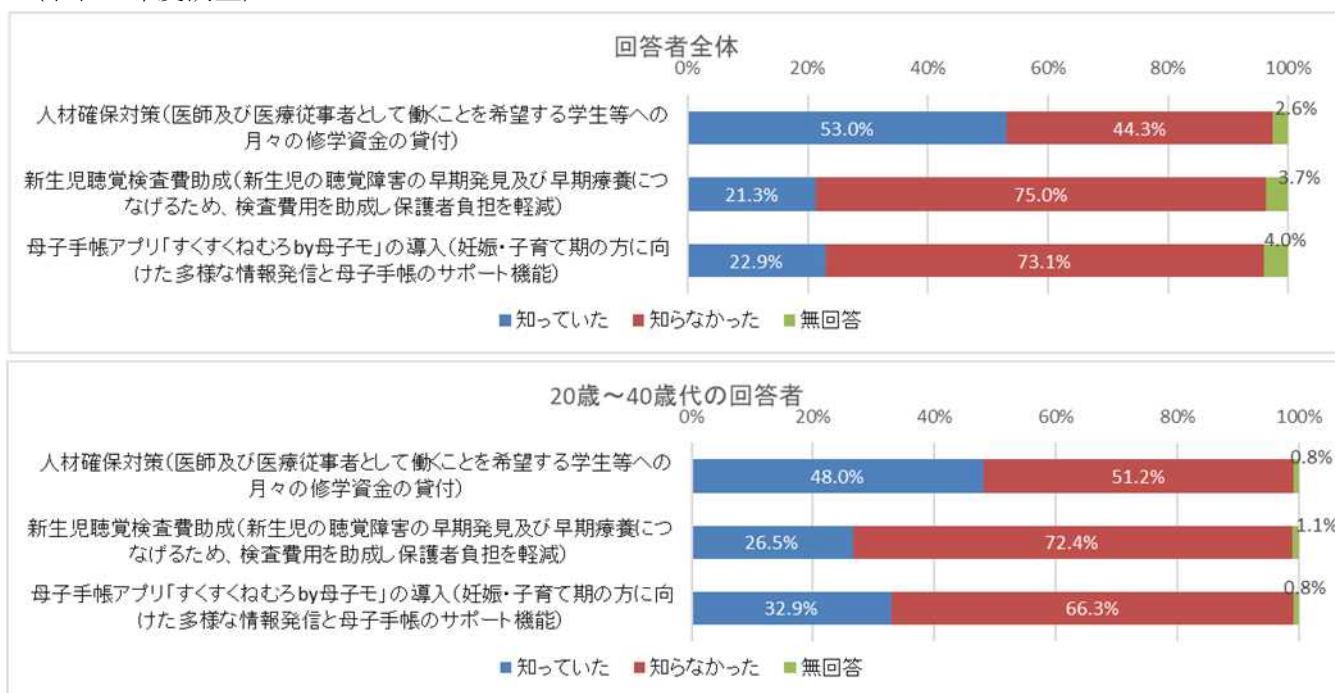
根室市で実施している保健医療に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、人材確保対策については、53.0%が知っていたとしており、昨年度よりも認知度は向上した。

しかし、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、昨年度と同様に、20%程度の認知度にとどまっている。

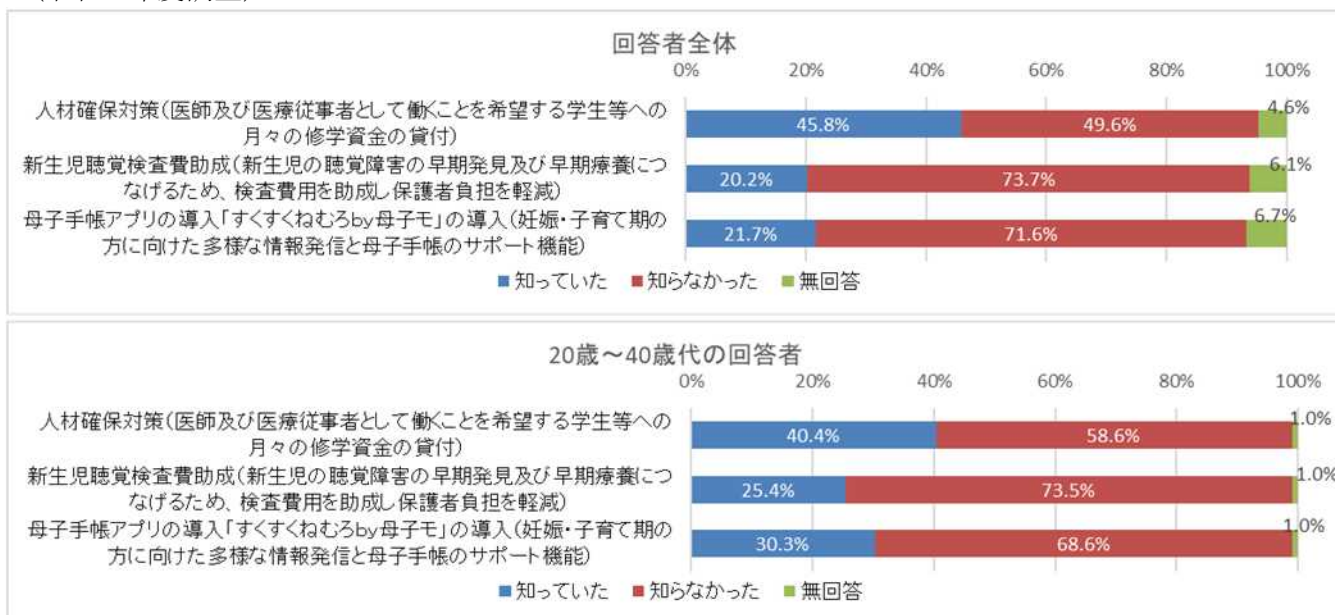
20歳代～40歳代の子育て世代の認知度についてみると、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、市民全体よりもやや認知度は高くなっているが、25～30%程度にすぎない。

保健医療に関する施策の認知度

(令和3年度調査)

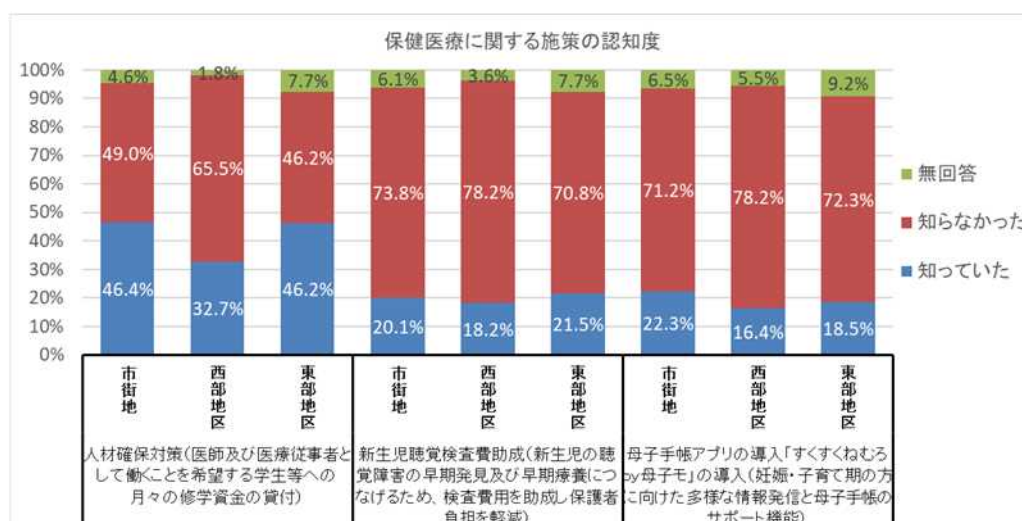
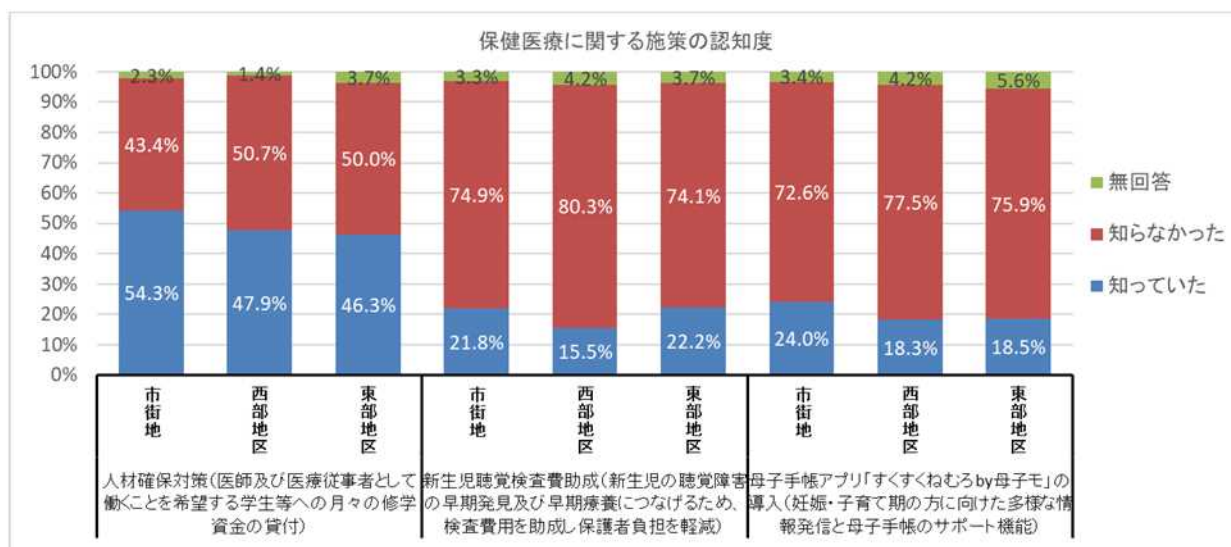


(令和2年度調査)



②地区別

保健医療関連施策の認知度を地区別にみると、昨年度の結果と同様、それぞれの施策に対する認知度の地区別の特性は特にみられず、人材確保対策に対する認知度がやや高く、それ以外の施策に関しては3地区とも20%前後となっている。



(6) 根室市の医療環境の状況について

①医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、12.0%となっており、年々上昇している。

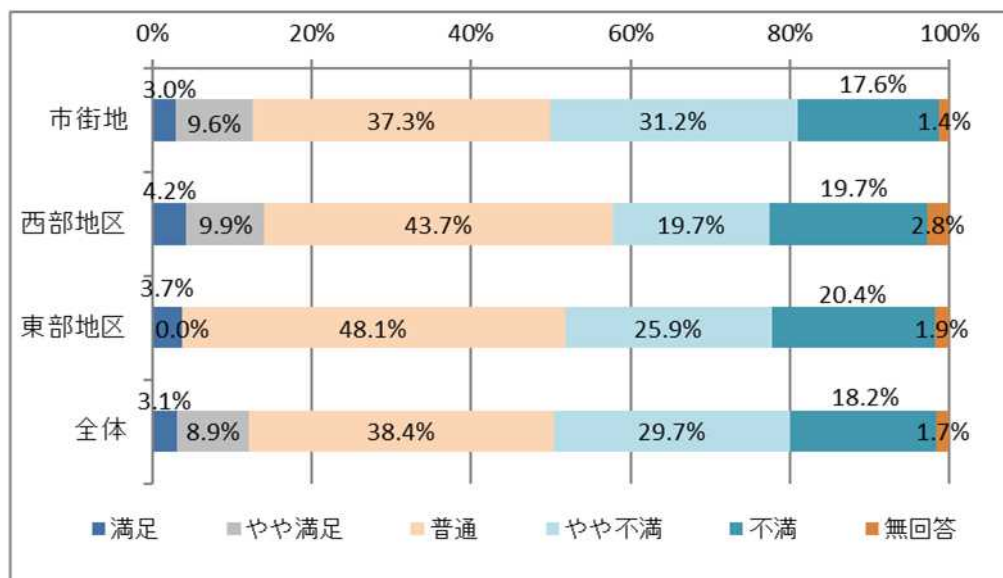
地域別では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で12.6%、西部地区で14.1%と満足度が上昇している。

今回調査の結果とこれまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成30年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成28年度調査で17.0%、平成29年度調査で21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね50%を超えている。

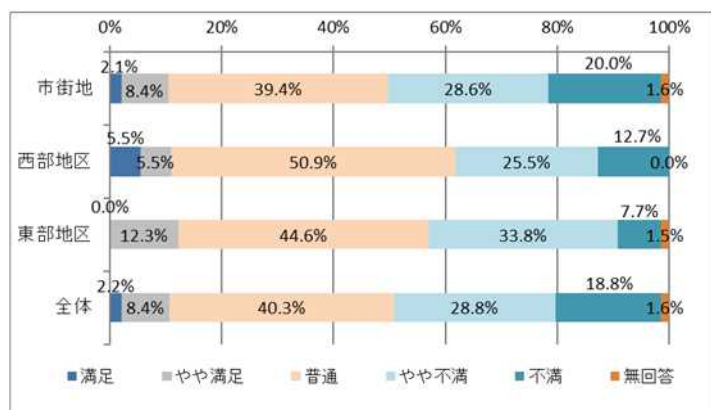
しかし、「不満」「やや不満」を合わせた割合は、令和元年度の約60%より低下し、50%弱となっているが、「満足」とする回答を大きく上回っており、不満意識が高い状況が続いていることから、さらなる医療環境の整備向上が不可欠といえよう。

根室市の医療環境に対する満足度

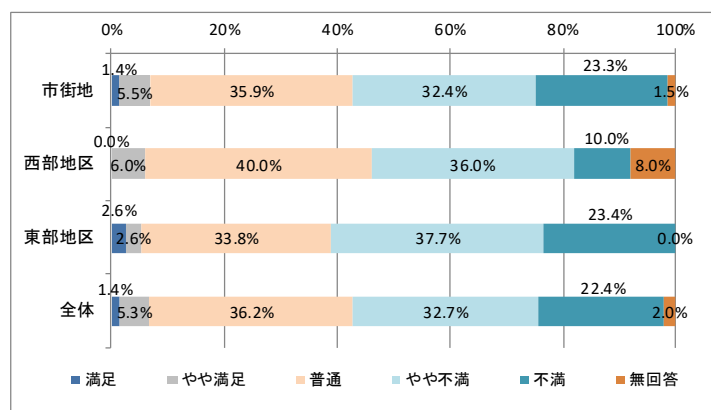
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



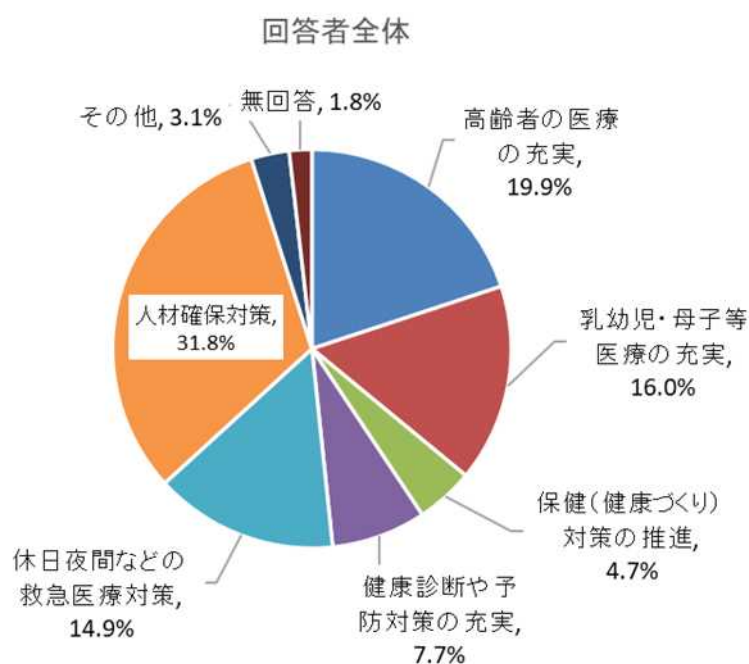
(7) 保健医療政策について

①市民全体

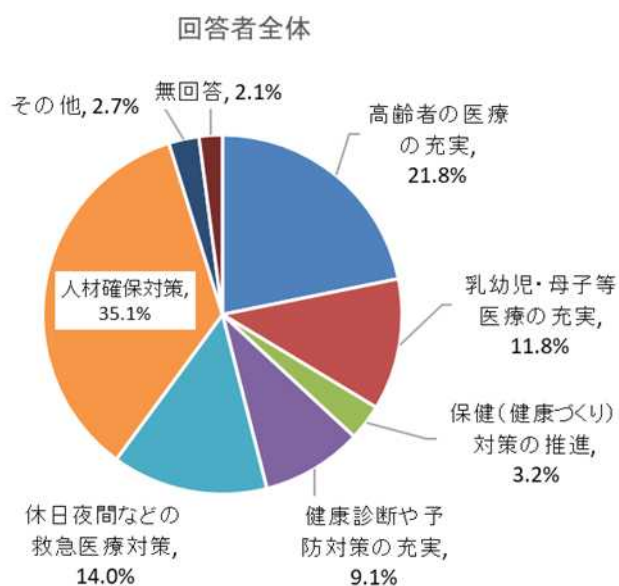
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、これまでの調査結果と同様、「人材確保対策」が最も多く、31.8%を占めた。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が続いており、「人材確保対策」に次いで上位にあげられている項目は、順位に変動はみられるもののこれまでの調査の結果と同様であった。

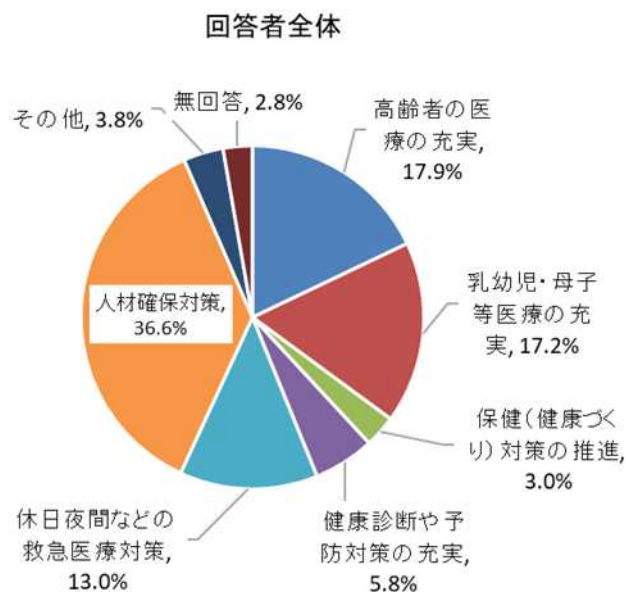
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



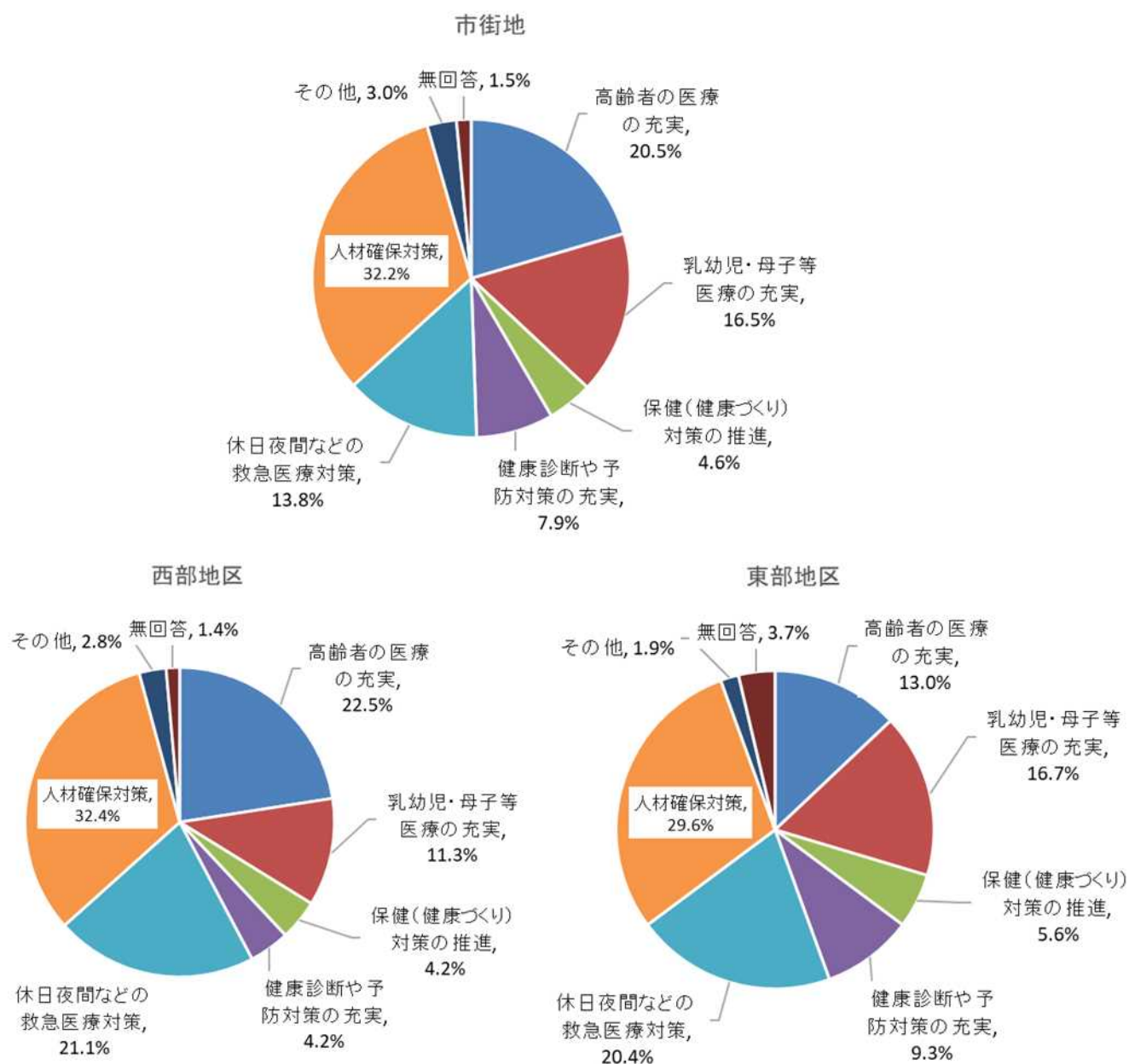
<令和元年度調査>



注: 自由回答の内容を反映させ、令和元年度調査から「人材確保対策」の項目を追加した。

②地区別

地区別に重要と考える保健医療政策についてみると、3地区とも「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が上位に要望されており、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。



3. 6 少子化・子育て支援について

(1) 施策に対する認知度

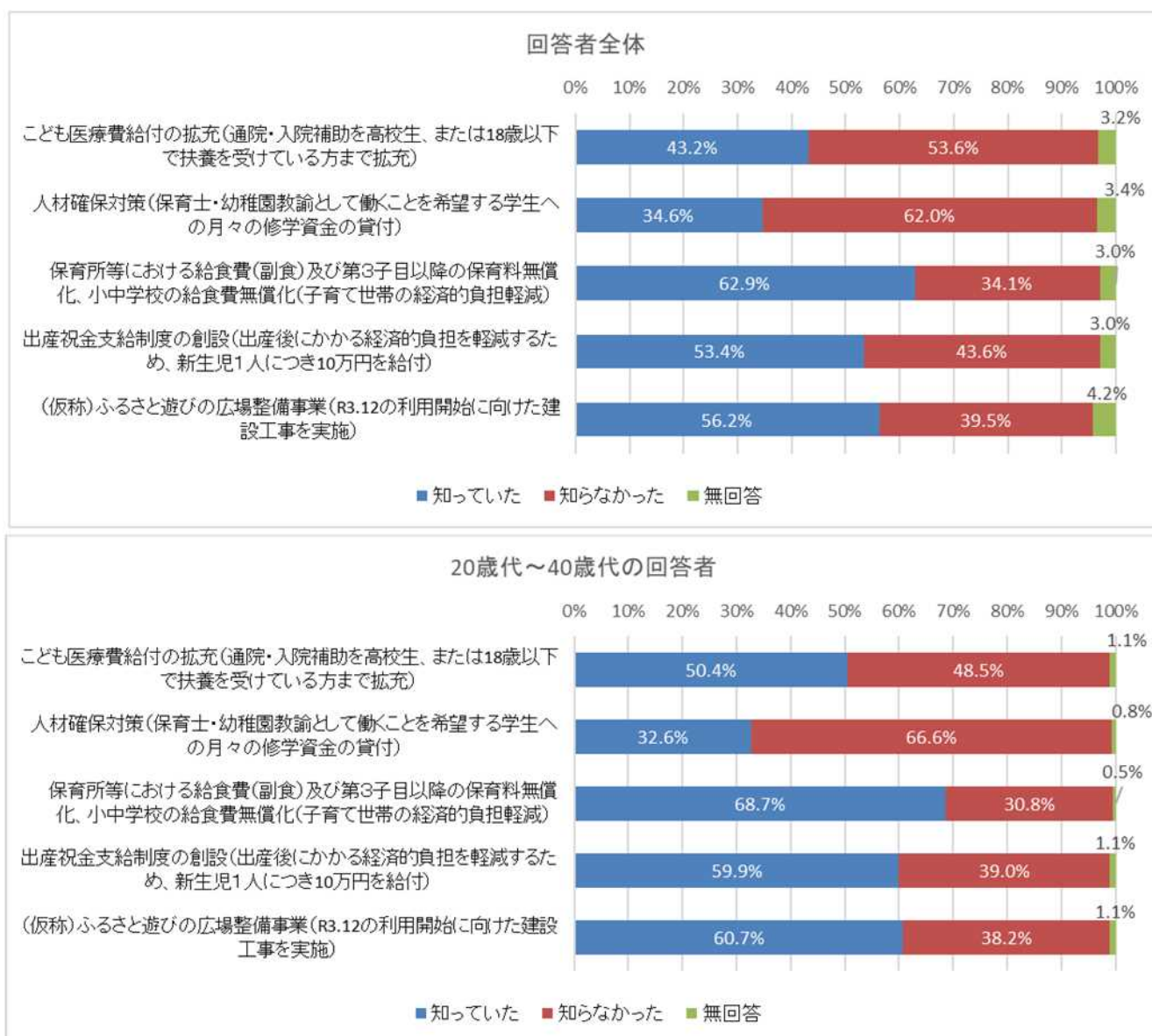
①市民全体

根室市で実施している「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度をみると、回答者全体では、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無償化」、「(仮称)ふるさと遊びの広場整備事業」、「出産祝金支給制度の創設」への認知度が比較的高く50%を超えている。

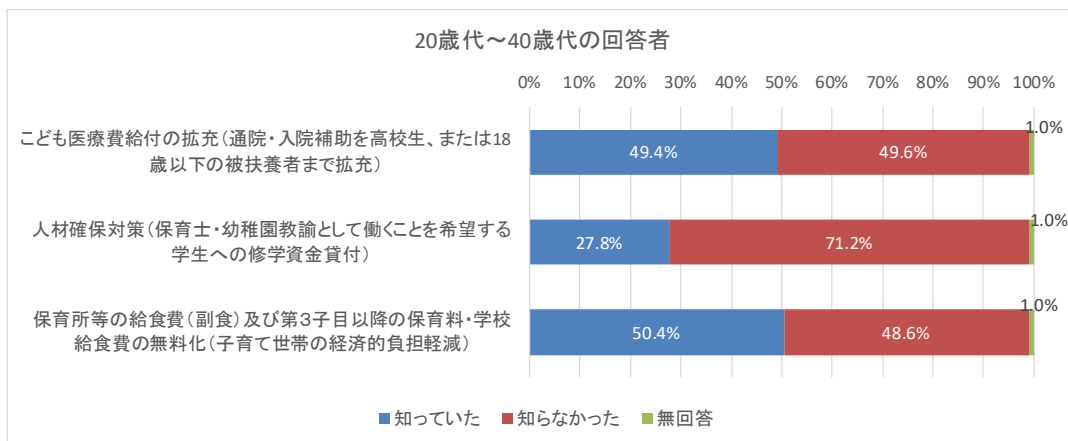
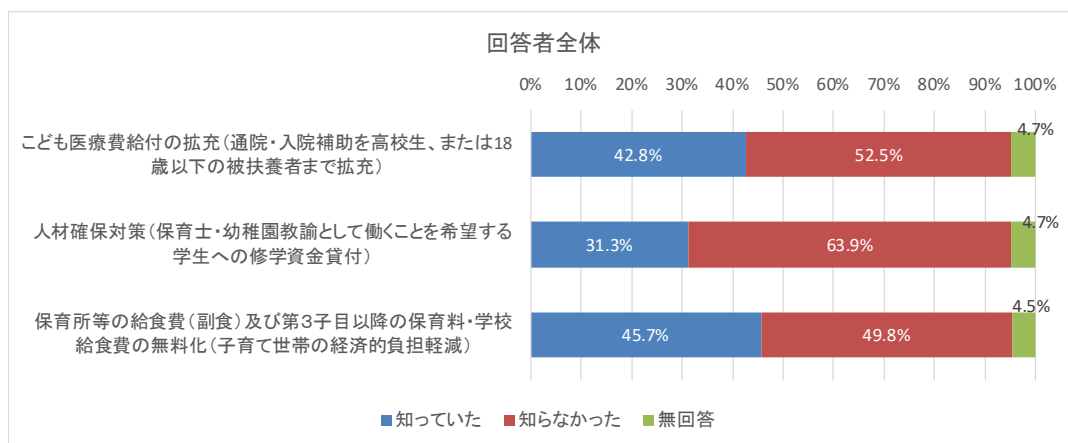
20歳代～40歳代の子育て世代では、さらに認知度は高くなっており、これらの上位3項目は60%～70%の認知度となっている。

「出産祝金支給制度の創設」と「(仮称)ふるさと遊びの広場整備事業」の2項目に関しては、今回調査で設定した項目で、過去の調査結果との比較はできないが、これまでの調査から引き続き設定している「こども医療費給付の拡充」、「人材確保対策」、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無償化」の3事業については、いずれも認知度は最も高くなっている。

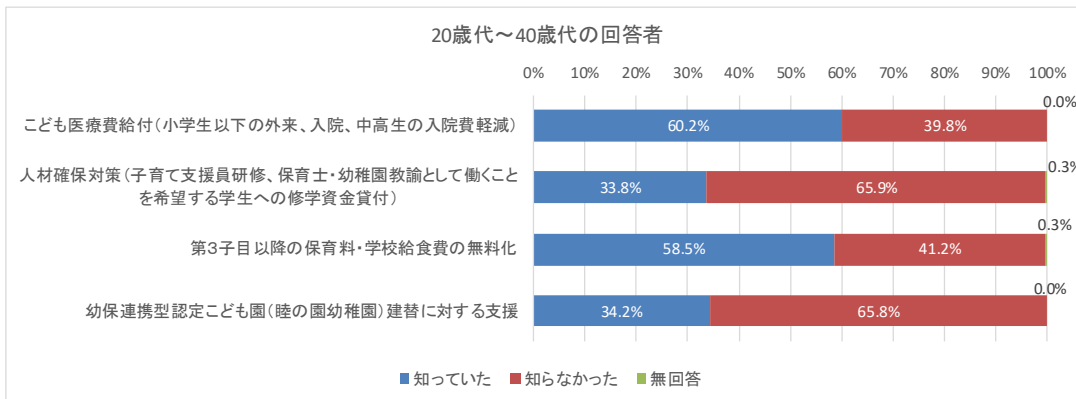
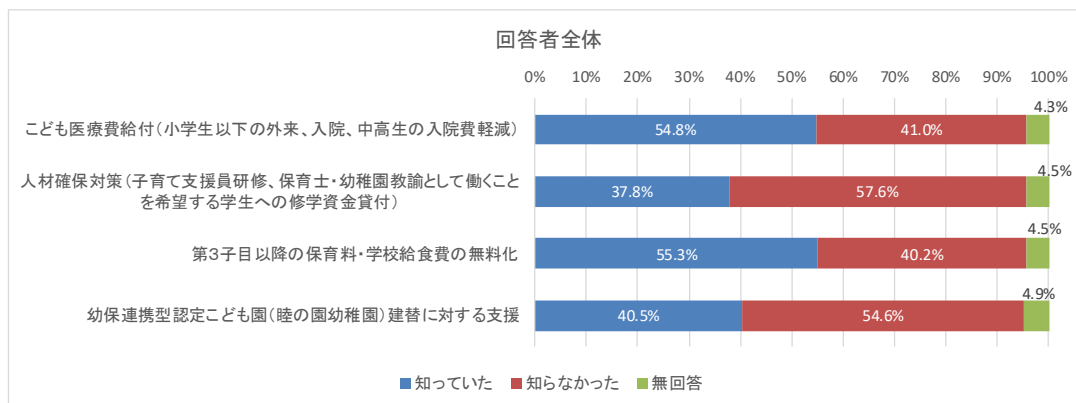
令和3年度調査結果



令和2年度調査結果



令和元年度調査結果

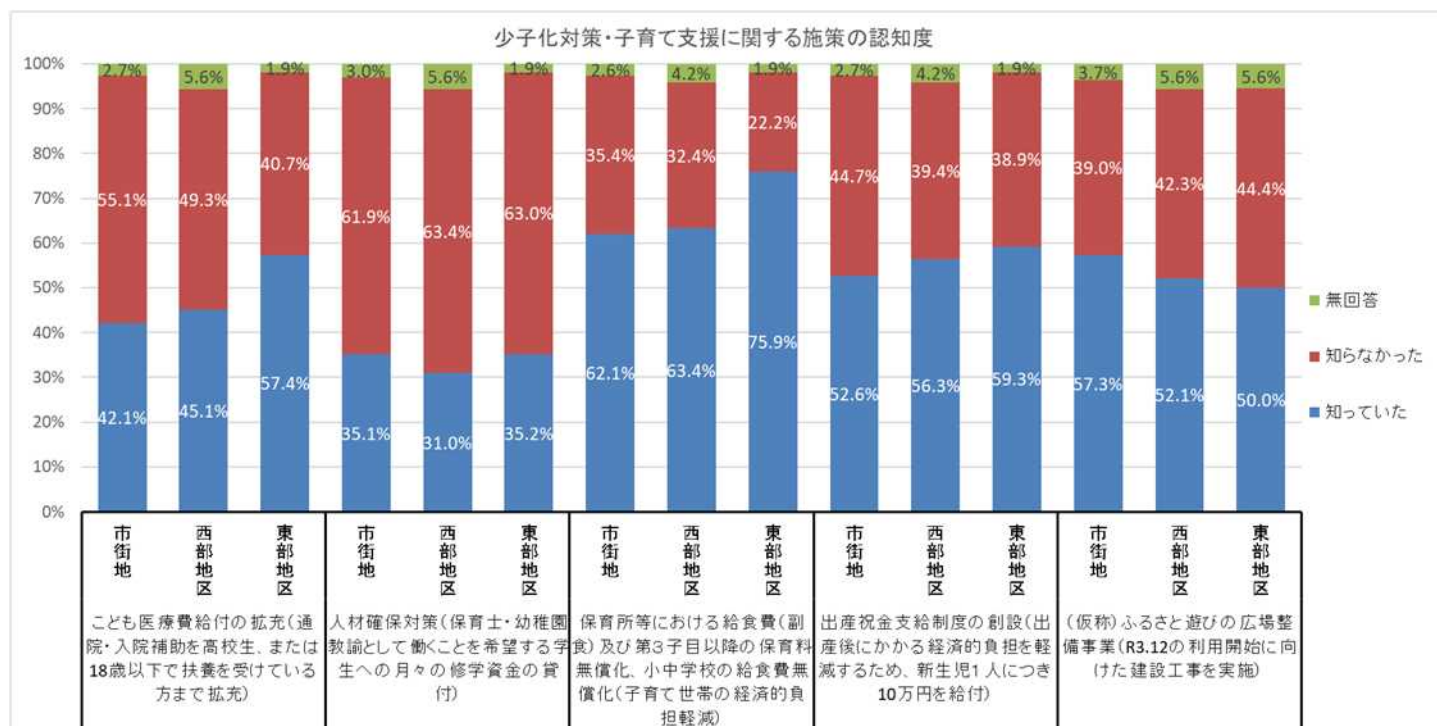


②地区別

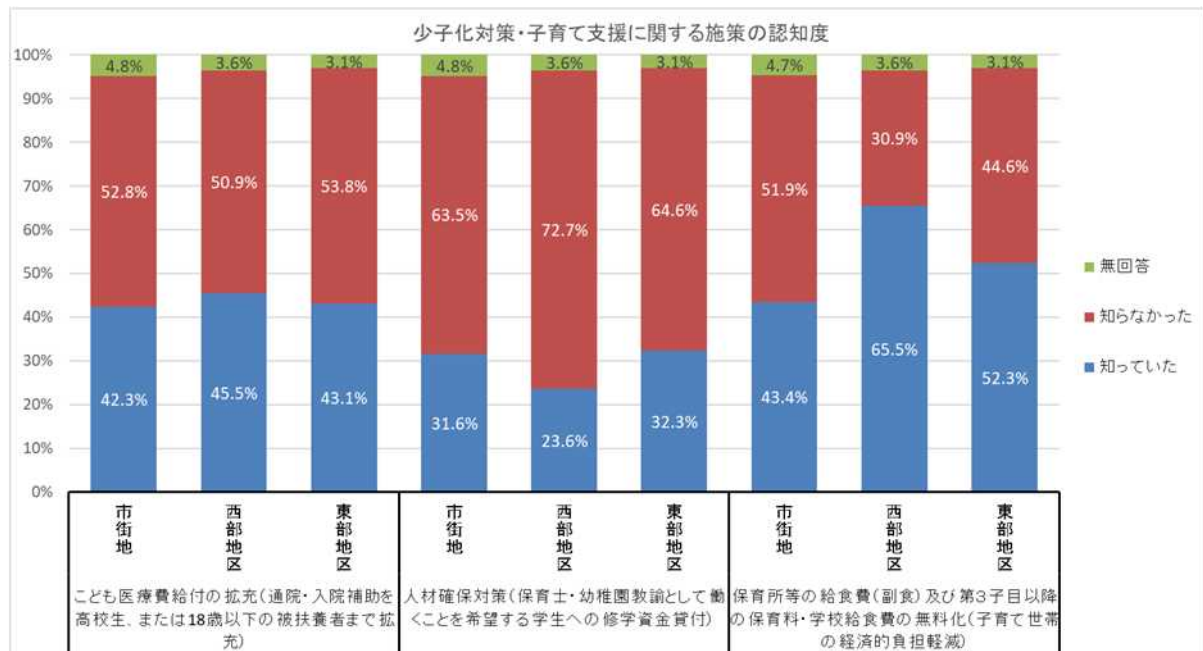
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策の認知度を地区別でみると、3地区とも「こども医療費給付の拡充」と「人材確保対策」で認知度がやや低くなっているほかは、3事業とも50%を大きく超える認知度となっている。

その中で、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」に対する認知度は、昨年度と同様に、市街地住民よりも西部地区、東部地区住民の方が高い傾向がみられているが、「(仮称)ふるさと遊びの広場整備事業」は、市街地住民の認知度が高い傾向がみられた。

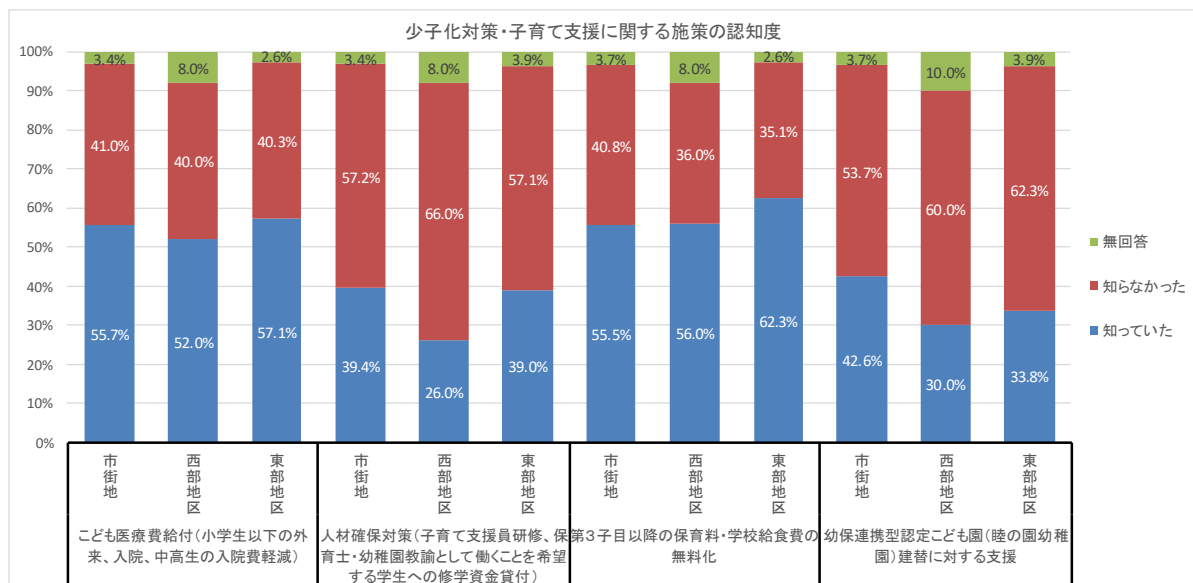
令和3年度の地区別認知度調査結果



令和２年度の地区別認知度調査結果



令和元年度の地区別認知度調査結果



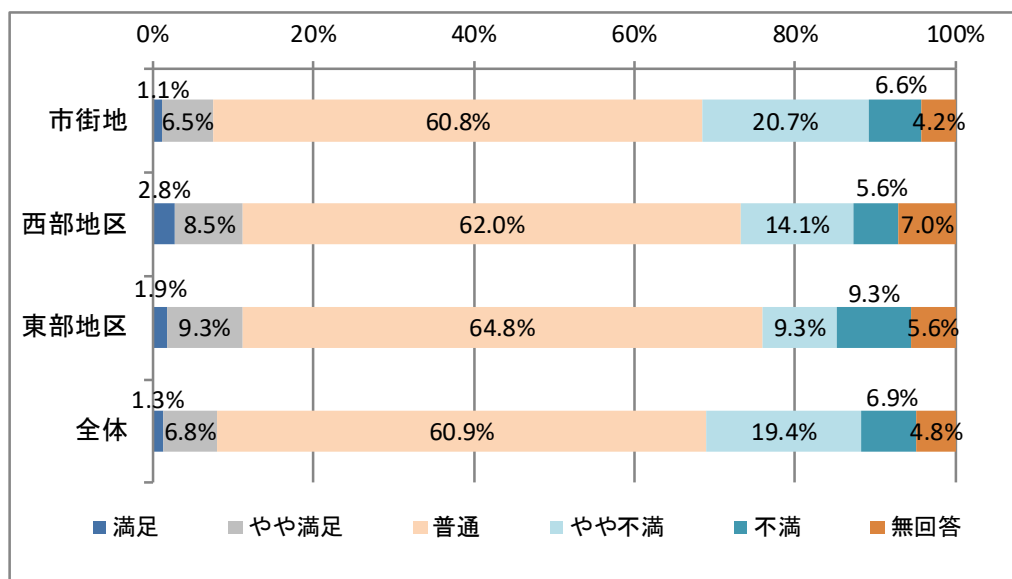
（２）乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、8.1%となっており、昨年度の調査の結果をやや下回った。

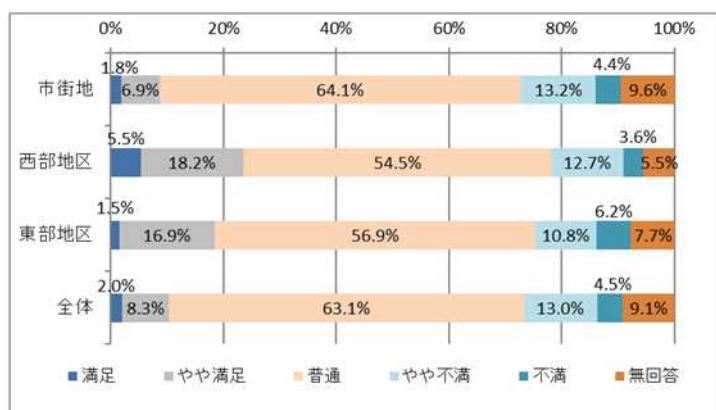
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は３地区とも昨年度よりは減少したものの、一昨年度よりは、やや上回っている。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

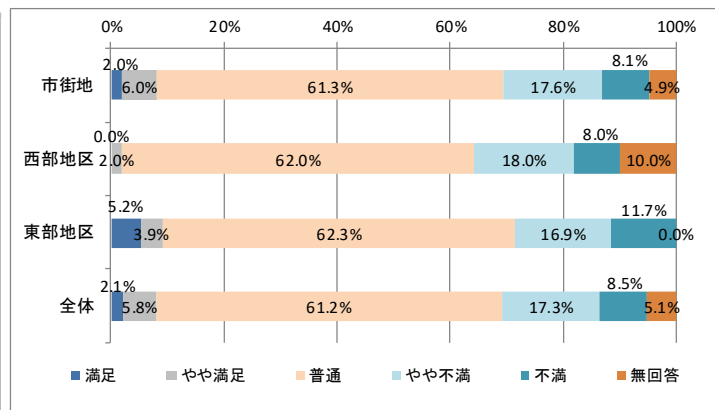
<令和３年度調査>



<令和２年度調査>



<令和元年度調査>



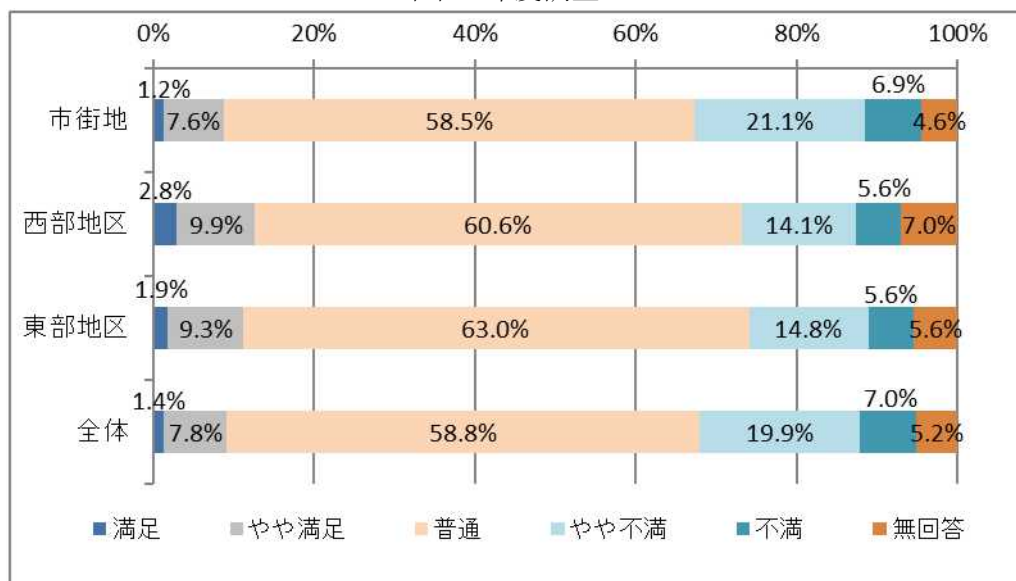
(3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、9.2%となっており、調査を開始した平成28年度(5.2%)から一貫して増加基調にある。

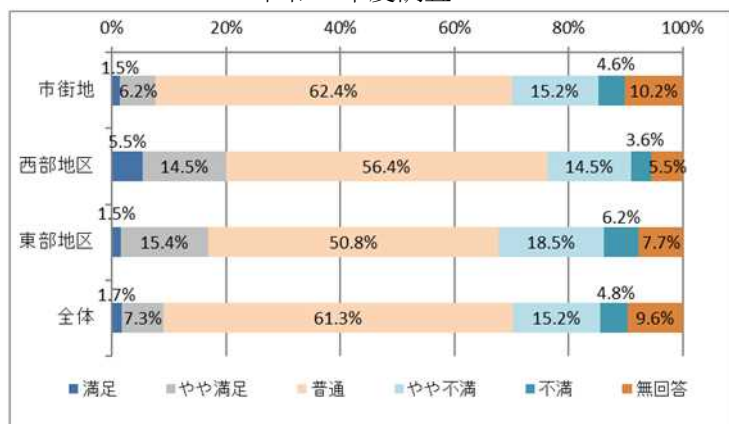
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で昨年度までの調査結果を上回ったが、西部地区および東部地区とも昨年度の調査結果よりも低下した。

子育てのための環境や支援に対する満足度

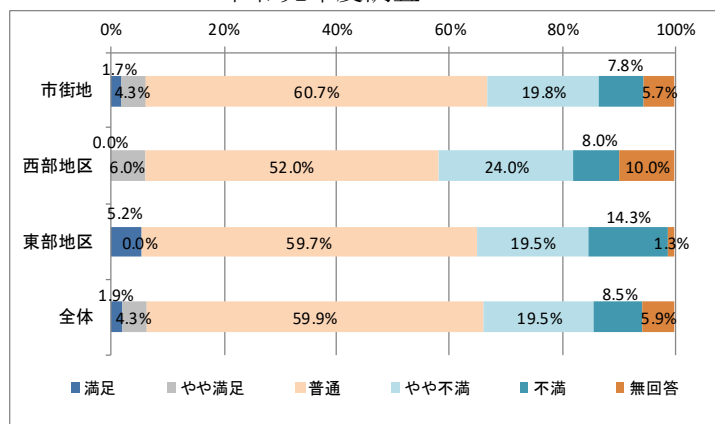
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



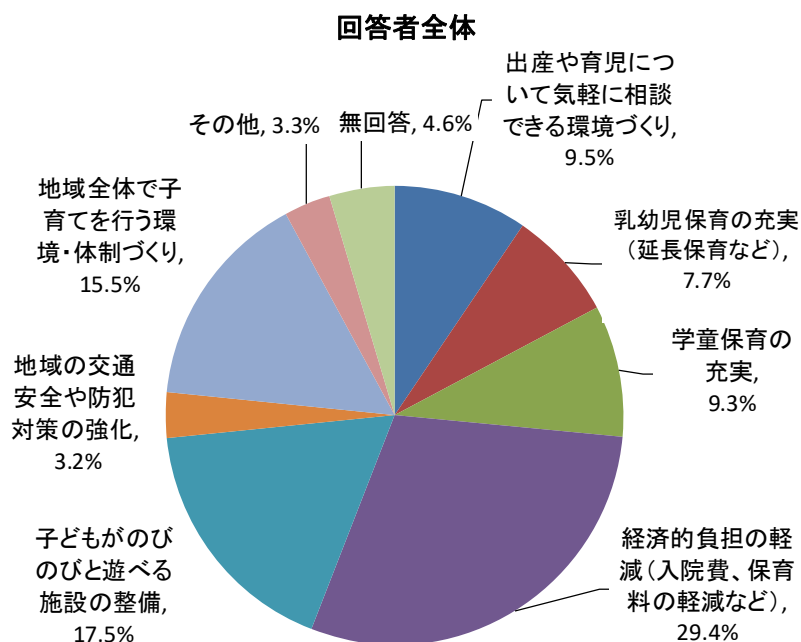
(4) 少子化・子育て支援策

①市民全体

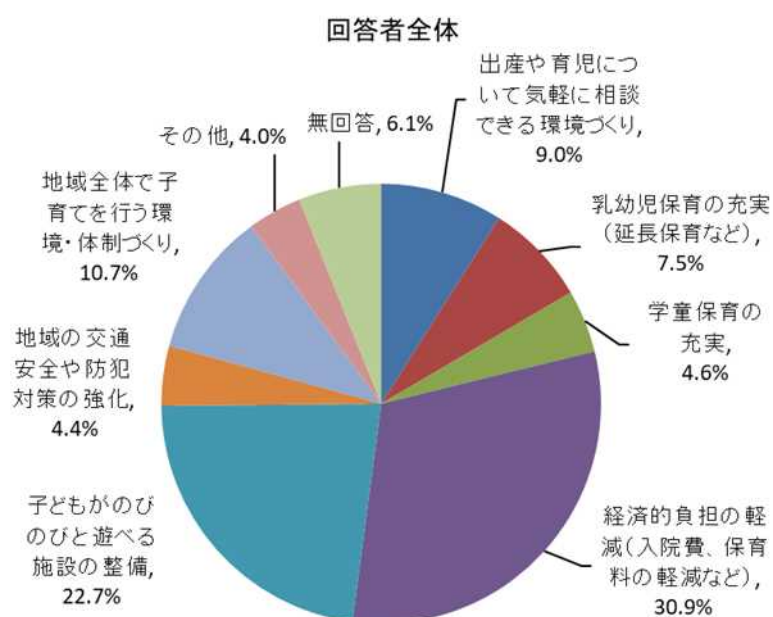
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、29.4%を占めた。次いで、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が17.5%、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が15.5%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が9.5%の順であった。

この結果は、昨年度までの調査とほぼ同様の結果であった。

<令和3年度調査>

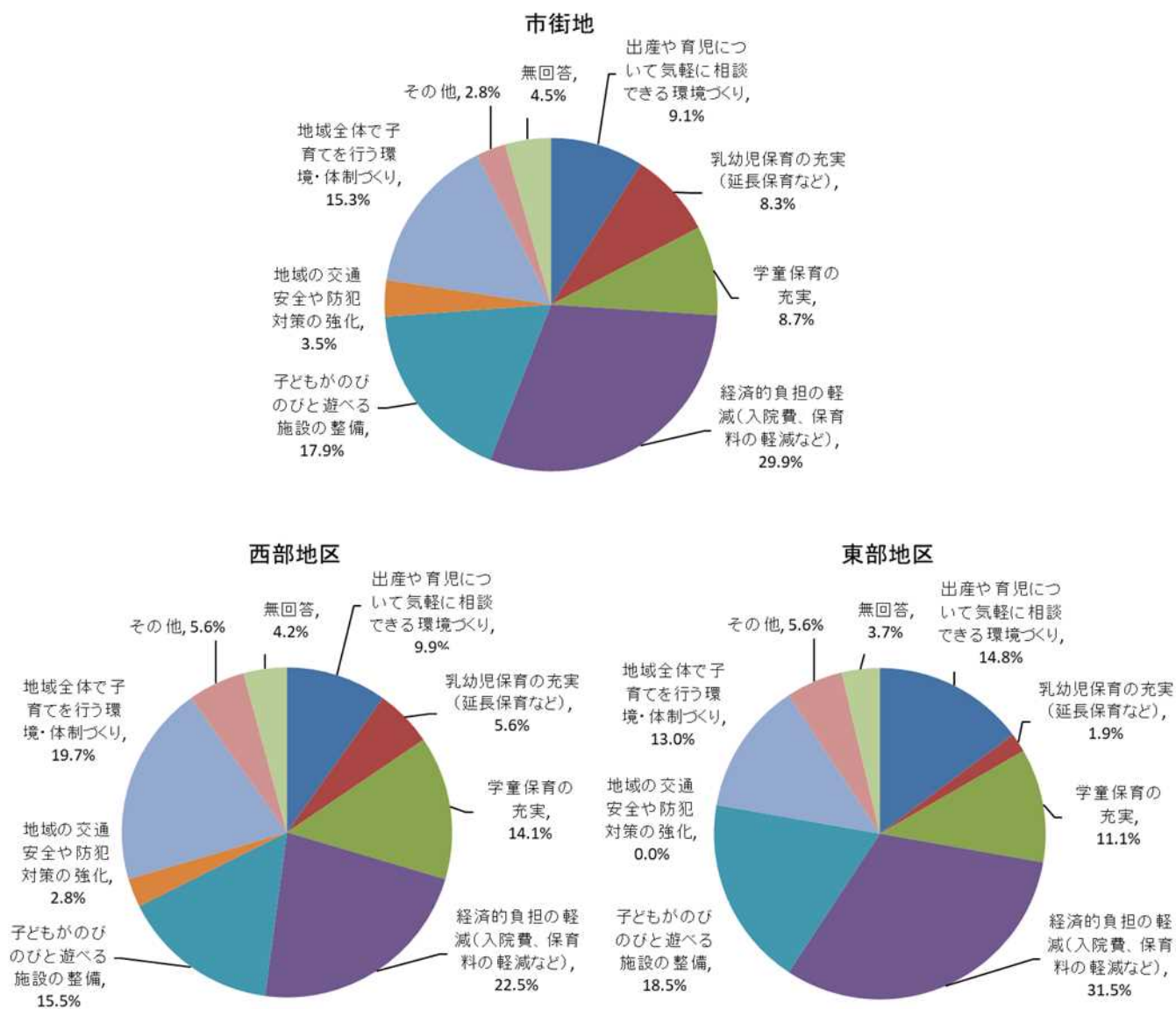


<令和2年度調査>



②地区別

市街地及び東部地区では、「経済的負担の軽減」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の順で高く、西部地区では、「経済的負担の軽減」に次いで「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」に対する要望が高くなっている。



3. 7 高齢者支援について

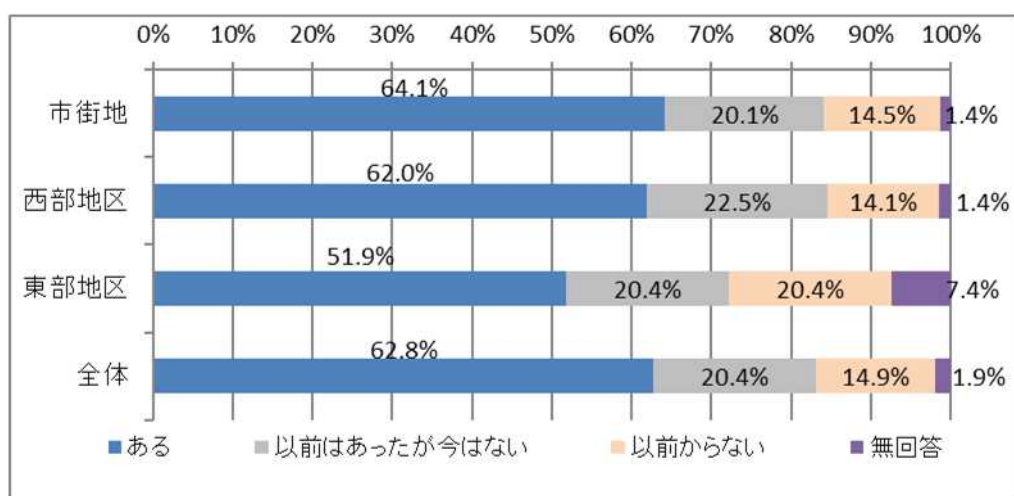
(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

趣味・楽しみ、生きがいの有無を、回答者全体でみると 62.8%が「ある」としており、令和 2 年度調査の結果と比較すると、西部地区で減少したものの市街地と東部地区では増加している。ただし、西部地区及び東部地区の回答数が市街地に比して極めて少ないことに留意する必要がある。

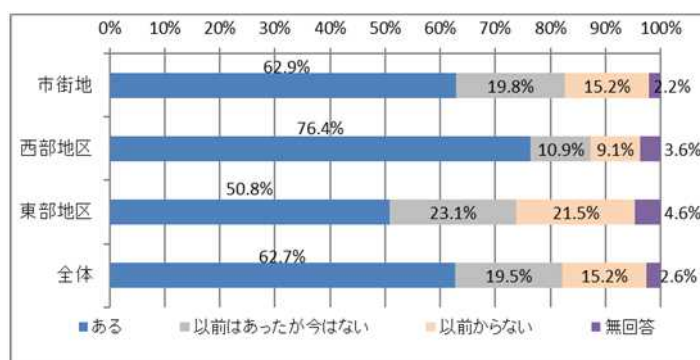
60 歳以上の回答者に着目すると、回答者全体よりも「ある」の回答割合が低いことは、昨年度までの結果と同様である。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

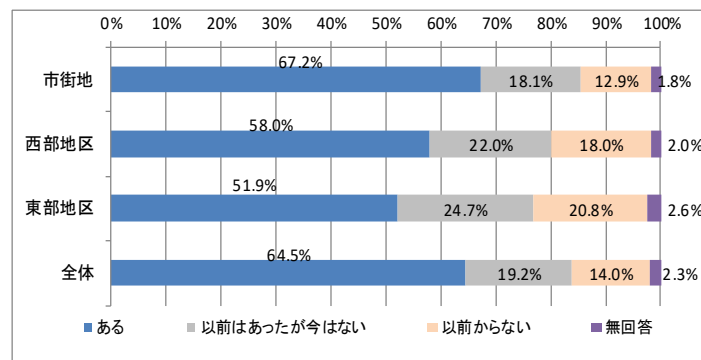
<令和 3 年度調査>



<令和 2 年度調査>

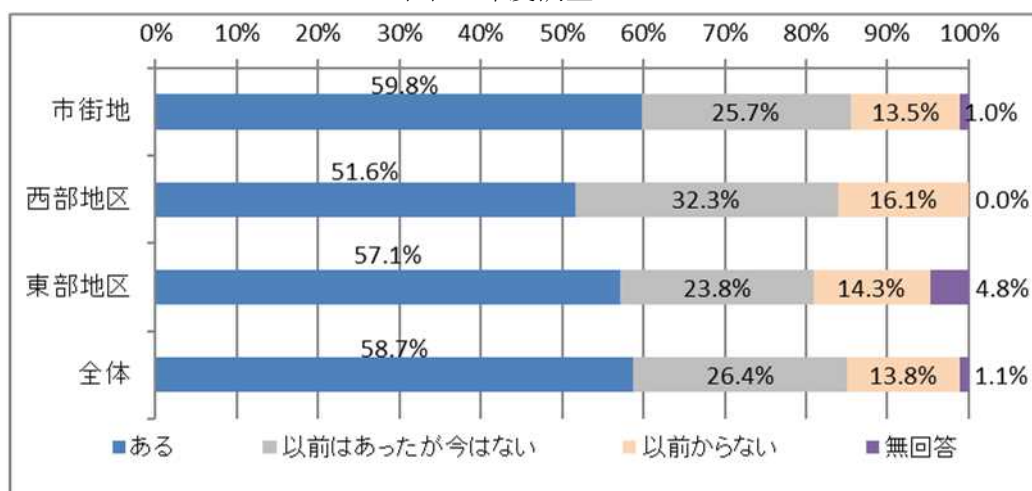


<令和元年度調査>

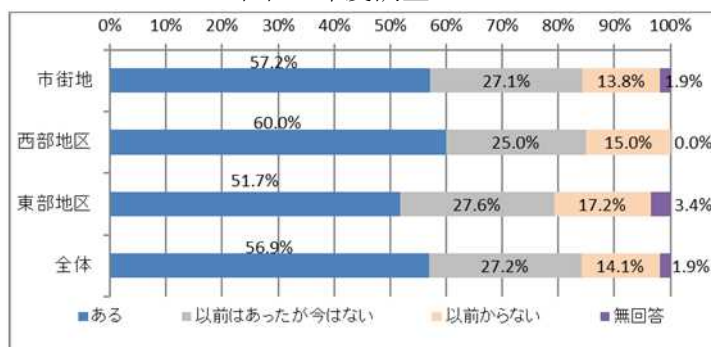


60歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

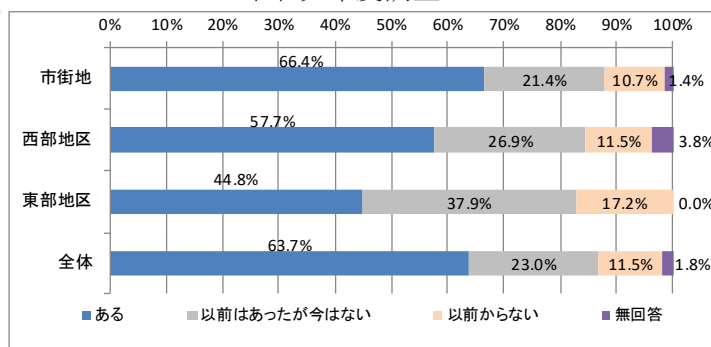
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞

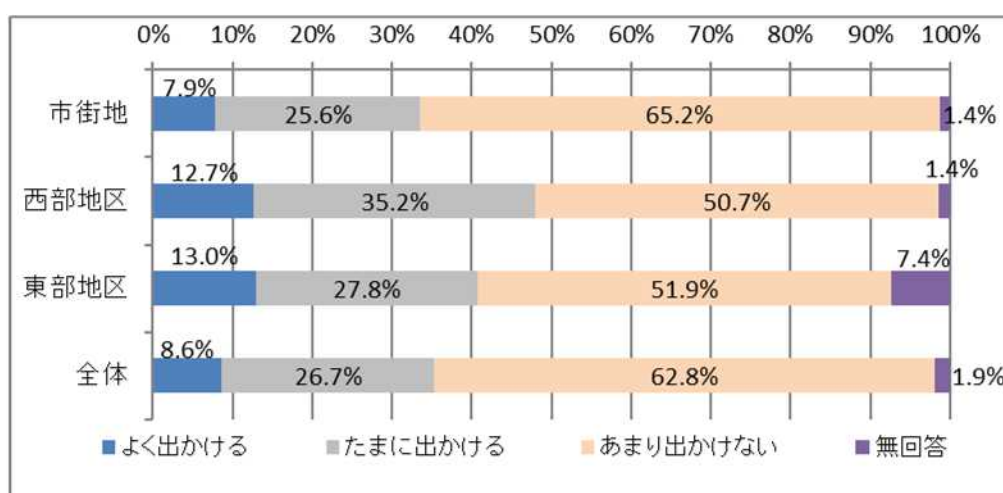


（２）町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

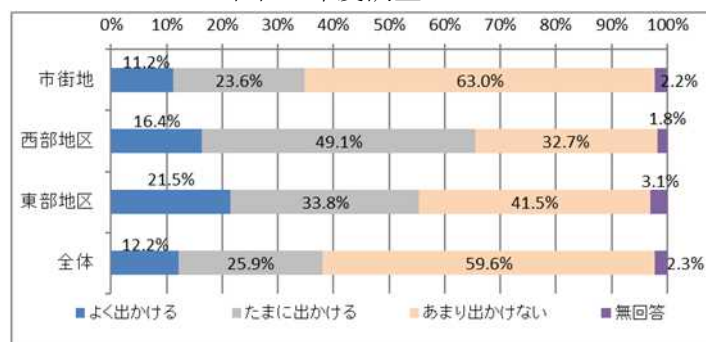
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体でみると、「よく出かける」は、8.6%となっており、昨年度よりも参加率は低下した。地区別では市街地が7.9%、西部地区及び東部地区がそれぞれ12.5%、13.0%となっており、いずれも昨年度よりも低下し、「たまに出かける」を含めた「出かける」とする回答割合でみても低下している。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急な外出の自粛や地域イベントの中止などの影響があるものと推測される。

市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

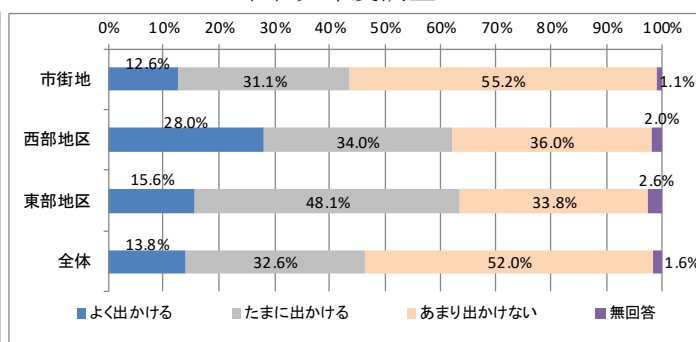
＜令和３年度調査＞



＜令和２年度調査＞

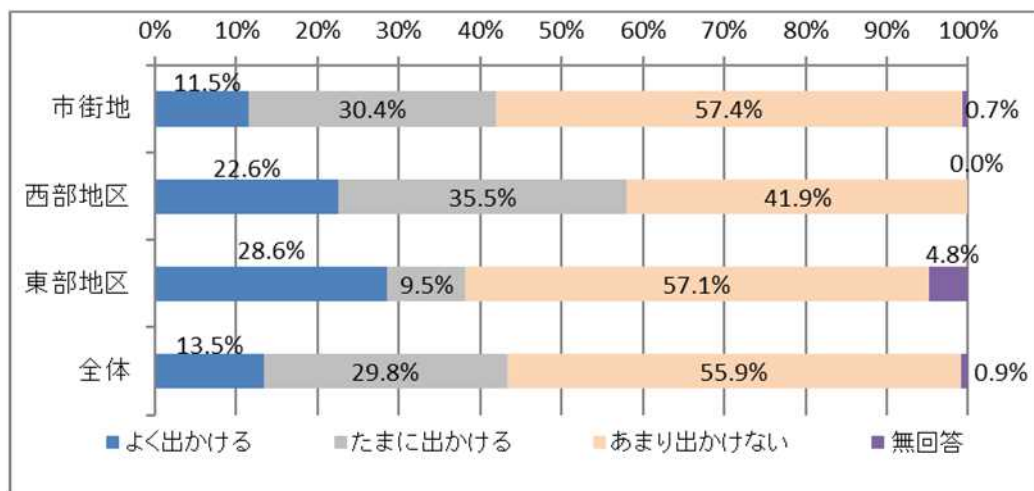


＜令和元年度調査＞

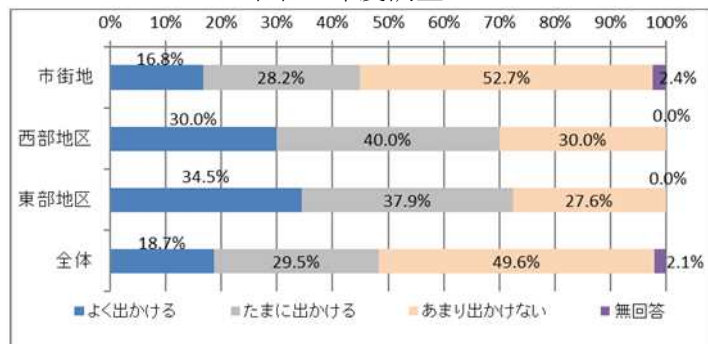


60歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

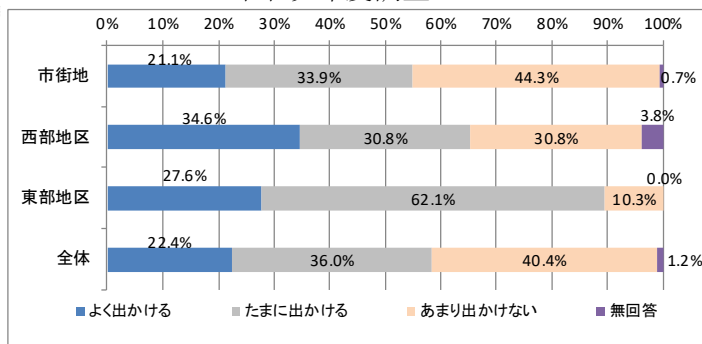
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



(3) 施策に対する認知度

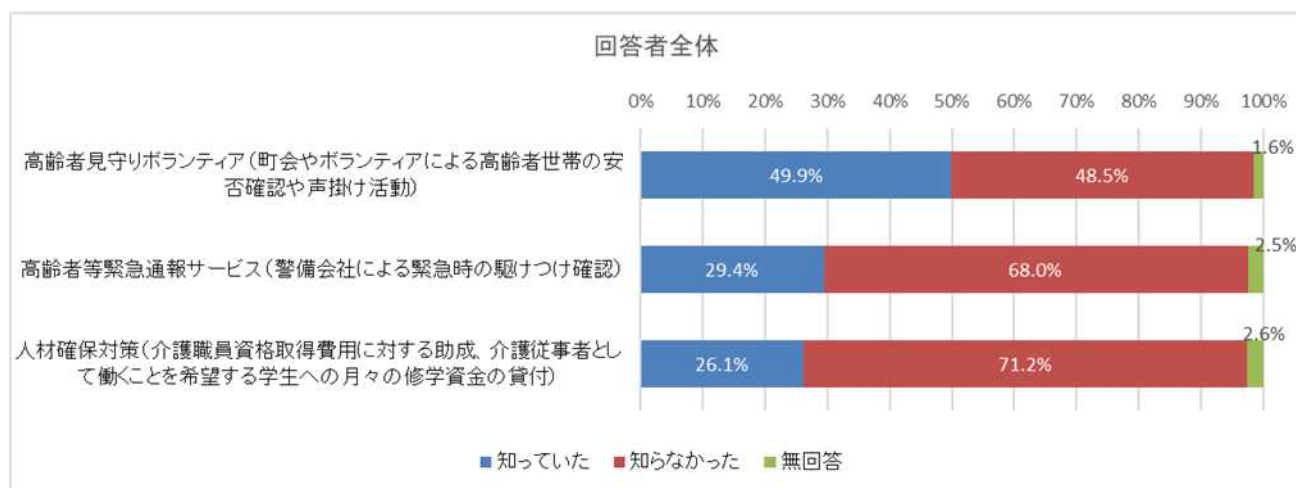
①市民全体

根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度をみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」が49.9%の認知度となっているが、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては30%以下の認知度に留まっているなど、ほぼ昨年度と同様の結果となっている。

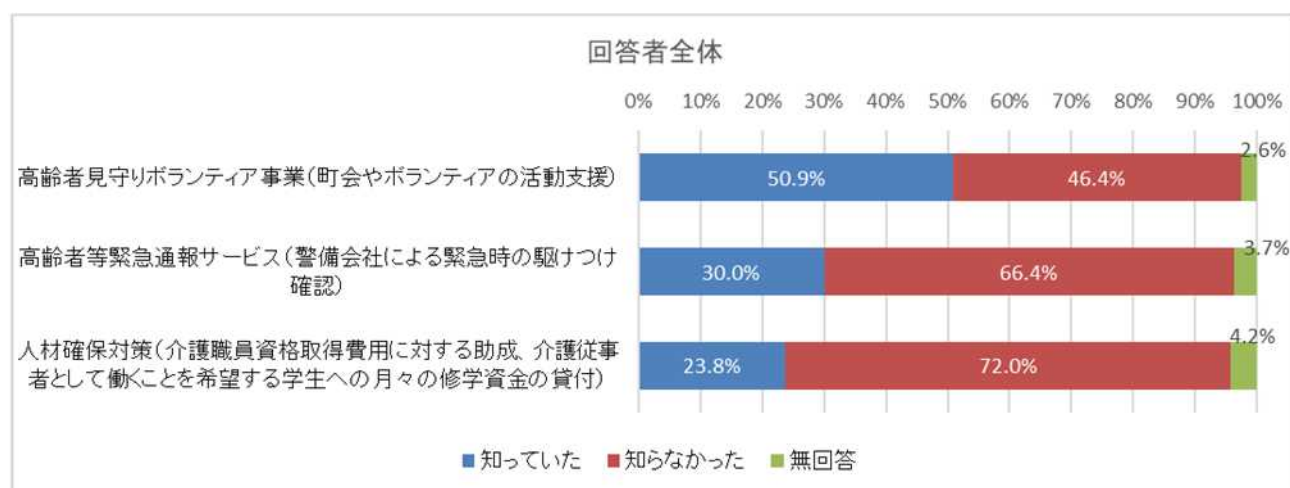
一方、65歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が47.1%、「高齢者等緊急通報サービス事業」が29.6%の認知度となっており、回答者全体での認知度より若干低いですが、昨年度調査よりも認知は向上していた。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和3年度調査>

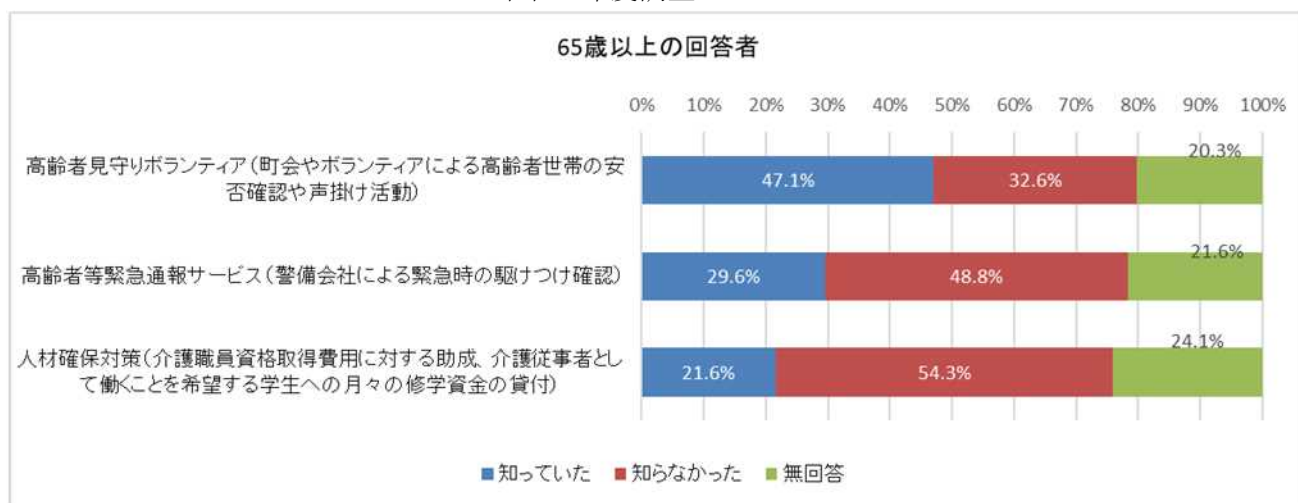


<令和2年度調査>

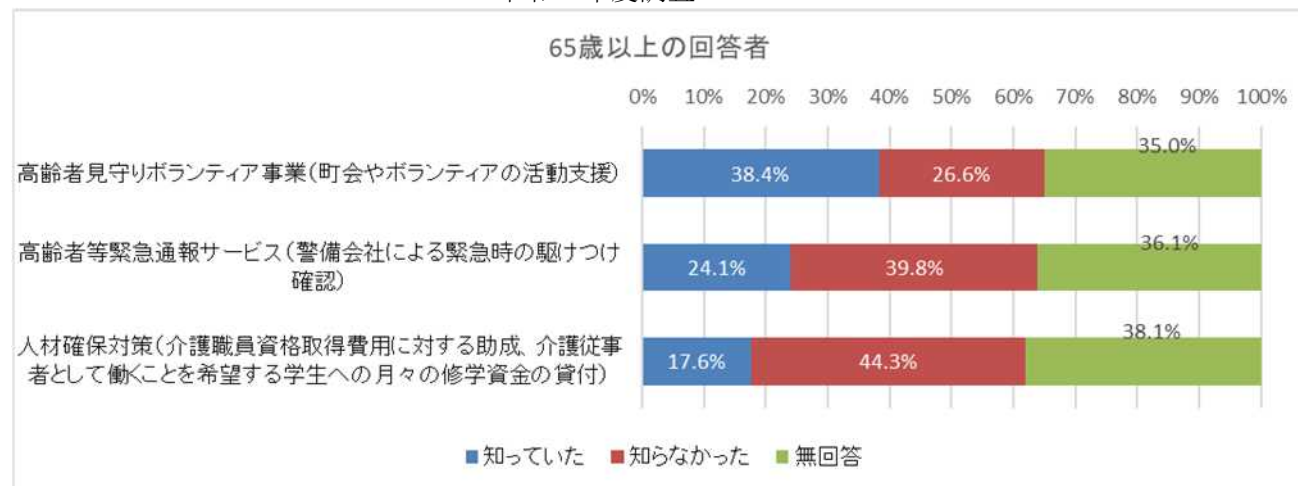


65 歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

< 令和 3 年度調査 >



< 令和 2 年度調査 >

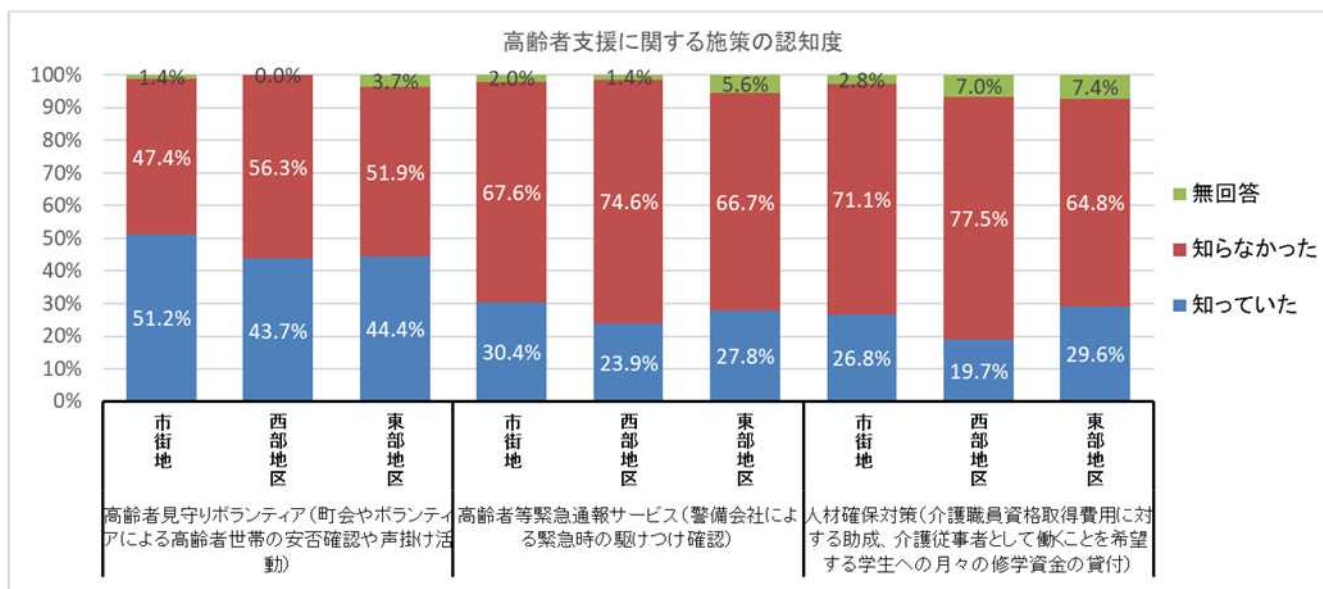


②地区別

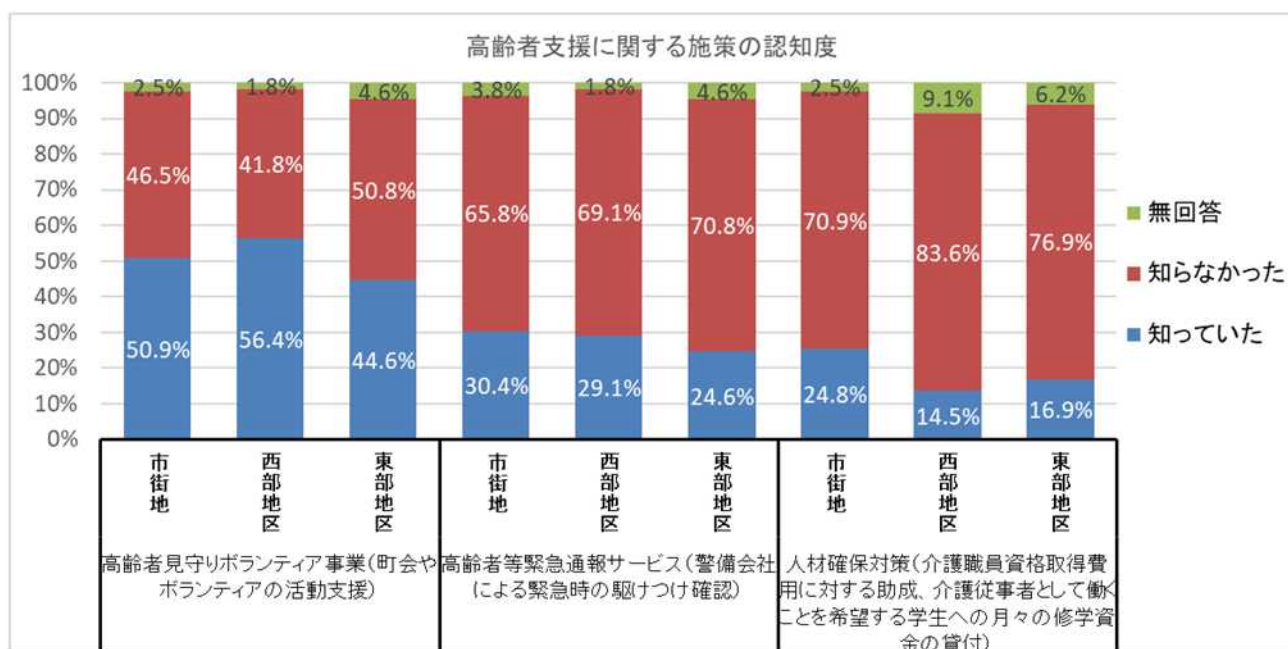
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高く、44～51%となっている。

「高齢者等緊急通報サービス事業」や「人材確保対策」に関しては、認知度は高くはないものの、ほぼ例年と同水準の認知度となっている。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

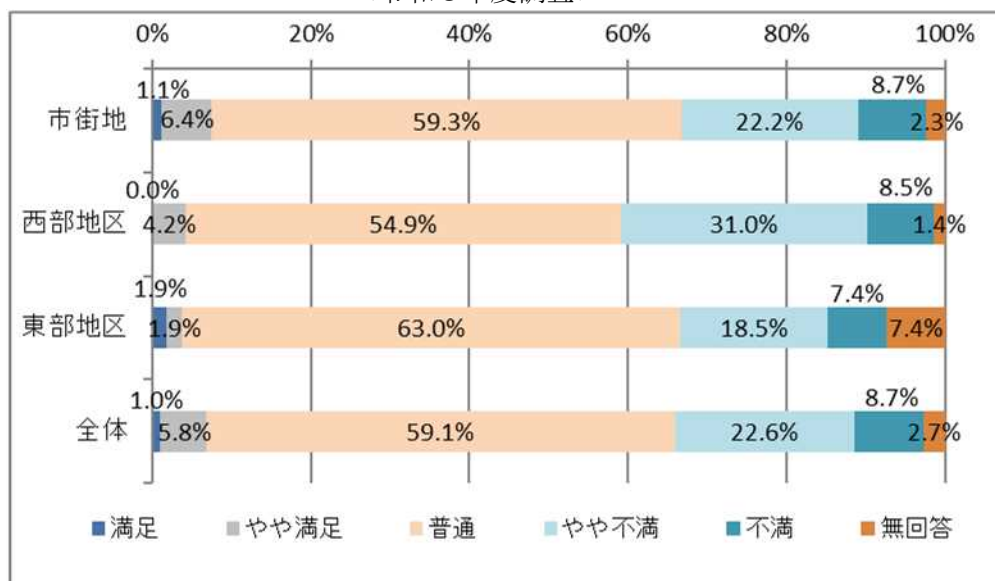
高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.8%となっており、昨年度までの調査の結果とほぼ同水準であった。

また、「不満」「やや不満」を合わせた「不満」とする評価についても、年度毎に変動はあるもののこれまでの調査結果とほぼ同水準となっている。

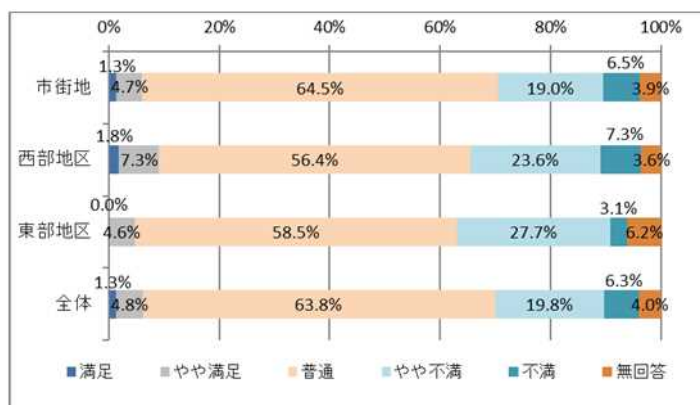
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.5%程度と昨年度の結果よりやや上昇したものの、令和元年度からは減少しているなど、大きな変化はみられていない。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

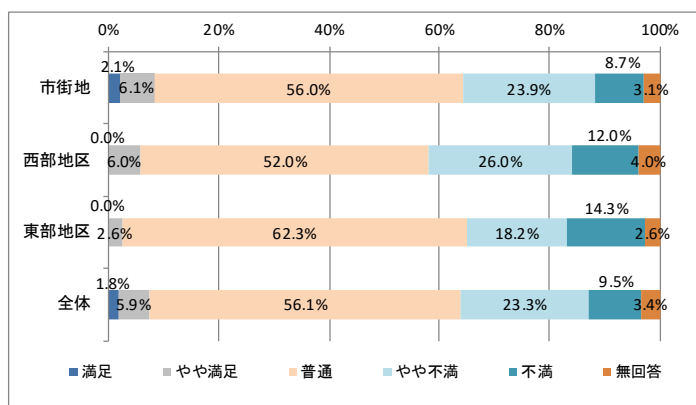
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



（５）高齢者のための福祉施制度の状況に対する満足度

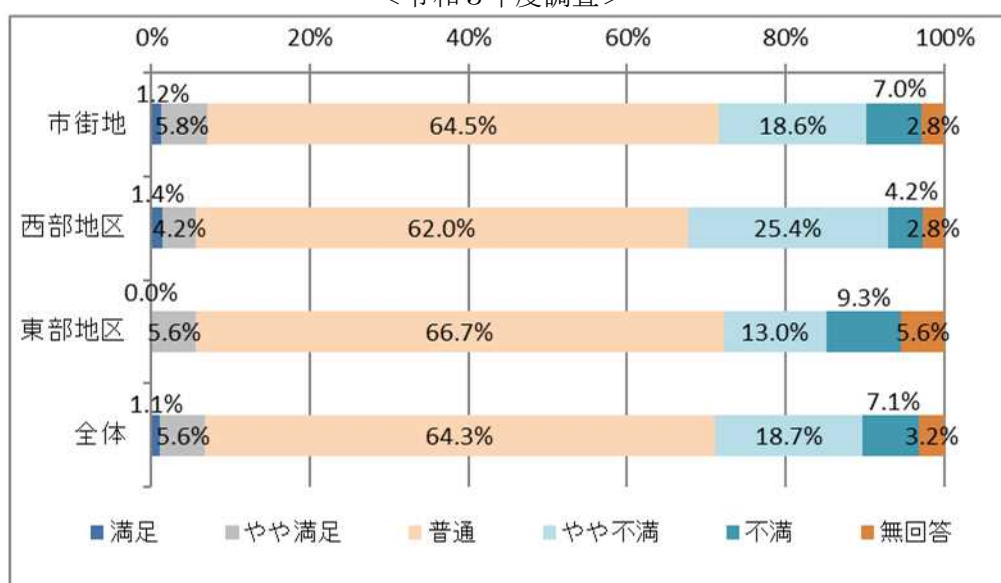
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.7%となっており、昨年度調査の結果より若干減少し、逆に「不満」と「やや不満」を合わせた割合が25.8%と昨年度から微増しているなど、不満足意識がやや高まっている状況となっている。

ただし、「普通」とする回答を含めた「普通」以上の満足度であるとする割合でみると、平成元年度から概ね70%前後で推移している。

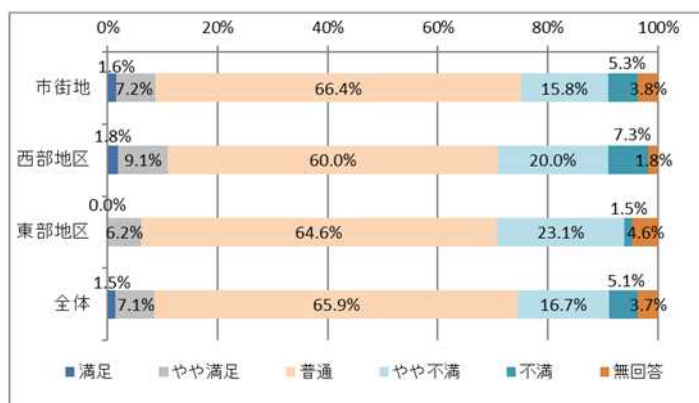
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、すべての地区で昨年度調査結果より減少している。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

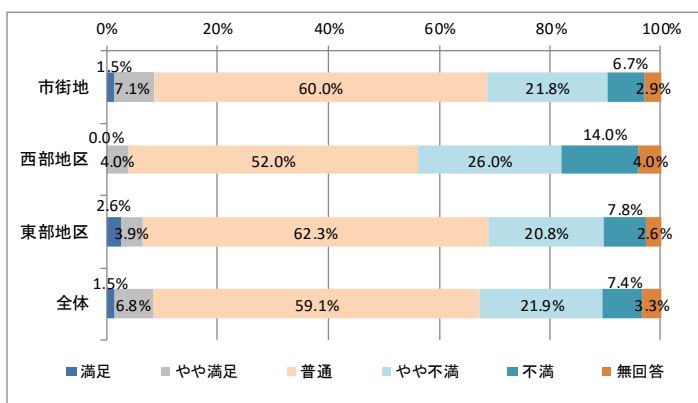
＜令和３年度調査＞



＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞



(7) 高齢者にとって重要と思う施策について

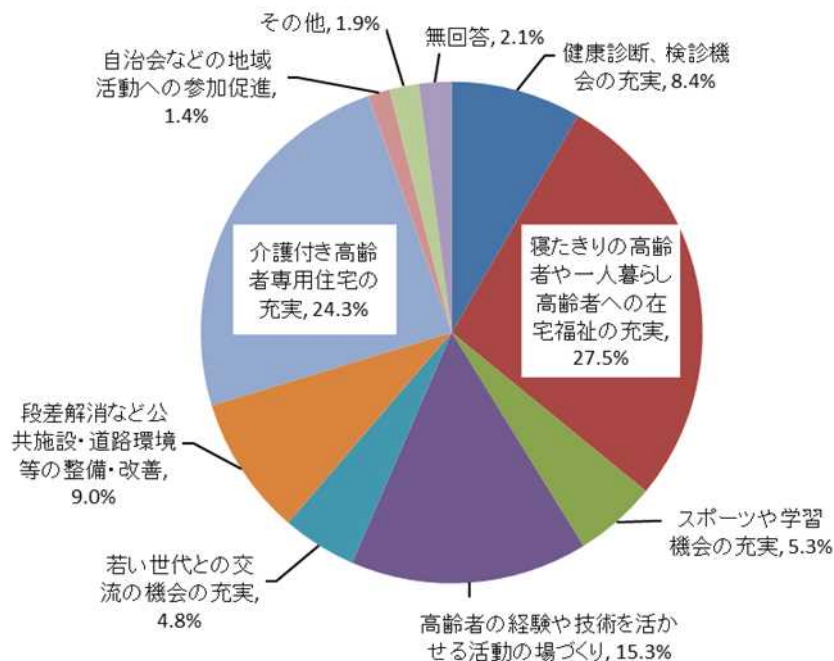
①市民全体

今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が最も多く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」となっている。

この結果は、昨年度調査の結果と同様であった。

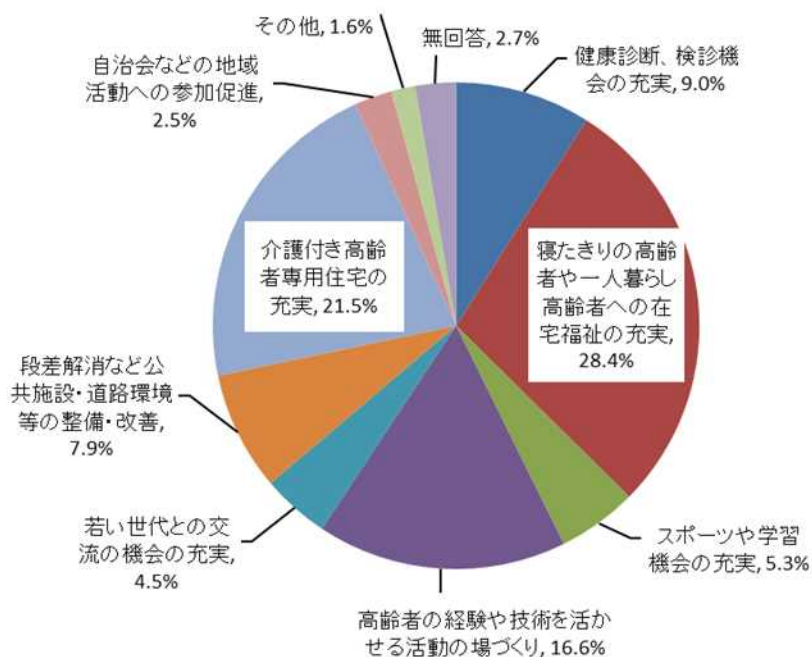
<令和3年度調査>

回答者全体



<令和2年度調査>

回答者全体

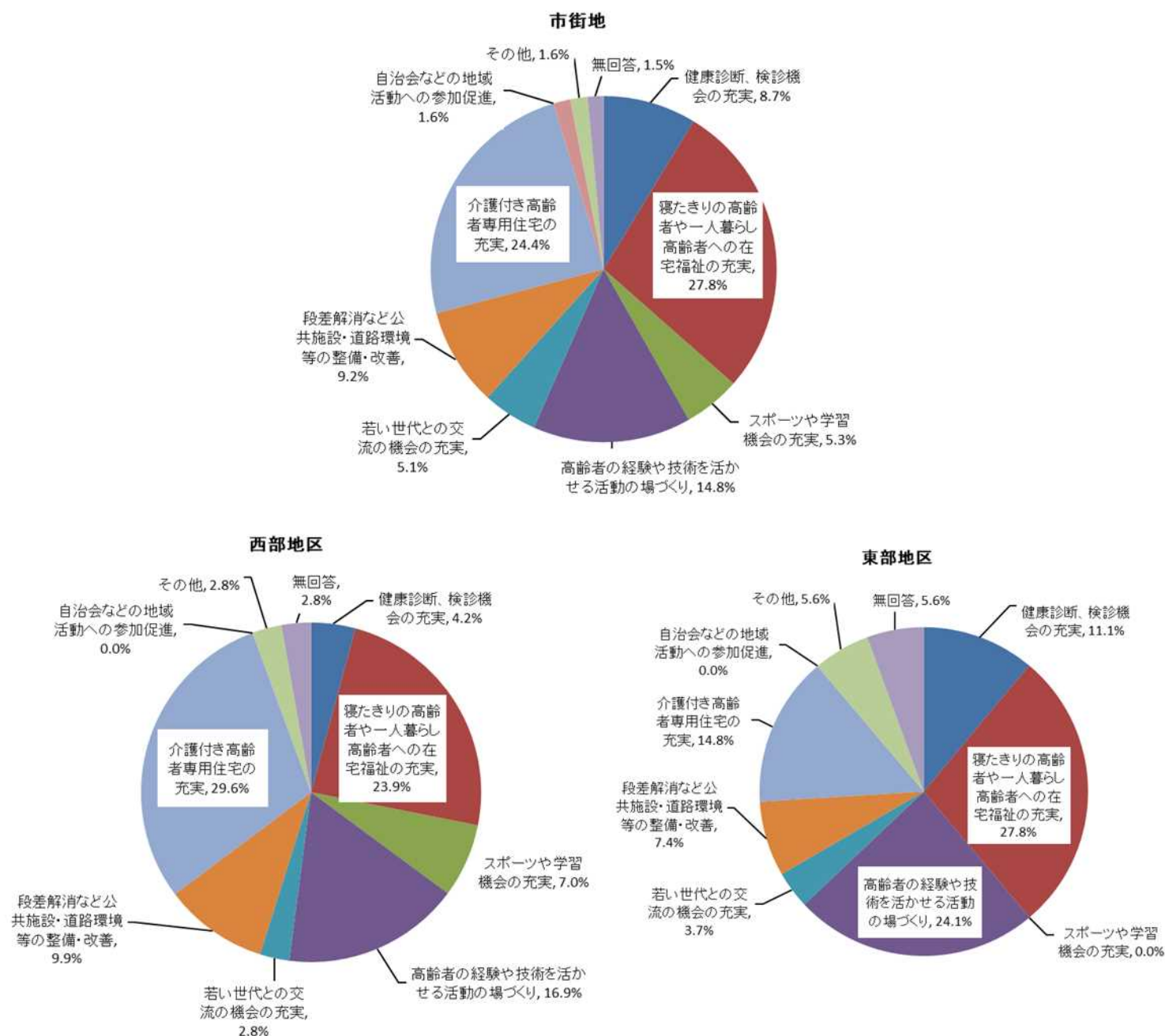


②地区別

3 地区とも順位は異なるものの「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が上位にあがっている。

特に、東部地区では「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が、西部地区では「介護付き高齢者専用住宅の充実」が高い割合となっており、地区ごとに違いがみられている。

いずれにしても、これら3項目が重要視されているという状況は、ここ数年続いている。



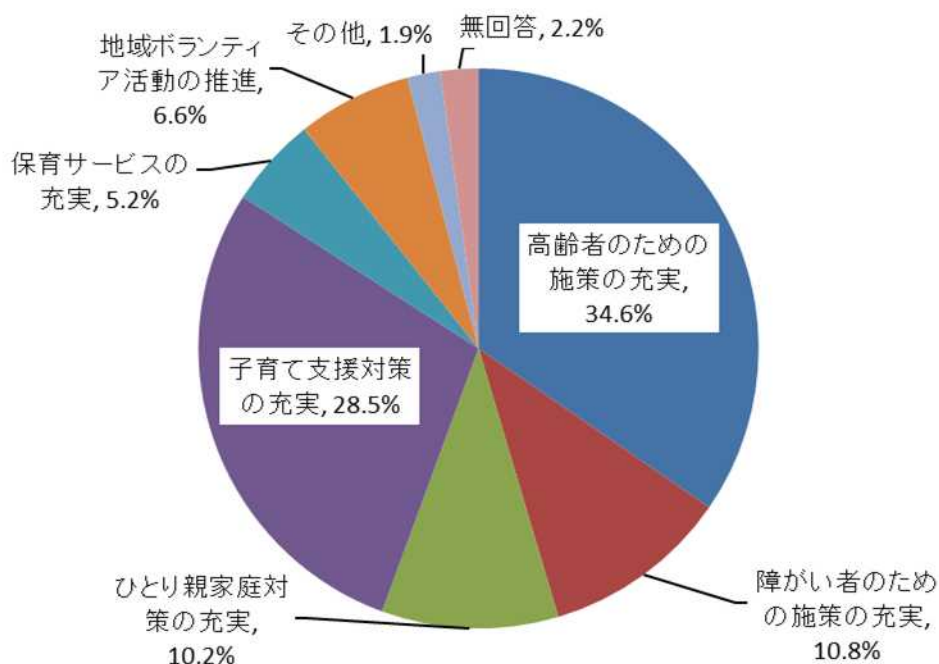
3. 8 社会福祉全般について

(1) 市民全体

社会福祉に関して重要と考えている項目についてみると、今回の調査結果は、昨年度調査までの結果とほぼ同様となっており、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」の順となっている。

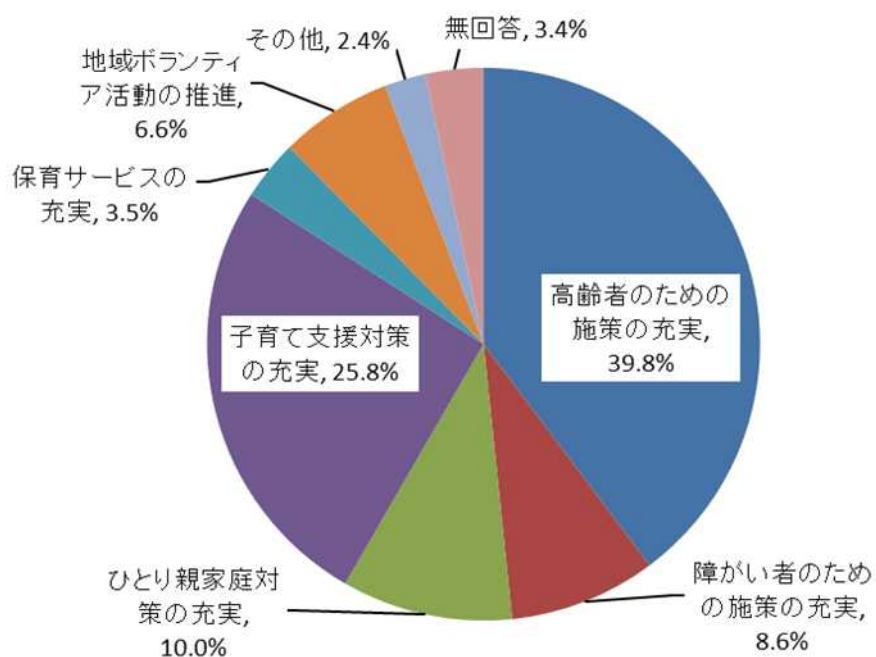
＜令和3年度調査＞

回答者全体



＜令和2年度調査＞

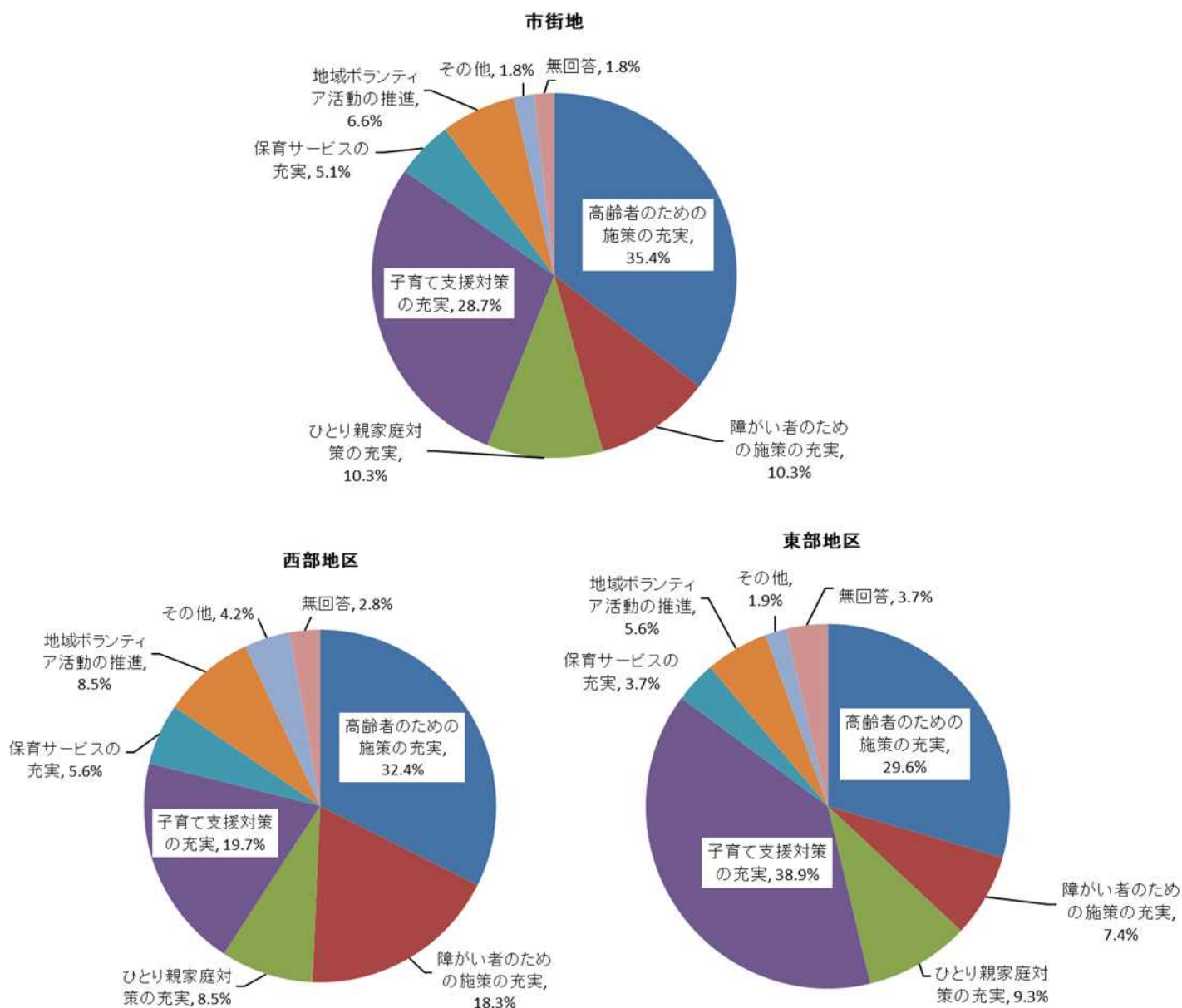
回答者全体



(2) 地区別

市街地、西部地区は、「高齢者のための施策の充実」が最も高く、次いで「子育て支援対策」の順となっており、これに次いで、「障がい者のための施策の充実」、「ひとり親家庭対策の充実」が高くなっている。

東部地区は、今回は「子育て支援対策」が最も高くなっていたが、昨年は「高齢者のための施策の充実」が最も高くなっていたなど、順位の変動はあるものの、上位にあげられている項目は、他の地区と同様にほぼ例年と同じであった。



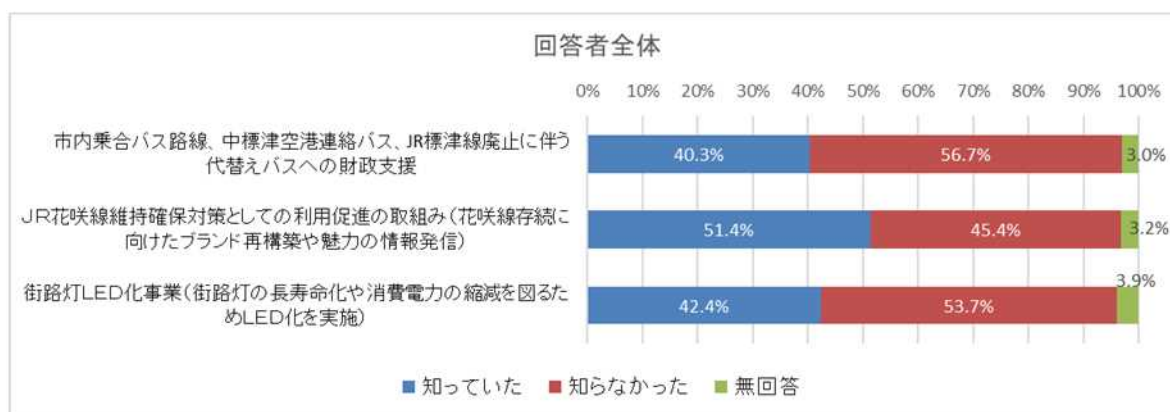
3. 9 交通について

(1) 施策に対する認知度

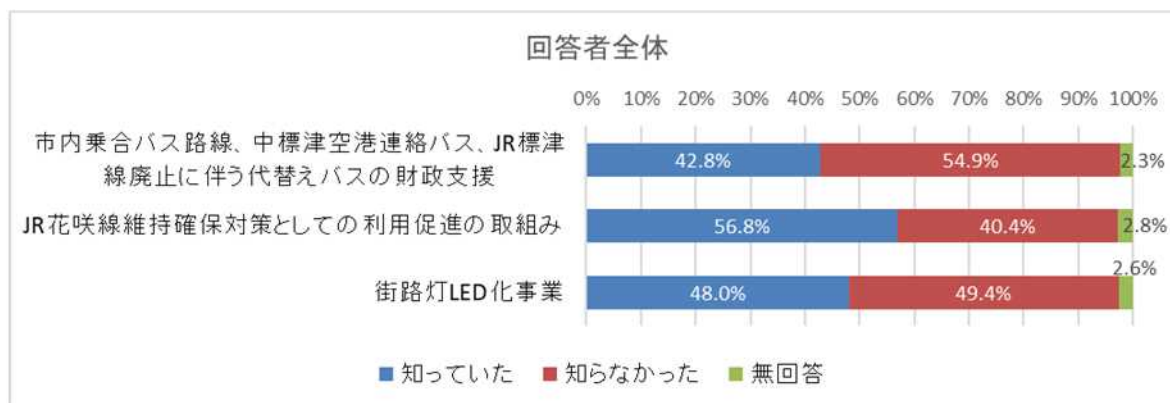
①市民全体

根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度をみると、「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援」に関しては 40.3%、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」が 51.4%、「街路灯 LED 化事業」が 42.4%となっており、総じて、昨年度調査時の認知度より低下している。

<令和3年度調査>



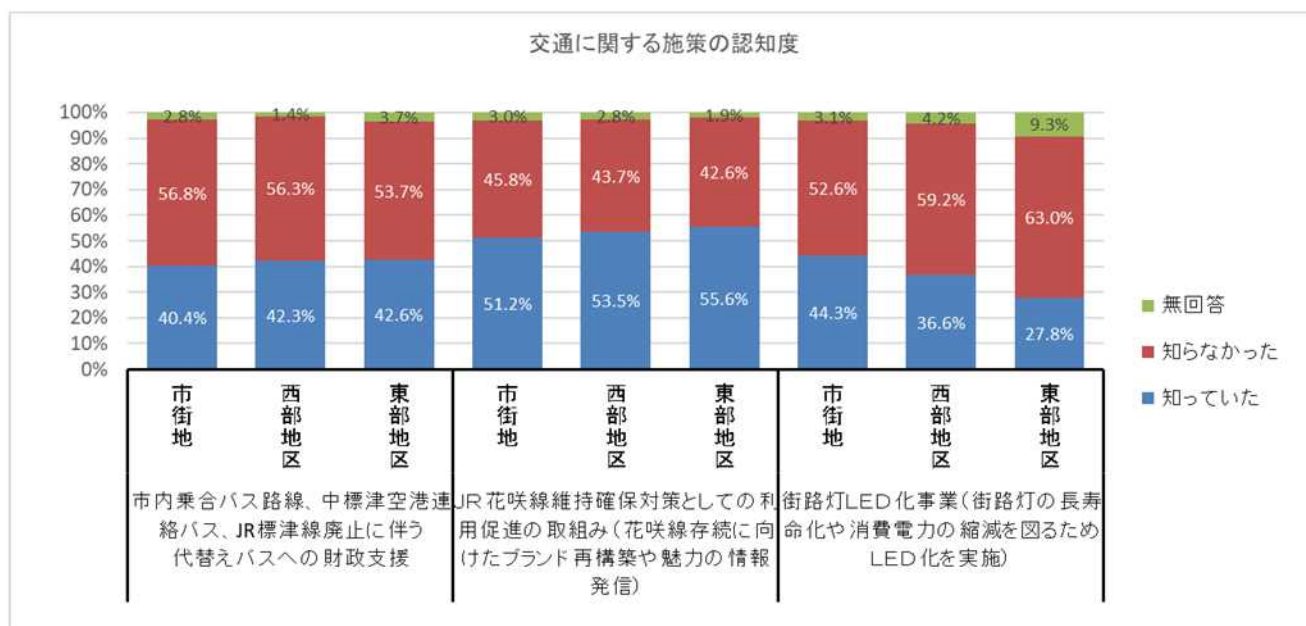
<令和2年度調査>



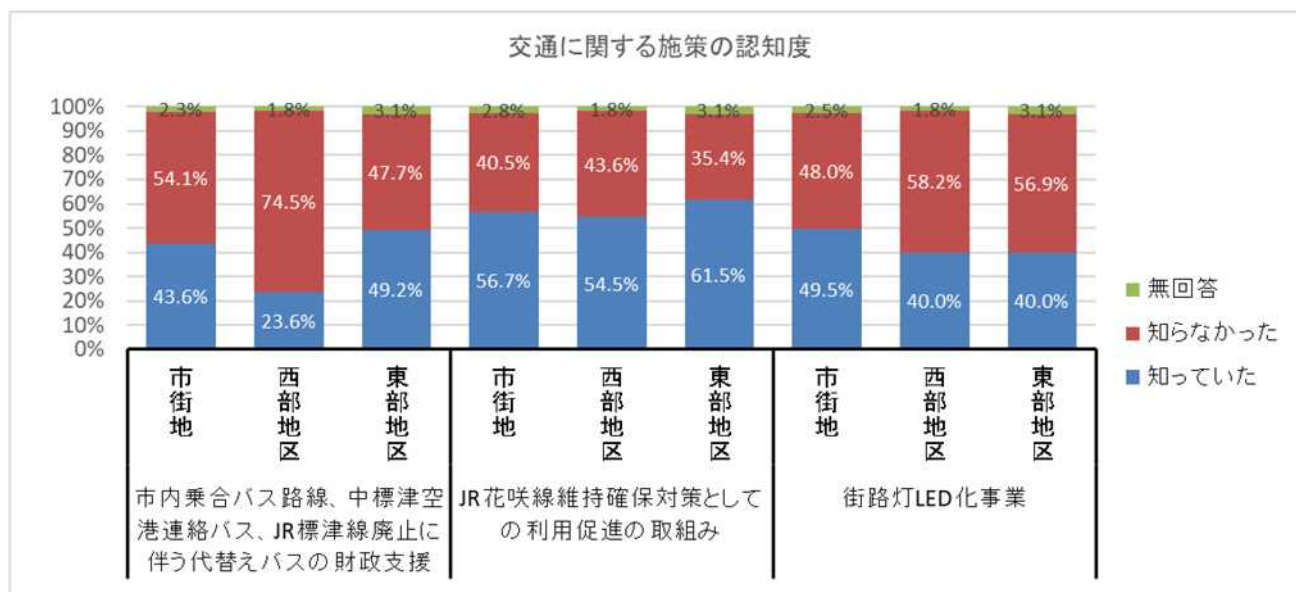
②地区別

交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」に関しては、3 地区とも 50%を超える認知度を示しているが、「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援」と「街路灯 LED 化事業」については 50%以下の認知度となっているとともに、昨年度調査の結果よりも低下している状況となっている。

<令和3年度調査>



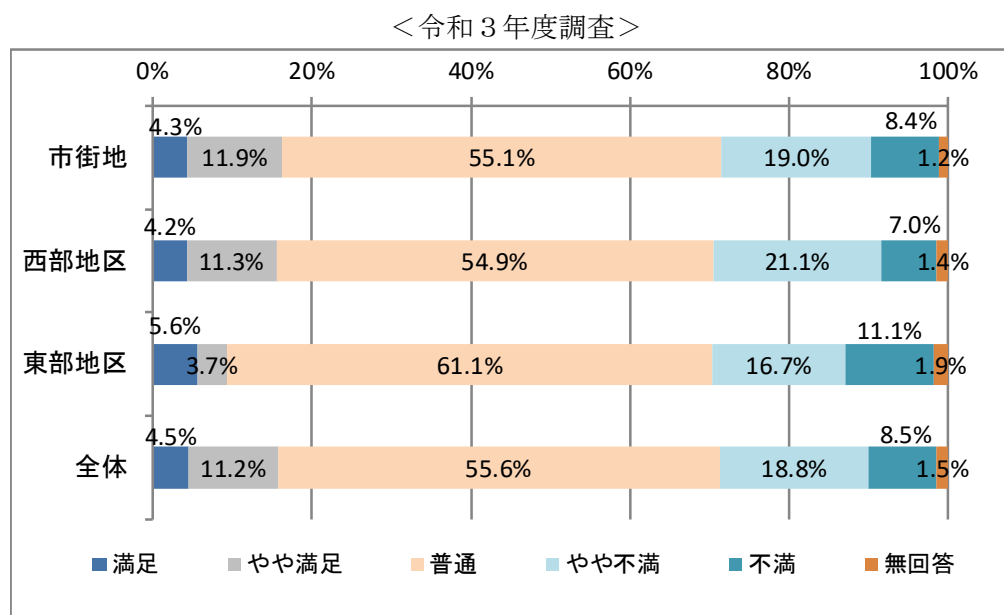
<令和2年度調査>



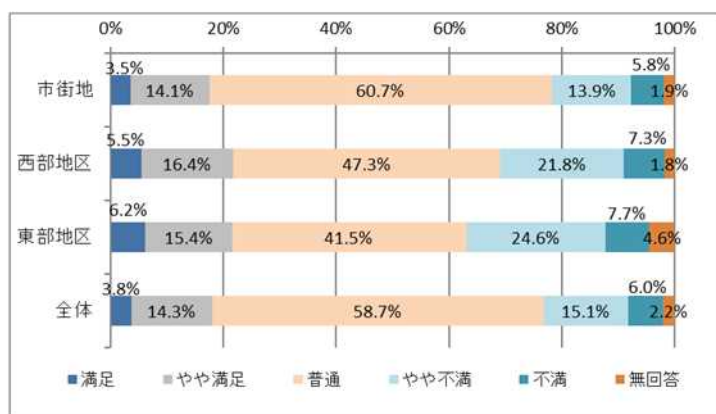
（２）市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする割合は15.7%となっており、昨年度調査の結果よりもやや低下した。

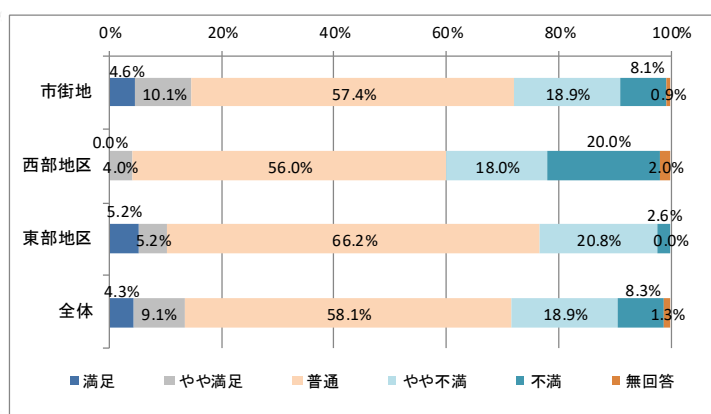
地域別でも、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも昨年度調査結果よりもやや低下しているが、一昨年度の結果と比較すると、3地区とも向上しているなど、総じて大きな変化はみられていない。



＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞



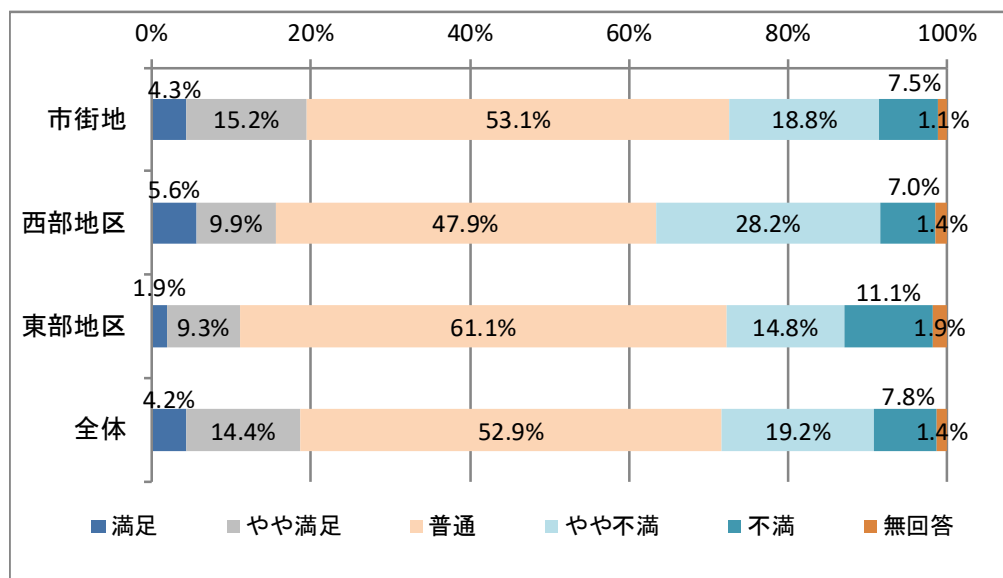
（３）市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は18.6%となっており、昨年度調査の結果よりやや低下した。

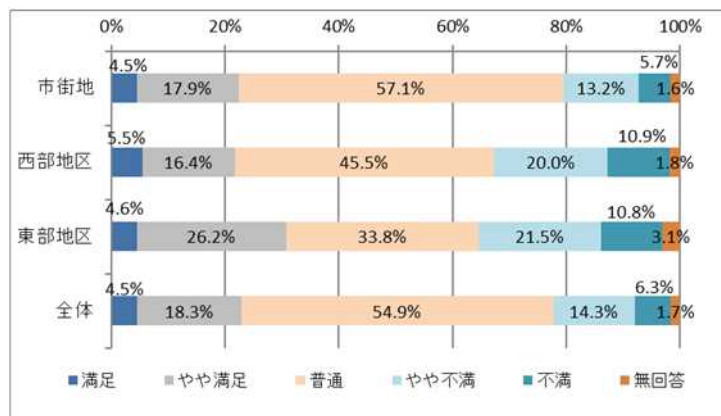
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも20%以下となっており、昨年度の調査結果を下回っている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は、過去3か年でみても増減はあるものの20%～30%程度みられている。

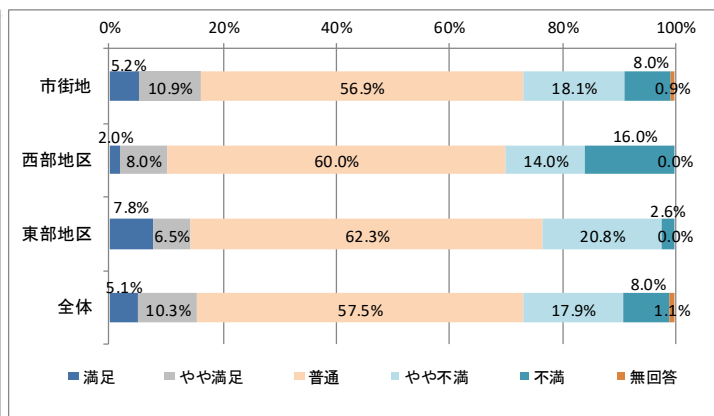
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



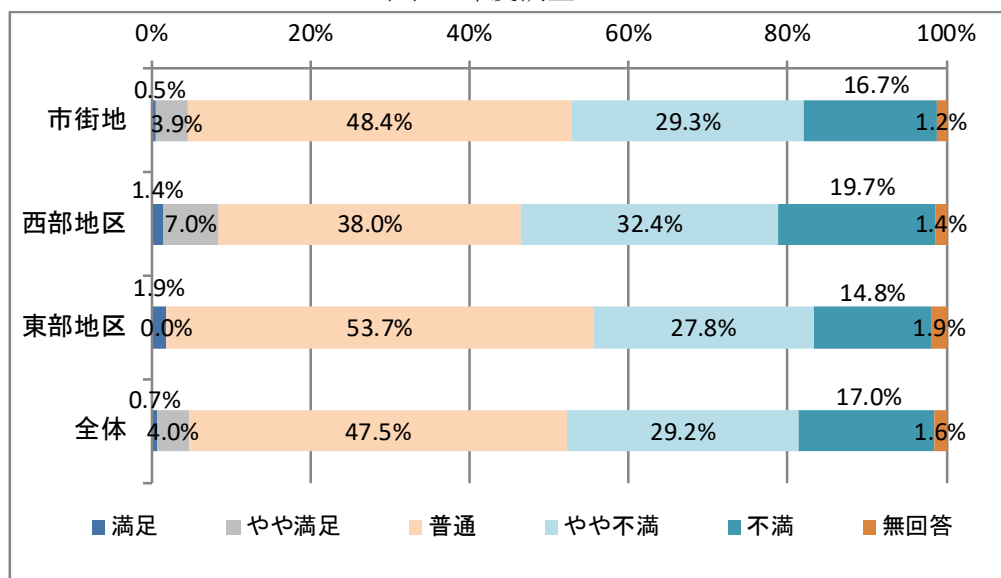
(4) 公共交通機関の利便性に対する満足度

公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は4.7%となっており、昨年度の調査結果より若干低下した。

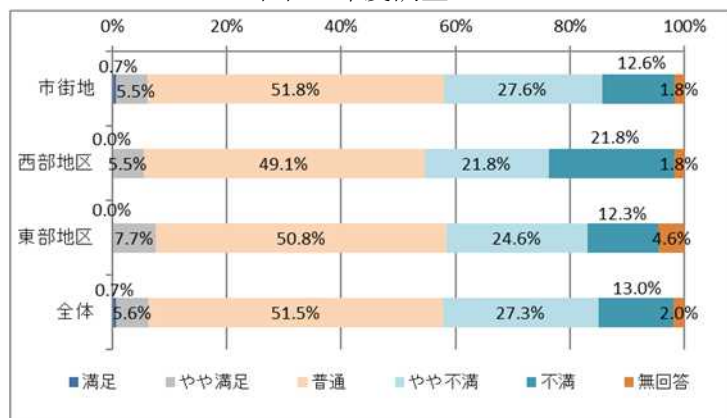
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市街地で4.4%、西部地区で8.4%、東部地区で1.9%と市街地と東部地区では、昨年度調査の結果よりも低下している。

一方、「やや不満」、「不満」を合わせた割合は、令和元年度以降でも40%台で推移しており、公共交通機関に対する不満意識に変化はないものと推察される。

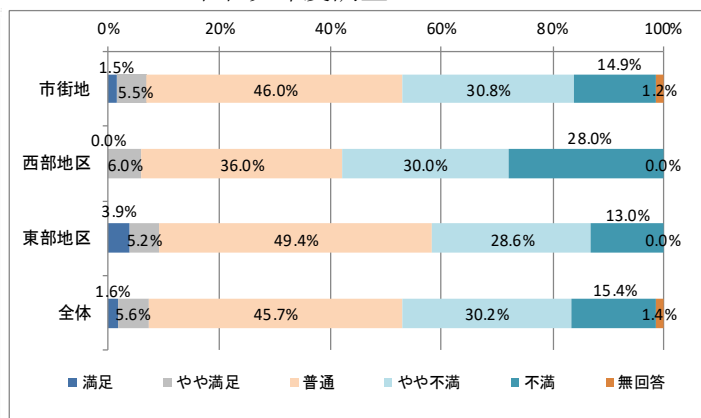
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



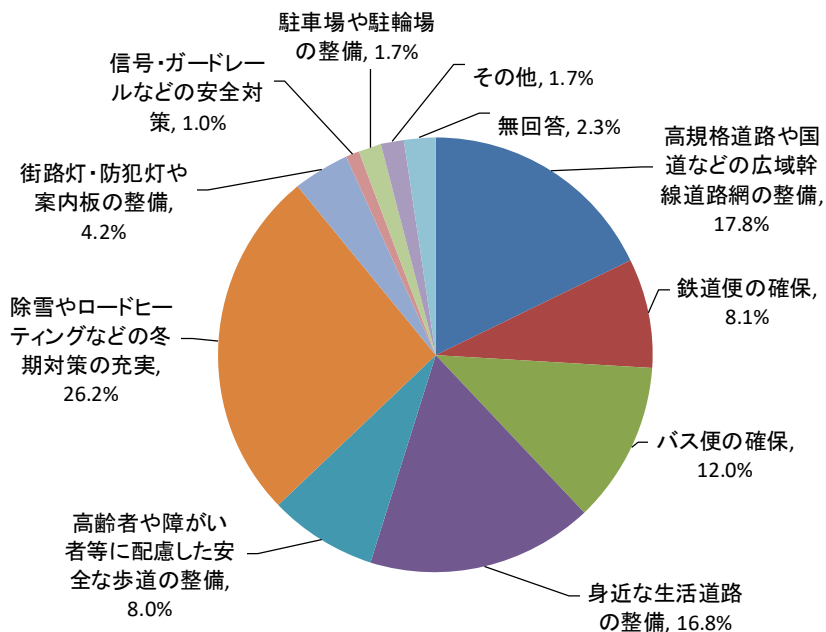
(5) 交通に関する施策について

①市民全体

今後重点的に取り組むべきと考える交通施策については、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」、「バス便の確保」、「鉄道便の確保」の順で、昨年度と同様の結果となっている。

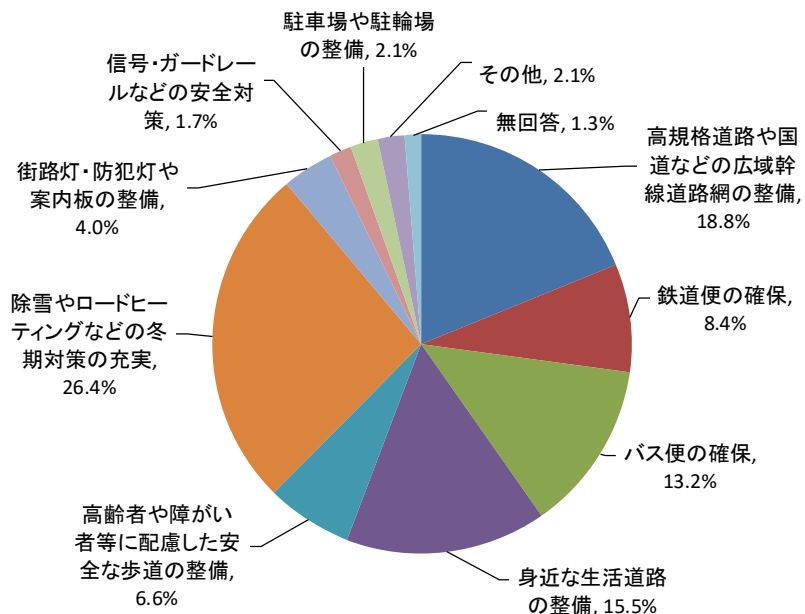
<令和3年度調査>

回答者全体



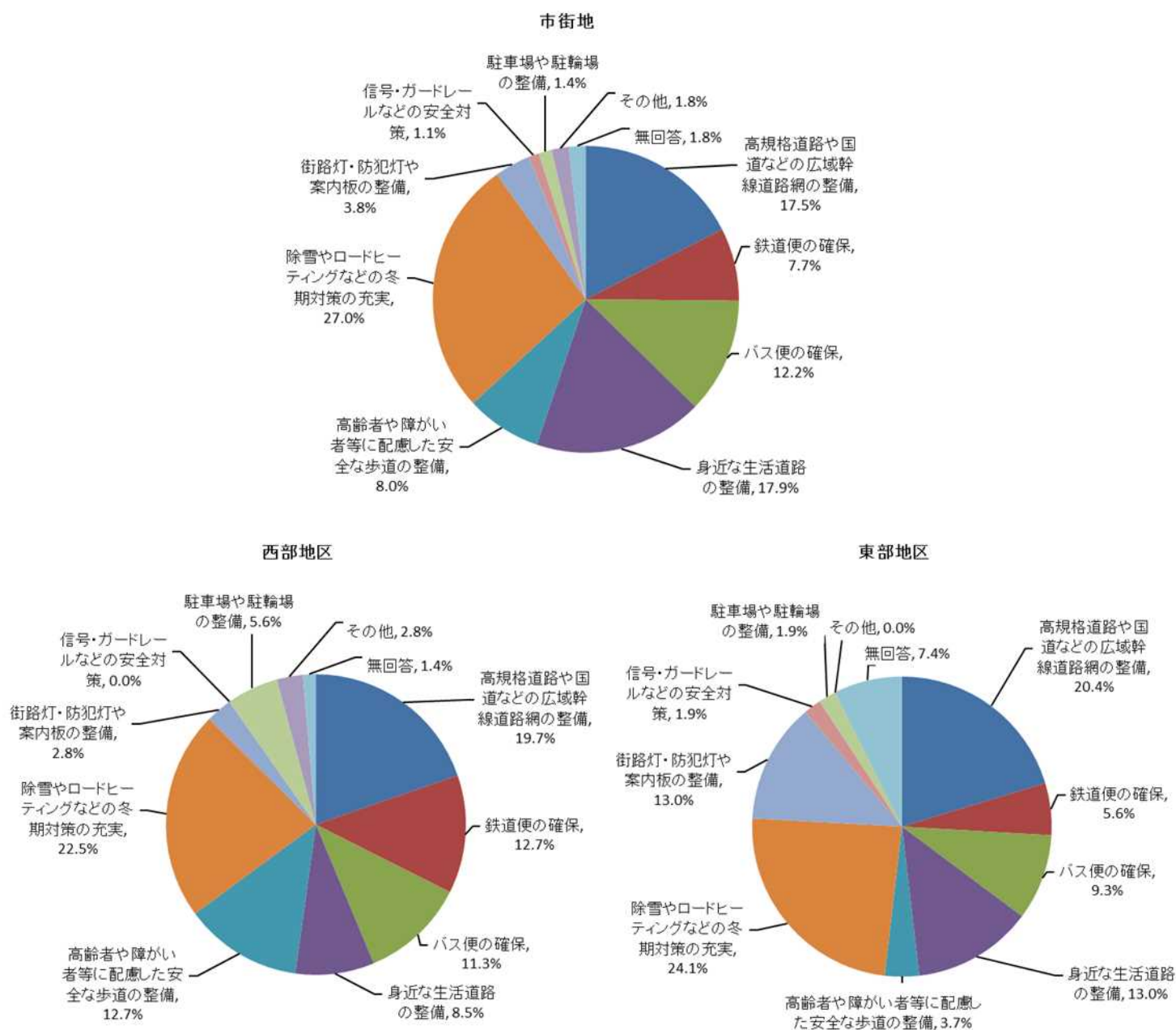
<令和2年度調査>

回答者全体



②地区別

3地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、これに次いで、市街地では、「身近な生活道路の整備」が、西部地区及び東部地区では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」となっている。西部地区では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」に次いで「鉄道便の確保」が続いている。



3. 10 生活環境について

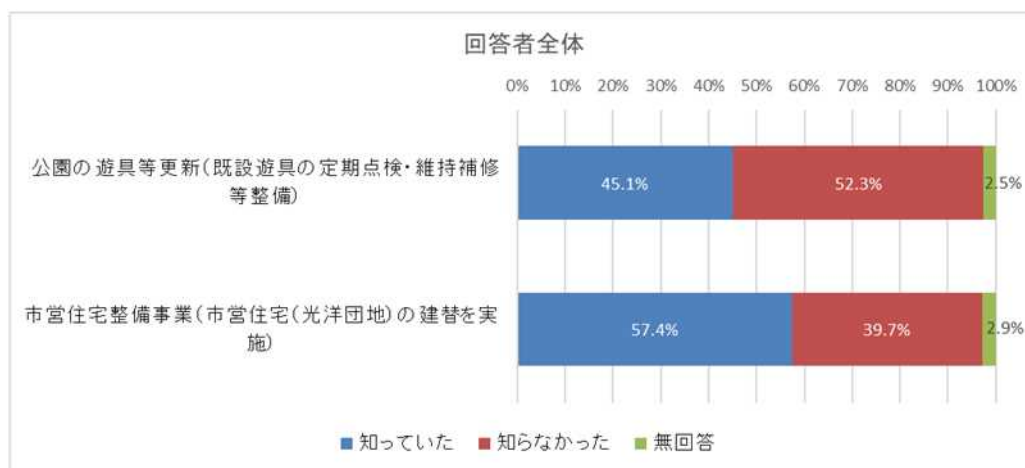
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

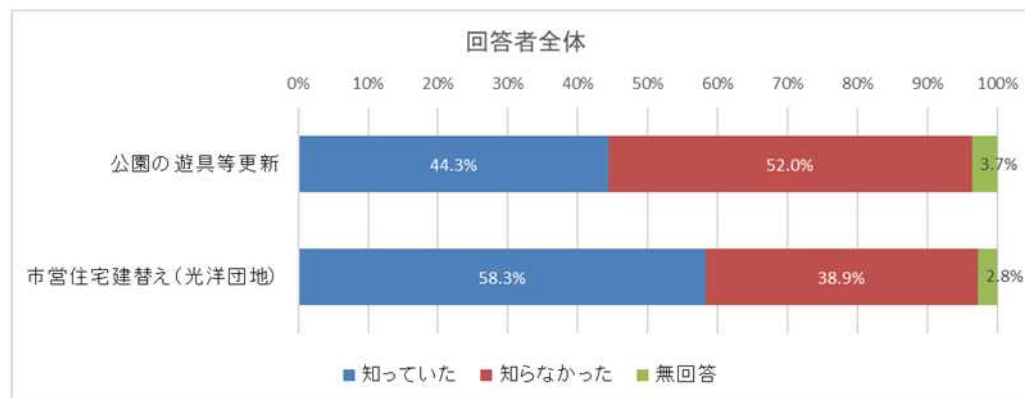
根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度をみると、回答者全体では、「市営住宅整備事業（光洋団地）」で57.4%と高いが、「公園の遊具等更新」に関しては45.1%に留まっている。

この結果は昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和3年度調査>



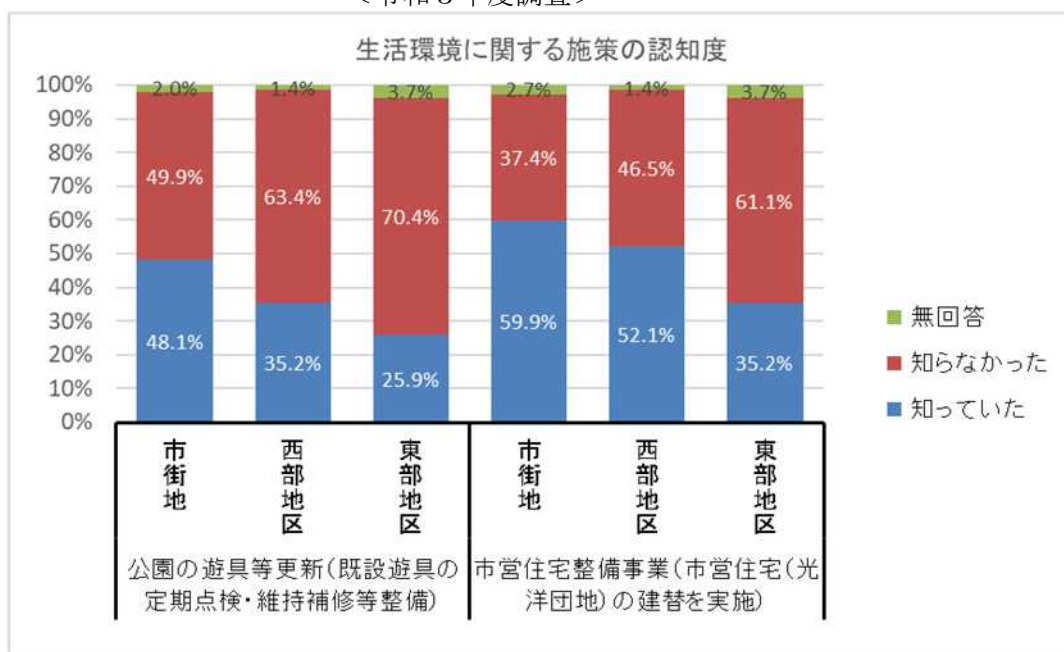
<令和2年度調査>



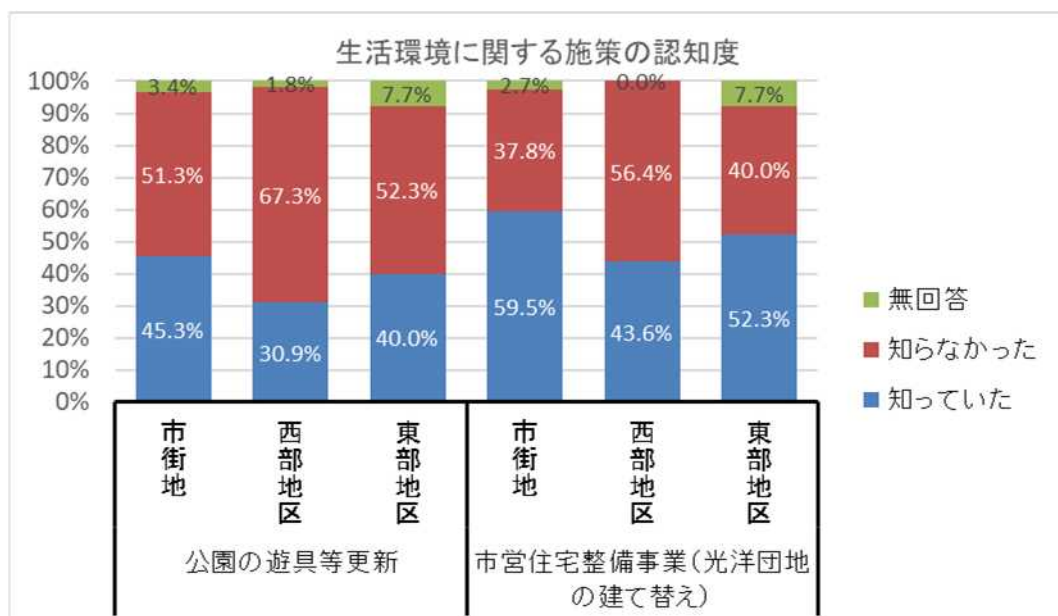
②地区別

生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも東部地区で認知度が低くなっていたが、各地区とも市営住宅整備事業の方が公園遊具等更新よりも認知度が高い傾向などは、これまでと同様の結果であった。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



（２）郊外の森林環境に対する満足度

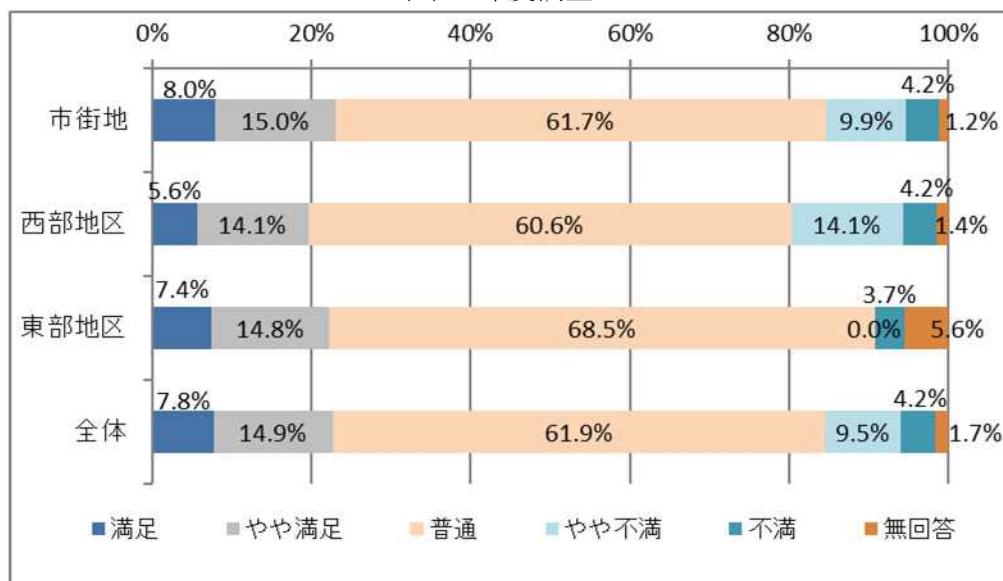
郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 22.7% となっており、昨年度までの調査結果とほぼ同水準であった。

また、「普通」以上であるとする評価の割合も 84.6% とほぼ昨年度調査と同水準であった。

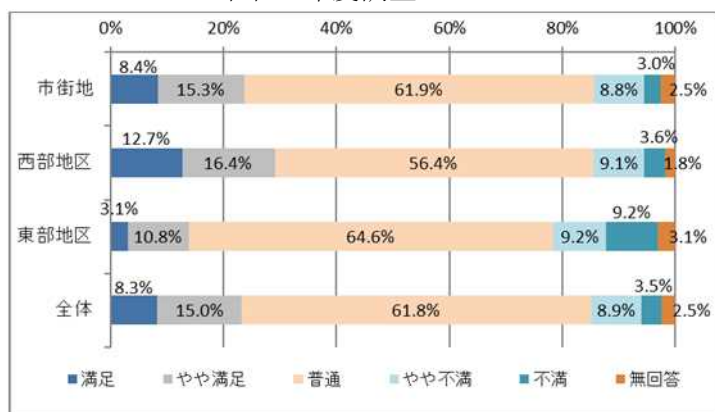
地域別でみると 3 地区とも満足とする回答者の割合は、ほぼ同水準であった。

これまでの調査結果と比較しても、3 地区とも郊外の森林環境に対する満足度に大きな変化は見られていない。

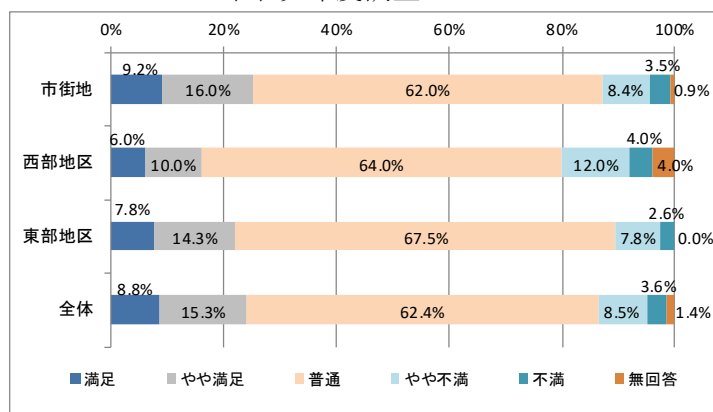
＜令和 3 年度調査＞



＜令和 2 年度調査＞



＜令和元年度調査＞

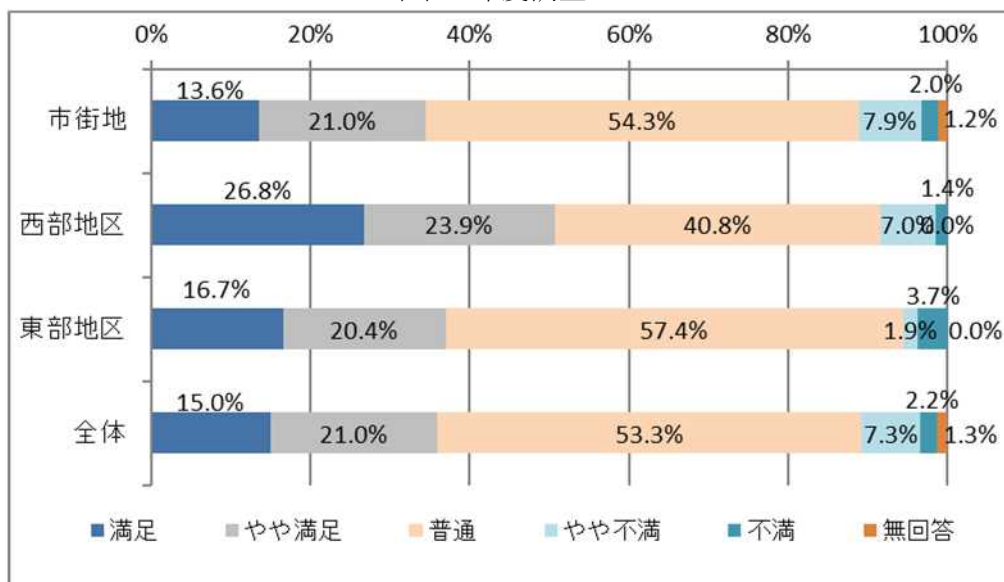


(3) 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

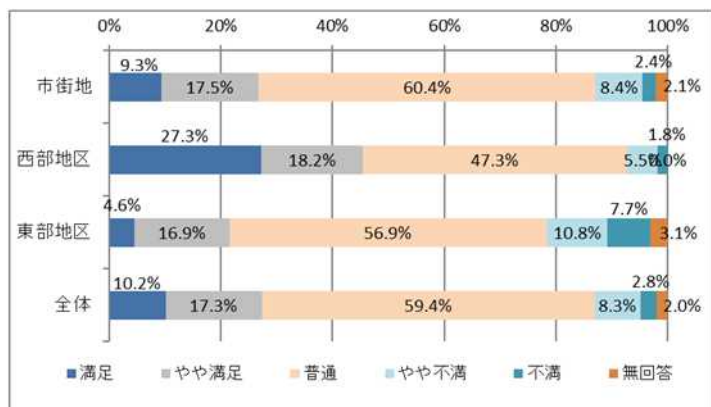
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は36.0%となっており、昨年度調査の結果よりも大きく増加したが、令和元年度の調査結果とほぼ同水準となっている。

郊外の森林環境に対する評価と同様に、「普通」以上の評価の割合でみると、これまでの調査の結果と同様に高い水準となっている。

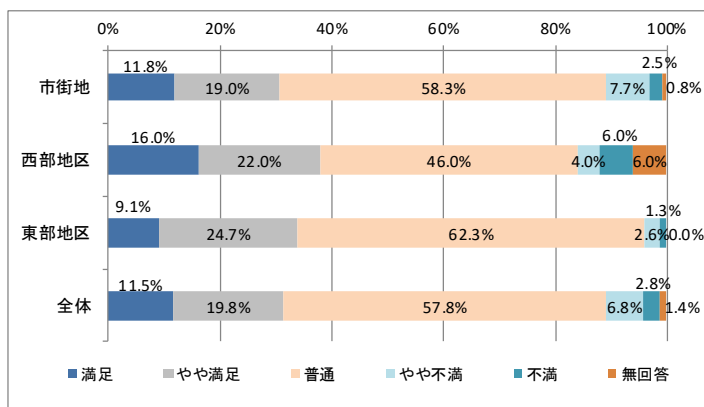
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞

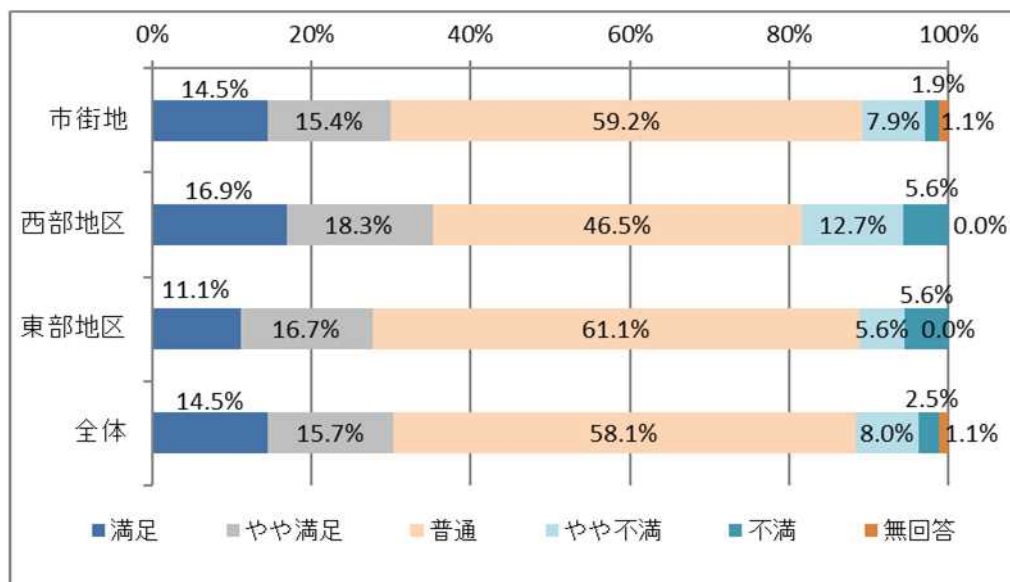


(4) 上水道の整備状況に対する満足度

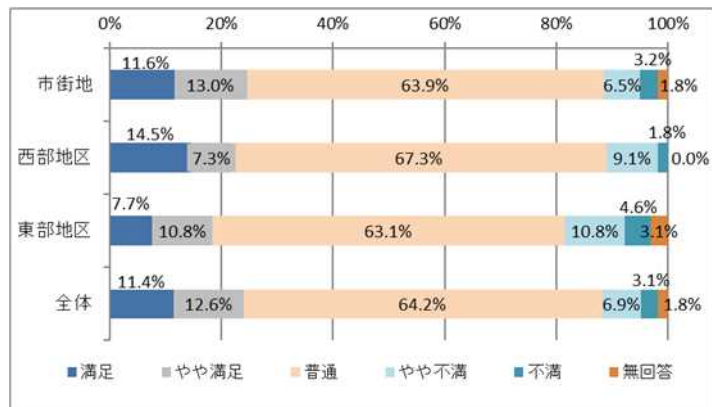
市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は30.2%となっており、3地区とも昨年度までの調査結果より向上している。

しかし、「普通」以上の評価でみると、大きな変化はみられていない。

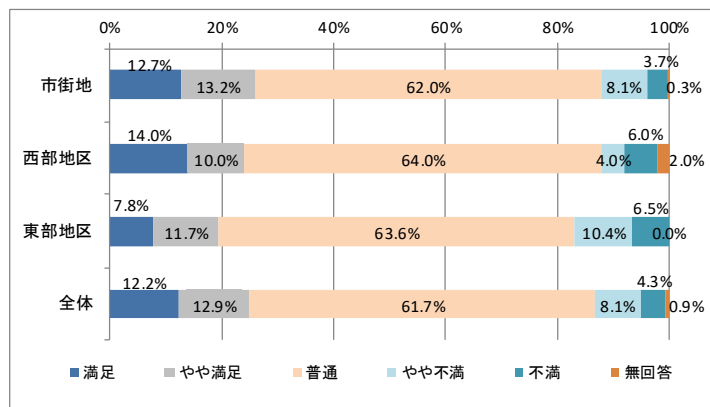
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞

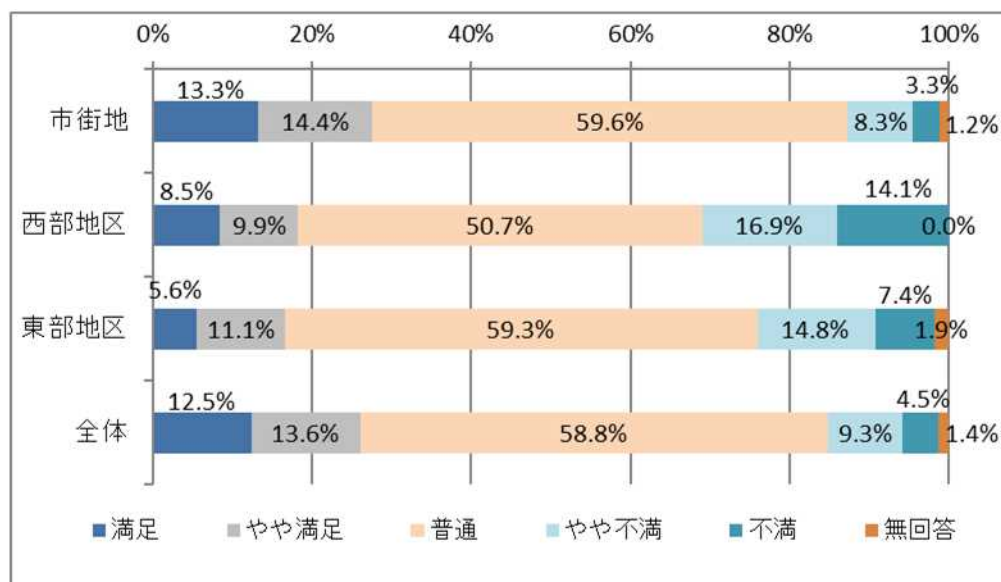


（５）下水道の整備状況に対する満足度

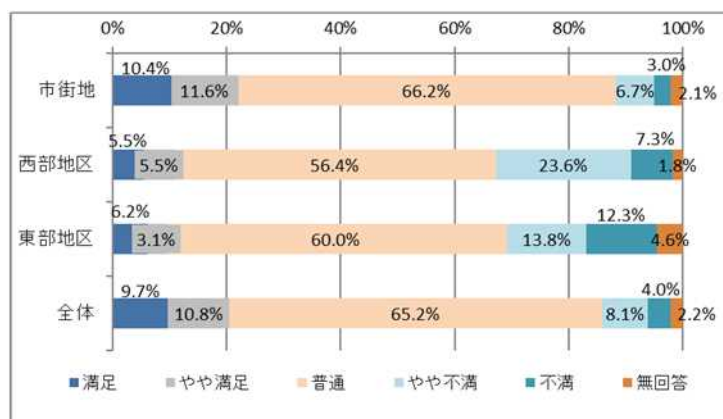
市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は26.1%となっており、昨年度までの調査結果より向上している。

また、「普通」以上とする評価でみると、上水道に対する評価と同様に、3地区ともここ数年はほぼ同水準となっている。

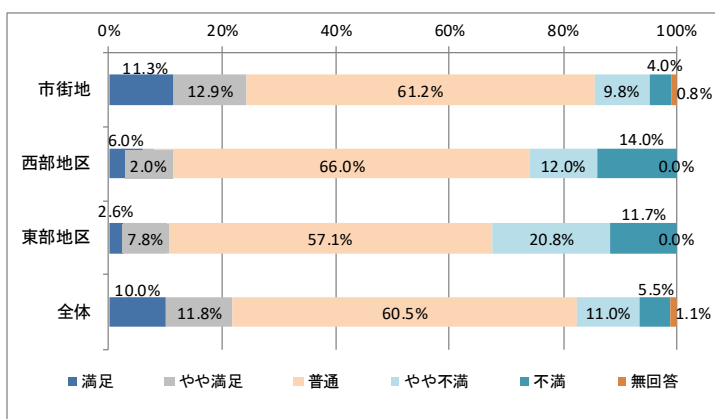
＜令和３年度調査＞



＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞

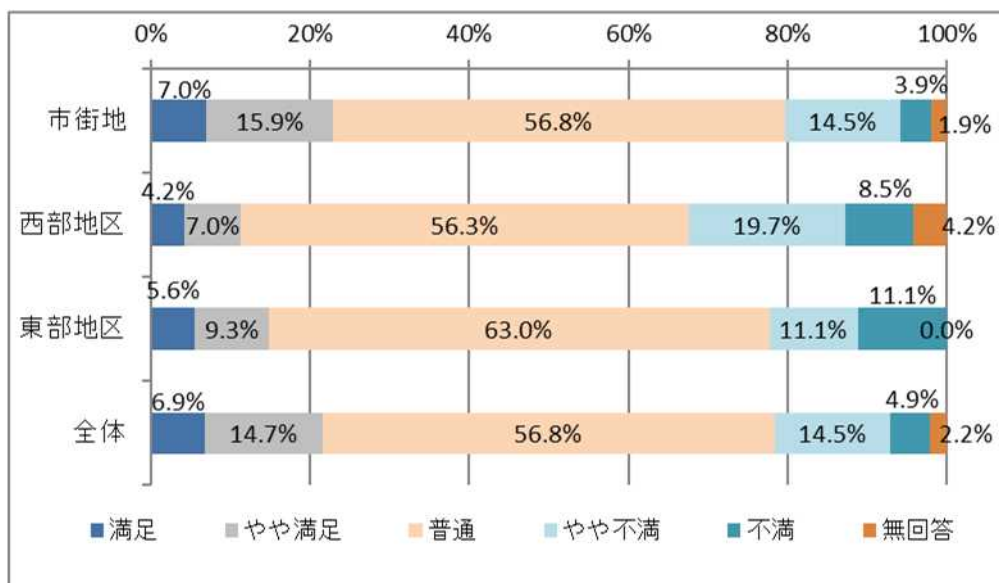


（６）公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

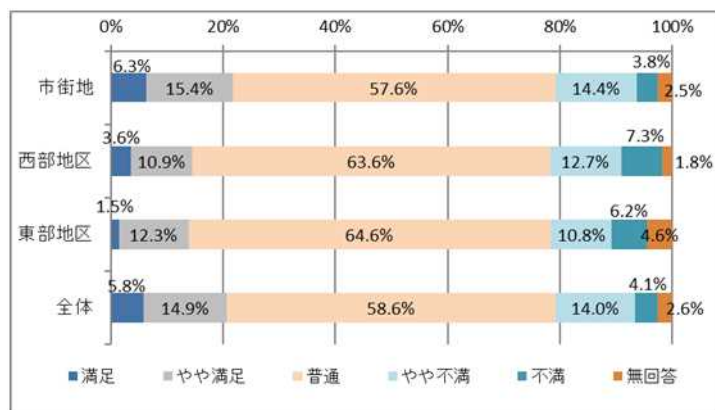
市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は21.6%となっており、令和元年度以降の結果でも満足度は向上している。特に、市街地住民の満足とする評価は昨年度調査時よりもさらに高まっている状況が把握される。

また、これまでの調査結果との比較を「普通」以上とする評価でみると、他の生活環境に対する評価と同様、3地区とも大きな変化はみられていない。

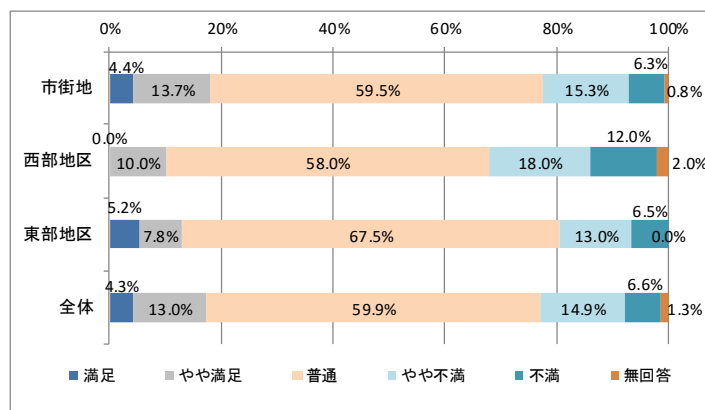
＜令和３年度調査＞



＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞



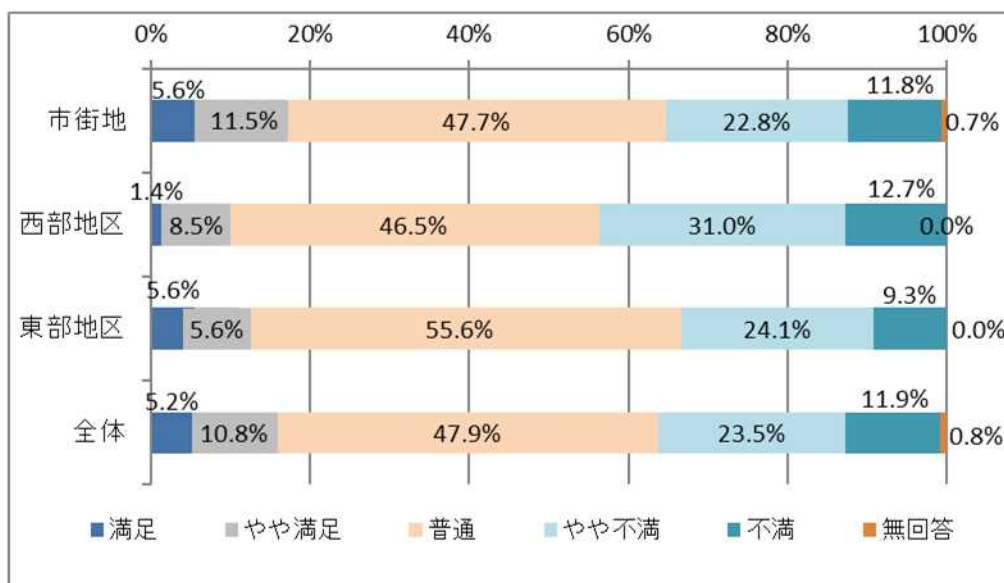
(7) 買い物の利便性に対する満足度

市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は16.0%となっており、昨年度の調査結果よりもやや低下している。

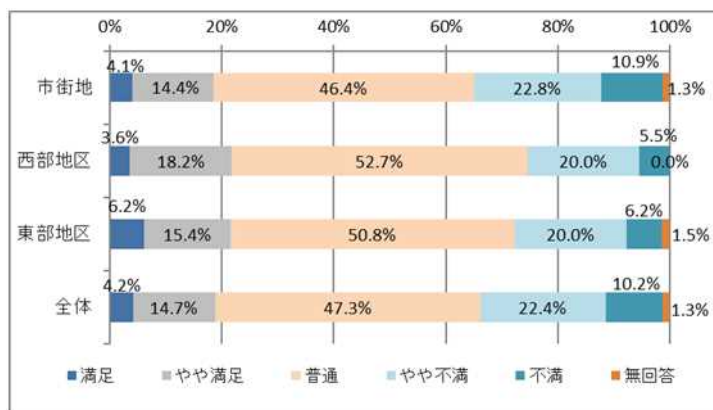
また、「普通」とする評価を加えた「普通」以上の評価の割合も63.9%と昨年度結果よりも低下している。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は35.4%となっており、「満足」と「やや満足」を合わせた割合を大きく上回っており、この結果は3地区とも同様となっている。

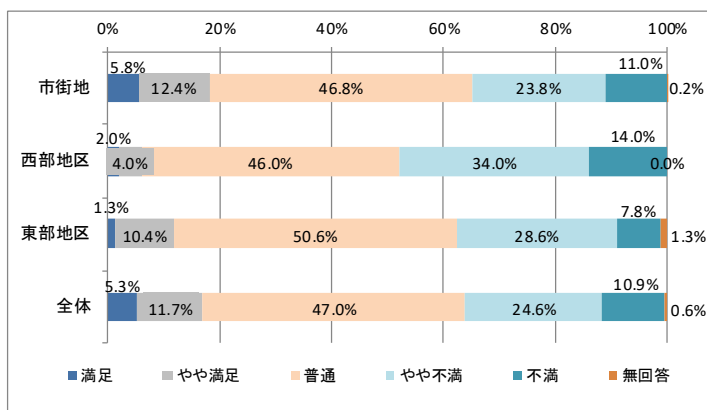
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



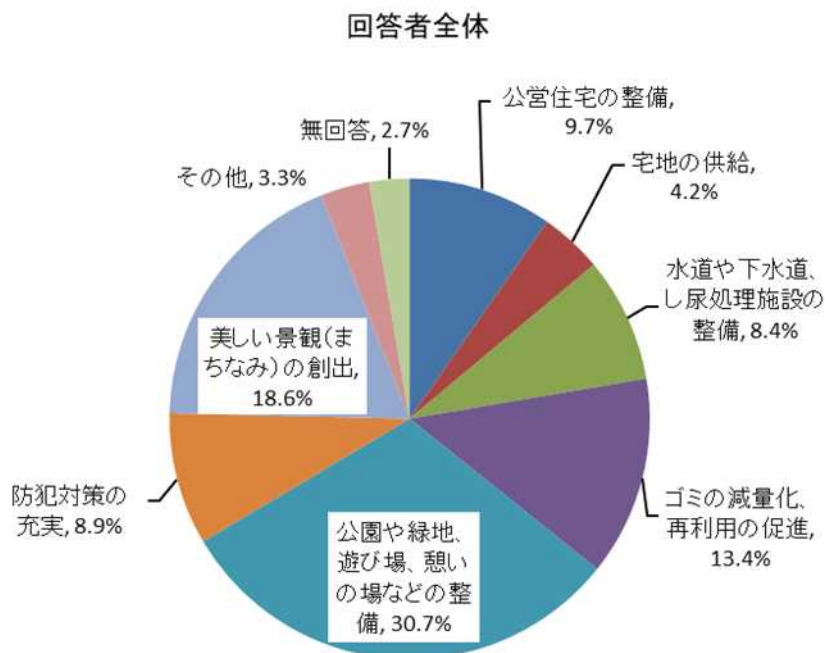
(9) 生活環境に関する施策について

①市民全体

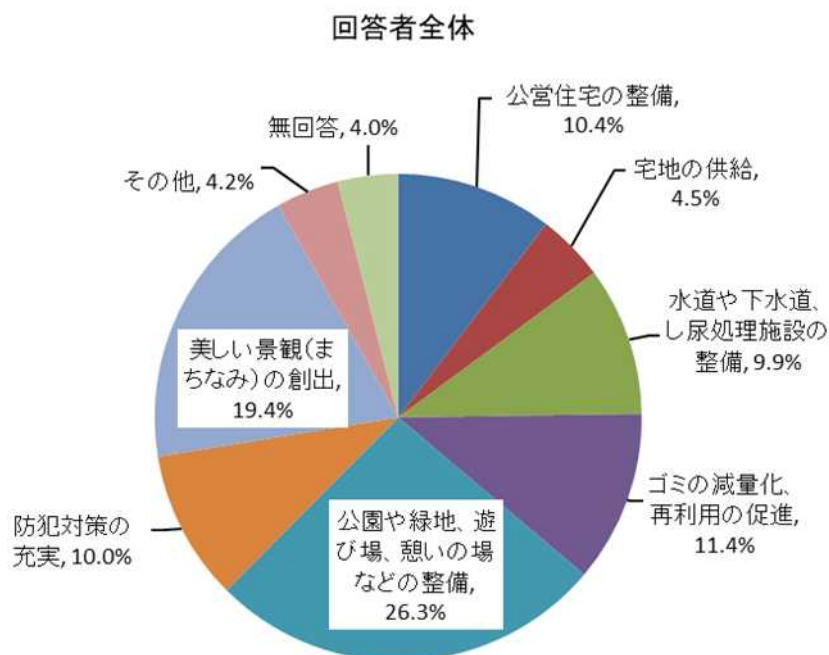
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」、「公営住宅の整備」の順となっている。

この結果は、昨年度と同様の結果となっている。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>

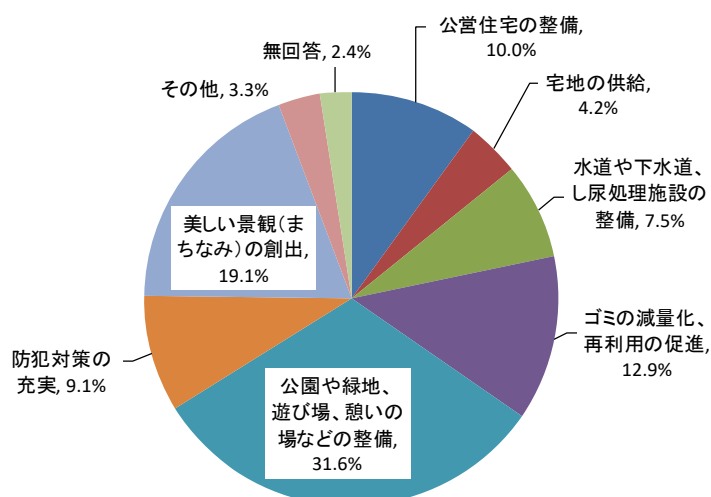


(2) 地区別

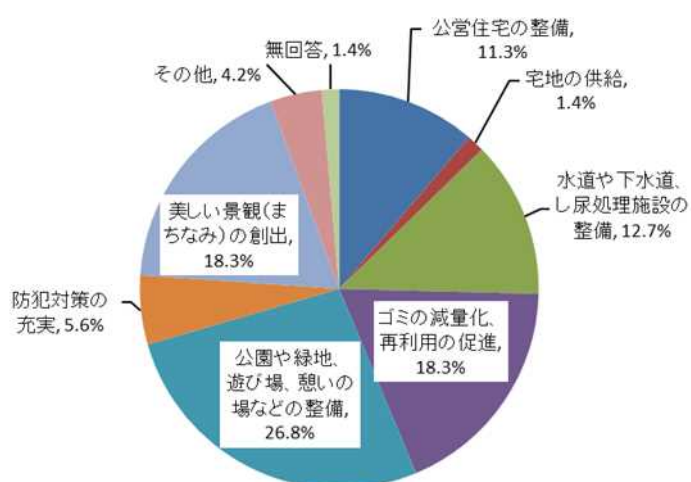
上位にあげられている項目は3地区とも「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」となっている。

しかし、「水道や下水道、し尿処理施設の整備」に関しては西部地区と東部地区で高く、東部地区では「防犯対策の充実」が高くなっているなど、地区による違いがみられる。

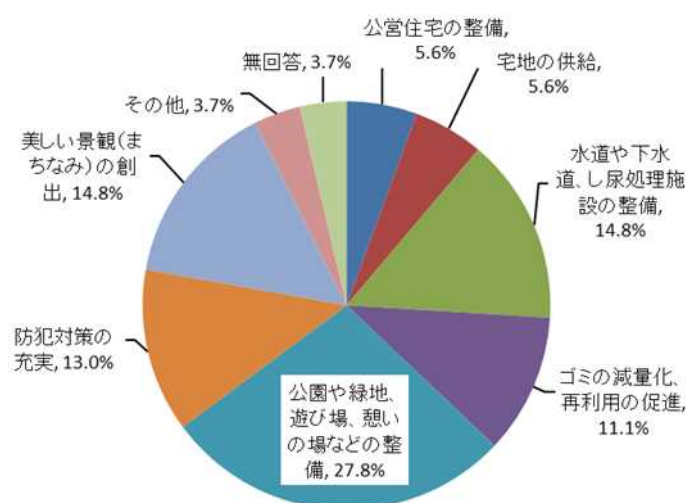
市街地



西部地区



東部地区



3. 1 1 防災・減災対策について

(1) 施策に対する認知度

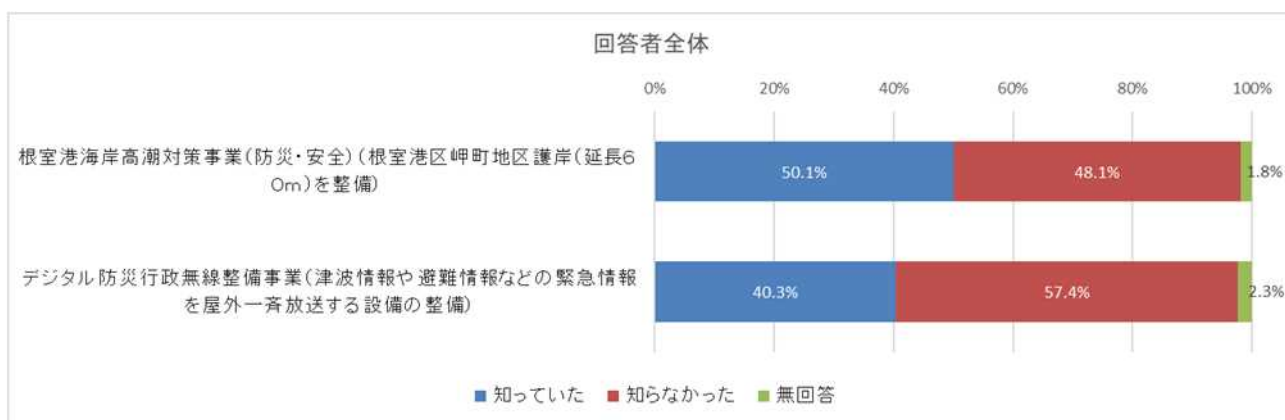
①市民全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策のうち、「根室港海岸高潮対策事業」、「デジタル防災行政無線整備事業」の2事業についての認知度を調査した。

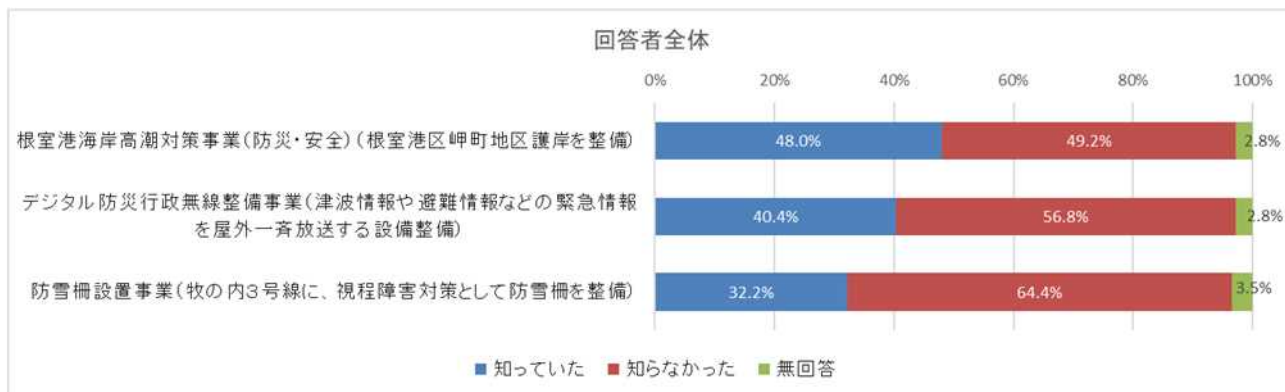
この結果、「根室港海岸高潮対策事業」は、50.1%が知っていたと回答しており、ほぼ半数の市民が知っている状況が把握された。「デジタル防災行政無線整備事業」については、40.3%と、やや知名度は低かった。

この結果は、昨年度と同様の結果である。

<令和3年度調査>



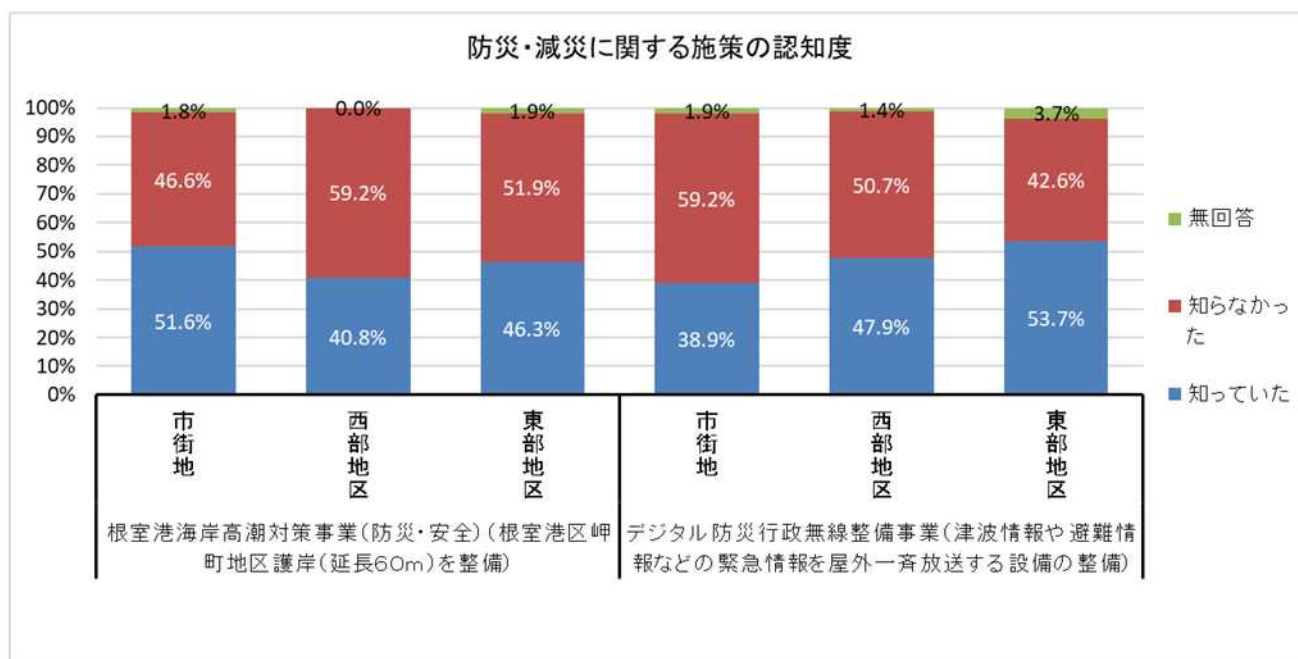
<令和2年度調査>



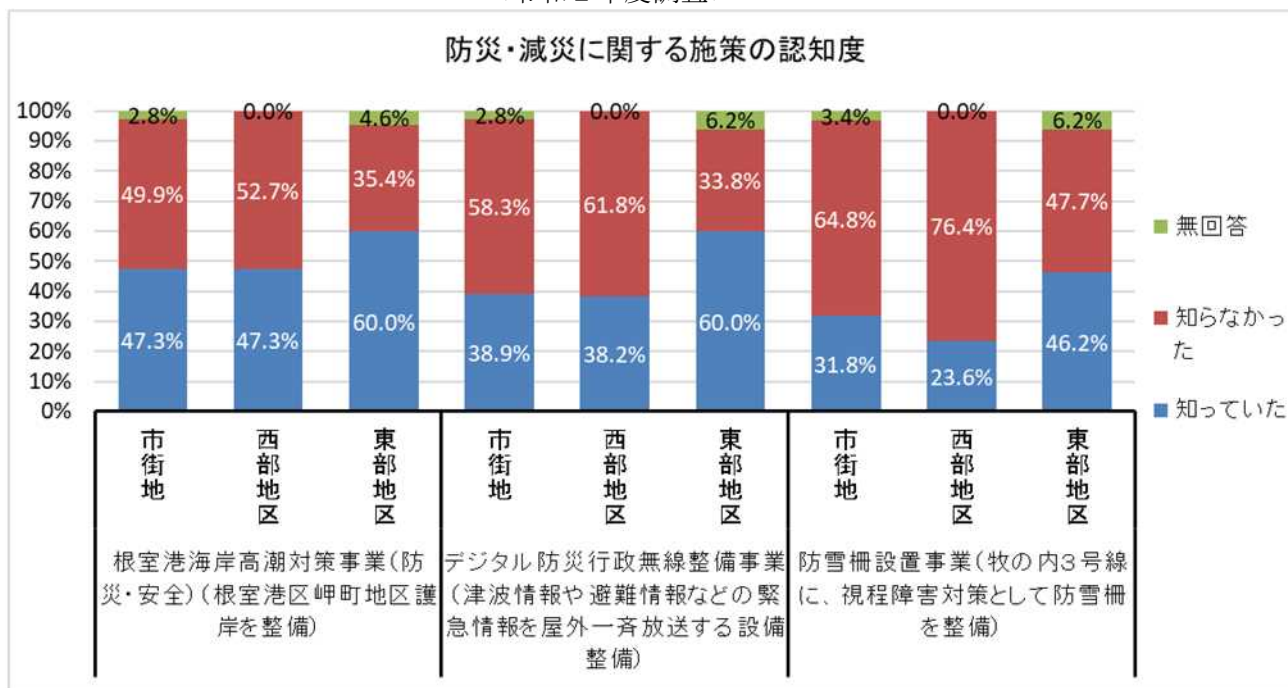
②地区別

防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「デジタル防災行政無線整備事業」については、これまでの調査結果と同様に、漁業者の多い東部地区の認知度が高くなっていたが、「根室港海岸高潮対策事業」に関しては市街地住民の認知度が高く、東部地区及び西部地区の認知度は50%に満たなかった。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



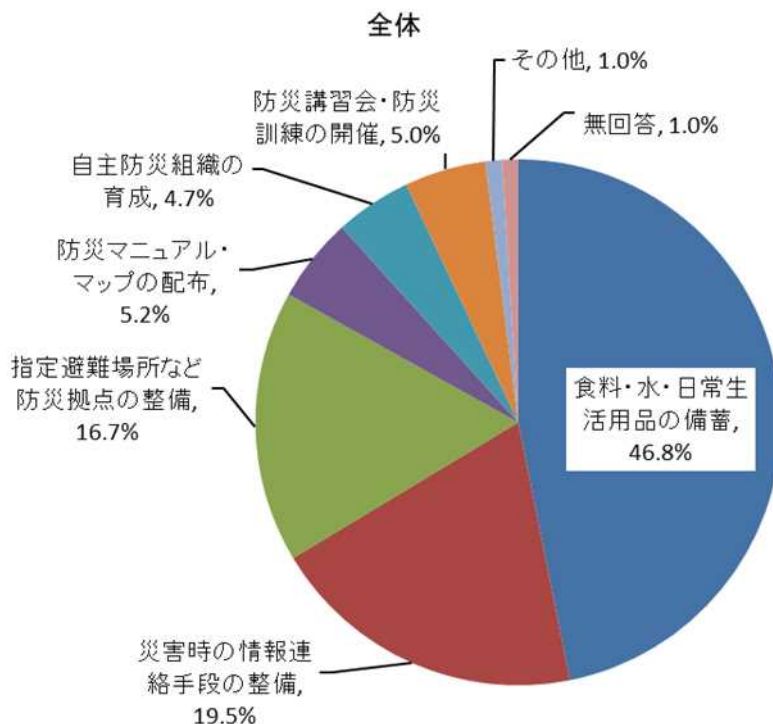
(2) 防災対策に関する施策について

①市民全体

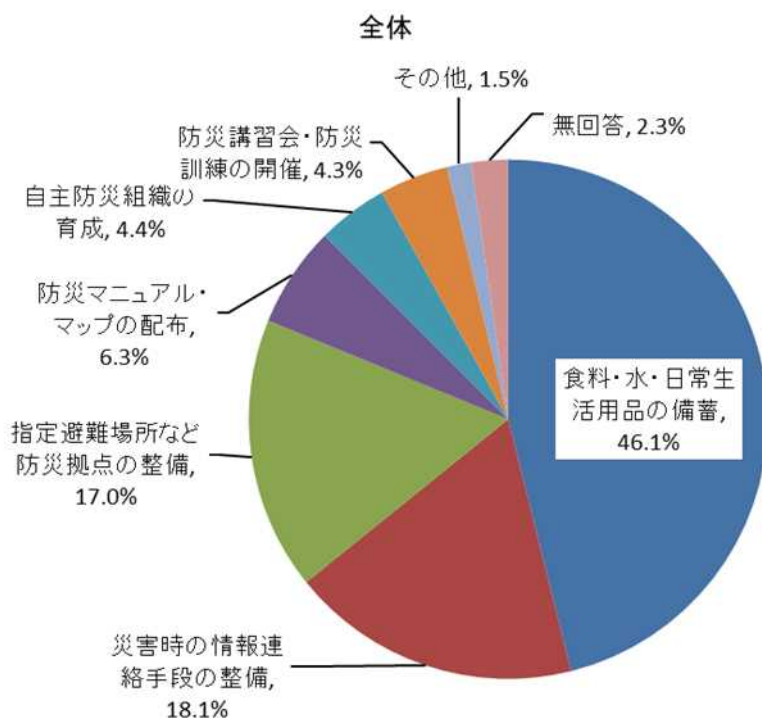
防災・減災対策として重要であると考える項目を1つ回答してもらった結果をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食料・水・日常生活用品の備蓄」であり、46.8%を占めた。次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

この結果は、昨年度と同様の結果である。

<令和3年度調査>

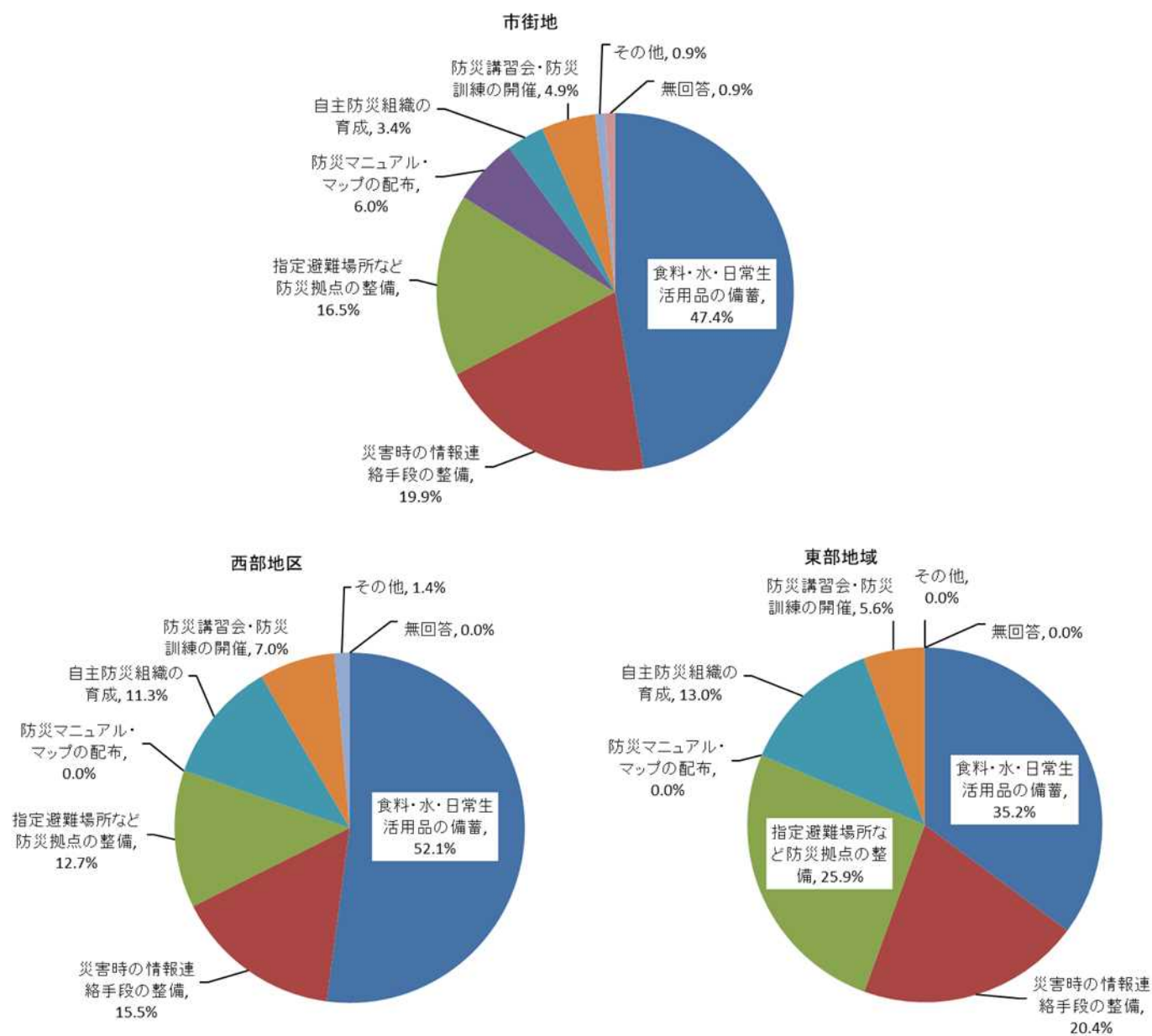


<令和2年度調査>



②地区別

3地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」が最も多く、これに次いで市街地と西部地区では、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順、東部地区は「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」の順となっている。特に、東部地域の「指定避難場所など防災拠点の整備」、「自主防災組織の育成」に対する回答割合は他地区に比して高く、地域住民の意識の高さがうかがえる。



3. 1 2 学校教育・社会教育について

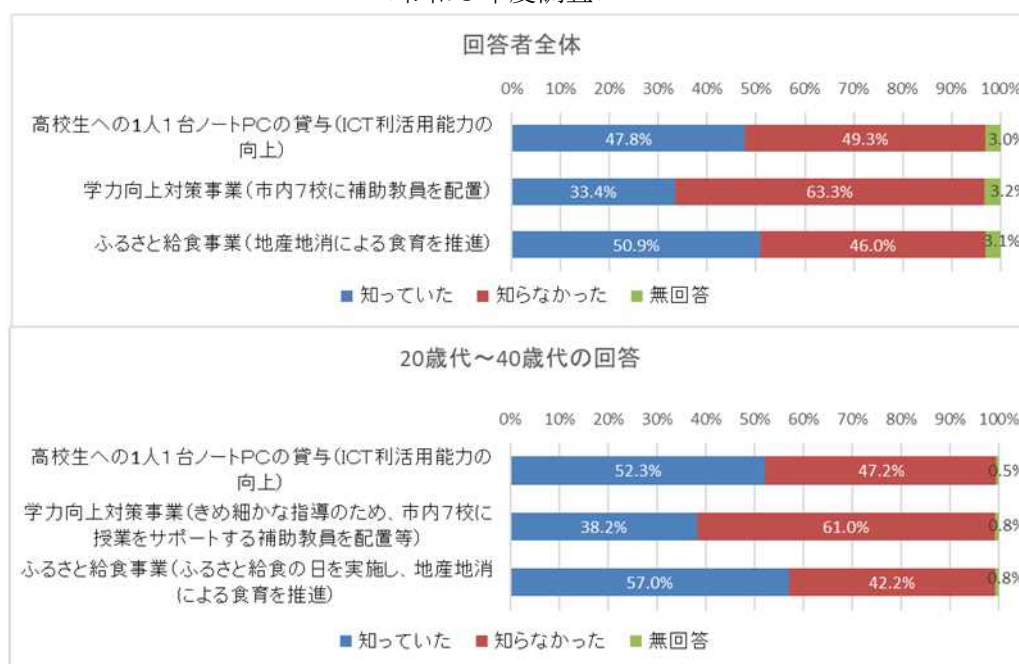
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

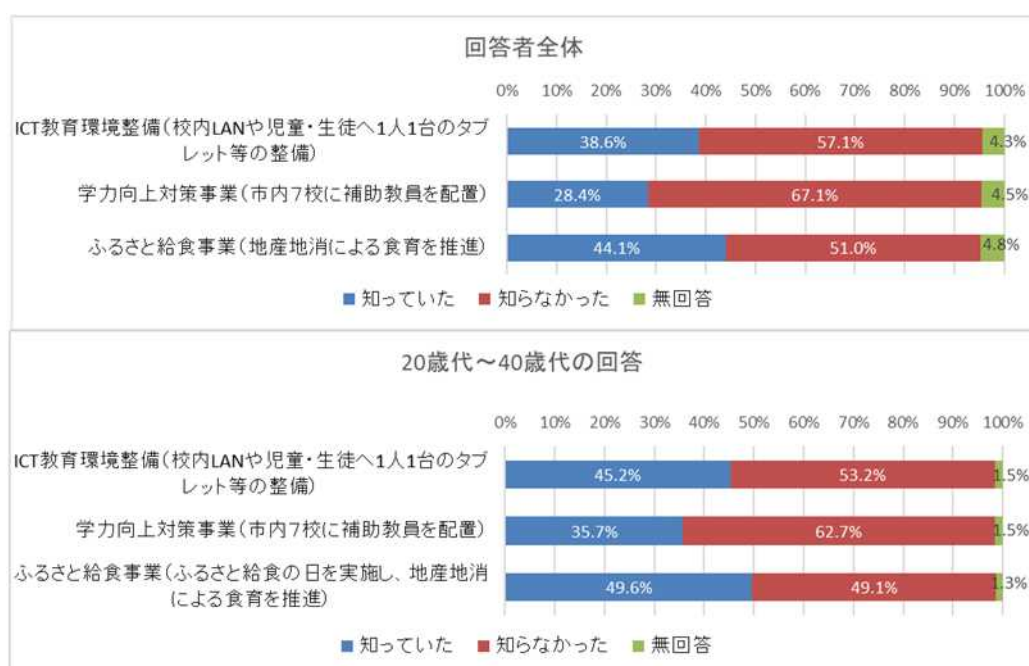
根室市で実施している学校教育に関する主要施策の認知度をみると、「ふるさと給食事業」が50.9%と最も高く、「高校生への1人1台PC貸与」については47.8%であった。また、「学力向上対策事業」については、33.4%と最も認知度は低かったが、昨年度よりはやや向上している。

一方、子育て世代である20歳代～40歳代の回答者についてみると、3つの事業とも市民全体の認知度に比して高くなっているとともに、昨年度に比して認知度が向上している状況が把握された。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>

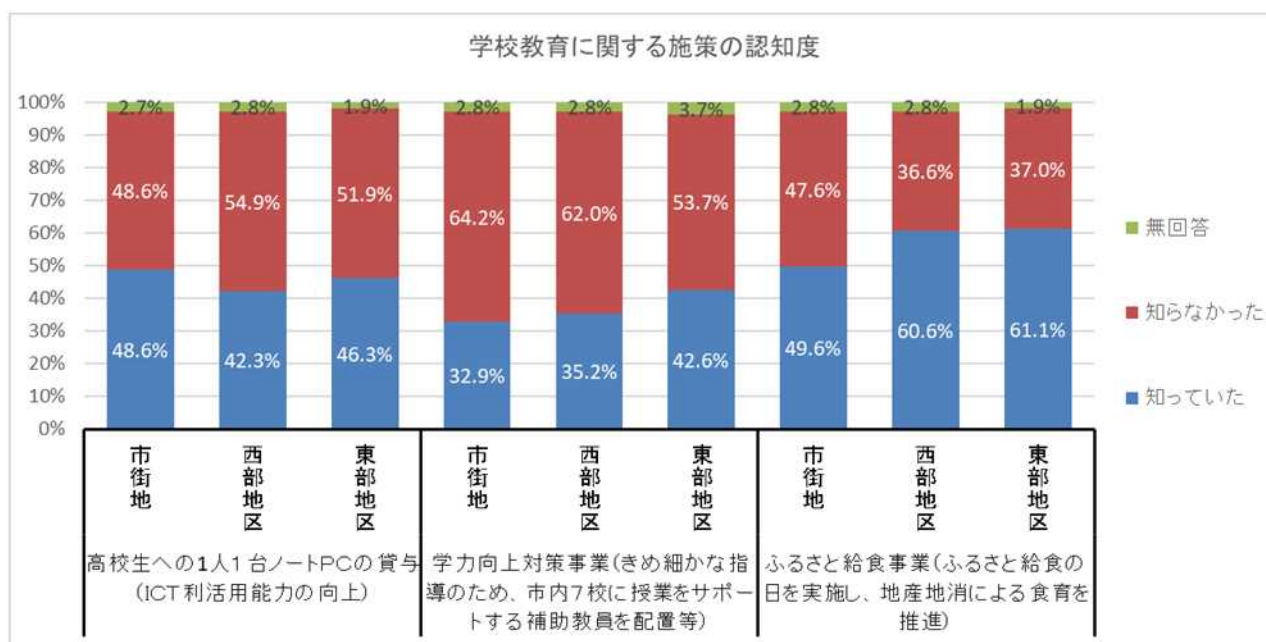


②地区別

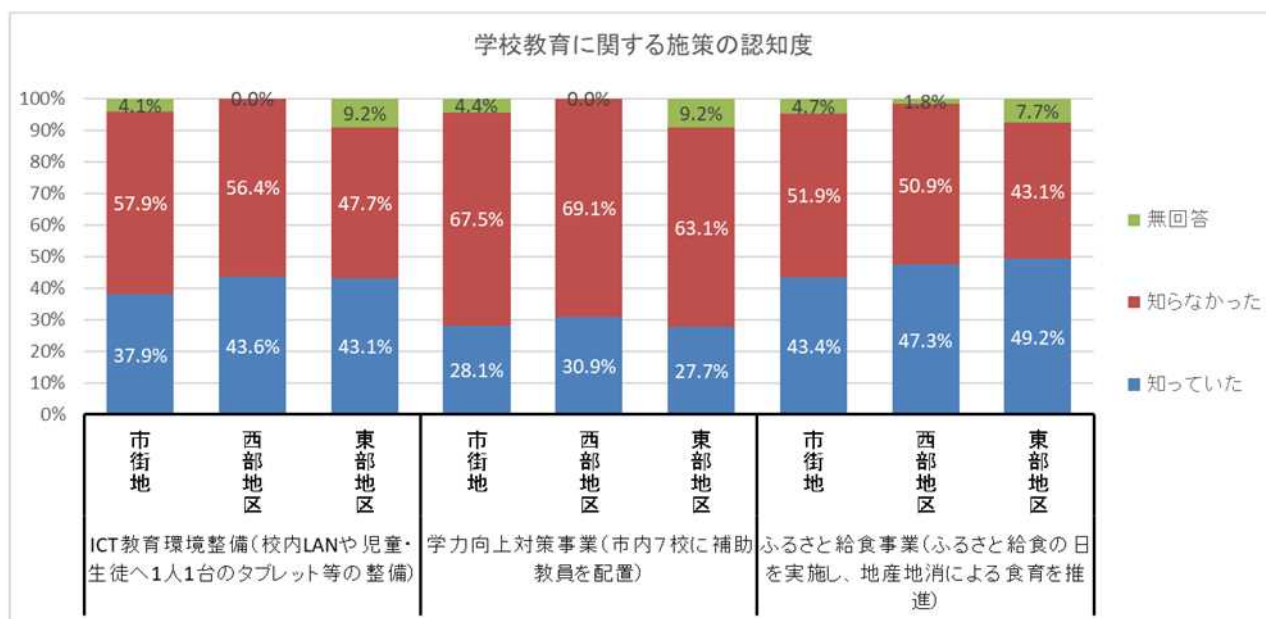
学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「ふるさと給食事業」に関しては市街地住民の認知度がやや低くなっているが、他の事業に関しては地区での差はほとんどみられていない。

昨年度の調査対象事業であった「学力向上対策事業」と「ふるさと給食事業」については3地区とも昨年度から認知度が大きく向上している。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(2) 教育施設や教育環境に対する満足度

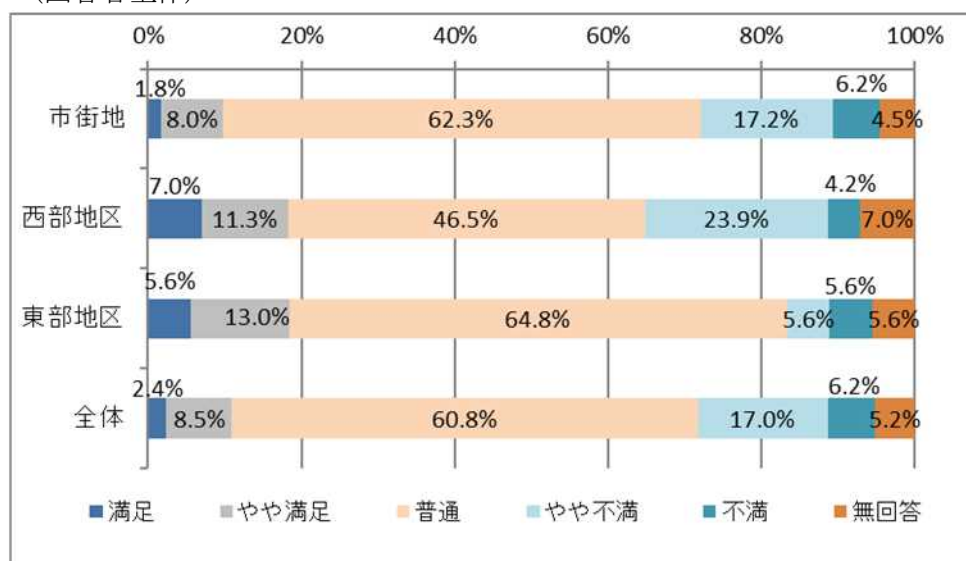
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で 10.9% となっており、昨年度の調査結果よりも向上している。特に、「満足」との回答割合が増加している。

また、いずれの地区も昨年度よりも満足度は向上している。

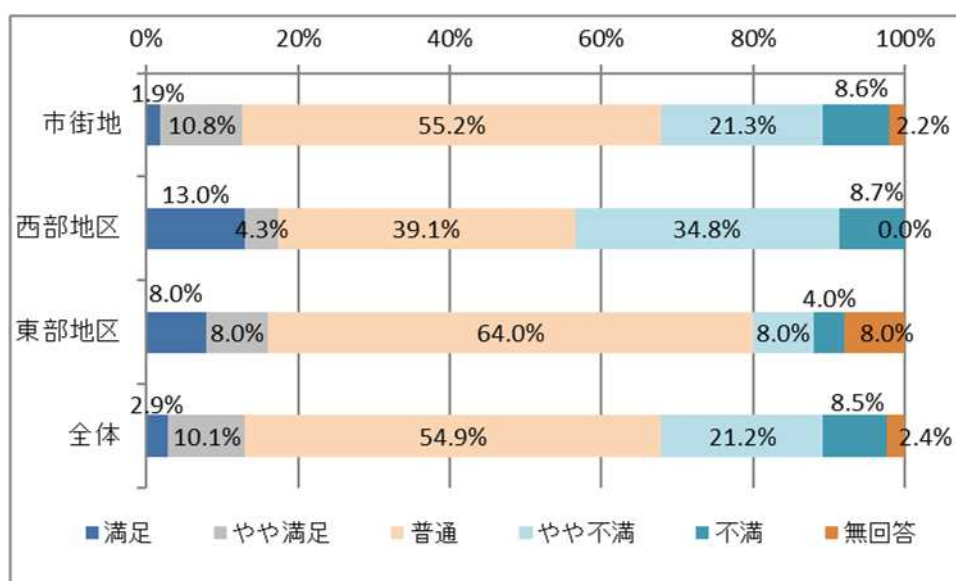
一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価でみると、昨年度調査の結果と同様に、市民全体の評価よりも「満足」及び「不満」とする回答割合の両方で上回っており、教育に対する関心の高さがうかがえる。

<令和3年度調査>

(回答者全体)

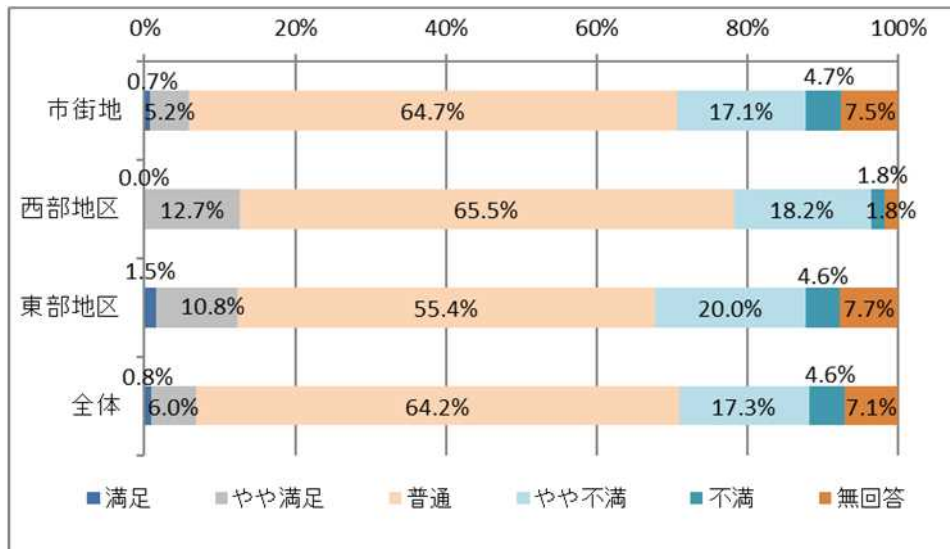


(20 歳代～40 歳代)

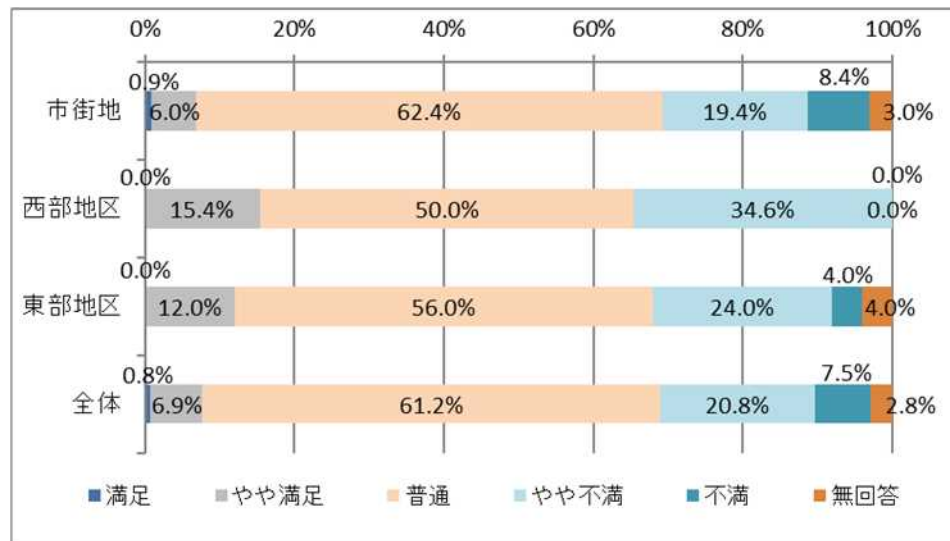


< 令和 2 年度調査 >

(回答者全体)



(20 歳代～40 歳代)



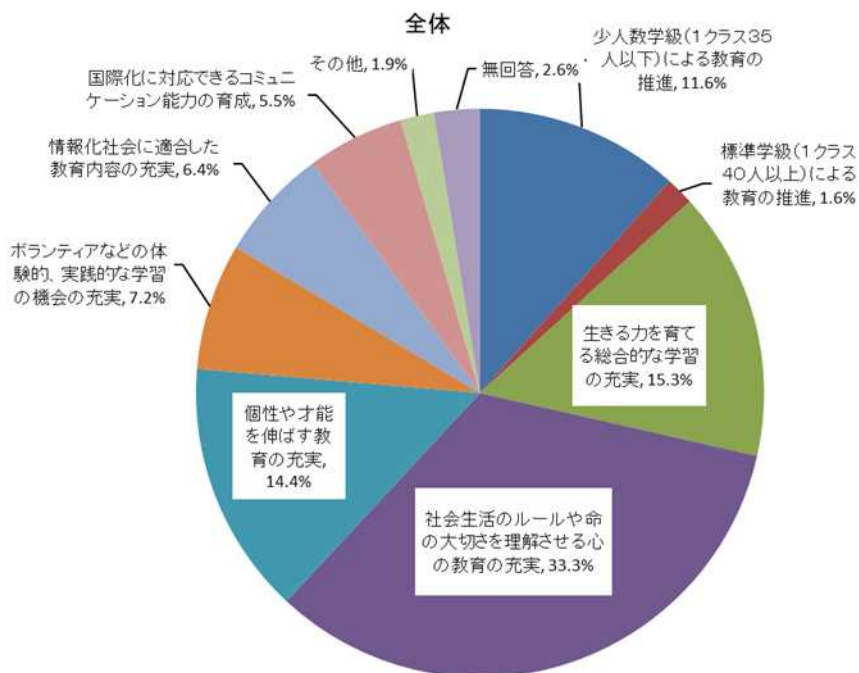
(3) 学校教育に関する施策について

①市民全体

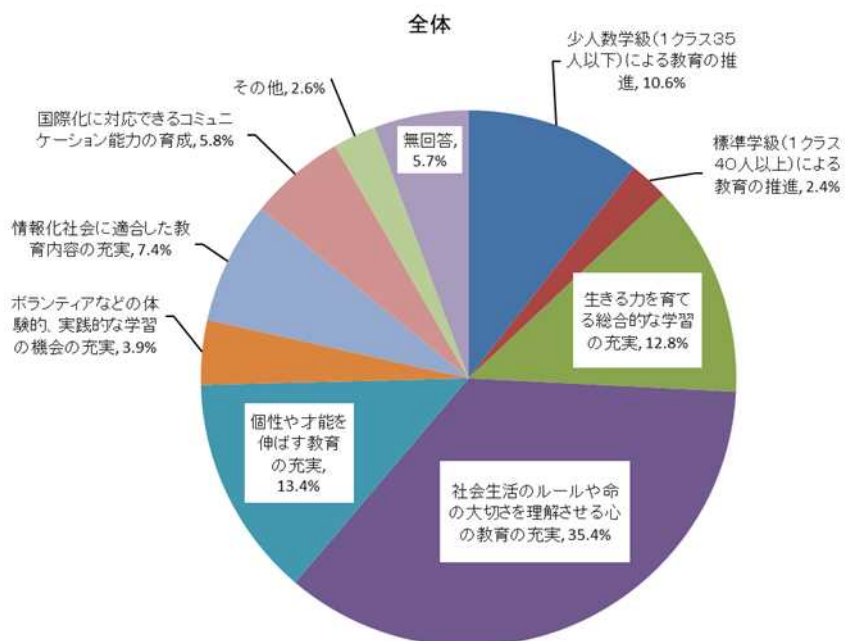
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」の順となっている。

昨年度調査と比較すると、上位にあげられている項目に変化はみられていない。

＜令和3年度調査＞



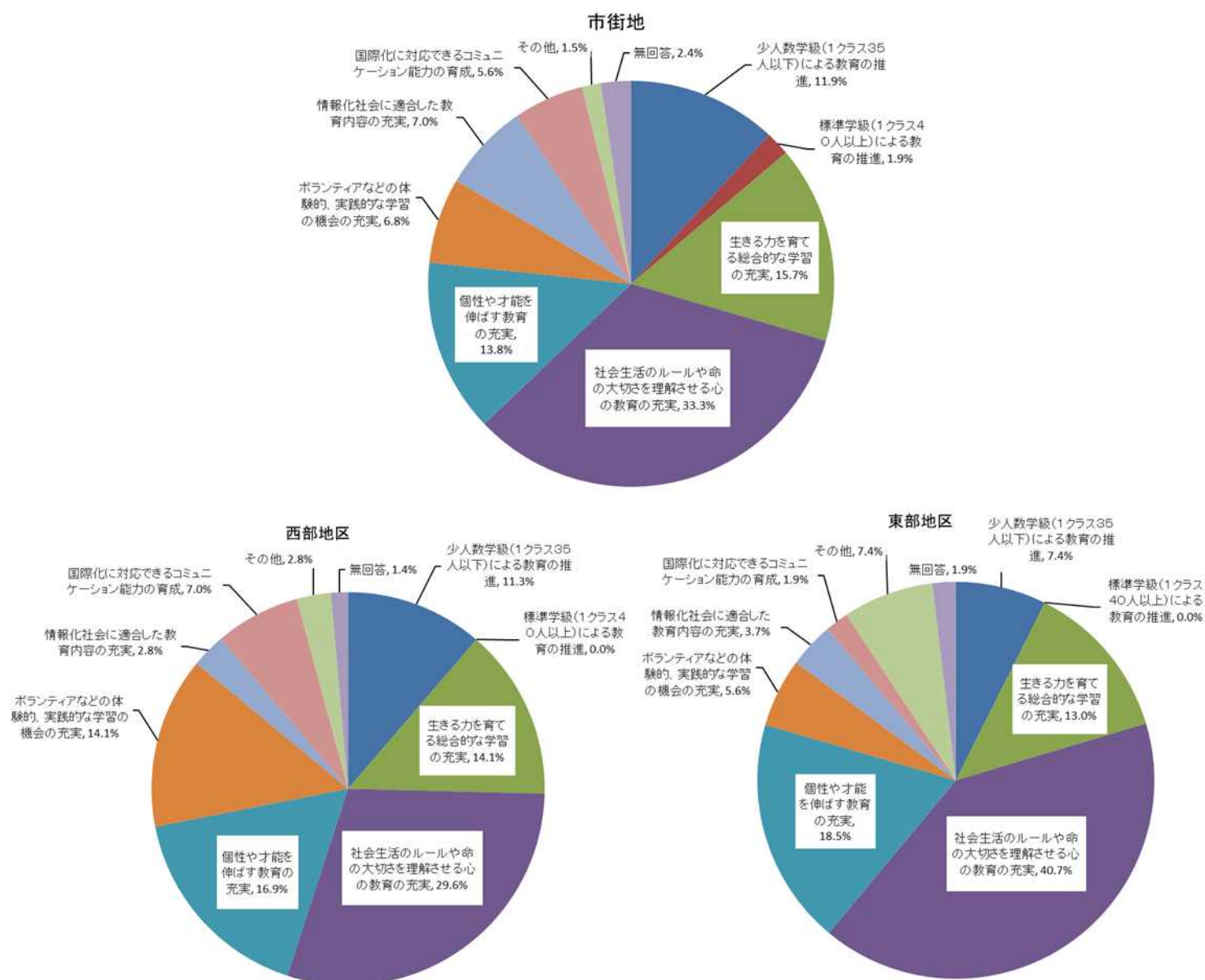
＜令和2年度調査＞



②地区別

3 地区とも「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（1 クラス 35 人以下）による教育の推進」の4項目が上位にあげられている。

この結果は、昨年度と同様の結果である。



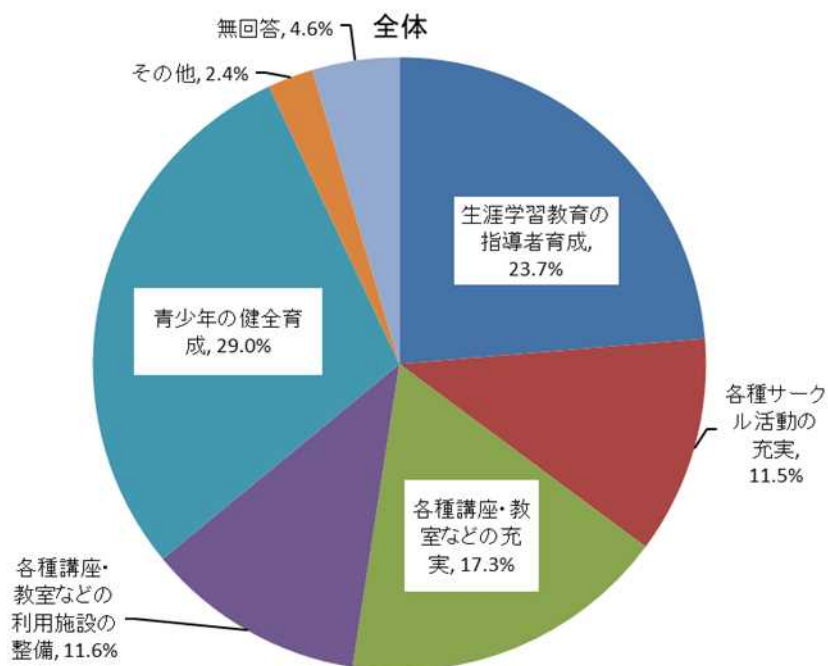
(5) 社会教育に関する施策について

①市民全体

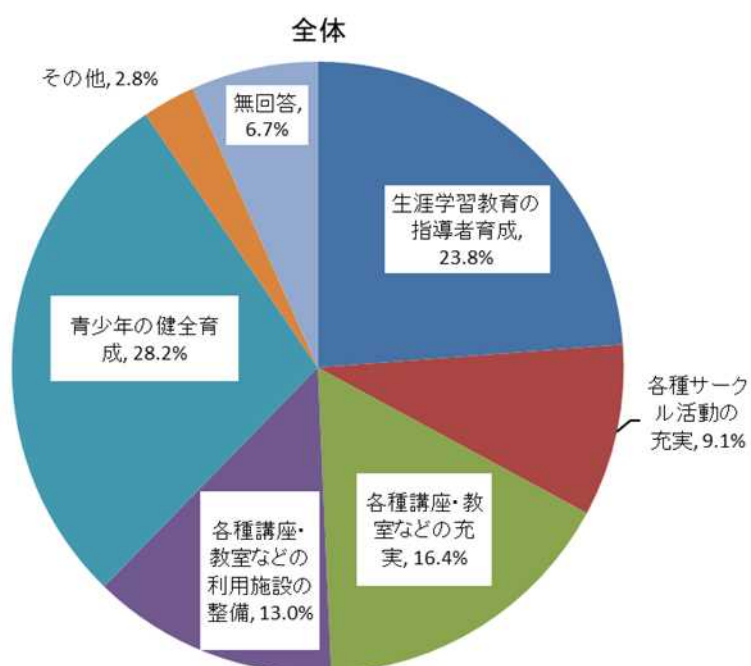
社会教育に関して重要であると考える項目 1 つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が最も多く、次いで、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の順となっている。

この結果は、昨年度と同様の結果である。

＜令和3年度調査＞

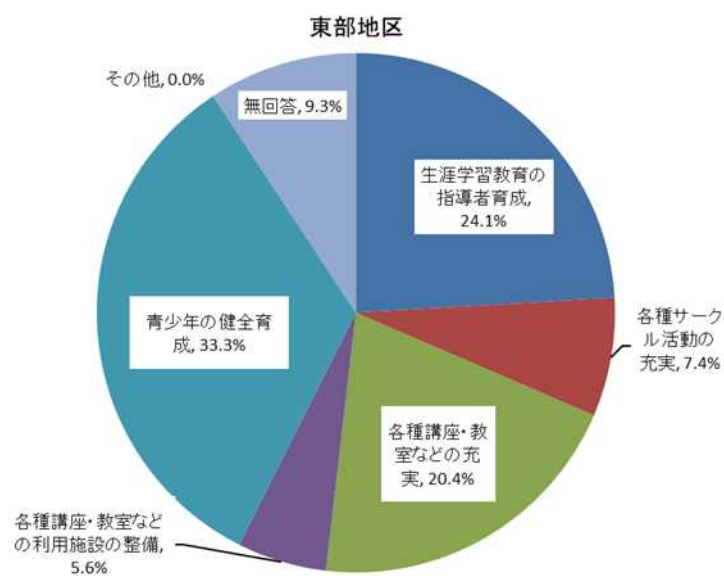
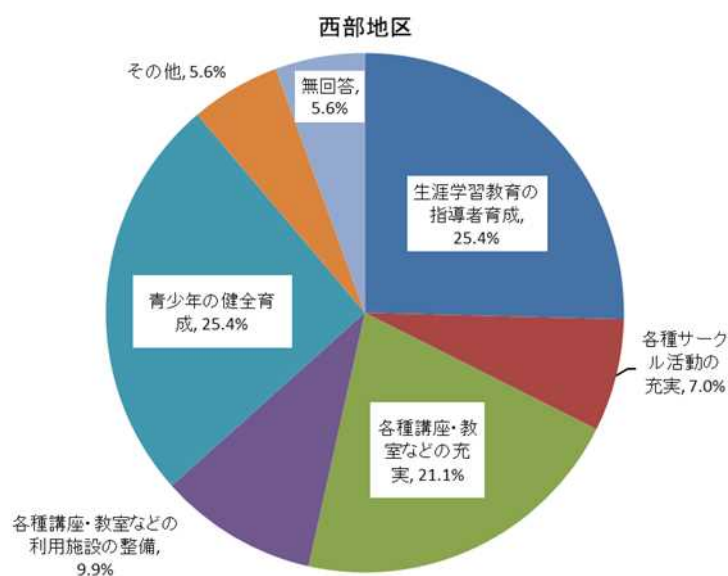
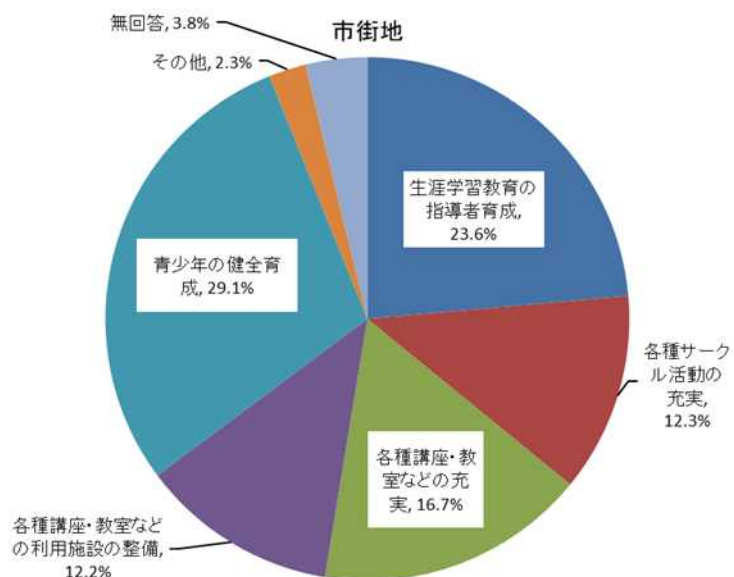


＜令和2年度調査＞



②地区別

3 地区とも市民全体と同様に順位の違いはみられるものの「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の3項目が上位にあげられている。この結果は、昨年度と同様の結果である。



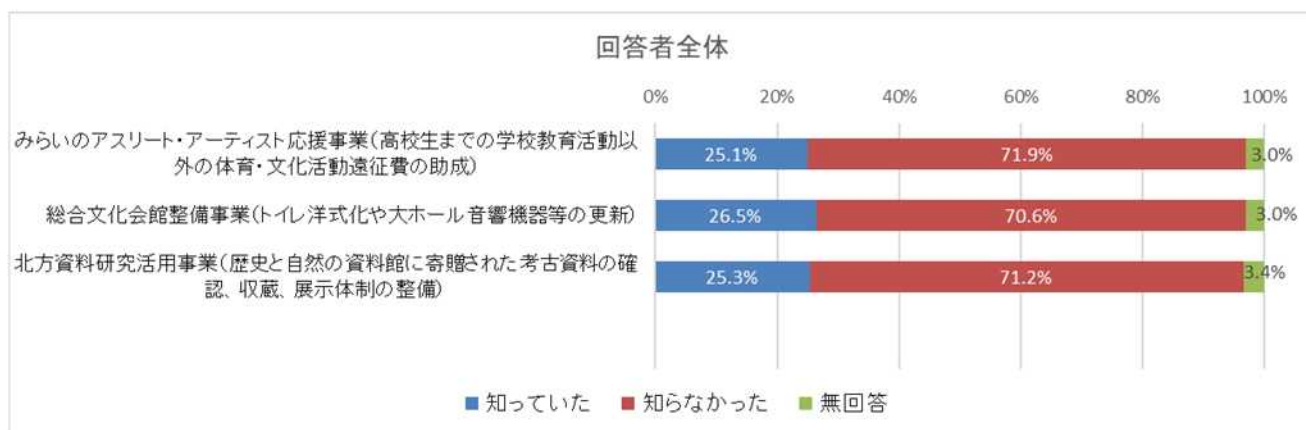
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

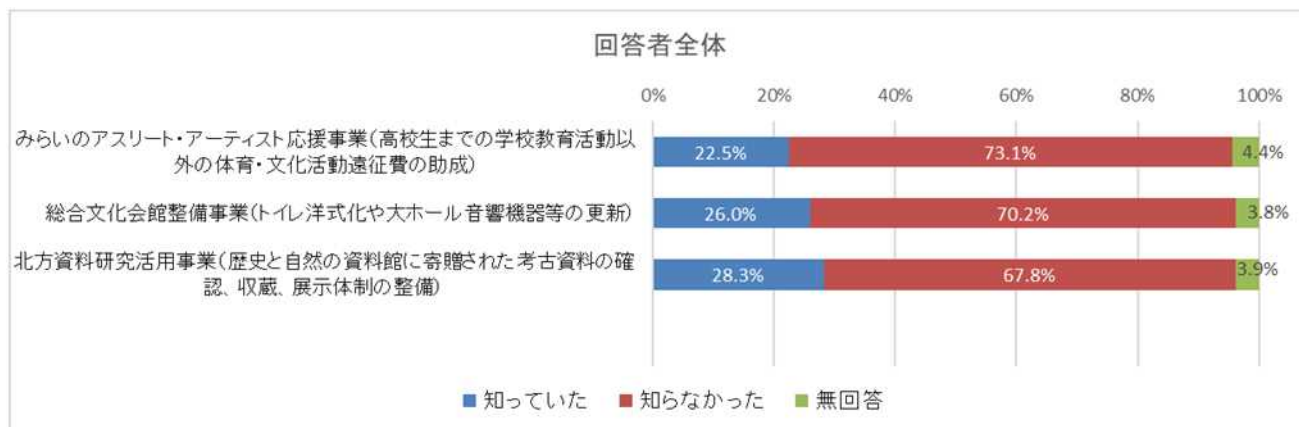
①市民全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要3施策についての認知度をみると、いずれの施策も、その認知度は20%台となっており、昨年度と同様の結果である。

<令和3年度調査>



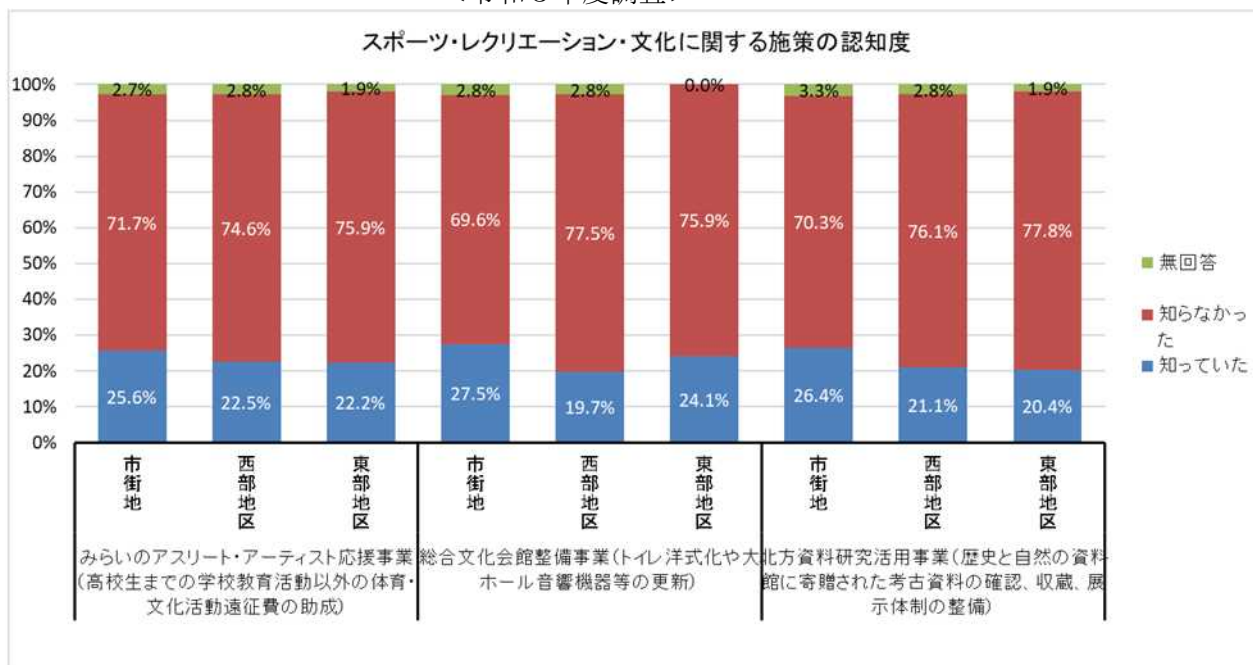
<令和2年度調査>



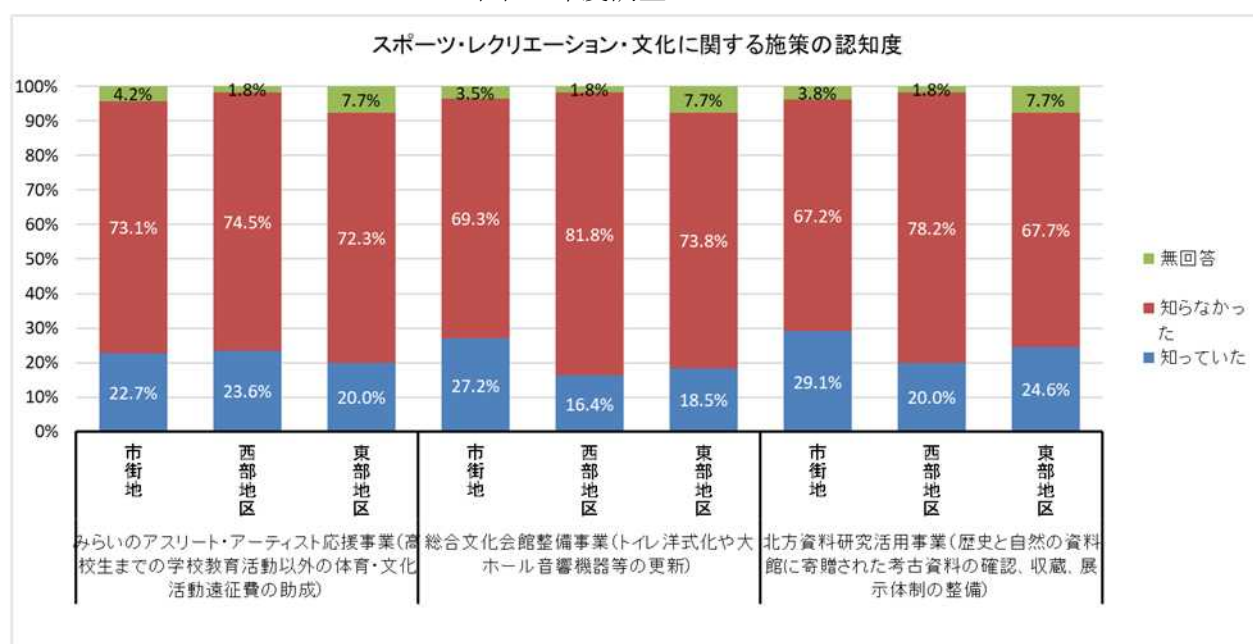
②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要 3 施策についての認知度は、3 地区とも昨年度調査の結果からの変動は見られるものの、地区別での特筆すべき差はない。

< 令和 3 年度調査 >



< 令和 2 年度調査 >

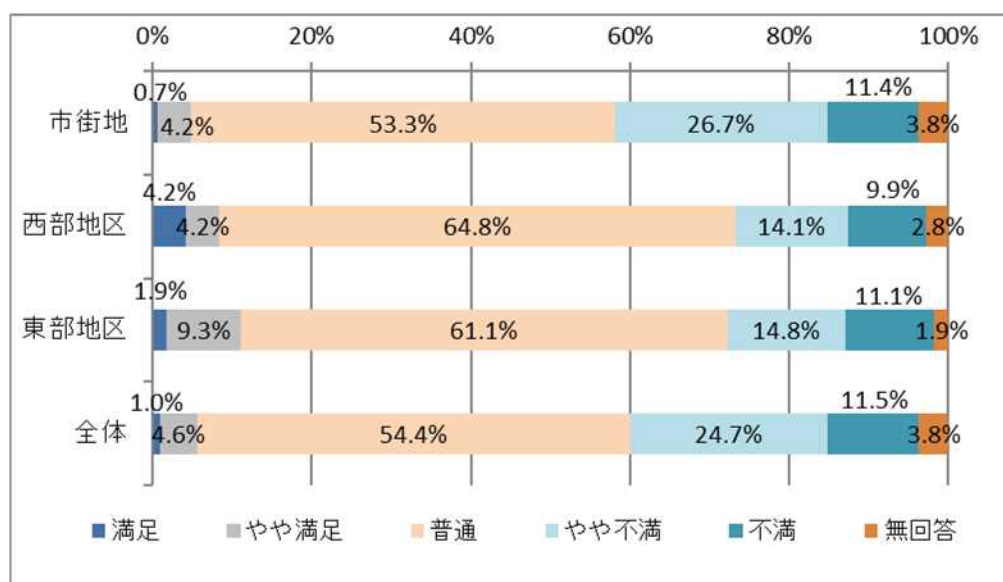


(2) スポーツ施設の状況に対する満足度

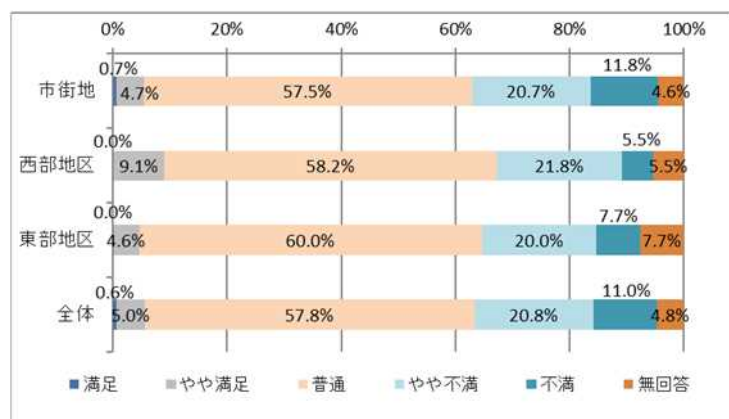
スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は5.6%となっており、昨年度の調査結果と同じであった。

「普通」以上とする評価の割合は昨年度の結果よりもやや低下しているが、令和元年度調査の結果とほぼ同水準であった。

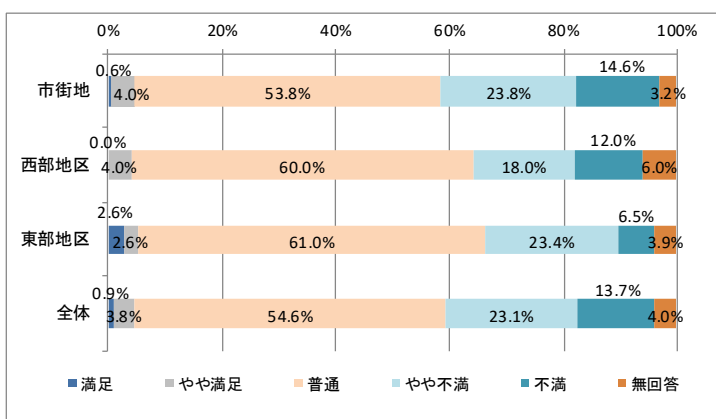
<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



<令和元年度調査>

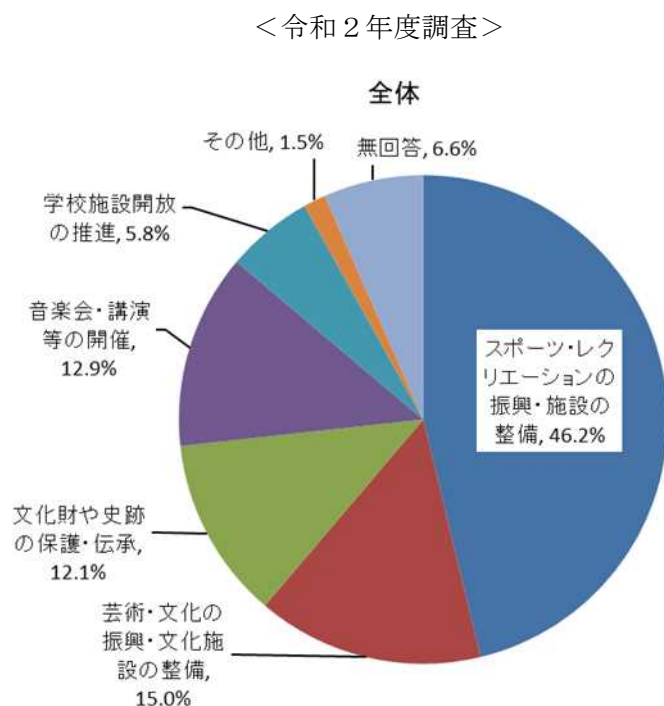
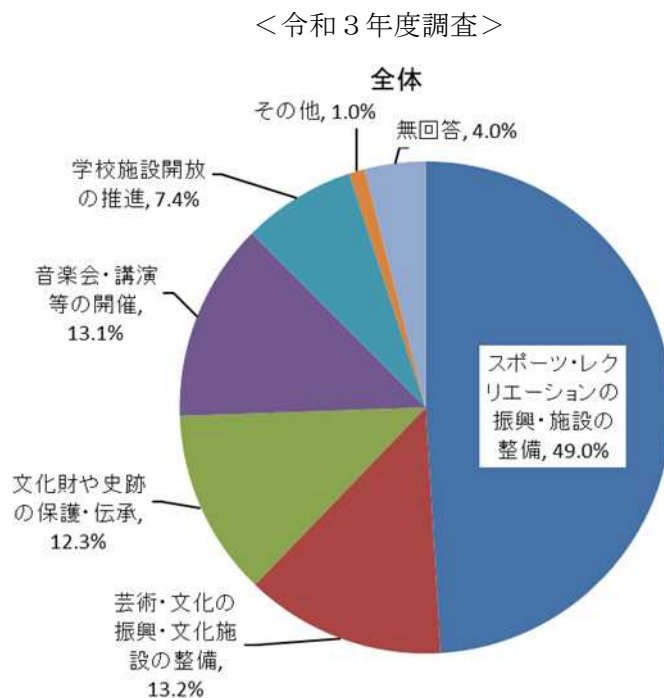


(3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

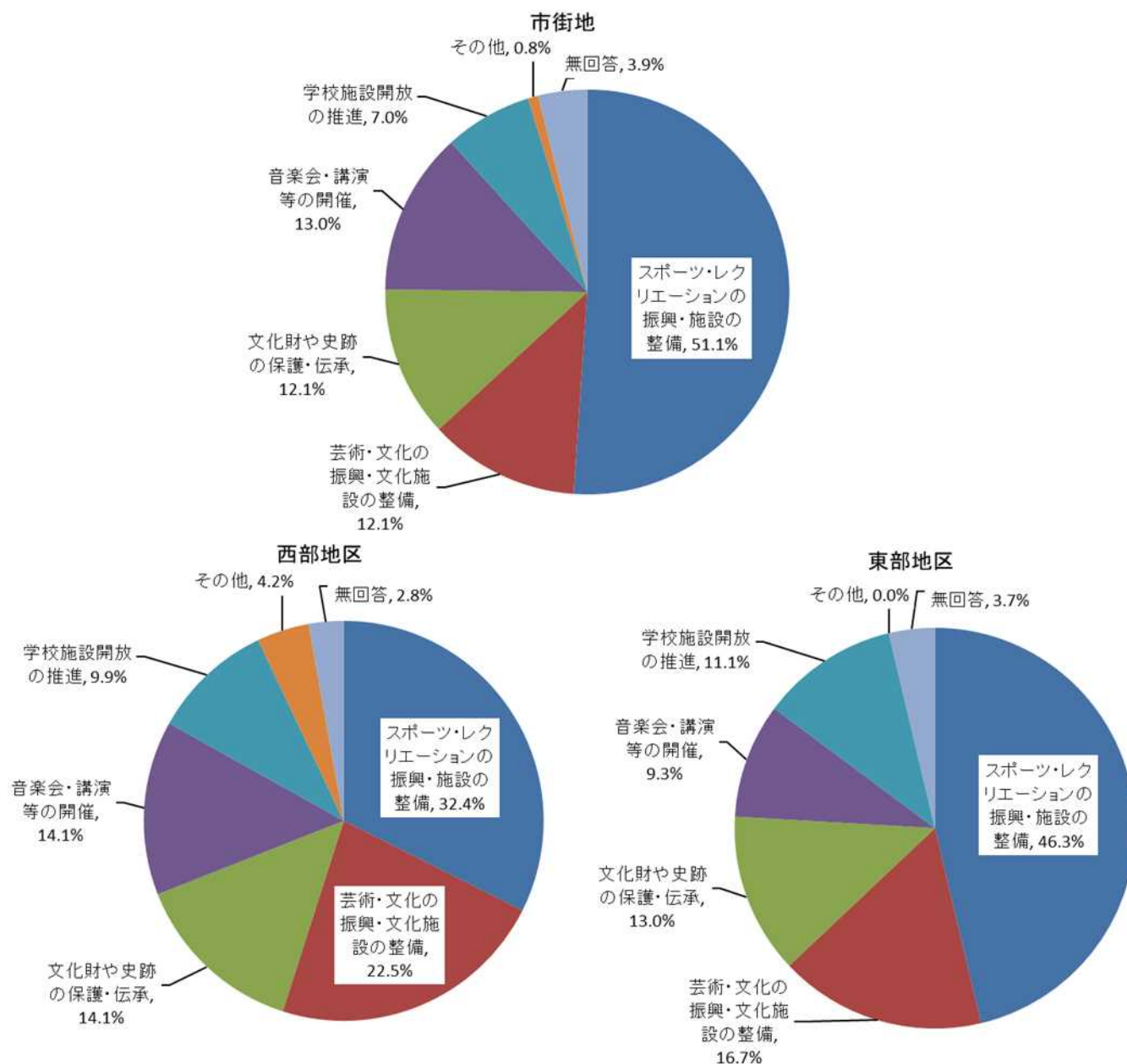
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「音楽会・講演等の開催」、「文化財や史跡の保護・伝承」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると上位にあげられている施策の順位も割合もほぼ同様の結果となっている。



②地区別

3 地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も高く、これに次いで、市街地は「音楽会・講演等の開催」が、西部地区及び東部地区では「芸術・文化の振興・文化施設の整備」があがっている。



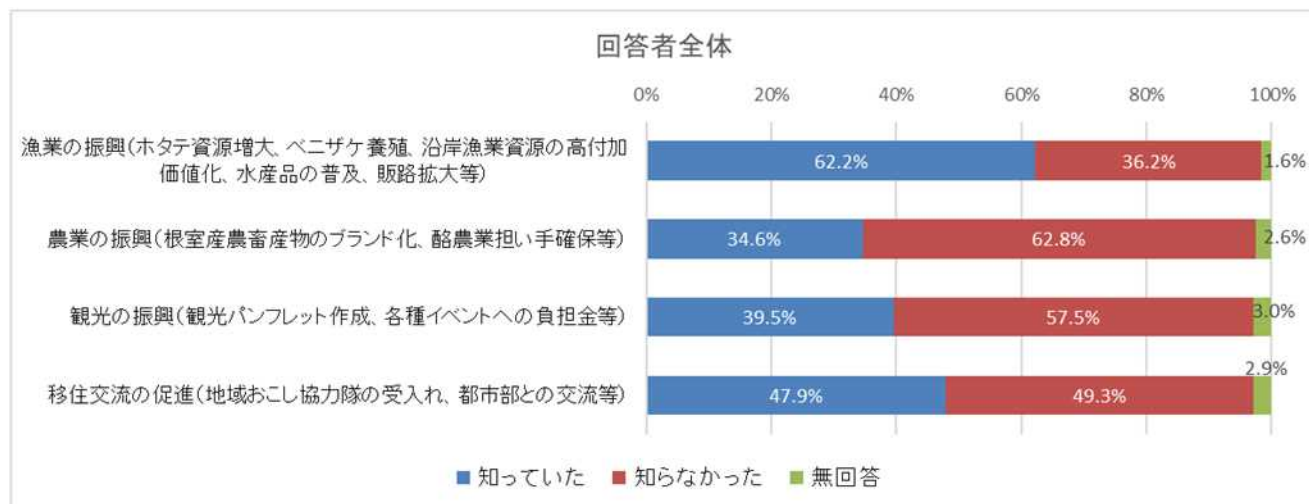
3. 1 4 産業の振興について

(1) 施策に対する認知度

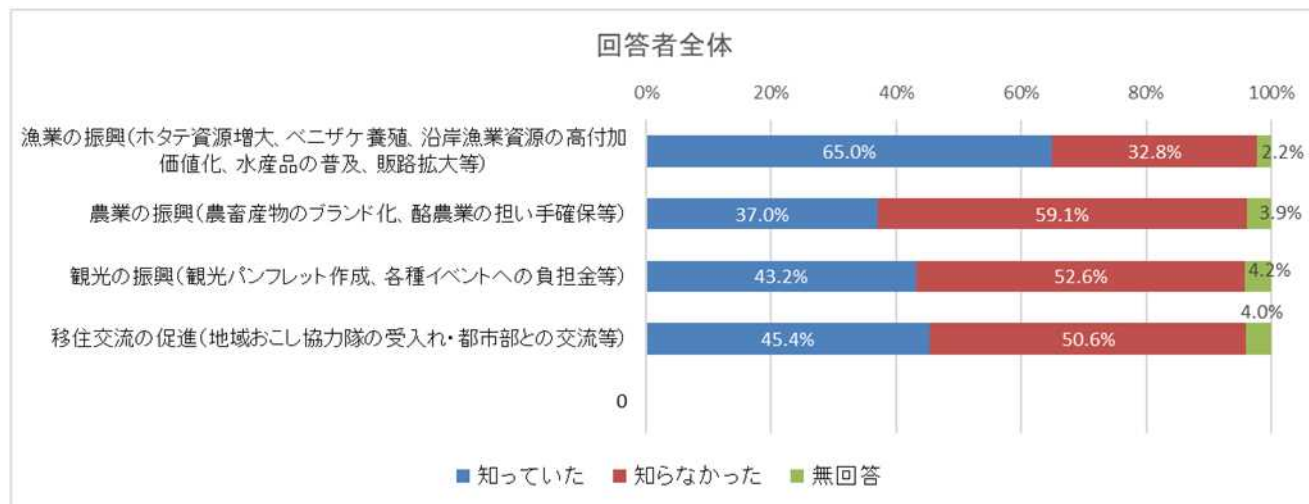
①市民全体

市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、総じて他の施策よりも認知度が高い傾向がみられ、特に、「漁業の振興」に対する認知度が高くなっているなど、ほぼ昨年度調査の結果と同様の結果であった。

<令和3年度調査>



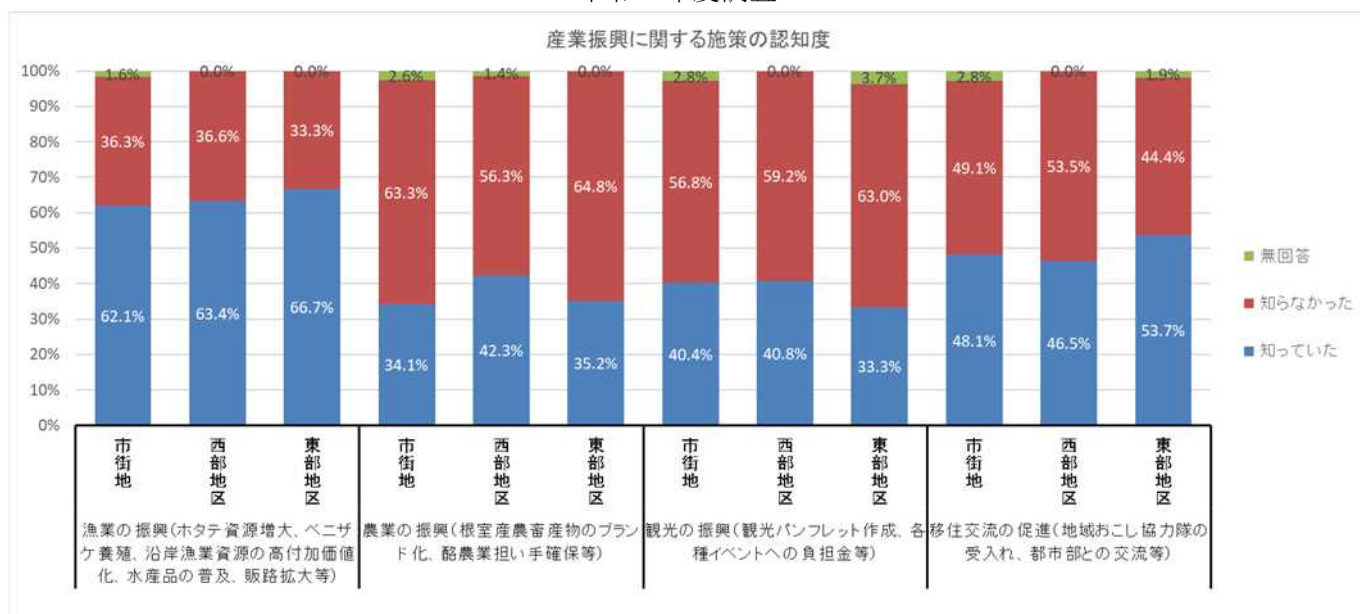
<令和2年度調査>



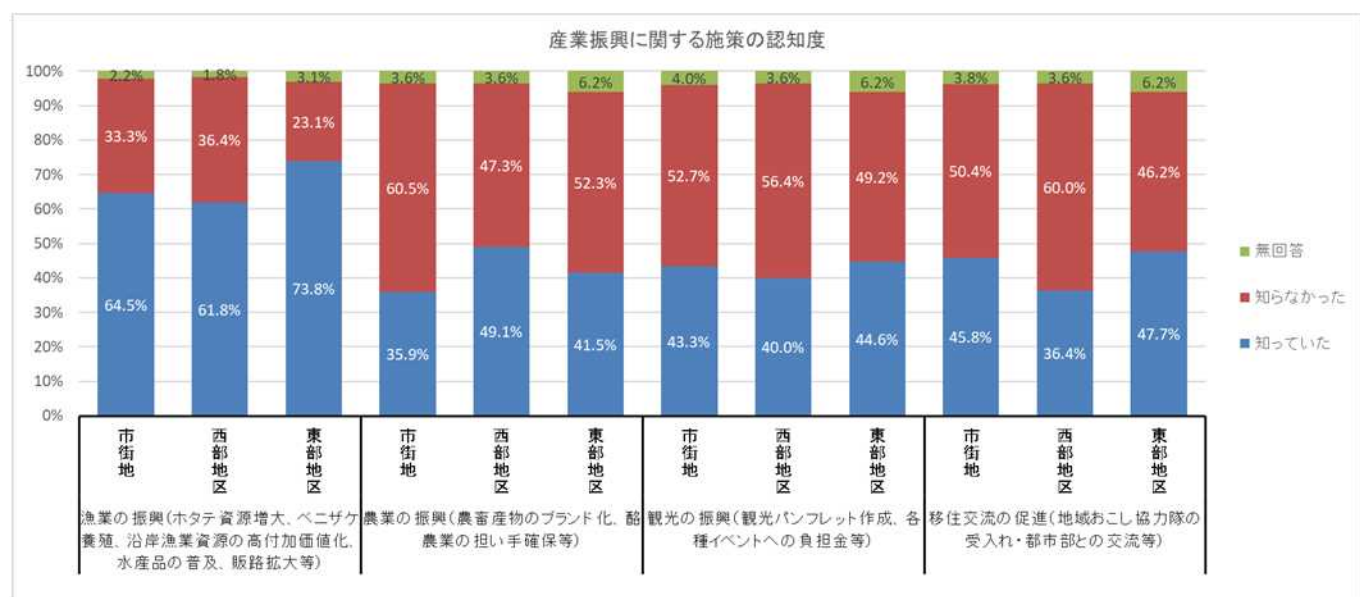
②地区別

産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、3地区とも漁業に関する施策の認知度は高い。農業、観光に関する施策については、総じて認知度はやや低いものの地区による認知度の差はほとんどない。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



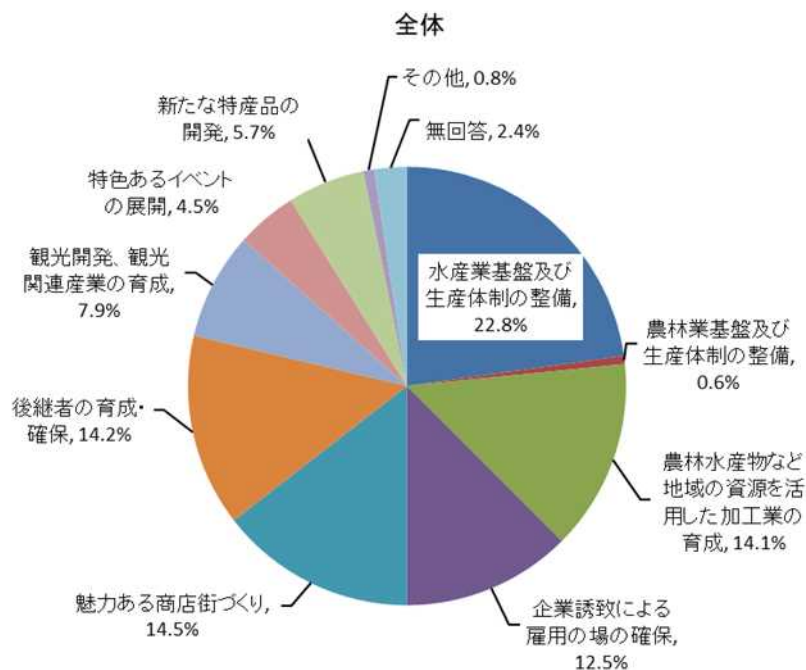
(2) 産業振興施策について

①市民全体

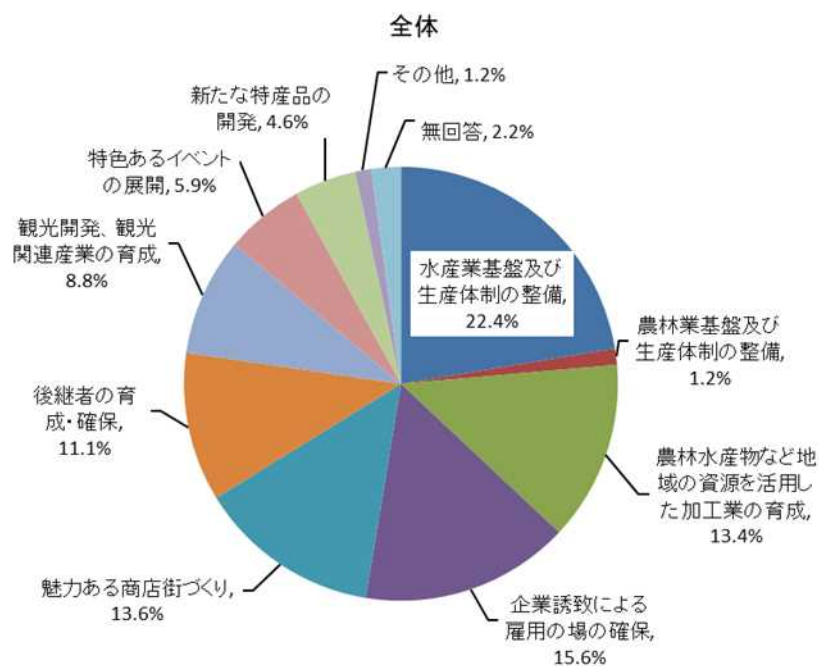
根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策1つを回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が昨年度調査と同様に最も高かった。次いで、「魅力ある商店街づくり」、「後継者の育成・確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「企業誘致による雇用の場の確保」の順となっている。

この結果は、昨年度調査とほぼ同様の結果であった。

<令和3年度調査>



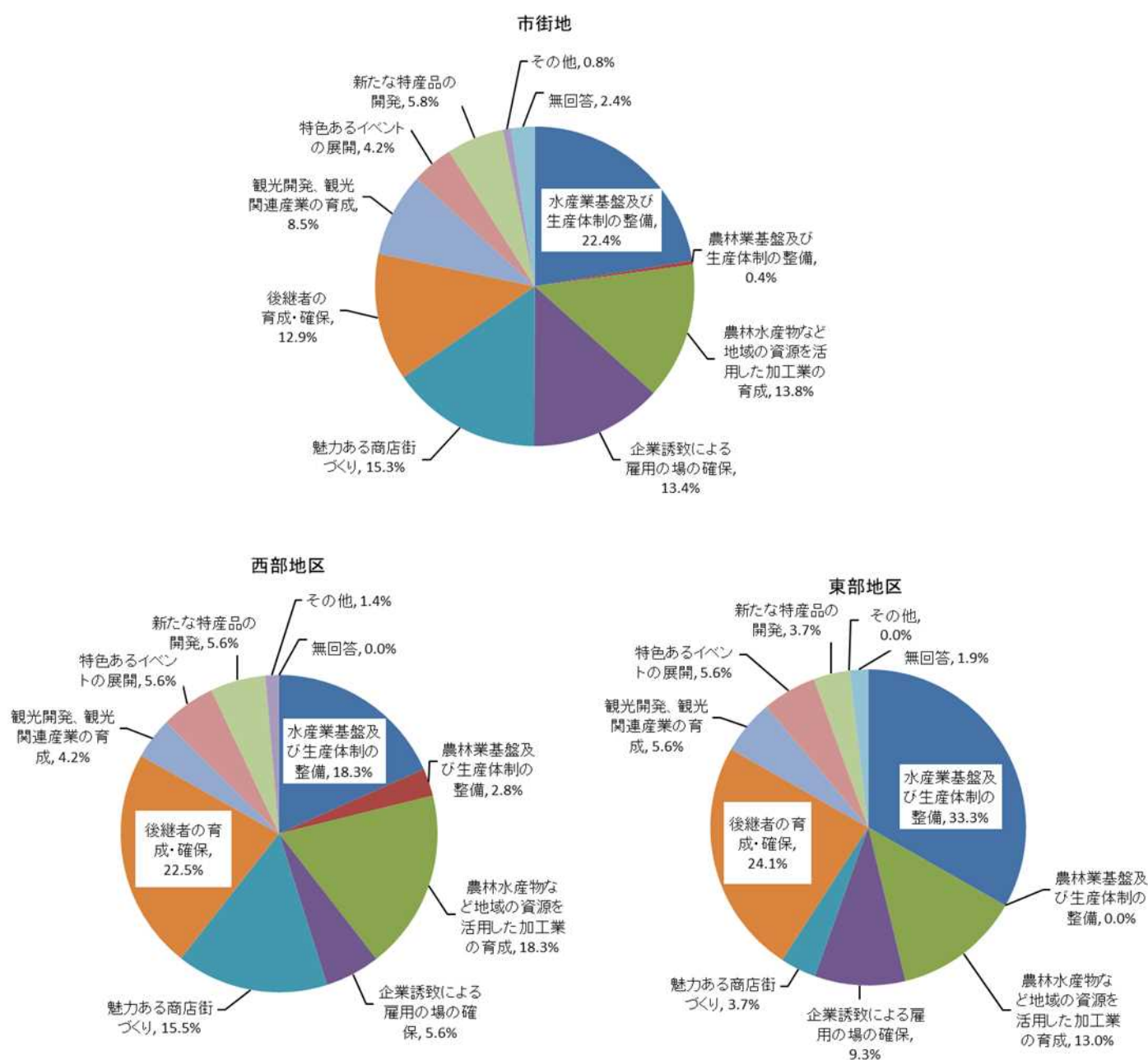
<令和2年度調査>



②地区別

地区別でみると、市街地はほぼ市民全体の傾向と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、地区の主たる産業を反映して異なった傾向がみられている。

比較的酪農事業者の多い西部地区では、「後継者の育成・確保」が最も多く、次いで、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」と「水産業基盤及び生産体制の整備」が、漁業者の多い東部地区では、「水産業基盤及び生産体制の整備」が最も多く、次いで「後継者の育成・確保」となっている。



3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（１）施策の認知度

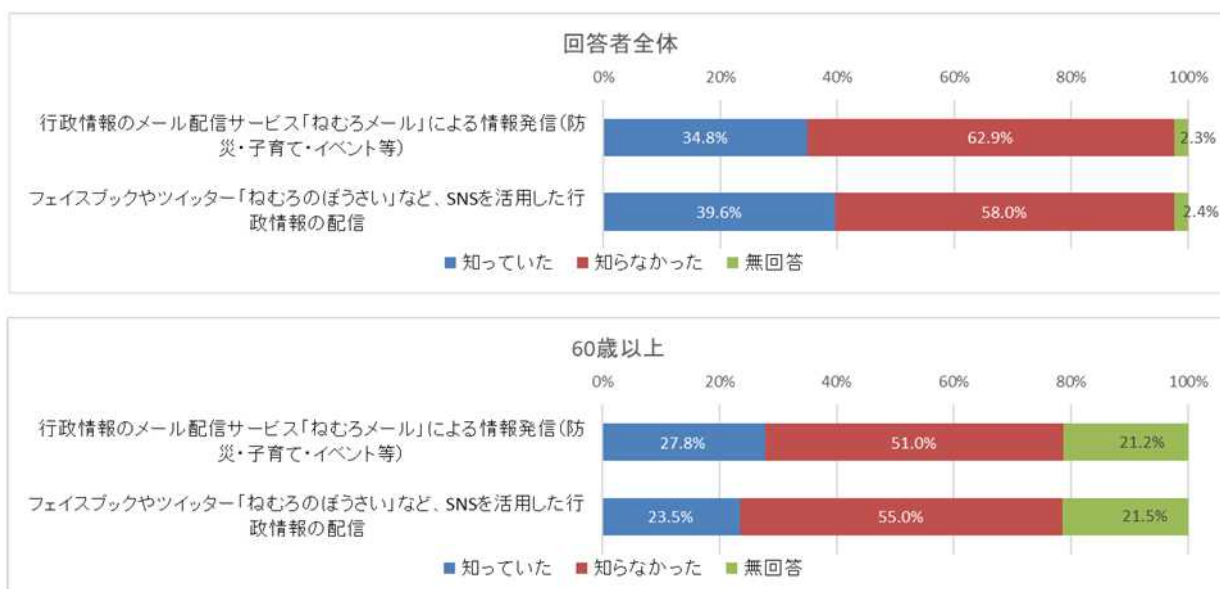
①市民全体

市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、「行政情報のメール配信サービス「ねむろメール」による情報発信（防災・子育て・イベント等）」が34.8%、フェイスブックやツイッター「ねむろのぼうさい」など、SNSを活用した行政情報の配信」の認知度が39.6%となっている。

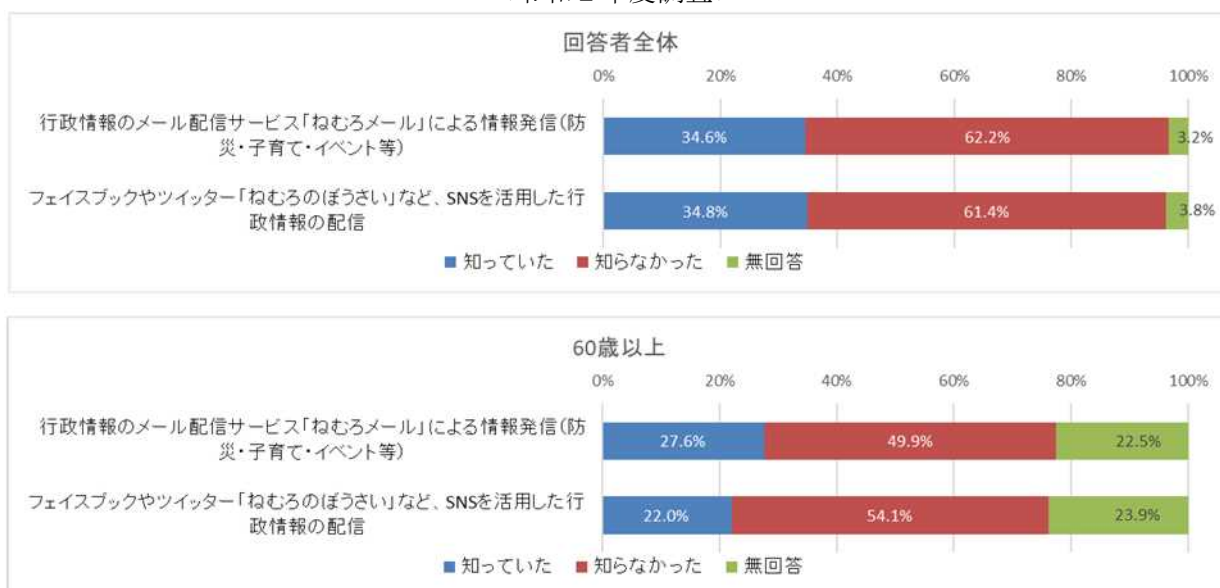
60歳以上の市民のこれらの情報ツールに対する認知度は、20%台と低いことから高齢者へのPR、普及促進が課題といえる。

しかし、昨年度調査の結果と比較するとフェイスブックやツイッター「ねむろのぼうさい」などのSNSを活用した行政情報の配信に関しては、60歳以上の市民も含め市民の認知度は向上している。

<令和3年度調査>



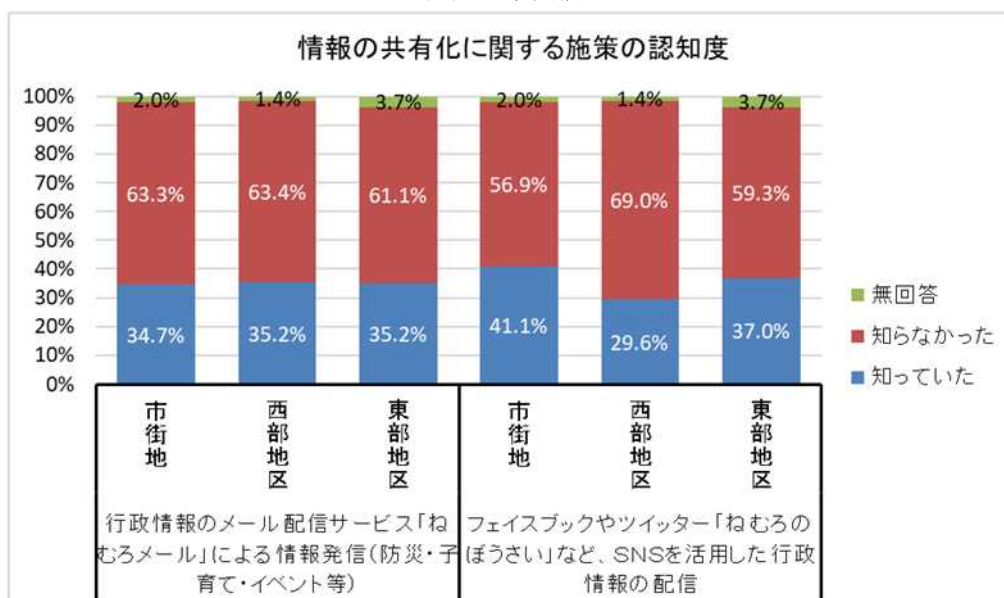
<令和2年度調査>



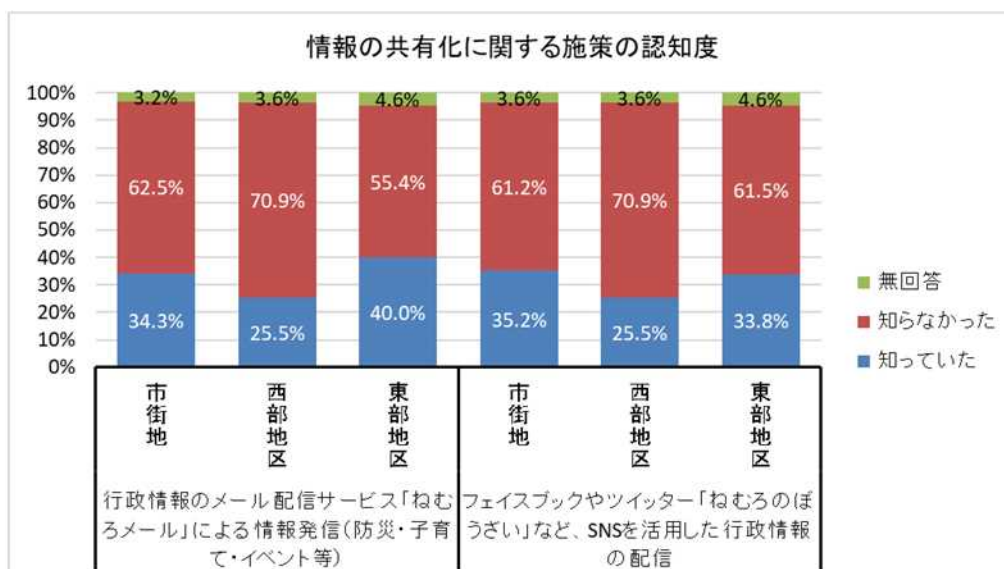
②地区別

情報の共有化に関する主要施策についての認知度は、昨年度調査までの結果と同様、地区別での大きな差は見られていない。

<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



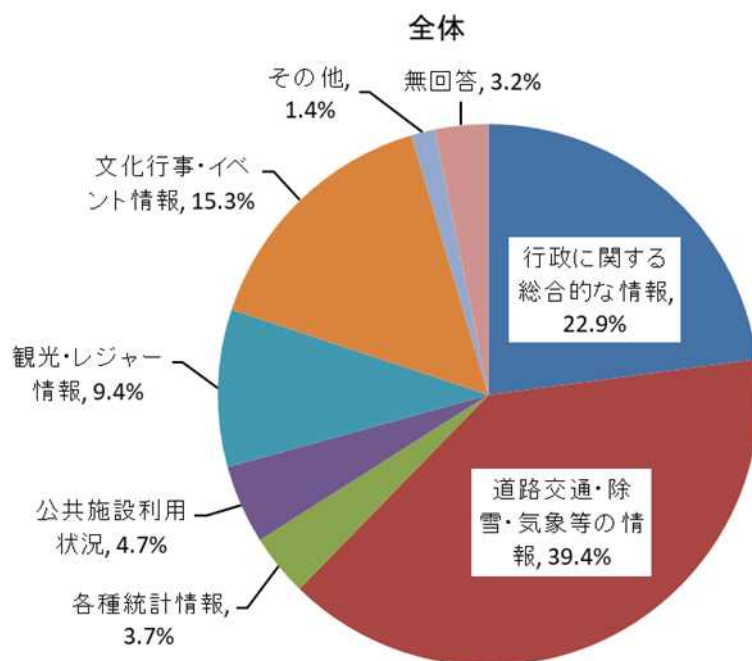
（２）情報の共有化に関する施策について

①市民全体

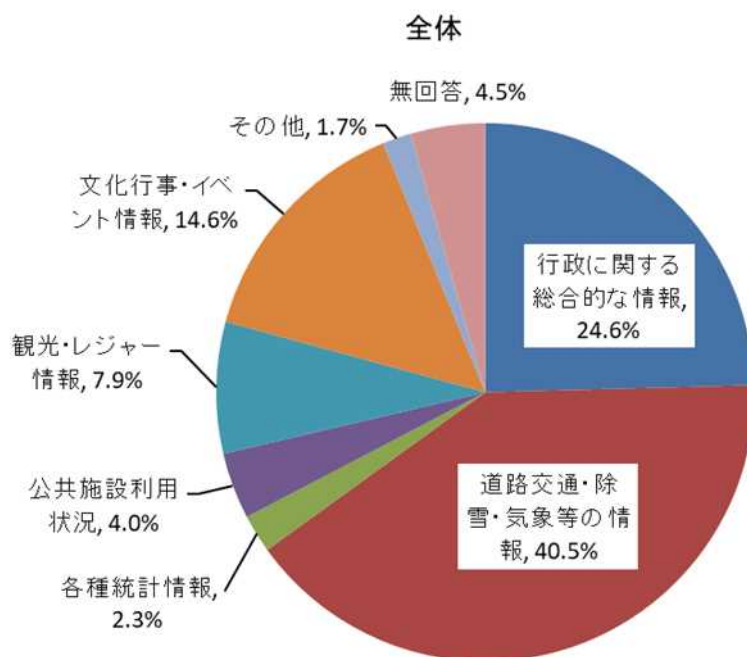
行政からの情報提供に対する要望を１つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が高くなっている。

上位にあがっている項目は、順位を含めて令和元年度以降の調査結果と同じである。

＜令和３年度調査＞



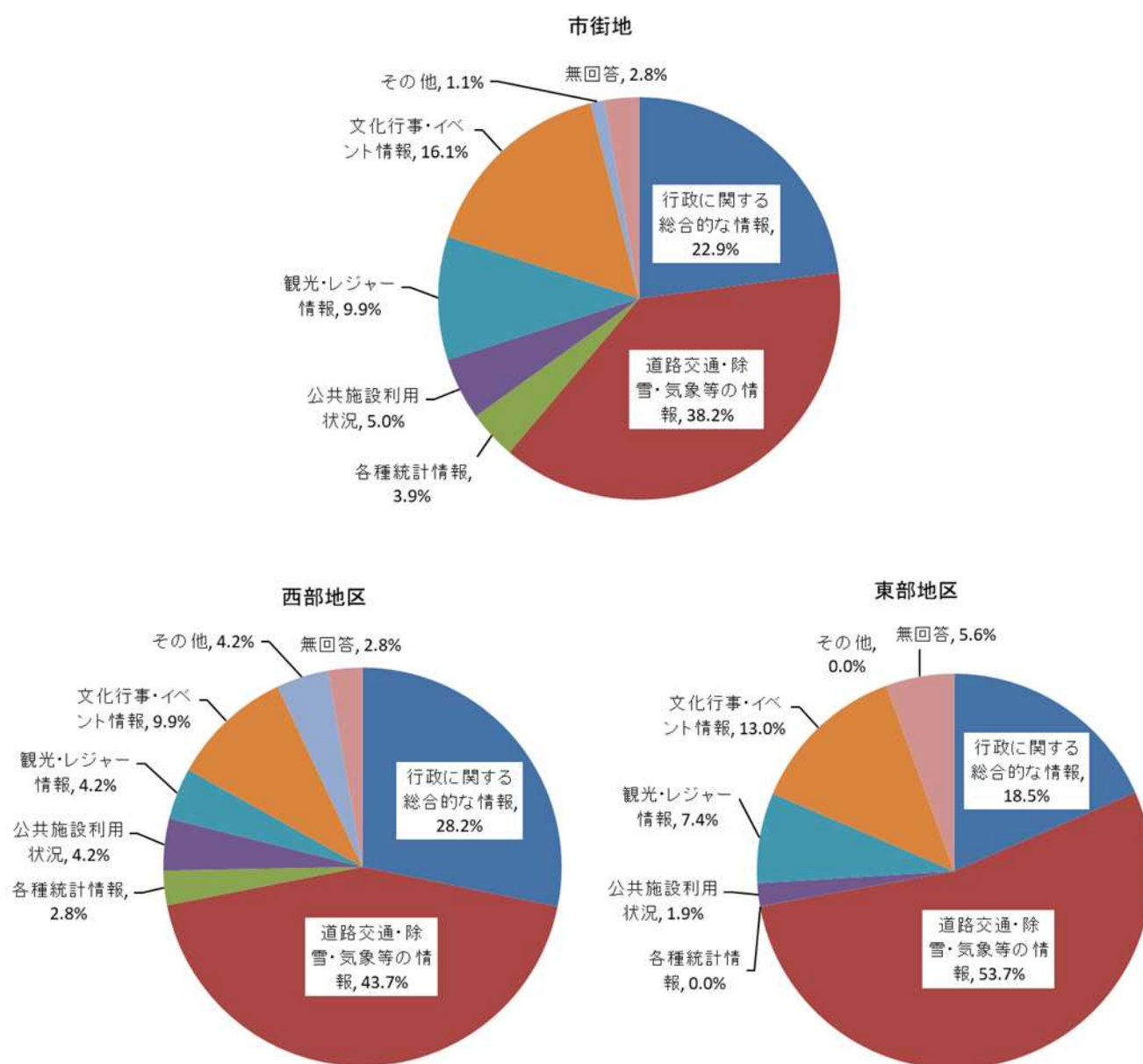
＜令和２年度調査＞



②地区別

地区別に提供を受けたいと希望している情報内容を見ると、3地区とも「道路交通・除雪・気象等の情報」が最も多く、次いで、「行政に関する総合的な情報」となっている。

特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、東部地区では50%以上の回答率と際立って高くなっている。



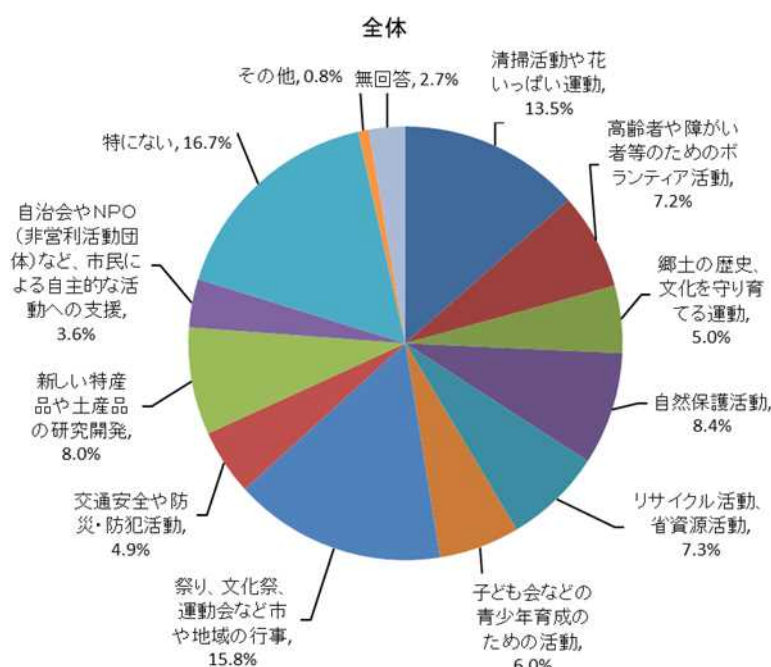
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

（1）市民全体

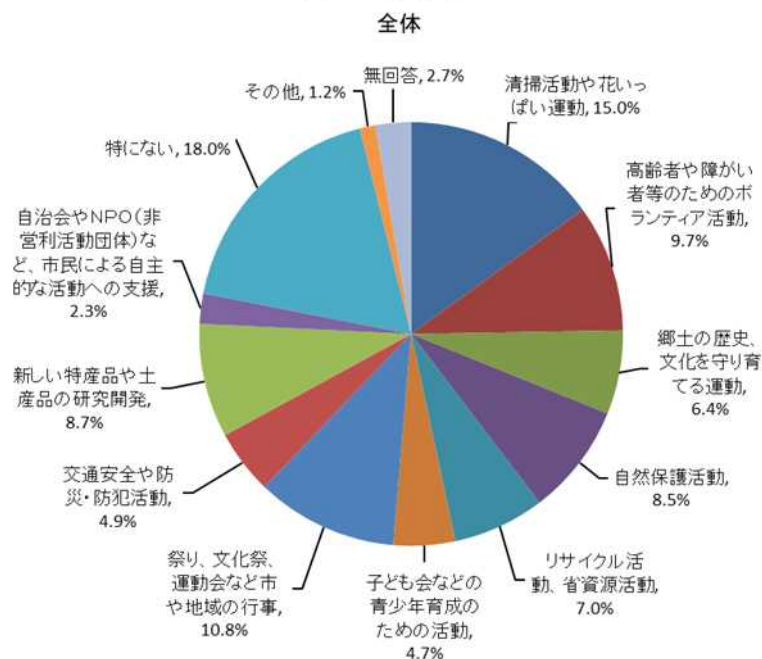
市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果、最も多かった活動は、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」であり、次いで、「清掃活動や花いっぱい運動」、「自然保護活動」、「新しい特産品や土産品の研究開発」、「リサイクル活動、省資源活動」の順となっていた。上位2項目は、順位は異なるものの昨年度調査でも上位にあげられていた。

しかし、「特にない」とする回答割合が16.7%と、昨年度調査の結果同様、最も多い回答割合となっている。

＜令和3年度調査＞



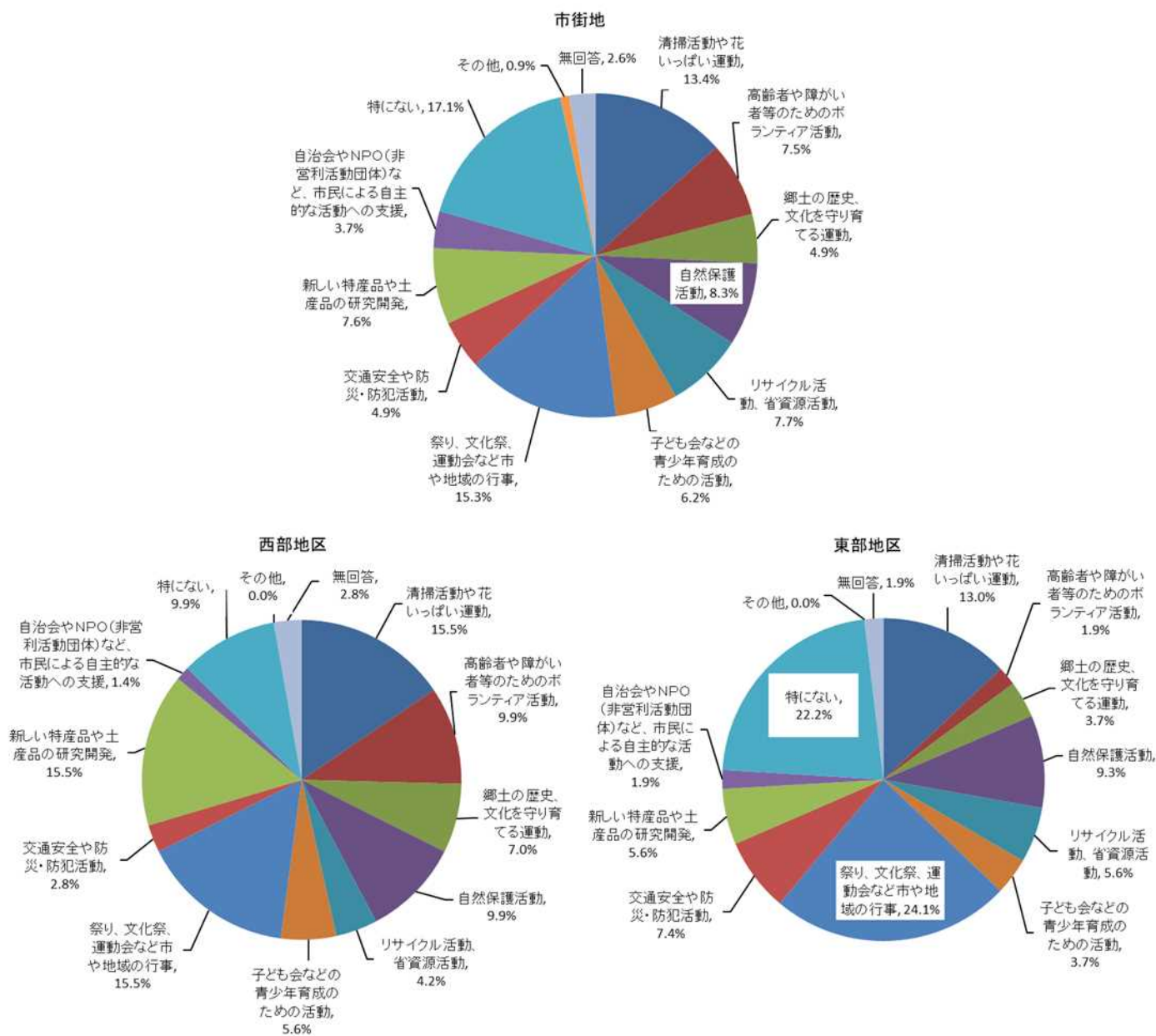
＜令和2年度調査＞



(2) 地区別

参加活動としては、3地区とも「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が最も多く、次いで「清掃活動や花いっぱい運動」への参加希望率が高くなっている。

しかし、昨年度調査の結果と同様、市街地と東部地区では、「特にない」とする回答割合が多い。



3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

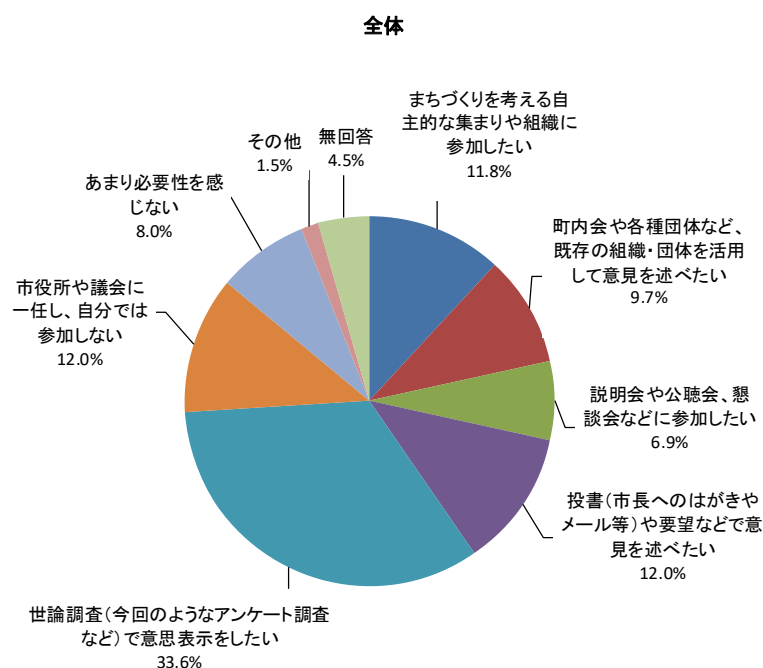
（1）市民全体

まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、今回の調査結果も「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。

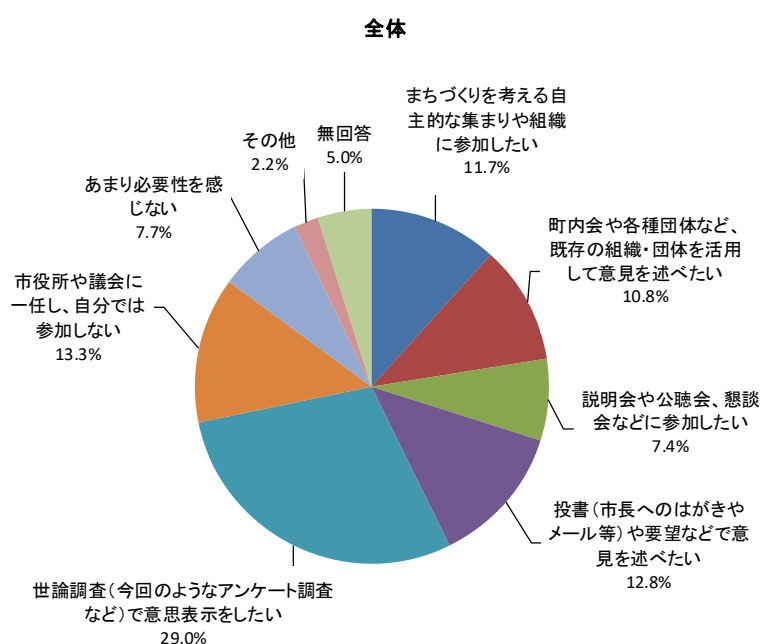
このほか、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」といった要望も比較的多かった。一方、「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」とする回答割合も比較的多かった。

この結果は、これまでの調査の結果はほぼ同じである。

＜令和3年度調査＞



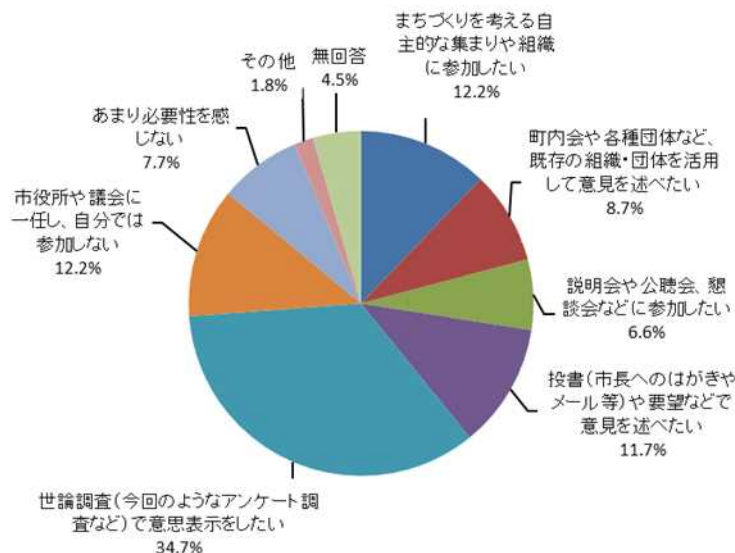
＜令和2年度調査＞



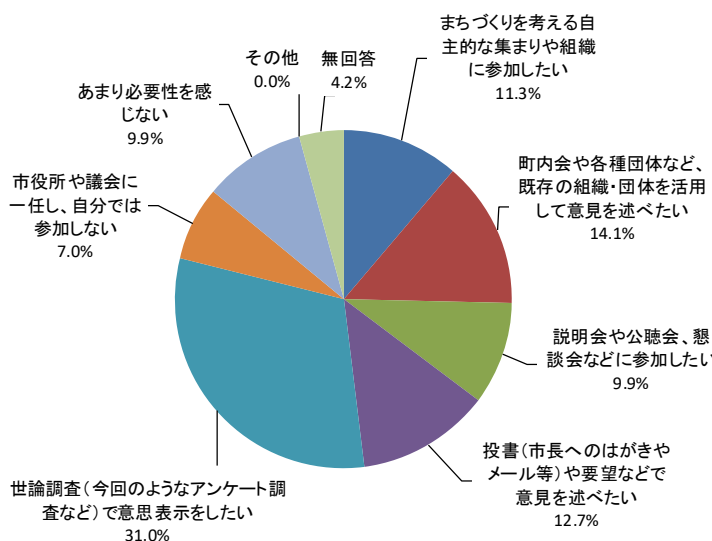
(2) 地区別

地区別にみると、3地区とも、「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」と「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」、西部地区では、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、東部地区では、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」となっている。

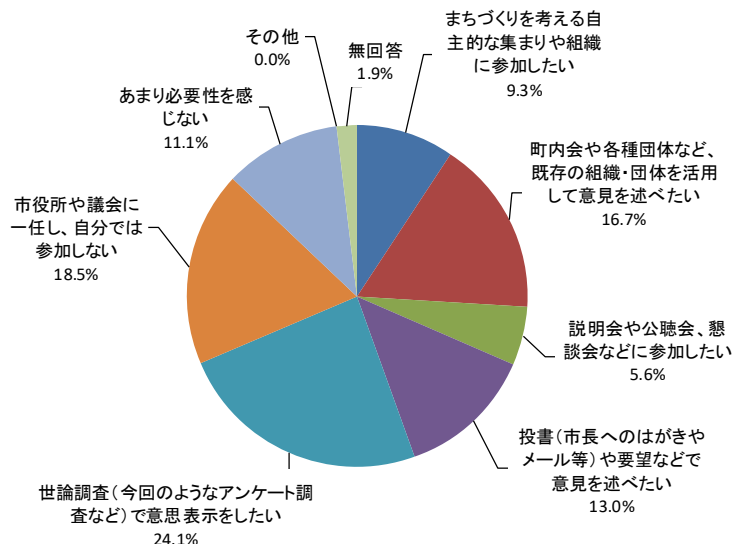
市街地



西部地区



東部地区

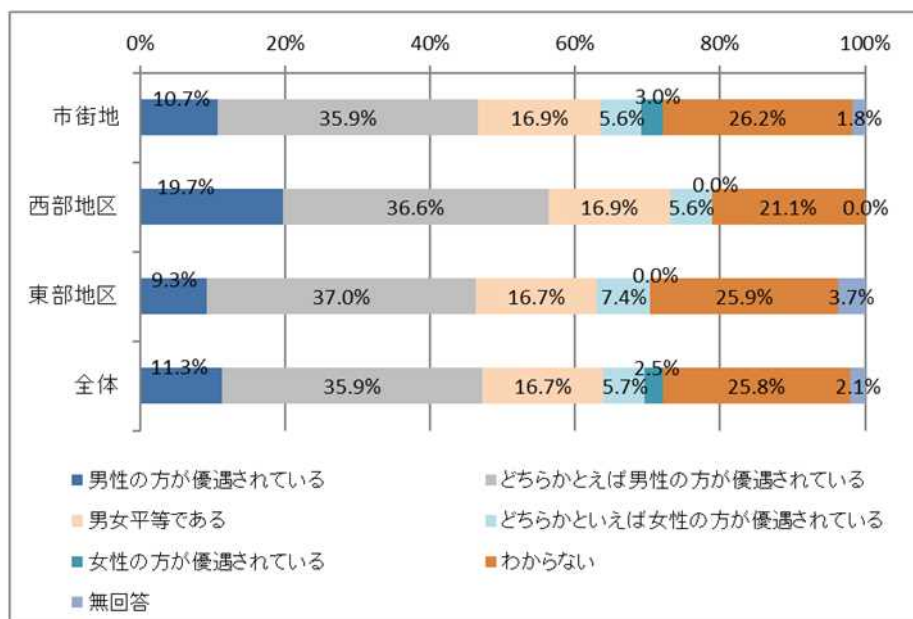


3. 18 男女共同参画について

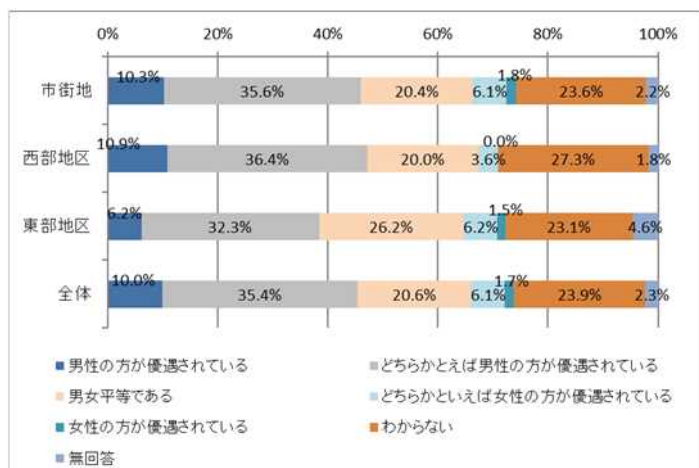
生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 47.2%となっており、「男女平等である」は 16.7%と、男女平等意識が低い状況となっている。

男性のほうが女性よりも優遇されていると考えている傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。
この結果は、令和元年度以降の調査の結果と比較しても大きな変化は見られていない。

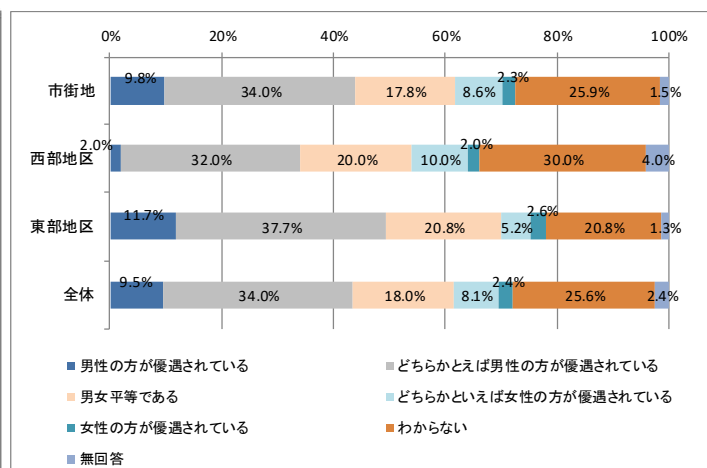
＜令和 3 年度調査＞



＜令和 2 年度調査＞



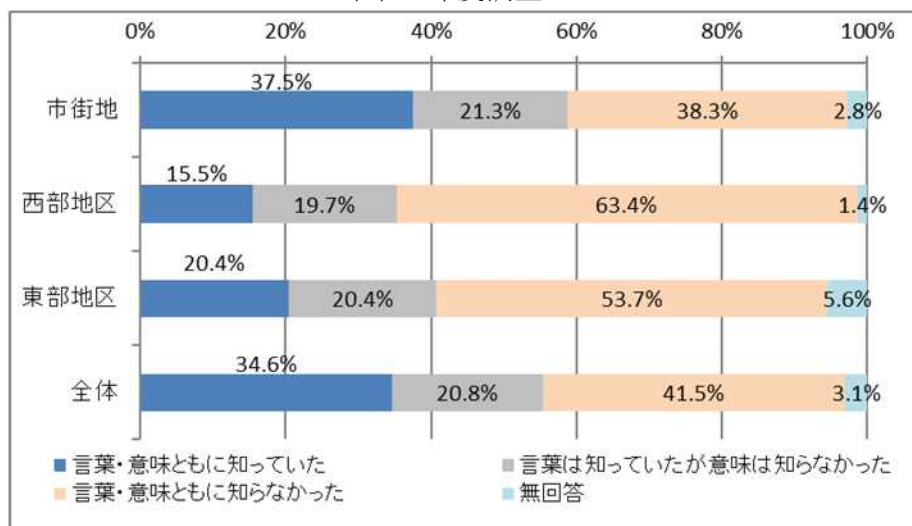
＜令和元年度調査＞



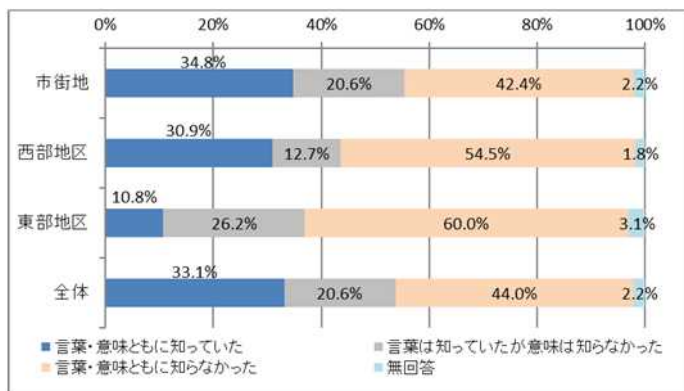
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

市民の「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」が41.5%とやや減少し、「言葉・意味ともに知っていた」とする回答割合もやや増加したが、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を含め、言葉だけでも知っていたとする回答割合は、ここ数年、50%台で推移しており、変化は見られていない。

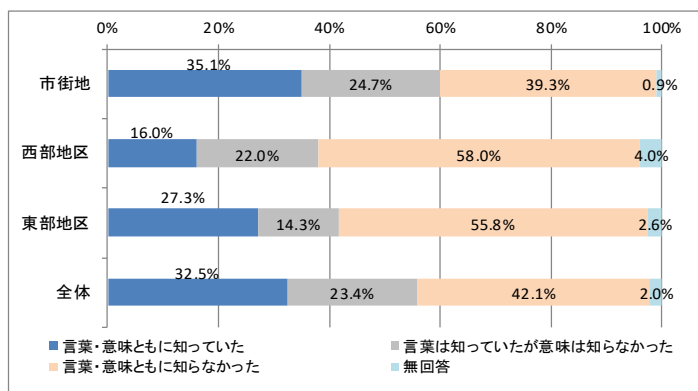
＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはK P Iのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において引き続き設定している。

また、平成30年度調査から市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政に関する周知も兼ねている。今回は4回目の調査となり、各種市政の周知効果の浸透度合いの把握が可能となっている。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から8年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、さらには昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により経済環境も大きく変化しており、市民の不安意識も増長されているなどの状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

- ・本調査の有効回収率は29.0%となっており、昨年度の31.3%を下回ったものの、これまでの調査の中では高い水準であった。
- ・これまでの調査結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向が高いことから、積極的に回答いただいた結果となっている。
- ・今年度の調査も昨年度に続いて若い世代を含めた各年齢層で回答していただいております、幅広い年齢層の市民の市政に対する関心度合が高まっている状況が把握された。

<根室市のイメージについて>

- ・今年は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境がさらに悪化したほか、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているなどの状況を背景に、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されてはいない。
- ・根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「市民として誇りや郷土愛があるまち」や「個性（特色）のあるまち」をあげる住民が多い一方で、「その他」の回答が最も多かった。
- ・この「その他」の具体的記載をみると、「自然が豊か」「漁業のまち」「水産物のブランドが高い」といったプラスイメージも見られたが、多くは「活気がない」「暗いまち」「何もなく不便」「病院が不安」「若い人達が出ていって寂しい」「教育環境が低い」といったマイナスイメージであった。
- ・こうしたイメージに基づく、根室市での居住の満足度についてみると、概ね市民の四分の一程度が満足しており、これまでの調査の中では高い水準であった。

＜定住意識＞

- ・市民の定住意向についてみると、これまでの調査結果と同様に高い定住意向（64.4%）となっていた。
- ・この「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」とする市民は、居住年数も長く、高齢者ほど割合が高い傾向であり、居住年数が短く、若年層では「住みたくない」とする回答割合が高い。
- ・「住みたくない」とする市民のその理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられており、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。このような状況を踏まえると、これらの不満内容に関しては依然として近年の定住意識の促進に向けた重要課題といえる。

＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

（保健医療支援）

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、健康のための運動意識もこれまでの結果とほぼ同様であるが、特に 60 歳以上の住民では意識が高くなっている。
- ・少子化・子育て支援に関しては、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されているが、60%以上の市民は知っているとしており、20 歳代～40 歳代の子育て世代で、70%程度の認知度となっているなど、概ね認知度は定着してきている状況が把握できる。
- ・ただし、医療環境全般でみると、総じて市民の評価は低く、満足あるいはやや満足とする市民は 10%程度で、普通とする回答を含めても 50%程度にとどまる。これは、診療科目の充実のほか、市立病院の産科の初産対応等の要望などから確認できる。

（子育て支援）

- ・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付、第 3 子目以降保育料・給食費無料化のほか、出産祝金支給制度の創設といった経済的支援に関しては高いが、人材育成や施設整備等の事業の認知度はそれほど高くはないという結果となっており、昨年度調査とほぼ同様であることが把握された。
- ・この認知度は、20 歳代～40 歳代の子育て世代で、より高くなっており、周知 P R の成果が伺える。
- ・一方、これまでの調査でも多くの要望があがっていた全天候型の遊戯施設の建設に関しては、60%程度の認知度となっており、関心の高さが把握できる。
- ・今後の子育てに関する支援策については、こうした経済的支援に加え、悪天候や冬期の子どもの遊び場所の整備に対する要望が例年と同様に多くなっている。

（高齢者支援）

- ・高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、例年と同様にいずれも不満とする割合の方が満足の割合よりも高くなっている。昨年度の調査ではやや不満意識が低下していたが、今回の調査では再び増加しており、毎年の増減はあるものの概ね例年どおりの傾向が続いている状況となっているものと考えられる。
- ・市が実施している高齢者支援策のうち、高齢者見守りボランティア事業に関しては市民や高齢者の認知度が比較的高く、緊急通報サービス事業や人材育成事業に関しては認知度が低いという結果は、昨年度までの調査の結果とほぼ同様であった。

- ・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実、介護付き高齢者専用住宅の充実を望む意見が多かった

＜交通・生活環境・防災・減災＞

（交通）

- ・市民の交通インフラに対する満足度は、決して高くはないが、道路交通に関しては80%近く、公共交通機関に関しては60%近くが「普通」以上の満足度であることが把握され、昨年度の結果よりもやや低下している。
- ・交通に関する施策に関しては、JR 花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、JR 花咲線の維持確保対策に対する認知度が比較的高いものの、認知度は年々低下傾向にある。
- ・交通施策に対する要望としては、昨年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多く、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路」の整備に対する要望も引き続き高まっている。

（生活環境・防災・減災）

- ・生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、年々向上している傾向は昨年度と同様である。
- ・しかし、買い物の利便性に関しては不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っているとともに、満足とする回答割合は昨年度調査からもさらに低下している。
- ・今後の生活環境に関して要望が多かった施策は、ほぼ昨年度までの調査の結果と同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高くなっている。
- ・また、防災・減災に関しても昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果であり、「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

＜教育・スポーツ・文化＞

（教育）

- ・市が実施している学校教育、社会教育、スポーツ・文化などの振興に向けた施策に関する認知度は高くはないものの、子育て世代の年代の方の認知度も含め、昨年度調査時よりもさらに向上してきている。
- ・教育施設や教育環境に対する満足度を見ても、例年と同様に不満とする住民の割合が多いものの、「満足」とする回答割合は、明らかに高くなっている。
- ・学校教育に関して今後に望む施策は、昨年度までの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位にあげられている。
- ・社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果と同様の結果となっている。

（スポーツ・文化）

- ・スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、不満とする住民の割合の方が高いものの、昨年度の結果とほぼ同様の結果である。

- ・スポーツ・文化に関して望む施策は、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演等の開催」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果である。

<産業>

- ・近年の根室市の産業経済は、さんま、さけの不漁が続くなど、依然として厳しい状況下にある。こうした経済状況下において根室市で実施している産業振興に関する施策の認知度をみると、総じて生活環境や教育などの他の施策よりも高くなっており、「漁業の振興」に関する施策の認知度は、特に高くなっている。
- ・今後に望む産業施策としては「水産業基盤及び生産体制の整備」、「魅力ある商店街づくり」、「後継者の育成・確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「企業誘致による雇用の場の確保」が上位にあげられている。
- ・特に、「魅力ある商店街づくり」をあげる市民の割合がこれまで以上に多くなっており、市街地の活性化、買い物環境の改善に対する市民ニーズの大きさが把握できる。

<行政情報・市民協働・市民参画>

- ・市で実施している行政情報に関する施策の認知度は、行政情報のメール配信サービスに関しては、昨年度とほぼ同水準の30%程度の認知度に留まっている。
- ・このほか、市ではSNSを活用した情報提供サービスも実施しており、市民の認知度は、メール配信よりも高くなっているものの、60歳以上の市民の認知度が低いことから、特に、高齢者への普及促進が課題といえる。
- ・今後に望む行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、昨年度までの調査結果と同様である。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を問うた設問に関しては、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「清掃活動や花いっぱい運動」が上位であるが、「特になし」との回答も昨年度調査までの結果と同様に多くなっている。
- ・まちづくりへの参加方法に関しては、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が多くあげられており、例年の調査結果とほぼ同様となっている。
- ・男女平等意識は16,7%と例年よりもやや低い水準となっている。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施し傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

本モニタリング調査は、平成28年度調査を第1回目調査として実施し、今年度で6年目調査となることから、今年度調査の結果からは、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度、及び5年目調査である令和2年度調査との比較を行う。

なお、令和3年に「第2期根室市創生総合戦略」が策定されているが、これに基づく各種事業の成果目標に対する評価は令和4年度調査で実施するが、ここでは、参考として「第2期根室市創生総合戦略」についても付記する。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

【令和3年度調査において上昇が確認された指標】

- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）
- ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
- ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合
- ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合
- ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合

- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況、病院などの医療機関の状況、子育ての環境や支援などへの評価が高くなっている。
- ・病院などの医療機関への状況に関しての満足度は、例年、不満とする住民の割合が高く、今年度調査も不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っているものの、計画策定時における満足とする住民割合を若干上回っている。

- ・「おおむね満足している」場合は、「普通」の回答も含めることになるが、平成 30 年度の調査以降、満足度意識の設問で普通との回答割合が多くなっている。

＜減少指標＞

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

【今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標】

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合
- ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合

- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、概ね、健康状態、趣味や生きがい、高齢者福祉、公共交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも不満足意識が確認されていることから、より一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・今回の調査結果の特徴は、高齢者に関する指標や施策に対する満足度評価が例年と同様に低下していることに加え、交通や買い物環境に対する評価も特に低下したことである。
- ・ただし、計画策定時の指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることに留意する必要がある。

＜令和 2 年度調査との比較＞

- ・昨年度の調査と比較すると低下した指標と向上した指標がほぼ同数となっているが、1 年前との比較では、明確な傾向は把握できないことから、今後の傾向に留意したい。
- ・現行の第 9 期根室市総合計画策定は目標年次を 2025 年（令和 7 年）とする平成 27 年（2015 年）から令和 6 年（2024 年）までの 10 年間の計画である。令和 2 年度調査においては中間の 5 年目調査であったことから、計画策定時からの指標の変化状況を整理し、今年度調査からは後半 5 年間の指標変化を整理・評価していく。

令和 2 年度調査（5 年目調査）結果との比較

	指 標
令和 2 年度調査結果 より上昇した指標	・健康状態が良好と感じている市民の割合 ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合 ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合 ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上） ・健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上） ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合 ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合 ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合 ・週 1 回以上スポーツ（運動）をする市民の割合 ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合
令和 2 年度調査結果 より低下した指標	・健康管理に努めている市民の割合 ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合 ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上） ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上） ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合 ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合 ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合 ・郊外の森林景観について満足している市民の割合 ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合 ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくはK P I		総合 計画	総合 戦略	目標値 (R2)	計画策定時の値		H28 調査	増 減	R02 調査	増 減	R03 調査	増 減	R02 からの 増減
					調査年	値							
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	38.0%	▼	38.7%	▼	△
2	健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	72.4%	△	70.4%	△	▼
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	10.6%	△	12.0%	△	△
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注 2)	▼	10.0% (注 2)	△	11.4% (注 2)	△	△
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	10.3%	△	8.1%	△	▼
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	56.9%	▼	58.7%	▼	△
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	48.2%	▼	43.3%	▼	▼
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）	○		30.0%	H23	21.9%	8.0% (注 3)	▼	9.5% (注 3)	▼	7.2% (注 3)	▼	▼
9	健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上）	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	82.4%	△	83.1%	△	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	88.2%	△	88.3%	△	△
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	85.7%	△	84.9%	△	▽
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	20.6%	△	21.5%	△	△
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	27.5%	▼	36.0%	▽	△
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	6.3%	▼	4.7%	▼	▼
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	76.7%	△	71.2%	△	▼
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	71.0%	△	71.7%	△	△
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	63.4%	△	60.0%	△	▼
18	週 1 回以上スポーツ（運動）をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	51.7%	△	53.2%	△	△
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	23.3%	▼	22.7%	▼	▽
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	18.9%	▼	15.9%	▼	▼
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	22.9%	△	18.7%	▼	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	71.7%	▼	74.0%	▼	△

注 1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は 1 ポイント以上減少を示す。

注 2：分母を 20 歳代～40 歳代の子育て世代の回答。（参考：市民全体では H28：5.2%、R02：9.0%、R03：9.2%）。

注 3：現状値は 65 歳以上 6,578 名の回答に対し、H28 調査は 275 名、R02 調査は 357 名、R03 調査は 291 名。

注 4：網掛けは目標値を達成していることを示す。

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略及び令和 3 年に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

第 2 期根室市創生総合戦略では、第 1 期総合戦略の総括及び今後の社会経済の潮流を踏まえ、人口減少問題や雇用情勢の変化、新型コロナウイルス感染症による地域社会の変容、医療、福祉、教育など社会全体への未来技術の活用に向けたデジタル・トランスフォーメーションの推進、技術革新（Society5.0 の実現に向けた技術活用）や持続可能な開発目標 SDGs、今後の段階的回復に向けたインバウンド対策などの新たな視点に着目した施策が立案されている。

6. 1 第 1 期総合戦略の基本目標別施策実施効果に評価検討

第 2 期根室市創生総合戦略は令和 3 年 6 月に策定されたことから、令和 3 年 7 月に実施した市民意識調査においては、その成果に対する評価ができないことから、この結果及び昨年度までの調査結果を踏まえ、市民意識の観点から第 1 期根室市創生総合戦略の施策実施効果についての評価検討を行う。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し市民意識を整理した。

第 1 期根室市創生総合戦略においては、「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性をはじめ、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、移住者の受入など新しい人の流れを創造することを目標として、以下 3 つの基本目標が設定されていた。

- (1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- (2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。
- (3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

- (1) 基本目標 1 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担の軽減
- c) 保育施設の整備と多様な保育サービスの充実
- d) 家庭と仕事の両立を図り子育てに取り組む環境づくりの推進

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までに実施された計画策定時の市民意識調査の結果と比較してみると、平成 30 年度以降は、不満と感じている市民の割合は年によって増減があるものの、給食費の無償化等の経済対策等の施策実施により減少傾向にあり、満足と感じている市民の割合は増加にあることが伺える。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

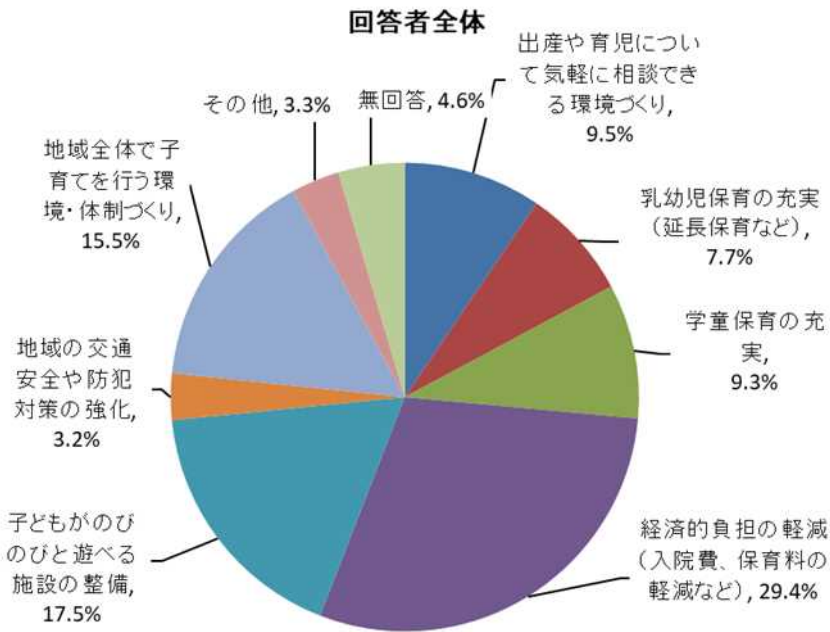
項目	満足								不満足							
	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	8.1%	10.3%	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	26.3%	17.5%	25.8%	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	▼
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	9.2%	9.0%	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%	—	—	26.9%	20.0%	28.1%	31.1%	42.1%	41.6%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	10.9%	6.8%	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△	23.2%	21.9%	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼

注：※は平成28年度調査から追加した項目
 ：増減は、計画策定時に対する増減を示す
 ：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

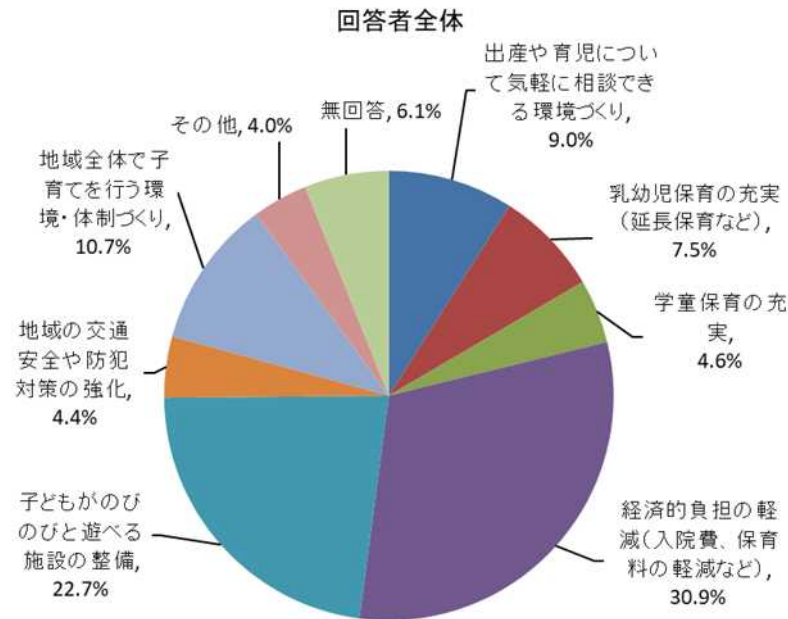
2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、大きくは「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が多い状況は、昨年度までの調査結果と同様であった。今回は、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」との回答割合も高くなっている。

<令和3年度調査の結果>



<令和2年度調査の結果>



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、託児機能に関すること、子どもの通園、通学環境に関すること、子どもの学力に関することについての意見は、これまでの調査と同様に比較的多かったが、今回特に多く寄せられた意見は、給食費の無償化、ひとり親家庭への支援に対する意見である。

こうした経済的支援に対する市民の要望も高く、それを評価する意見も多いが、その一方で給食無償化に関しては、給食内容の充実を望む意見が、ひとり親家庭への支援を含む経済的支援に関しては、不公平さを指摘する意見も散見されている。

今年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症による経済的影響が大きいという状況化であることも経済支援に対する意見の一因とも考えられるが、本制度の趣旨等の周知が重要と考えられる。

<子育て・少子化対策に関する意見>

年齢	問 22 意見・提案
40	・放課後教室の土曜及び、春夏秋冬休み、8:30~の開設時間は遅いと思う。仕事が早く 8:00 から始まるので、せめて 7:45~保育所と同じ開設時間にしたい。終わる時間も 17:20 早すぎる。せめて 18:00 から 18:30 だと仕事にも影響でないのですが、よその都市では当たり前の時間で開設しているのに、根室はいろいろと本当に遅れている。17:20 過ぎると連絡しても、あまりいい返答もらえず利用する側はいつも肩身が狭い思いです。 ・少年団もよその学校へ行かなくてはならず、区域外へ行けず、他の友達に乗り合わせと思うが毎度お願いするのも辛い。バスなど交通便も悪く部活させられない。スクールバスの部活できる体制を作してほしい。
40	・このアンケートで何か変化があれば良いと思っています。 ・子育てしたくても子供がいない、出来ないのでは子育て対策も淋しいことになってしまうので、男女とも妊活できるようにしてほしい。 ・若い人達も住みやすい街を作してほしいです。高齢者も重要ですが、それを支える人がいなければ成り立たないです。土地や住宅の援助等々。イベントの告知を市民が知らないことが多いです。寂しいです。一部の方だけが参加しているように思います
30	給食を何とかしてほしいです。他町に比べ値段が高いのに内容がおかしいです。メニューの組み合わせ、野菜が少ないように感じます。給食費（教員）の値上げについても十分な説明等がなく、非常に疑問を感じます。ここ 2～3 年で月千円程度の値上げに納得している教員はいるのでしょうか。
40	転勤で根室に来ました。子供の習い事について調べましたが、インターネットでは情報を得ることが出来ませんでした。情報源はインターネットか市の広報誌です。住む前に情報を得る方法はインターネットしかありません。習い事

年齢	問 22 意見・提案
	に限らずネットを通じて根室の情報を色々知る事が出来たら、根室の魅力をたくさんの人の知ってもらえると思います。
18・19	給食が無償化になって、1食分の金額が増えたようだが、手抜き料理のようでは食べ物が増え、偏り（炭水化物に炭水化物）が多く感じる。質も量も落ちたという人が多い。
30	産後の保育所利用ができないことや、0～1歳児の一時保育ができないことへの対策が何かあればよいと思います。（ファミリーサポートセンターの活用など）
20	・給食が少ないのでもう少しおかずを増やしてほしい（中学生） ・給食費の無償化はすごく助かるが、半分でも支払いをして給食を増やしたら良いのではと思う。
30	大きな公園など、子供が楽しめる施設がもっとあれば良いと思います。
50	・周囲の話を聞くと、子育てをしづらい地と言われています。なので、子供は根室の学校には通わせたくないとも聞きます。「ネウボラ」を目指し、根室で育つ子どもを豊かに成長させる事はできないでしょうか。 ・早期の発達支援をするために支援センターの設立、専門の心理士さんの配置、保育士さん、保健師さんの専門性の強化。基盤からの取り組みが大切だと思います。
40	子育て世代への支援が増えて大変ありがたいです。このような支援がいつまでも続けばいいのですが、市の財政は大丈夫なのか？とも思います。
20	子どもが安心してあそべるような所が少ないと思うのでもう少し増やして欲しいです。
20	・LGBT等のマイノリティな人が住みやすい環境にして欲しい。 ・いじめ等により学校に通えなくなってしまう子へのカウンセリングやフリースクールが有るなどもっと広く知られて欲しい。親への理解ももっと深まって欲しい。
40	今はコロナでみんな仕事がない、時間がみじかく収入が減っている中、母子(ひとり親)だけが給付金を受け取れるのはちょっとと思う。 収入が減っているのは母子だけではない。2人親でも単身でも同じだと思う。
40	・このようなアンケートがあるのは良いと思いますが、複数回答可だとさらに良かったと思います。1つだけだと十分に意見が反映されない気がします。あと、それぞれにコメントできる記述欄があると具体的に書けるのではと思いました。 <意見>せっかくの機会なので、日頃感じていることを色々書きます。 小学校の教員です。 根室の学校に来て5年目になりますが、市の教育委員会の関わりが少ないと感じます。アンケート内にも書きましたが、委員会とのつながりが少なく最近では通級指導教室の開設や給食費の値上げ(教職員)なども事後報告で少しさみしいなと思いました。その政策自体は良いと思うのですが、事前に報告や連絡があるとうれしいです。根室は転勤してくる人も多いので、そのような人と共に市政を行っていくという気持ちが欲しいです。
20	現在、コロナ感染防止対策で市長をはじめ市の皆さんにはとても感謝していますが、転勤族の方や専業主婦の子育て中のママからすると、遊ぶ場所もなく、とても生きにくい思いをしています。 特に子どもと2人きりで1日を過ごしている母親たちは支援センターの利用が唯一の心の寄り所となっているので、少人数の利用でも、予約制でも良いので、支援センターを開けるかそういった家庭に保育士さんが定期的に訪問するなどして、お母さんの心の回復に寄り添ってほしいです。 また、飲食業のみなさんも大変な思いをしていると思いますが、子どもと母親が2人で気軽に入って利用できるお店を増やしてほしいです。私の周りにいる1～3才のママさん達は辛い思いをしています。助けてあげてください。
40	母子、父子家庭にもっと充実した対応をして欲しい。
30	子どもの学力向上。道内最下位レベル
30	子どもの遊び場がほしい。公園の遊具をもっと充実させてほしい。
30	・0～3才未満児の保育所無料化にしてほしい。 ・大学等がない為、根室に帰ってくる思いがある方には生活費や通学にかかる費用を補助してもいいと思う。(保育や医療等に限らず)他の市や県には大学や専門学校もあり、学費のみだが、根室市だと生活費等をもかかる為)最近子どもが進学につれ、親も一緒に引っ越す人が多いため。
18	教育関係で、もっとICTを授業に導入してほしい。根室高校で一人一台パソコンが配布されましたが、教員が使いこなしておらず、ICTへの偏見が強く、授業でほぼ使っていないのが現実です。
30	・学校のアンケート、職場アンケートを増やす。ひとり親だけでなく、子育てをしている親への負担を減らしてほしい。現在、コロナが増えているにもかかわらず、根室外に出かけている人が多く見えます。呼びかけをお願いします。子供を守りたいです。 ・公園のブランコがねじれてて(光和)直したときにけがをしました。見回りしてください。中学生の遊びが危険で、小さな子供が遊べない。ゴミは捨てていく。
40	・ひとり親に対する助成があるのは良い事だが、一般家庭でも子供が1人でも大変な家庭がある。少し不公平を感じる。 ・学校の給食がひどい。以前は花咲小からだったが今は北斗から来ている。量、味、どちらもひどいと子供が言っている
30	北海道出身ではないので、冬に子供と何をして過ごせばいいのか分からず、引きこもりがちにかなりストレスがたまりました。車が無くても子供と一緒に遊べるような場や交通が整っていると助かると思いました。

年齢	問 22 意見・提案
	子育て支援として遊ぶ場もありますが時間や日数が少なく、いつでも利用できる施設があるといいと思います。なかなか利用できていません。
20	・子育て世帯ですが、天候の悪い日があっても屋内で遊べる施設(屋内にアスレチック等の遊具がある)がないので、子どものストレス発散させるのが、難しくなる時があります。子どもの同じ年代の親御さんとの交流もないので、そのような施設があることで、きっかけができればと思います。 ・子どもの生活用品(衣類など)が市内で買いたいと思っても中標津、釧路まで行かなければいけなかったり、ネットで買ったりするので、街でお金を回すためにも、お店を増やしてほしいです。食材以外の買い物は、他の住民の方も市外でしている方が多いです。 ・根室は、北海道の端のまちなので、他の地域の方がもっと来たくくなるような、住みたくくなるような魅力のあるまちづくりを期待します。(他の地域にはないけど根室にはあるなど)
50	保育士・介護士の待遇面の向上(休日・給与)
30	・若者が市外に流出していて人口も減っているが、初産の分娩ができなかったり、医療にも不安があると安心して住むことができない。根室市ににぎわい活気のある街であるためには、若者の意見をどんどん取り込める場を増やしてほしい。 ・子どもたちを育てる環境(学校・学童など)は手厚い政策もたくさんあると思うが、そこで働く人は守られていない気がする。働く人も守ってこそ、子供にもあたたかい環境になると思う。
30	・ふるさと納税から、給食費が無料になった事は、とてもありがたいですが、コロナ対応でもそうだが、ひとり親家庭に優遇されすぎだと思う。普段から、ひとり親家庭は色々な支援があるのに、子供1人につき5万支給等、2人親家庭は納得している人は少ないと思う。2人親でも子供が多ければ多いほど、マスク、消毒、ハンドソープ等買わなければならないものが多い。収入は減ってなくても、感染しないようにさせないようにと消耗品購入の為に支出はかなり増えている。そういった事もふまえ、子供に対しての給付ならば一律にすべきだと思う。 ・出産祝金制度もとてもありがたいと思う。他の地域では第3子以降に2、30万支給とかもあるので、そちらも検討してみてください。 ・もう少し、ベビー用品売り場等充実させて欲しいです。わざわざ、釧路や中標津に行くのは、大変すぎる。大きな物はネットで購入しても送料がかかりすぎます。(ベビーカー/チャイルドシート等)
30	子どもの室内の遊ぶ場所がないのと、ゲームセンターとか時間をつぶせる施設がない。買い物も行くのにも、中標津にわざわざ行かないといけなし。何もかもが住みにくい街です。どうかしてください。
40	今回、回答するにあたりありがたく思っています。私の子は障がい児でございます。今、年長児で来年4月より小学校へ入学いたします。私自身はサービス業ではありますがフルタイムで働いており、ひとり親です。保育所は5時以降の保育もあり安心して預けて働ける環境がありますが、小学校へ入学後は学童に入るのが流れですが、傷がいのある子供達を預かって預ける施設が少なすぎるという事です。学童では預ける事が難しいですと言われてしまうと仕事を短くするなり、転職したりと生活の質も下がりますし、親や子にメリットも無く不安・不満だけが出てくると思います。昔みたいにおじいちゃんおばあちゃんに預けるのも今は年寄りも仕事しているので厳しい問題です。根室市は障がい者福祉にあまり目を向けてないし現実的に施設が足りてません。運営を考えてる人がいたりしましたら市からの協力する等施設の拡充をお願いしたいです。
30	友知方面子ども達があそべる公園を作ってほしいです。市内にはたくさん公園がありますが、こっちは何もありません。市内では子どもの遊べる施設が建設されるそうですが、屋内で遊べるとこも必要だと思いますが、友知方面に住んでるとなかなか行けないし、それよりも天気の良い日に子どもたちが元気に外で遊べるように公園など作ってほしいです。根室市は不自由なところが多すぎるので。より住みよいまち作りを謳うのであれば小さなところから目を向けてほしいです。
40	こどもの医療を無料にしてほしい
20	昨年、第一子を出産しましたが中標津病院だったため通院が大変でした。第一子も根室で出産できるようになると妊婦さんの負担が少ないと思います。交通費(3万円)を支給してくれるのは嬉しかったです。
40	・保育所の給食が無償なのはとてもありがたいです。 ・去年の5月頃にひとり親に市が手当を出してくれたのすごく助かりました。よその町に自慢できる取り組みだと思うので、これからも続けられるように頑張ってください。
75	高齢者支援についてはいろいろ政策的に行っていますが、これからの事を考えると、少子化に歯止めを考えないと人口減少が続いていくと思います。少子化対策として色々やっていますが、新生児給付だけでなく、第2子、第3子にも給付を広げたらと思います。
30	厚床にも子どもが遊べる場(保育所の開放や公園)がほしいです。
30	小さな子どもがいるとどうしても子どもの遊び場所に困ります。冬は中標津まで行くことが多いです(道立ゆめの森公園)。身近に子どもが思いっきり遊べる所があるといいと思います。
65-74	障がい者に対し、A型、B型の就労場所が開かれていないのではないかと。高齢の親と(精神)障がいを持った親子が支えあっている家庭が取り残されている気がする。親は自分の体力に限界を感じながら将来を案じている現状です。
40	学校施設について。少子化による影響があり、郡部の小中学校は統合等が進められ、校舎も改築されております。しかし市街地にある小中学校は昭和40年代に建設された学校ばかりで、とても教育施設としての環境が良いと言い切れません。他にも給食センターや放課後教室等、関連性の高い施設との全体的な建設、整備計画をしっかりと市民にもわかるように見せていただきたい。

年齢	問 22 意見・提案
30	つどいの広場クルクルの予約制をやめてほしい。コロナ禍なのは理解できるが、予約制にすることで予約しているから行かなければならないという心理が働くのは明らかで、本来その日の子どもの機嫌・体調・天候等によって利用する場でなくてはならないと思う。予約制をやめたからと言って一日に 20 組以上利用するとは考え難い。市側に合わせなければならないとしたらそれはもう子育て支援事業にはなっていない。ただでさえ、クルクルが利用しづらくなった中で、ピヨピヨルーム・ふれあいルームを同施設で行うのは理解しがたい。早急にふれあい等ルームの場所を確保変更して頂きたい。子供にはクルクルがっている子もいればルームがっている子もいる。同じ場所でも微妙にルールが違い子供が混乱するので別の場所にして欲しい。
50	学校教育について：各市内の小学校でも同じ内容でないものも多くあり不思議に思います。教育委員会が各小学校に任せているのかもしれませんが、運動会などもそうですが、市内の小学校で集まって話し合ったりしているのでしょうか、父母としては不公平なく行ってほしいです。
50	・災害が起きた時の避難所の確保や津波に対する防災対策をもっと進めてほしいです。障がいのある息子や高齢の両親がいるので災害に強い根室になって頂きたい。 ・母子家庭に甘すぎると思います。母子じゃなくても生活困難な家庭もあるのに、母子家庭という理由で私達より良い暮らししている様に見られます。
20	まちづくりにおいて、重要なのは人、すなわち子供であり、核家族化が進む中男性側の育休確保、定時での帰宅や休日の確保がなされていない事を多く聞く。夫婦が協力して子育てを行えるまちづくりとして、調査や対応して頂きたい。
40	学校給食、無償化について。児童がいない市民にとって何のありがたみもない。同じ根室市民なのに何の得もない、無償化になって喜んでいるのは子育て中の家庭だけ。子育てが終わっている家庭や子供のいない家庭の人達は何か得してますか。経済的に楽になったのが子育て中の家庭だけとはどうなのか。
30	4月に転入してきました。根室市は学力が低いと聞いてきましたがやはり低くて、心配になりました。転勤が多い仕事に就いています。子供と一緒に引っ越してみたい街なるといいと思います。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月に市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して 1.7 ポイント増加し、昨年度までの調査結果よりも大きく増加している。

加えて、不満とする市民の割合も昨年度までの結果よりも低下しており、不満意識はさらに緩和している結果となっている。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足								不満足							
	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	12.0%	10.6%	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	△	47.9%	47.6%	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2)医療環境についての自由意見

今回の調査の結果、市民の医療体制に対する満足度の向上、不満意識の低下がみられてはいるものの、一方で医療環境に対する不満意識が市民の居住満足度を低下させている最も大きい要因ともなっている。

今回調査における医療環境に対する自由意見をみると、新型コロナウイルス感染予防対策としてのワクチン接種に対する意見もみられるほか、従前からの市立病院の診療科目をはじめとする不満意識や、医療機関の数に対する不満が多い状況が続いている。特に、診療科目に関しては産科の初産への対応を望む意見がみられている。

<周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見>

年齢	問 22 意見・提案
50	・市内の病院が足りないので、病院を増やしてほしい。できれば内科でも色々な専門の科があるのでその科を毎日診察してもらえるようにしてほしい。
75	この度のワクチン接種の申し込み時の混乱に見られる様に高齢者に適さない方法など、高齢者の意見をくみ取って実施すべきと思う。つまりその年代の人の意見をもって何事も行おうべきだと思います。机上のみの考えでは駄目だと思います。
65-74	・ふるさと納税に依存している市の財政状況は将来的に不安です。 ・市立病院への 10 数億もの財政支出は、中標津町の現況を報道で知る限り、明日の根室の姿だと思う。この問題の解決無くして明日の根室は存在しません。

年齢	問 22 意見・提案
40	個人病院（耳鼻科、産婦人科、皮膚科等）をもっと増やしてほしい。市立病院へ行くのが大変だから。
65・74	市立病院の玄関から受付までの距離が長く足の悪い高齢者など困っている。
75	市立病院の医師・看護師の充実をしてほしい。
75	市立病院の脳外科がいつも患者さん多勢で 10 時に入っても夕方 5 時に終わる事もあります。その間、水を買ったり、トイレにも行けません。その間に呼ばれたら困るからです。そのうち血圧が高くなり具合悪くなります。どうか脳外科、月水曜日だけでなくもう 1 回何曜日も増やしてほしいです。どうぞよろしくお願い致します。
60・64	（根室市立病院について） ・分娩体制ですが、やはり初産の分娩の再開を望みます。又医師の(各科の)充実を計り病院での待ち時間が少なくなる様になると良いと思います。
30	限られた財源と思いますが、次世代を担う若者がこの街に住み続けたいと思える環境づくり、また住み続け標準的な生活を送れる環境づくりが今の課題かと思っています。その為には現状に甘えずより先を見越した整備にもっと力を入れるべきだと思います。（根室市の特色を生かした施設作りや観光地作りなど）また、ある意味孤立した地域であるので、医療技術の向上はさらに力を入れ充実させてほしいと思います（高齢者に限らず、根室市民、さらには市を守るために絶対に必要です）
50	数十年前からの市民認知の事と思いますが、市立根室病院の評判の悪さで最低でも片道 4 時間かかる釧路へ余裕のある方は札幌へと通っている現状です。病院難民の方は、退職定年後、子供のいる札幌への移住を決意する人も少なくありません。年配になればなるほど、健康に敏感で、ここ生まれ育った根室については不安でいっぱいなのが一番の理由かと思っています。
75	市民病院の医者の充実 釧路まで行かないよう技術の高度化
20	昨年、第一子を出産しましたが中標津病院だったため通院が大変でした。第一子も根室で出産できるようになると妊婦さんの負担が少ないと思います。交通費（3 万円）を支給してくれるのは嬉しかったです。
18・19	病院が少し足りないと感じた。
50	医療についても、他市への病院通いは大変なので市立病院でも大丈夫ようになってほしいです。
65・74	根室市立病院を中心に、福祉関係のネットワークを充実させてほしい。私の環境では訪問リハビリがあるといいと思っている。要介護高い方のために院内だけではなく、退院後のケアが大切である。特に脳に疾患の場合、理学、作業、言語聴覚士を揃えて訪問リハビリを考えてほしい。施設入所の方はケアされていると思うが、在宅介護には必要な事得ある。
20	医療関係をもう少し安心できるようにしてほしい。何かあればどうしても釧路に頼ってしまう所があります。根室に安心して住み続けたいのでお願いします。高齢者、乳幼児がいれば特に思います。 病院は新しくとても良いですが、中身がしっかりしていなければ何の意味もないと思います。

(2) 基本目標2 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け以下の経済・雇用対策が推進されている。

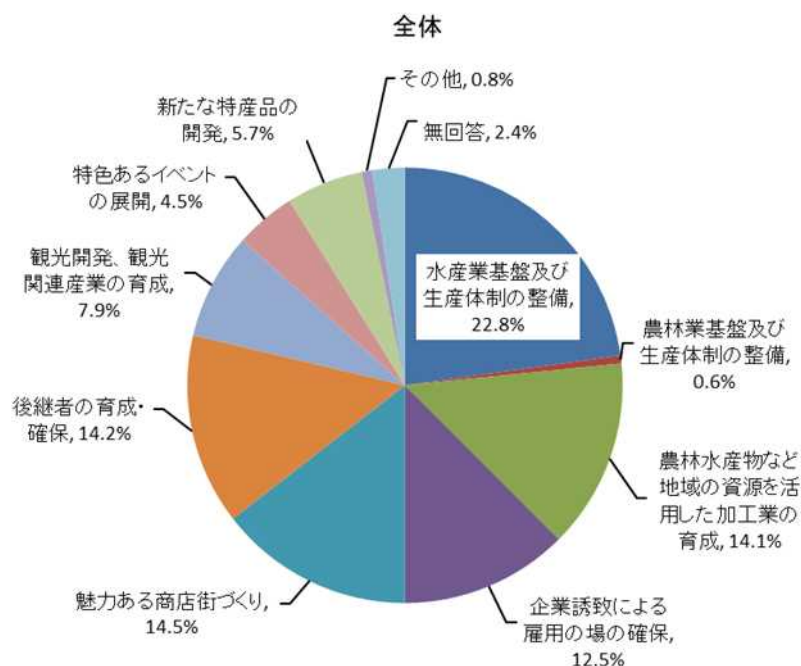
- a)労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- b)U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- c)商工業後継者の不足に伴う事業継承のための支援等の充実
- d)農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- e)産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1)産業振興について重要だと思う施策

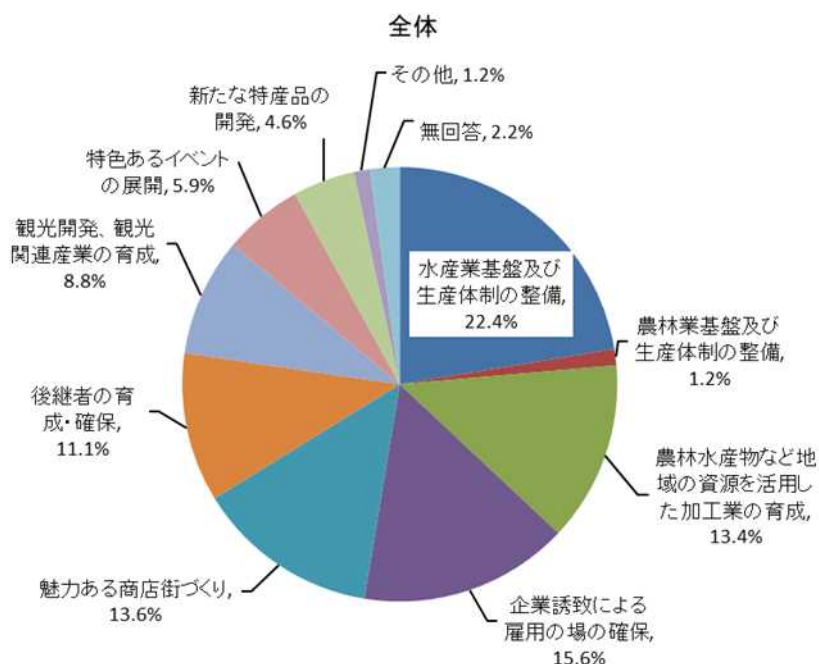
根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は昨年度調査の結果と同様であった。また、これに次ぐ施策には「魅力ある商店街づくり」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「後継者の育成・確保」があげられており、昨年度調査では比較的回答割合が高かった「企業誘致による雇用の場の確保」は、やや低下している。

平成28年のロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止、近年のサンマ、秋サケ漁の近年の不漁などの影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響などの要因も加わり、根室の基幹産業に対する不安感が増している状況が、さらに強くなっている状況がうかがえる。

<令和3年度調査の結果>



＜令和２年度調査の結果＞



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、漁業や農業の今後を懸念する意見が多くあがっていたほか、商業や観光の振興など、漁業や農業に代わる新たな産業の創出を考えるべきとの意見も見られている。

特に、育てる漁業への転換に関しては、すでに市の政策としても継続的に推進されているところであるが、早期の成果が求められているところである。

そのほか、漁業と商業との連携、特産品のPRや販売ツールとしてのネット活用の強化、新たな特産品開発の推進などの提案があげられている。

＜経済・雇用対策の推進＞

年齢	問 22 意見・提案
40	・根室市のメイン産業の水産、温暖化等でどうしようもない事は理解できるが、特に不漁が心配。 ・また、活気のある街、根室に来て働きたい、生活したいと思ってもらえるようになってもらえたらと考える。 ・人口減少の歯止めがかからないこの街の将来が不安です。
50	・私の仕事の水産加工業という事もあって、もっと水産業を盛り立てて、活気あふれる町にしたいと思う。老人や子供たちが安心して生活していける町になればと思う。 ・観光客がいっぱい来てくれるような、根室ならではの物を開発した方が良いと思う。
50	・根室は水産業の街、漁師が魚や昆布をたくさん獲らなかつたら景気はどんどん悪くなっていきます。どうにかして一次産業の漁師や農業が安定しなければ街は活性化しないです。 ・まずは若い人達に水産業、酪農の魅力を伝えていけたらいいかと。 ・市民の一員として根室をアピールすれば、私はいい街だと思っています
50	根室市の良さは、大きすぎない街であることだと感じています。UターンやIターンで根室に住んでいる方々に、大きな街にはない根室の良さをもっと宣伝していただきたいです。
60-64	若者が帰って来てくれる様な環境
40	とにかく、雇用が無さすぎる。転職したいが職はないし、どんどん他市へみんな引っ越している。空地ばかり。
60-64	根室市は全面海に囲まれた町です。当然漁業(関連性も含めて)がうるおわないと成り立たない家庭が多数あります。

年齢	問 22 意見・提案
	その漁業の先が全く見えて来ません。となると水産関係の会社も倒産という型が見えて来ます。雇用も当然減ります。どのような企業を誘致すれば雇用が増えるのでしょうか。
20	水産業に力をいれないと、この先根室は落ちていくだけだと思います。
65-74	漁業の街と言われる根室市ですが、サンマ、秋サケ、コンブ等が不漁で冬には出かせぎに行く人も多いと聞いていますが、冬でも地元で働ける場所を作る事が大事だと思います。農業、漁業のワクを取りのぞいて新しい産業を作るべきだと思います。たとえば、キノコのさいばい(ビニールハウス)等を年中通して働ける産業作るべきだと思います。(農協、漁協)協同で取り組むと良いと思います。
50	特産品や根室のよさ(都会と比べたら何もないのが魅力という人もいます)を発信する力を企業が持たないと発展性が弱いと思います。
40	まず根室市は空港や根室にない SHOP(ユニクロ、ニトリ、コンビニなど)、映画館などを建てるべきだと思います。そうすれば、とても活気あふれる“まち”になると思います。それから、商店街の魅力 UP に力を注ぎ、まちの緑化などを進めていけばいいと思います。これから若い人たちへのアピールをし、人口を増やし、根室をもっと活気あふれるまちにしたいと思います。
65-74	漁業の町根室での特産物の立ち上げ
50	働く場所が無いと住民は増えないのだから、農家のリース事業(牛、牛舎、住宅付リース農場)など今迄に無い政策が必要。
30	土木工事現場などでケガをした時に、対処の仕方がわからないので現場向けのパンフレット等を配布してほしい。
30	ふるさと納税で成功したように、根室の水産資源はネット通販、サブスク等の販路拡大に可能性を感じます。(水産加工工業はもっと充実しても良いと思います)
60-64	・沿岸による養殖事業の充実。ウニ、ホタテ、カキ、ズワイガニ、ハタハタ、海藻類等結構の種類はやっている。新たなものというのは特別にないが、今までの事をさらに充実させる。
40	・夏場の月一程度で、朝市などの産業の活性化につながるイベントはどうでしょうか。(厚田などで行われている) ・若い人たちの働く場(子育て世代)が創出、持続できるまちをお願いします。 ・水産漁業のまちですが、漁業者がばい棄て・不法投棄など海を守ろうという意識が薄いように思います。生活環境を大切にする意識を市民で共有するまちづくりを希望します。
40	・私は漁業に従事していますが、これからは衰退していくでしょう。 ・根室市には観光に力を入れてほしいと思います。 ・キャンプ場は温泉などに力を入れてほしいです。
30	商店街が寂しい。魚屋と飲食店が協力し、地産地消の施設を作ることが望ましい。 採れたての海産物を食べれる施設がないことが問題 市の活気がない、やる気がない だから人口が減る一方
65-74	根室は農水産業があつての根室、水産資源の減少は死活問題。後継者問題は深刻で、このままでは漁業者も漁協も衰退の一途です。高価な魚種に関わらずにこれからは海面、陸上養殖が生き延びる得策と思うが、ただ年数と資金が必要。失敗が頭を過ってなかなか前へ進まない。ブランド化製品化を進めても同じことが言える。1人では何もできない。ノウハウもない。
60-64	・鮭のふ化事業を再開すべき、大きな雄雌を選び、交配させることによって、鮭の小型化に歯止めができる。 ・初田牛、別当賀の小川の海の入口がふさがっており、遡上できていないので、コンクリートで遡上道を作ることによってししゃもも遡上できる
75	海に囲まれた地なので、水産資源の増大、加工品に今以上に力を入れてほしい(魚を増やすためには森林を多くする)
20	・若者の働ける場所、住居等、環境を整備し、子供を育てやすいことが必要だと思います。根室の地場産業、漁業では増養殖の事業の拡大する事により、それに携われる若い人材を増やす。 ・酪農では品質の良い乳牛の生産の補助、休業中による土地を利用してビニールハウス等による野菜等の生産による人材の通年雇用、漁業、酪農の品のブランド品を生産することにより、ふるさと納税返礼品にあてられるのではないかと思います。両親も昆布漁をしています、昆布も返礼品に加えてもらいたいといっていました。根室の人口を増す方法にもなるのではないかと思います。
65-74	水産関係者の保護
65-74	自宅近くには魚の加工をしている工場が何件かあります。魚の獲れない日が続き、以前のような賑わいは近年ありません。淋しい限りです。それを生活の糧にしている方は大変だと思います。
65-74	昔のような町の中が活気あふれる町にして欲しい。今の状況では町の中が寂れてしまう。
65-74	新規や企業誘致をして人口流出を抑えて活気ある根室を期待したい。
65-74	・漁業を育てる漁業に転換している様に、農業等の一次産業のてこ入れ付加価値をつけて産業を応援する起業家、中小商品開発で個別のビジネスセミナー等市が中心に産業を盛り上げて良いのではないかと。 ・農業酪農製品など付加価値をつけインターネットで支援する。育て上げるまで支援する
30	基幹産業である農業、水産業で互いの産業振興が市街地に必須であることに合意し、そのうえで共通した産業振興対策や実行力のある協力体制を作り上げてほしい。出なければ、自治体として消滅するのみだと思います。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

- a)長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進
- b)世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に観光振興に関する意見は多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、宿泊施設の整備、自然、地理条件（東端）など根室市が有する資源の有効活用など、これまでと同様の意見が多くを占めていたが、漁業や農業、あるいは自然等の新たなアイデアに基づく体験観光の創出が必要との意見も多い。

このほか、根室市のイメージ向上に向けた街並みや景観の美化、観光を目的とした円滑な移動を可能とする交通ネットワークの充実、新たな観光ルートの創出も不可欠との意見もみられている。

今回の調査で特に目立った意見としては、自然エネルギーの活用の必要性は認識した上で、特に、太陽光発電施設の景観への影響を懸念する意見が多い。

<交流人口の拡大>

年齢	問 22 意見・提案
20	2 年ほど前に仕事の都合で、札幌から根室へ越してきましたが、“根室は遠い”というイメージが強く、実際札幌へ行くにも 6、7 時間、釧路でも 2 時間と遠いです。根室には大都市に無い自然や食べ物が豊かで、このイメージさえ無ければ、観光地として最も適した場所であると思います。もっと町を活性化させるためにも、交通の利便性をよくするための施策を講じて欲しいと考えます(釧路ー根室間の高速道路化、空港の設置)
20	交通の便が悪いので、根室市での居住にあまり魅力を感じていません。市内の施設が充実していたり、釧路市までのアクセスが良ければ魅力が増すのではと思います。
20	・交通の便が悪いので、まずは根室から釧路までの高速道路を作ってほしいです。 ・緑町がもっと栄えるように、飲食店を増やしたり、遊べる所を増やすのもいいと思います。
30	・町をきれいにするだけでなく、花や桜の木でも植えると華やぐ。 ・ふれあい体験できる牧場などを市で作って、観光の目玉にしてみても？せっかく土地があるのにもったいない。漁業だけでなく、そこもせめていくべきだ。働ける場所が増えれば人も増える。チーズなど加工品が特産になれば市はもっと潤うのでは？
50	・観光客がいっぱい来てくれるような、根室ならではの物を開発した方が良いと思う。
40	・根室の観光地も行きました。車石大好きです。看板が少なく車石の成り立ちなど書いてあったら良いと思いました。転勤で来たので根室を満喫しようと色々な所に行ったり、色々な体験をしていますが、子供の友達（地元が根室）は行ってない人が多いようです。とても魅力的な街だと思っているので、地元の人たちがもっと楽しんで生活をして、発信していくと人口もまた増えるのではないのでしょうか。
60-64	・温泉があればいいです。
40	・市内の街の中を歩ける範囲で、スタンプラリーやクイズラリーを各所ごとに設けてクイズとスタンプ全部できた人の 1 か月に 1 名根室の旬の魚介類（水産物）をプレゼントしたり、根室だけしか手に入らないマスコットキーホルダー、ご当地キーホルダーやグッズがあれば、観光客が入ると思います。例えば、キティちゃんと根室の海産物のコラボのキーホルダーやハンカチなど。各名所に納沙布だと貝殻昆布とキティちゃんキーホルダーなど各名所ごとに行かなきゃ買えない、各地を巡ると思います。
50	新庁舎（市役所）の最上階の見晴らしの良い所で、根室の美味しい水産物を食べられるレストラン的な場所があると、根室の PR になって良いと思います。
65-74	・ノサップの遺跡を復元して観光に役立ててほしいと思う。 ・湖南の無駄な道路作りはやめて将来に役立つ道路を作ってほしいと思う。
30	MTB を使った観光振興を提案したい。 先日バイクで別当賀から林道を通って落石海岸三里浜まで出たが、北海道でもこのようなすばらしい景色と体験ができる所は少ないと感じた。きっと他にも感動する道があると思う。なぜなら根室には、戦争時に造ったものの痕跡

年齢	問 22 意見・提案
	やアイヌのひとの痕跡が散らばっているからである。ご検討いただければさいわいです。
40	根室にはおいしい食べ物(カニ、鮭、エスカロップ)などたくさんあるのに、地方の人にはあまり知られていません。納沙布岬も素晴らしい場所です。もっと地方の人が(コロナ終息したら)行ってみたいと思ってもらえるようになればと思います。
65-74	根室のすぐれた特産を扱う道の駅等に市場を併設。
30	・「ふるさと納税」で根室は有名だが、美味しいものを食べようとして観光に訪れた時にランチ営業している寿司屋、海鮮の店がほとんどないのはもったいない。市民としても美味しい海鮮を普段から味わいたいものだ。
50	中標津空港を利用し、根室に来る人にとってはバスが大変便利です。 空港に到着する時間帯に合わせ根室行きがあります。 では、釧路空港を利用した場合はどうでしょう。JR、バス共に全く時間が合わず大変苦勞します。午前中に空港に到着しても、夕方にならないと根室には着けません。 根室をもっと観光してもらうには、連結を重視する必要があると思います。JR、バス何方でも構いません。是非、乗り継ぎがスムーズに出来る公共交通機関の充実をお願いします。
65-74	日本一遅い桜の開花をもっと有効活用し観光客の増加を図り外資を根室で使ってもらうためにも、チシマザクラ、エゾヤマザクラの街道を穂香から根室振興局までの区間に造成し話題として取り上げられてもらう策を是非とも執りおこなって頂ければ常々感じています。
20	ここ数ヶ月の間に、風車やソーラーパネルが急激に増えました。せっかく美しかった景観が損なっていると思います。これ以上増えると観光客も減るのでは。
60-64	半島地区にここ2年でたくさんの風力発電・太陽光発電が建設されていますが、景観をそこなっているのではと思います。これからは風車や太陽光パネルが設置されるとまちがいなく景観がそこなわれ、観光客も減る(半島方面)と思います。
30	以前にも計画はあったかも知れませんが、ノサップ岬に温泉施設の新計画を「ふるさと納税」の基金を元に採択して温泉調査をしていただき、今道内の他の人々にスルーの町、端の町と言われていることを見直し「北方領土」を見てその後「一泊できる町」一番のノサップ岬に温泉施設の計画は「朝日に一番近い町ねむろ」市長みずから公言しているように、元旦に朝日を温泉につかり見ることであれば、それは漁業の町から観光の町に進めていけると考えるからです。前向きな検討をお願いします。
30	新型コロナウイルスの状況もありますが、大手チェーンのホテルを誘致し、観光客を短期間でも滞在させることができれば、根室市の経済に影響すると思います。それに伴い観光施設・商業施設の整備を実施し、根室市民及び観光客にも楽しんでもらえるような「まちづくり」が必要かと思ひます。宿泊施設等が整備されれば、飲食店や商業施設、子供達が遊べる施設・公園が展開・建設しやすい環境になっていくのではないかと思います。地元企業とチェーン展開する企業がうまく共存し、市として活気のある根室市になることを願っております。
50	観光に力を入れて産業にして行くつもりが見えない。食材、景観は一流なのに・・・。事業者まかせでは拡大出来ない。
40	素通りの町、ねむろを脱却するため朝日にいちばん近い町ねむろをイメージにノサップ岬に温泉施設の建設を計画して欲しいです。元旦の初日の出の観光客を集客でき、温泉を掘りあてればリゾート会社(グループ)もホテル建設をこころみるだろうし、良いと思う。 是非計画していただきたい。
30	納沙布岬のお土産やさんを新しくする。周辺の廃棄した建物のとりこわし。観光客、地元の人が行きたいと思える施設や色を塗り直すなどが必要。
50	根室管内として北方領土を含めた「最東端ブランド」の創出。
40	・道内に住んでいる知人でも「根室までは行った事がない」という人が沢山います。距離的な問題もありますが、どうしても行ってみたいと思うような新たな特産品や施設があるといいと思います ・素晴らしい自然や動物が沢山あるのに活かされていないような気がします。ボート・カヌー、船などの体験施設や自然動物を見るツアー、また鹿肉料理など充実されているといいと思います ・気軽に宿泊できる所や車中泊、キャンプ場などがあると良いと思います。
40	根室市をもっと(何かで)有名にしたいです。もっと盛り上げたいです
60-64	・根室十景の観光巡り、1日ルートと半日ルートの選択(十景観光バス、タクシーなど市内交通会社等連携して)十景に東根室駅も加える。昼食など途中でとれば1日日程でも暇をもてあまさないのでは。日帰りだけではなく、宿泊プランもあれば地域での経済効果大きい。ノサップに宿泊施設があると観光で来る人も多くなると思う。パックで宿泊して次の日帰る、食費・お土産・交通費・宿泊費等いくらかという商品にするのはどうでしょうか。特産のお土産を持っていく。
30	鹿を時々見かけます。とても動物に興味があり、鹿のつの拾いや海の貝がら拾いをし、リングやアクセサリー等を作るイベントがあったら面白いなと思いました。
20	根室は、北海道の端のまちなので、他の地域の方がもっと来なくなるような、住みたくなくなるような魅力のあるまちづくりを期待します。(他の地域にはないけど根室にはあるなど)
40	夏場の月一程度で、朝市などの産業の活性化につながるイベントはどうでしょうか。(厚田などで行われている)
50	観光で人を呼ぶ(レピナスやコスモスなどの花畑の丘を作るなど)事も考えた根室の自然をいかしたものをやってみてはどうでしょうか?
50	観光案内施設の充実

年齢	問 22 意見・提案
65-74	オートキャンプ場の建設
50	根室のすばらしい自然を守って欲しいと思います。
65-74	① ふるさと納税の資金を活用してもう一度温泉を掘り当ててもらいたいと思います。 ② 水族館を作ったら、観光客が増えると思います。 ③ 厚床から根室の国道に桜並木道を作る。
40	・私は漁業に従事していますが、これからは衰退していくでしょう。 ・根室市には観光に力を入れてほしいと思います。 ・キャンプ場は温泉などに力を入れてほしいです。 ・不妊治療など少子化対策にもお金を使ってくれると税金も納めやすいです。
50	・観光客が楽しむ場所や根室を活かした食事ができる所がない。特に昼間、海鮮物など。
40	根室の自然が好きです。海・森・湿原。人工物のない風景、年を重ねると余計に素晴らしいと感じています。それなのに、ソーラーパネルに埋めつくされる野原を見ると悲しくなります。個人の土地を持ち主がどうしようと他人がどうこう言えませんが悲しいです。 市で景観の観点などから規制できないのでしょうか。ソーラーが老化した場合、持ち主は取り壊しもせずそのまま置き去りゴミになったままになるのが目に浮かぶ。
30	市内に温泉施設があれば、宿泊客も増え市財政の一助になるのではないのでしょうか。
30	R V パーク作って下さい
65-74	自然豊かなまちの一方で根室半島には、人口的構造物の風力発電が数多く見られますが、今以上の数は制限するべきだと思います(一定の規制が必要と考えます)。自然を売りの観光とギャップがあります。
60-64	根室の自然を大切に、太陽光発電を少なくしてほしい。空き家の整備

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

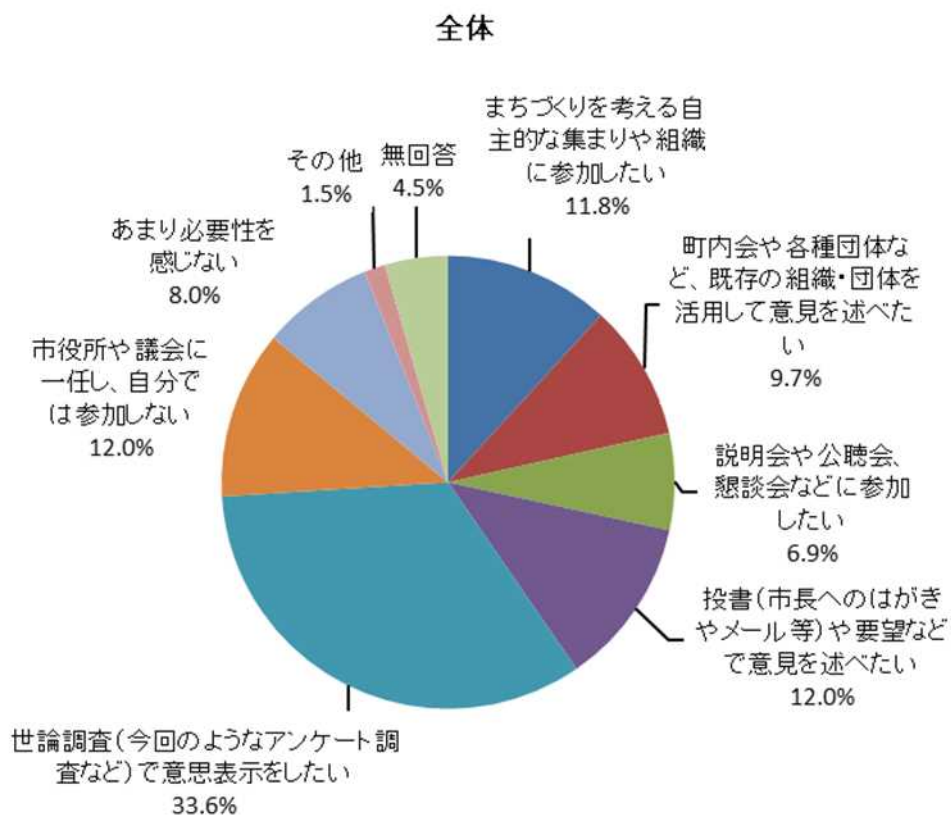
- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援
- b) コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

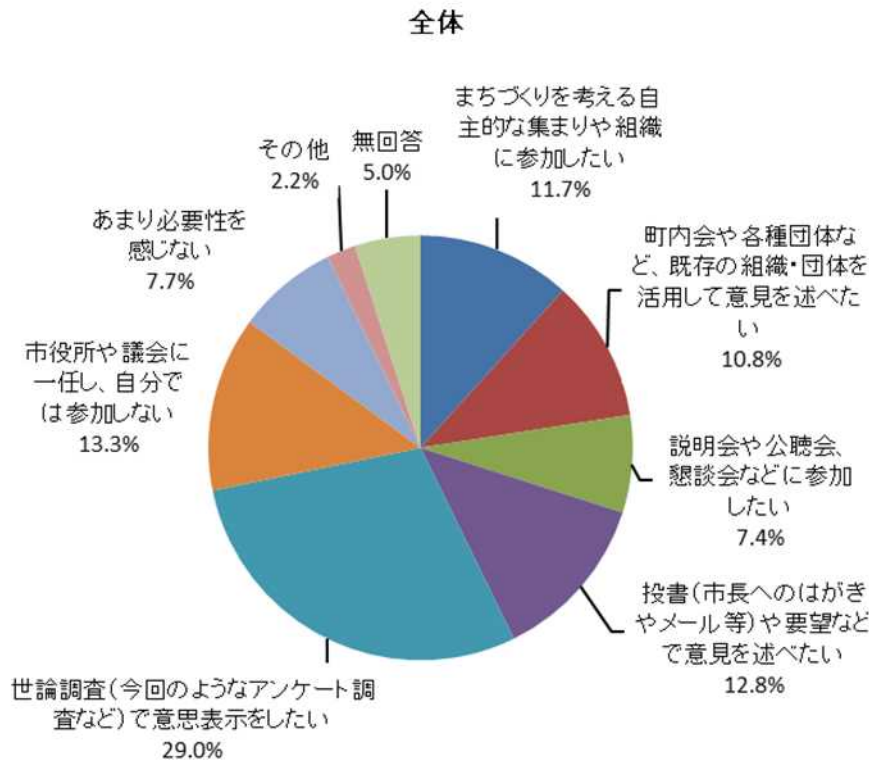
今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度までの調査結果と同様に「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「投書(市長へのはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」、や「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」といった要望が多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は74.0%となっており、昨年の71.7%、一昨年の73.6%を上回っていた。

<令和3年度調査>



＜令和２年度調査＞



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、大きく、行政情報に関する要望、スポーツ振興のあり方、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、インターネットや SNS を介しての情報について、その情報量と高齢者のアクセスのし易さへの配慮を求める意見があった。

ボランティア活動のあり方に関しては、町をきれいにすることで明るさと活気を取り戻したいとの趣旨や、市政への参加の観点から清掃や花木の植栽などへ参加する機会の創出に関する意見が見られた。

また、本アンケート調査において初めて市で実施している施策を知ったとの意見や、このアンケートを介して意見が伝わればとの期待の意見もあった。

＜コミュニティの維持・活性化＞

年齢	問 22 意見・提案
40	・葬儀に町内会のお手伝いの必要が無くなり、町内会の退会が進んでおり、広報ねむろが各世帯へ届きにくくなっている。また、根室新聞の廃刊もあり、市からの情報が届きにくくなったと思います。 ・高齢者世帯や、スマートフォンを持っている若い世帯向けの情報発信手段の検討が必要だと思います。
50	・地域振興券のような、直接市民にも商店、飲食店などにも利益があるような事業を多く取り入れて、生活に余裕のある人は困っている人に譲れる等の選択が出来る方法があると思うように思う。 ・地元でも行った事のない場所やめったに行かない場所を巡るバス利用券などがあればもっと興味を持てるようになるかもしれない。 ・SNS を高齢者でも使いやすいうように、身近に接するような環境づくりにさらに取り組んでほしいと思う。
40	・このアンケートで何か変化があれば良いと思っています。 ・子育てしたくても子供がいない、出来ないのでは子育て対策も淋しいことになってしまうので、男女とも妊活できるようにしてほしい。

年齢	問 22 意見・提案
	若い人達も住みやすい街を作ってほしいです。高齢者も重要ですが、それを支える人がいなければ成り立たないです。土地や住宅の援助等々。イベントの告知を市民が知らないことが多いです。寂しいです。一部の方だけが参加しているように思います。
40	早く中標津町のような立派なスポーツセンターを作ってほしい。作るとしたら、運動公園か、プールのあたりなど行きやすい場所がいい。
40	・転勤で根室に来ました。子供の習い事について調べましたが、インターネットでは情報を得ることが出来ませんでした。情報源はインターネットか市の広報誌です。住む前に情報を得る方法はインターネットしかありません。習い事に限らずネットを通じて根室の情報を色々知る事が出来たら、根室の魅力をたくさんの人の知ってもらえると思います。 ・根室の観光地も行きました。車石大好きです。看板が少なく車石の成り立ちなど書いてあったら良いと思いました。転勤で来たので根室を満喫しようと色々な所に行ったり、色々な体験をしていますが、子供の友達（地元が根室）は行ってない人が多いようです。とても魅力的な街だと思っているので、地元の人たちがもっと楽しんで生活をして、発信していくと人口もまた増えるのではないのでしょうか。
65-74	・この意識調査の記入に当たり、改めて市民としての意識の薄さを痛感いたしました。毎月毎年人口の減少に伴い明るい未来が閉ざされたかのように感じて魅力のない街と勝手にレッテルと貼っていました。 ・市民として誇りの持てる街づくりの為、微力ながら協力したいと思います。若い人の発送、アイデアを大切にしていけたらと思います。
30	中標津の体育館のように車イスでも使いやすいスポーツ施設があるといい。
75	この度のワクチン接種の申し込み時の混乱に見られる様に高齢者に適さない方法など、高齢者の意見をくみ取って実施すべきと思う。つまりその年代の人の意見をもって何事も行うべきだと思います。机上のみの考えでは駄目だと思います。
65-74	・ふるさと納税に依存している市の財政状況は将来的に不安です。 ・市立病院への 10 数億もの財政支出は、中標津町の現況を報道で知る限り、明日の根室の姿だと思う。この問題の解決無くして明日の根室は存在しません。 ・これが今の市民が感じている不安であり、将来この街に住みたくない大きな理由だと思います。ふるさと納税の制度は菅内閣の終わりと共に終わると思います。
30	大きな公園など、子供が楽しめる施設がもっとあれば良いと思います。
50	・毎年 600 人以上人口が減っている原因は郷土愛。ふるさとを愛し、大切に思い、何をすべきか考え何をしたらいいかを知り実行する。一人一人の行動を変容させるための方法を行政は考え実行する義務があると思います。
40	・市に意見を出しても、あまり改善されてなく、市民の声を吉と聞いてほしい。 ・街にはメジャーな商店もなく（ユニクロや GU 等）結局、中標津や釧路へ行く。デリバリーもなかなか当日予約もできずファストフードも 2 軒しかないし、魅力が全くない街。 ・地域性もあるが、他市から来た人を良く思わない（縄張り意識）。 ・大学もないから、結局地方へ出しても卒業したら子供の借金、就職先無し、これから根室を良くしたいのなら、商店等を他から入れて根室人の心を入れ替えさせる必要がある。（マックやピザ、マッサージ店入ってほしい）
40	明るく活気ある街にして下さい。
65-74	子供の場所(遊び場)は、運動公園につくるとの事。では高齢者の冬の遊び場の建物も必要では。
65-74	根室のすぐれた特産を扱う道の駅等に市場を併設。
75	・町会活動や老人クラブ利用等出来る様に願いたい。 ・緑町がさみしいです。昔の緑町に戻る様に私達も協力します。まずは空地を無くしてシャッターを上げなければと思っています。アンケート調査を進めます。 ・10 万円の給付、ワクチンの手配等、根室市は市民の為に全力で早く活動してくれました事感謝します。ありがとうございました。
60-64	高校生へのパソコン貸与、昨年の特別給付金の迅速な給付等、この 1～2 年「市役所頑張っているな」という印象を持っていました。 市民参加の会議等でも「あまり改善する気がないな」「会議をやったという事実だけがほしいのだな」と感じたことが再三。本気で根室のために働いてほしいです。
20	・LGBTQ 等のマイノリティな人が住みやすい環境にして欲しい。 ・いじめ等により学校に通えなくなってしまう子へのカウンセリングやフリースクールが有るなどもっと広く知られて欲しい。親への理解ももっと深まって欲しい。
50	・若者が意欲的に働ける会社など、働く間口が必要です。 ・上と並行して学校では子ども達に何を育てるか市民に向けて明確にすべきです。(教科内容を身につけるだけでは「若者が働く」ことにつながりません) ・町内会の有志で花壇整備をしてくれていますが、高齢の方ばかりです。交差点にたまった雪や春先の氷など放置されています。自分達の生活環境は自分たちで整える仕組みが必要です。市がやってあたり前と思っているところが多いと思います。 ・特産品や根室のよさ(都会と比べたら何もないのが魅力という人もいます)を発信する力を企業が持たないと発展性が弱いと思います。

年齢	問 22 意見・提案
65・74	今の根室市はなに事にも対応が早く良いと思います。これからその調子でお願いします。
20	4月に根室市に引っ越してきたが、根室市は何かと不便な感じがする。また、人々のコミュニケーション能力の不足が激しく近所付き合いもわるく思える。もう少し人々が活発になるようにしてほしい。
40	・社会人や学生のボランティアサークルがあればいいと思う。 ・以前はあったと思うが、人口の減少などの理由で無くなったのではないかとと思っている。音楽のイベントなどがあると良いと思う。
50	・根室新聞がなくなり、全く根室市役所が何をしているのかわからなくなった。その分役所 HP を使いやすくしてほしい。今回のアンケートにある事業すら HP に書かれているのだろうか。 ・コロナ以前から市長、市幹部が厚床等の公聴会を開いたことは無く、行政と住民の一体感は全く感じない。農業分野についても同様。
65・74	私の地域では FM 根室の受信が出来ません。 市内の情報が毎日聞ける事で、市民一体感が生まれ毎日の活力と安心感が発生します。一日も早い実現をお願いします。
40	・ふるさと納税が好調な今、これからの根室を支える若者たちが地方に進学後、戻って来たくなくなるようなまちづくりにお金を使ってもらいたいです。 ・市民の主体性が大切だとあるが、市民が主体性を持つためには、市役所職員の自覚や質を改善することも必要かと思っています。市役所へ行っても、暗い顔でめんどくさそうな対応をされることが多くてがっかり。根室の顔がこんなんでは市民は諦めの気持ちが募るばかりです。
65・74	・新たな提案についての前に 1 つだけ選ぶには難しかったです。 ・市民意識はあっても、体力年が伴わずスマホ、インターネット使用も出来ない人が多く感じています。もう少し、わかりやすく細かな選択があればいいと思いました。 ・記入後なんとなくモヤモヤ。根室は好きです。地方在住の息子には、“ふるさと”として帰る場所を残したいと思い住み続けたいです。
50	ワークライフバランスが実現できるよう行政から企業へ積極的に呼びかける必要があると思います。
50	根室のすばらしい自然を守って欲しいと思います。
40	・しばらく仕事から離れていた人達のための復職セミナーのようなことを、行っていただきたいです。(各事業所が可能であれば)実際に現場に出て指導してもらいながら、再度自分たちの持っている資格を生かして再就職が出来るよう、講義や実習を受けられる場があると良いと思います。 ・また、今はコロナ関係で難しいですが、成人学校のようなものも増やしてほしい。昼間だけでなく、仕事が終わってからでも参加できるよう、夜間の時間帯も希望。手芸や料理、スポーツ、文化、根室市の歴史などを学んだり色々なことを体験できる場がほしいです。
65・74	・ふるさと納税の資金を活用してもう一度温泉を掘り当ててもらいたいと思います。 ・水族館を作ったら、観光客が増えると思います。 ・厚床から根室の国道に桜並木道を作る。
50	これから人口減少、企業衰退が進み税収低下が見込まれます。10 年先の根室市財政基盤の強化。
30	・公共施設の休館日を統一してほしい。祝日に休館している図書館、資料館はおかしい。休みの日だからこそ利用できる場所なのにナゼ。 ・図書館司書の人数減。多くないですか？代わりに臨時職員の雇用。朝 9 時に開館してほしい。 ・市職員が積極的にイベント開催する。民間に任せすぎ。 ・子育て世代に優しく、1 人で悩みを抱える母親に寄り添えるサービス。正直、保健師に話しても、何の解決にも至らず知識のない職員に情けなさを感じます。自閉症や発達に詳しい人が誰もいないし、デイサービスも寄り添って考えてくれない。 ・狭い町なので職員のプライベートな話を知ると公共の施設を利用しづらい、会いたくない人が窓口にいると利用できない。清く正しい窓口を置いてください。
75	根室が大好きな市民の一人ですが、このアンケートで気づいた事は、すでに実施されている政策や対策が有りながら、知らない事が多くあることでした。普段もう少しこうだったらとか、こうしたら？とか思う事は沢山あるけれども、アイデアと言われるとすぐ思いつく事は難しい。でも、色々な人達と交流を持ち、集会等に参加する中で、これからの町作りを皆で語り合う事が大事なことで改めて感じました。
75	・コロナワクチン接種について一言。この度は大変でしたが、ワクチンに係わる医療の方々事務的なことのほか、とても皆様方テキパキと親切さに感謝しています。有難うございました。 ・花を沢山植えてきれいなまちにしたいです。
18・19	このようなアンケートをもっと活用し、市民の意見を集めるべき。全部できなくとも、本当に必要なものを厳選して、行動していくと良いと思う。
30	・現在のコロナの影響で人々の生活が変わりつつあるので、街づくりもいろいろな面で少しずつ変えていかないとはいけません。 ・働く場を増やし、働き方もバリエーションを増やし、人々の生活に豊かさを実感しやすい状況が望ましいと思います。 ・また、少子高齢化もあって高齢者への様々なサービス等が充実してきている中、若者や青年が無理を強いられがち

年齢	問 22 意見・提案
	な部分があるのを感じます(自分の実体験もあり)なので、まずはこれからのまちづくりをしていく立場の若者・青年に対しての様々な面での待遇を良くして行く所からやっていく事が大事なのではないのでしょうか。高齢の親を支えながら暮らすものとしては、そういう次第です。
75	・市を訪れる人に綺麗な街と印象を与えるためには道路の雑草など花を植えた後もとってほしい ・ふるさと納税を活用されすぐに実行に移されている市長に大変感謝している
60・64	スポーツ施設の充実、体育館（多目的体育館）野球場（芝生付）。全道大会開催できる施設の新設を検討お願いします。
75	・根室市内があまりにも汚い町で、市民の協力を呼び掛ける方法を考えて、美しい緑や花のある町にしてほしいと考えます。 ・根室市議会の議員の活動の様子が見えにくいのもっと見える状況を作してほしいです。
65・74	昔のような町の中が活気あふれる町にして欲しい。今の状況では町の中が寂れてしまう。
30	・根室に移住し2年が経過しました。とても良い街だと思います。ですが、長期的に生活をしていく上ではやはり不便な面も多々あります。医師の安定しない病院、情報があれどの届きにくい環境（移住者だからと言う事もあるかもしれませんが、根室は人づてでないと情報が入らない事が多くあります。良くも悪くも）。 ・草が生えっぱなし、荒れたままの歩道、交通に関しても1時間に1本のバス（利用者減で大変なのは重々承知です）子を産み育てていく上でのサポートの不足（療育、ファミリーサポート事業の不足）住居事情(新しく住み替えたくても変わりがない、空き家バンクが活用されていない)など、あげればきりがありませんが、近隣の市町村の活動を見本にしながら“より住みよい街根室”を模索する必要があるのもっと(今も色々と発信や活動されている方もいます)あると感じます。 ・できればこの地から離れたくないです。でも現状のままでは住み続けられません。この2年様々な活動をお手伝いさせていただいて感じた正直な思いです。こんなにも素敵な街なのに、根室市民はどうして「もう根室は終わりの街だから」と口をそろえて言うのでしょうか
50	①一年を通して温度が一定に保たれた施設でランニングやウォーキングができるといい。少しずつ毎日運動を続けることで健康が保たれるので、健康増進を目的としてウォーキング自分はしたいし根室市民に勧めたい。医療費の削減にもつながっていく。 ②草刈りをしてくれるのはありがたいが、刈りっぱなしは景観が悪い。きちんと集めて捨ててほしい。刈り方もとても雑でせっかくしてくれるのならきれいにしてほしい。
40	官民協働のまちづくりを進めていただきたい。

②地域環境との共生

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下の地域環境との共生が推進されている。

- | |
|---|
| a)既存公共施設の有効活用による都市機能の充実
b)地方創生の計画的な推進と財政運営 |
|---|

今回の市民意識調査における自由意見において、地域環境との共生に向けた意見としては、観光関連施設、市役所などの公共施設の更新、廃校や廃住宅、空き店舗などの有効活用あるいは撤去、住宅対策、にぎわい・明るいまち創出等に関する意見が多かった。

特に、今回の調査で意見として多かったのは、空き住宅や廃校の有効活用、にぎわい・明るいまち創出として、中心商店街のにぎわいの創出、街路灯の整備、空き店舗や建物等の撤去に対する意見が多かった。

<地域環境との共生>

年齢	問 22 意見・提案
60-64	最近定年退職後に札幌等にマンションを買い、移り住む人が多くなっているように思います。根室にも都会並みの公住などを造って、根室に一生定住できるようにしたら良いのでは…(子供に頼って都会に行かなくてもいいように)
40	市営住宅入居希望の人が一杯いるので、もっと入居しやすくしてほしいです。
40	空き校舎の有効活用を進めてみては。
30	身近な生活道路の整備を検討して頂きたい。通学路の整備など、歩道と車道の区別が無い所などは車の通りも人の通りも多い場所が多々あると思う。街灯も少なく、防犯対策が行き届いてない。
40	明るく活気ある街にして下さい。
18-19	・空き家やぐずれそうな建物を整備して景観を良くしてほしい。目にすると根室がさびれて行くみたいでがっかりする。
75	・空き家を利用して町会活動や老人クラブ利用等出来る様に願いたい。 ・緑町がさみしいです。昔の緑町に戻る様に私達も協力します。 ・空地进行無くしてシャッターを上げなければと思っています。アンケート調査を進めます。
65-74	・空地に雑草が生えている所に宿根草ルピナスなど植えて、きれいにしたいのと、フキがどこにでも生えているのが暗い町に感じる。 ・廃墟になった建物を撤却してほしい。
65-74	・わが町には自慢の出来る施設がない。別海町、中標津町では目に見える程の施設の充実が伺える。屋内でも屋外でもきれいで安心だ。市から町へ出かけて行っても楽しいと思える。知っていましたか？夏場は良く中標津のどこかに行ってきたよと聞きます。根室も力を入れてとりくんでほしい。子供と高齢者のためになると思う。 ・上下道工事の終了後の舗装の出来が悪いのかマンホール付近が陥没して応急処置のまま何か月です。おまけに舗装は波うって少しの雨でも水たまりがヒドイです。どうかしてほしいです。見えるとこだけのまちづくりはいらない。
60-64	根室市内のゴミ等をもっと整理してもらいたい。それと道路わきの草刈り等などもっと丁寧に視界が悪い。
65-74	公園の整備、遊び場の整備等々に力を注がれているのは、理解しています。例えば、道端の雑草がのびぼうだいはどのように感じていますか？歩いていていつも思うのですが、道路がキレイでも雑草がずっとのび放題はどうしても気になっています。キレイな街並には程遠く思います。どうしたらよいのでしょうか？協力は惜しみません。何か考えましょう。
40	大規模な体育館・陸上競技場・野球場・キャンプ場など、古い施設や無い施設をしっかりとした規模(作り)で新設してほしいです。子供達の学業に力を入れるのもわかりますが、運動能力の低下やスポーツ(部活)離れも深刻です。心と体の成長も未来の根室には大事です。
30	空き家情報を全面解放し、すぐに移り住める街
30	・納沙布岬のお土産屋さんを新しくする。周辺の廃棄した建物のとりこわし。観光客、地元の人が行きたいと思える施設や色を塗り直すなどが必要。 ・緑町や飲食店の駐車場を増やしてほしい。空き地であつても使えないようになっていてもったいない。 ・閉店したお店の取り壊し。緑町に人が増えてほしい。 ・駄菓子屋さんがほしい。昔は駄菓子屋さんがあり小さい頃買ったのを今でも思い出せるが、今の子どもたちは駄菓子屋さんで買い物をした事がない。駄菓子屋でいく分買えるなど、お金の計算も出来、大人もまた買いたいと思える。 ・若者、子どもたちがいつでも根室にいて楽しい、この場所が好きと思えるように。
30	今ある施設の設備を有効利用するために、改築したり、整備・増設したりともっと工夫できはしないだろうか。新しい施設も大事だが今現在使用している公共施設や学童施設の改築も視野に入れてほしい。人員は確保が難しいのは仕方ないと思うが、ならば今いる人数でQOLを落とさず尚より良く利用するまたは利用できるようにすることが必要ではないだろうか。
40	中学校など使用していないところで使用が可能ならイベントや体育館の開放などした方がいいと思う。取り壊すだけでなく、活用した方がいいのでは。
30	光洋町の市営団地に向かう道路にある古い誰も住んでいない公住がとても不気味で怖いです。そしてその道路の歩道が人1人歩けないほどに細く、小学生や中学生の子どもたちも車道を歩いています。市営団地を作る前に古い団地をとりこわすか、改築して街灯をつけるなどして、不審な人がひそむような場所をつくらないこと、子供達が安心して歩ける道路を作って欲しい。部活帰りなどで夕暮れで帰宅が遅い時は、車のライトとライトでまったく歩く人の姿が見えなくなることもあるので、心配になります。老人も毎日みなさんウォーキングをしています。光洋町には海も近く木も多くウォーキングにもとてもいい場所なので、こういった不安な場所、不便な場所が改善されるといいなあと思っています。
20	市営住宅など、一般の人でも気軽に賃貸できるようになれば良いと思う。そうすると世帯が増え人口が増えると思う。
40	公共施設の建て替え、改修等厳しい予算状況中でやっていると思うが、長期的に使用するのであれば、中途半端なものにせずしっかりとした予算を使用してほしい。
50	根室の街は全体的に街灯が少ない気がします。小、中、高と学校の周りもう少し明るくした方がいいと思います。

年齢	問 22 意見・提案
75	これから市の人口も減少すると思われるので国道を中心とする（４４号線）コンパクトな市街地形成をすべきと思います。（空き家対策もどうすべきか）光洋団地のように郊外に建ると上下水道、除雪、交通などの維持管理にかかります。
40	学校施設について。少子化による影響があり、郡部の小中学校は統合等が進められ、校舎も改築されております。しかし市街地にある小中学校は昭和 40 年代に建設された学校ばかりで、とても教育施設としての環境が良いと言い切れません。他にも給食センターや放課後教室等、関連性の高い施設との全体的な建設、整備計画をしっかりと市民にもわかるように見せていただきたい。
75	根室市内があまりにも汚い町で、市民の協力を呼び掛ける方法を考えて、美しい緑や花のある町にしてほしいと考えます。
60・64	昨年 11 月に 13 年ぶりに根室に戻ってきましたが、一つ気になるのが国道沿いの廃業スタンドの建物が非常に根室の街の印象を悪くしている事です。諸々問題があると思われるが撤去をして欲しいです
75	・壊れそうになっている建物の処理 ・使われていない学校その他の公共施設の利用促進
30	草が生えっぱなし、荒れたままの歩道、交通に関しても 1 時間に 1 本のバス（利用者減で大変なのは重々承知です）子を産み育てていく上でのサポートの不足（療育、ファミリーサポート事業の不足）住居事情(新しく住み替えたくても変わりがない、空き家バンクが活用されていない)など、あげればきりがありませんが、近隣の市町村の活動を見本にしながら“より住みよい街根室“を模索する必要があるのもっと(今も色々と発信や活動されている方もいます)あると感じます。

6. 2 第2期根室市創生総合戦略の概要と関連数値目標

令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略は、第1期総合戦略に引き続き、政策パッケージとして以下の3つの取り組みを基本目標として一体的に推進することとしている。

このため、第2期総合戦略では、新型コロナウイルス感染症による社会変容を踏まえ、地域の振興・発展に向け、安定した雇用、新しい人の流れをつくることに「チャレンジ」すること、コロナ禍での新たな日常の中で若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるために「チェンジ」すること、そして、時代にあった地域をつくり、市民サービスを維持するために多様な人材との「コラボレーション」することの3つの「C」を合言葉とする重点プロジェクトを推進することとしている。

- (1) 雇用対策：「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる
- (2) 子育て支援：住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- (3) 人材育成：みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

- (1) 雇用対策：「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる

具体的な施策は、以下のとおりである。

数値目標

- ①20～39歳女性の人口：4年で43人減少を抑制し1,665人確保
- ②生産年齢人口割合：4年で54.1%とし、0.3ポイント向上
- ③人口減少率：4年で2.00%とし、0.44%ポイント向上

①経済・雇用対策の推進

- a) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- b) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実
- d) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

②交流人口の拡大

- a) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化
- b) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

(2) 基本目標2 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

具体的な施策は、以下のとおりである。

数値目標	
①人口減少率	: 4年で2.00%とし、0.44%ポイント向上
②年少人口割合	: 4年で10.2%とし、0.2ポイント向上
③合計特殊出生率	: 1.67（現状値）以上の水準維持

①Society 5.0（ソサエティ5.0）時代に向けた人材育成

a) 良好な教育環境の整備と義務教育の充実

②子育て・少子化対策の推進

a) 出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化

b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進

c) 保育施設の整備と多様な子育て支援サービスの充実

③周産期医療と小児医療体制の整備

a) 安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

具体的な施策は、以下のとおりである。

数値目標	
①継続的に市を支援する寄付者割合	: 4年で60.0%とし、24.7%ポイント向上
②まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	: 4年で85.0%とし、13.3ポイント向上

①コミュニティの維持・活性化

a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援並びにシビックプライドの醸成

b) 多様な主体がまちづくりに関わる市民協働・市民参画の推進

c) 地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出・拡大

②地方創生の計画的な推進

a) ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用した地方創生

③広域連携の推進

a) 広域ネットワークの構築

6. 3 まとめ

平成 27 年度に策定された第 1 期根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

一方、令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、基本的には雇用対策、子育て対策、人材育成といった基本目標が設定されるなど、第 1 期総合戦略を引き継ぐものであり、さらにその後の世界を含めた社会経済の潮流を踏まえ、新たに策定されたものである。

本調査は、この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために平成 28 年度から実施されているものである。

調査は、主として根室市総合計画や総合戦略で実施されている各種事業や施策の効果等に対する市民の評価を満足度意識や各種事業に対する認知度、改善に向けた施策ニーズ等の変化を把握するために、実施しているものである。

第 2 期総合戦略に対する評価等については、次年度調査にて実施することとし、今年度の調査では、第 1 期総合戦略に対する評価や、現在、市で実施している施策の認知度の把握について、昨年度までの調査に引き続き行っている。その結果、総じて、子育て、医療関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、教育・文化関連、行政情報などに関する施策に対する認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

ただし、自由意見の中には、この調査を通じて市で実施している施策を知ったという意見も依然としてみられていることから、周知のあり方を見直すことも重要と考えられる。

なお、今年度調査の結果や自由意見は、必ずしも第 1 期総合戦略に対するものだけでなく、第 2 期総合戦略の評価軸と共通するものである。

(1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。(基本目標 1)

- ・今回の調査結果の特徴としては、給食費の無償化やひとり親家庭対策等の経済対策等の施策に対する認知度が高くなっているなど、子育て・少子化対策に関しては、市の政策に対する評価がみられていた。しかし、市民全体での満足度をみると、例年と同水準となっており、各種施策に関する周知を図るとともに、さらなる充実が求められる。
- ・一方、医療環境に関しては、満足度の向上、不満意識の低下はみられているものの、診療科目の充実、医療スタッフの充実や病院数に対する不安や要望は多く、引き続き、さらなる医療体制の充実に向けた対応が求められている状況にある。
- ・ただし、この医療体制の充実は、根室市だけでなく地方に課せられた課題でもあり、他地域との連携を図りながら地道な取り組みが必要である。さらに、今後は遠隔医療システムの本格的な導入、

活用が進むものと考えられることから、いち早い対応が重要と考えられる。

(2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

(基本目標2)

- ・現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁に加え、近年のさんまや秋サケの不漁の影響が、根室市経済に大きな影響を与えているだけでなく、市民生活の不安を助長している。
- ・さらには、令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症に対する各方面での自粛対応は、全国の産業経済に大きな影響をもたらしており、根室市においてもその影響は少なくない。
- ・このような状況下にあつて、漁業に関しては育てる漁業（養殖事業）の推進、水産加工品の高付加価値化、ブランド化、新規産業の創出、商店街の活性化など、取り組み課題は依然として多い。
- ・一方、ここ数年続く水産業の低迷を背景として、より、即効性の高い企業誘致に対する期待が高まっている状況が把握された。もちろん、新たな特産物の開発や観光振興など、継続して取り組まなければならない課題に対する認識は高いものの、産業振興、経済対策が、より喫緊の課題となっている状況が把握される。
- ・観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、特に、自然・景観、文化等の資源の有効活用と食メニューの展開、さらには、宿泊施設整備が市民の意見として多くあげられており、引き続き、受入体制強化に向けた関係者、市民を含めた一体的検討を進めることが重要と考えられる。
- ・一方、昨今の脱炭素・省エネルギーへの取り組みが求められる中で、特に太陽光発電施設と自然景観との調和のあり方を問う意見が市民の方々から多くあった。こうした新たな課題への対応が求められる。

(3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

(基本目標3)

- ・市民意識調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、行政情報に関する要望、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化へのスポーツ振興のあり方に関する内容が多かった。
- ・その中で、市政情報をこのアンケート調査で初めて知ったとの意見もみられ、さらには、様々な施策を実施していることを知ることによって市政を改めて評価するといった状況もみられることから、広報や SNS をはじめとする市政情報の提供のあり方が課題として浮彫となった。
- ・まちづくりへの参加方法のひとつでもあるボランティア活動に関しては、特に、高齢者の生きがいやまちづくりへの参加の観点から重要との意見も多かった。
- ・一方、地域環境との共生に向けた意見として、特に、多かったのは、空き住宅や廃校の有効活用、にぎわい・明るいまち創出として、中心商店街のにぎわいの創出、街路灯の整備、空き店舗や建物等の撤去に対する意見であった。

資 料 編

資料 1. 市民意識調査自由回答

年齢	問 22 意見・提案
60-64	最近定年退職後に札幌等にマンションを買い、移り住む人が多くなっているように思います。根室にも都会並みの公住などを造って、根室に一生定住できるようにしたら良いのでは…(子供に頼って都会に行かなくてもいいように)
20	2 年ほど前に仕事の都合で、札幌から根室へ越してきましたが、“根室は遠い”というイメージが強く、実際札幌へ行くにも 6、7 時間、釧路でも 2 時間と遠いです。根室には大都市に無い自然や食べ物が豊かで、このイメージさえ無ければ、観光地として最も適した場所であると思います。もっと町を活性化させるためにも、交通の利便性をよくするための施策を講じて欲しいと考えます(釧路－根室間の高速道路化、空港の設置)
40	・葬儀に町内会のお手伝いの必要が無くなり、町内会の退会が進んでおり、広報ねむろが各世帯へ届きにくくなっている。また、根室新聞の廃刊もあり、市からの情報が届きにくくなったと思います。 ・高齢者世帯や、スマートフォンを持っている若い世帯向けの情報発信手段の検討が必要だと思います。
50	・地域振興券のような、直接市民にも商店、飲食店などにも利益があるような事業を多く取り入れて、生活に余裕のある人は困っている人に譲れる等の選択が出来る方法があるといいように思う。 ・地元でも行った事のない場所やめったに行かない場所を巡るバス利用券などがあればもっと興味を持てるようになるかもしれない。 ・SNS を高齢者でも使いやすいように、身近に接するような環境づくりにさらに取り組んでほしいと思う。
40	・放課後教室の土曜及び、春夏秋冬休み、8:30~の開設時間は遅いと思う。仕事が早く 8:00 から始まるので、せめて 7:45~保育所と同じ開設時間にしたい。終わる時間も 17:20 早すぎる。せめて 18:00 から 18:30 だと仕事にも影響でないのですが、よその都市では当たり前の時間で開設しているのに、根室はいろいろと本当に遅れている。17:20 過ぎると連絡しても、あまりいい返答もらえず利用する側はいつも肩身が狭いと思います。 ・少年団もよその学校へ行かなくてはならず、区域外へ行けず、他の友達に乗り合わせと思うが毎度お願いするのも辛い。バスなど交通便も悪く部活させられない。スクールバスの部活できる体制を作してほしい。
20	交通の便が悪いので、根室市での居住にあまり魅力を感じていません。市内の施設が充実していたり、釧路市までのアクセスが良ければ魅力が増すのではと思います。
40	・このアンケートで何か変化があれば良いと思っています。 ・子育てしたくても子供がいらない、出来ないのでは子育て対策も淋しいことになってしまうので、男女とも妊活できるようにしてほしい。 ・若い人達も住みやすい街を作してほしいです。高齢者も重要ですが、それを支える人がいなければ成り立たないです。土地や住宅の援助等々。イベントの告知を市民が知らないことが多いです。寂しいです。一部の方だけが参加しているように思います
20	・交通の便が悪いので、まずは根室から釧路までの高速道路を作してほしいです。 ・緑町がもっと栄えるように、飲食店を増やしたり、遊べる所を増やすのもいいと思います。
40	・根室市のメイン産業の水産、温暖化等でどうしようもない事は理解できるが、特に不漁が心配。 ・また、活気のある街、根室に来て働きたい、生活したいと思ってもらえるようになってもらえたらと考える。 ・人口減少の歯止めがかからないこの街の将来が不安です。
30	・町をきれいにするだけでなく、花や桜の木でも植えると華やぐ。 ・ふれあい体験できる牧場などを市で作って、観光の目玉にしてみてもいい？せっかく土地があるのにもったいない。漁業だけでなく、そこもせめていくべきだ。働ける場所が増えれば人も増える。チーズなど加工品が特産になれば市はもっと潤うのでは？
50	・私の仕事の水産加工業という事もあって、もっと水産業を盛り立てて、活気あふれる町にしたいと思う。老人や子供たちが安心して生活していける町になればと思う。 ・観光客がいっぱい来てくれるような、根室ならではの物を開発した方が良く思う。
40	早く中標津町のような立派なスポーツセンターを作してほしい。作るとしたら、運動公園か、プールのあたりなど行きやすい場所がいい。
75	・新庁舎の駐車場について、国道から入り国道に出るのは少し危険と思う。常盤公園側から入り振興局側に出るのはどうですか？ ・市民の森はあまりにも自然すぎと思う。小さい子供は怖がっているようです。もう少し明るい感じにできないですか。そこで何かイベントでもあれば良い。(近くのエ・ホ・ロとの共催でも) ・オンネトーに水上飛行機の発着場を作ってはどうか(滑走路建設はいらない)。
30	給食を何とかしてほしいです。他町に比べ値段が高いのに内容がおかしいです。メニューの組み合わせ、野菜が少ないように感じます。給食費(教員)の値上げについても十分な説明等がなく、非常に疑問を感じます。ここ 2~3 年で月千円程度の値上げに納得している教員はいるのでしょうか。きちんと全教員に伝わるように説明して下さい。
60-64	根室は何も楽しさのない町です。死んでいる、活気がない。緑町を通るたびに淋しくなります。シャッター街です。人口減少も大きな原因でしょう。市ではなく、町です。観光する所もない。
40	・転勤で根室に来ました。子供の習い事について調べましたが、インターネットでは情報を得ることが出来ませんでした。情報源はインターネットか市の広報誌です。住む前に情報を得る方法はインターネットしかありません。習い事に限らずネットを通じて根室の情報を色々知る事が出来たら、根室の魅力をたくさんの人の知ってもらえると思います。

年齢	問 22 意見・提案
	根室の観光地も行きました。車石大好きです。看板が少なく車石の成り立ちなど書いてあったら良いと思いました。転勤で来たので根室を満喫しようと色々な所に行ったり、色々な体験をしています。子供の友達（地元が根室）は行ってない人が多いようです。とても魅力的な街だと思っているので、地元の人たちがもっと楽しんで生活をして、発信していくと人口もまた増えるのではないのでしょうか。
60-64	- 温泉があればいいです。 - 市営球場を少し良くしてもらいたい。
65-74	- この意識調査の記入に当たり、改めて市民としての意識の薄さを痛感いたしました。毎月毎年人口の減少に伴い明るい未来が閉ざされたかのように感じて魅力のない街と勝手にレッテルと貼っていました。 - 市民として誇りの持てる街づくりの為、微力ながら協力したいと思います。若い人の発想、アイデアを大切にしていけたらと思います。
18-19	- 医療・保育・介護の修学資金の貸し付けしか根室市にはない為、他にも国家資格がある職業に対しても人材確保対策として必要ではないのか。（歯科・車整備・教諭・司法系等） - ふるさと納税で集められた資金がいくら、何に使われているのか具体的にわかる様に公表されていない。使い道を誰が決めているのかもわからない。市民にも知る権利、決定する権利があるのではないのか。 - 給食が無償化になって、1食分の金額が増えたようだが、手抜き料理のようでは食べ物が増え、偏り（炭水化物に炭水化物）が多く感じる。質も量も落ちたという人が多い。
60-64	雑草が多い。ポイ捨てのごみが多い。春先の舗道に融雪にまかれた粉、砂、小石がいつまでもそのまま、散歩の時、靴底に入り込むので玄関が汚れて困る。せっかく朝日や夕焼けが美しいのに歩く環境が汚いので残念です。
40	- 市営住宅入居希望の人が一杯いるので、もっと入居しやすくしてほしいです。 - 市内の街の中を歩ける範囲で、スタンプラリーやクイズラリーを名所ごとに設けてクイズとスタンプ全部できた人の1か月に1名根室の旬の魚介類（水産物）をプレゼントしたり、根室だけしか手に入らないマスコットキーホルダー、ご当地キーホルダーやグッズがあれば、観光客が入ると思います。例えば、キティちゃんと根室の海産物のコラボのキーホルダーやハンカチなど。各名所に納沙布だと貝殻昆布とキティちゃんキーホルダーなど名所ごとに行かなきゃ買えない、各地を巡ると思います。
40	- 市議会の議員数多すぎるので7人位でいいと思う。 - 空き校舎の有効活用を進めてみては。
30	中標津の体育館のように車イスでも使いやすいスポーツ施設があるといい。
50	- 市内の病院が足りないの、病院を増やしてほしい。できれば内科でも色々な専門の科があるのでその科を毎日診察してもらえようにしてほしい。 - バスも市内のバスが1日の走っている時間が夜5時くらいまでしかないから夜の8時まで走っていてほしい。日曜は平日よりも時間が短いのもっと夜の走る時間を8時くらいまで走っていてほしい。
30	- 話を聞いただけで、先に進まない総合体育館の建設などはやめて、市民に分かる形で動いてほしい。 - 小さい頃からの教育が大切だと思うが、市民のモラルの低さが目立つ。他人の空き地に勝手に花を植えたり、横断歩道部分から車が出入ったり、いまだに外を歩けばごみが捨てられているなど。 - 本土最東端ということで市外から多くの方がいらっしゃるのでもう一度市営でキャンプ場の整備をしてほしい。時期になると明治公園に何十台もキャンピングカーが何日も泊まり、我々市民が使いがたいです。
50	- 根室は水産業の街、漁師が魚や昆布をたくさん獲らなかつたら景気はどんどん悪くなっていきます。どうにかして一次産業の漁師や農業が安定しなければ街は活性化しないです。 - まずは若い人達に水産業、酪農の魅力を伝えていけたらいいかと。 - 市民の一員として根室をアピールしなければ、私はいい街だと思っています
75	この度のワクチン接種の申し込み時の混乱に見られる様に高齢者に適さない方法など、高齢者の意見をくみ取って実施すべきと思う。つまりその年代の人の意見をもって何事も行うべきだと思います。机上のみの考えでは駄目だと思います。
20	購買施設の増加、ラーメン屋とかうどん屋、チェーン店等をもっと誘致していただきたい。
30	産後の保育所利用ができないことや、0～1歳児の一時保育ができないことへの対策が何かあればよいと思います。（ファミリーサポートセンターの活用など）
18	中高生が楽しく友達と遊んだり、勉強したりすることができる施設を作ってもらいたい。
75	頑張ろう根室わが町
50	新庁舎（市役所）の最上階の見晴らしの良い所で、根室の美味しい水産物を食べられるレストラン的な場所があると、根室のPRになって良いと思います。
65-74	市の職員と民間企業勤労者との賃金の格差が大きすぎる。もっと民間の給与体系に近づけるべき。事実上、リストラがないのだから
20	- 給食が少ないのもう少しおかずを増やしてほしい（中学生） - 給食費の無償化はすごく助かるが、半分でも支払いをして給食を増やしたら良いのではと思う。 - 保育料（3人目）無償化は助かると思うが、少しでも保育料を払ってもらっても良いと思う。仕事もできないし、施設に入りたくても、料金が高いし、なかなか入れない。高齢者や家族が大変だと思う。
20	神戸にある「はっぴーの家ろっけん」などのような取り組みがあると良いと思います。
65-74	・ノサップの遺跡を復元して観光に役立ててほしいと思う。

年齢	問 22 意見・提案
	・ 湖南の無駄な道路作りはやめて将来に役立つ道路を作ってほしいと思う。
30	身近な生活道路の整備を検討して頂きたい。通学路の整備など、歩道と車道の区別が無い所などは車の通りも人の通りも多い場所が多々あると思う。街灯も少なく、防犯対策が行き届いてない。
65・74	・ ふるさと納税に依存している市の財政状況は将来的に不安です。 ・ 市立病院への 10 数億もの財政支出は、中標津町の現況を報道で知る限り、明日の根室の姿だと思う。この問題の解決無くして明日の根室は存在しません。 ・ これが今の市民が感じている不安であり、将来この街に住みたくない大きな理由だと思います。ふるさと納税の制度は菅内閣の終わりと共に終わると思います。
30	大きな公園など、子供が楽しめる施設がもっとあれば良いなと思います。
50	・ 子供たちに帰って来たいと思ってもらえるように、まずはゴミのない綺麗な街を目指す。そのためには、ごみのポイ捨て、たばこのポイ捨てなど街を汚す行為を止める。大人が街を愛さなければ子どもたちも街を愛するはずがない。 ・ 安心して暮らせる事、在宅生活を支えるための資源が少ない。訪問看護、訪問介護、訪問入浴サービス、訪問診療、真に必要なサービスが足りていない⇒人が足りないから出来ないじゃ、いつまで経っても同じ。従事者確保とまちづくりは一体でやらなきゃダメ。 ・ 毎年 600 人以上人口が減っている原因は郷土愛。ふるさとを愛し、大切に思い、何をすべきか考え何をしたらいけないかを知り実行する。一人一人の行動を変容させるための方法を行政は考え実行する義務があると思います。
18	車が多く通る国道を舗装するのは当たり前ですが、車の通りが少ない所もしてほしいです。歩くだけで危ないような所もあります。
40	・ 市に意見を出しても、あまり改善されてなく、市民の声をきちんと聞いてほしい。 ・ 街にはメジャーな商店もなく（ユニクロや GU 等）結局、中標津や釧路へ行く。デリバリーもなかなか当日予約もできずファストフードも 2 軒しかないし、魅力が全くない街。 ・ 地域性もあるが、他市から来た人を良く思わない（縄張り意識）。 ・ 大学もないから、結局地方へ出しても卒業したら子供の借金、就職先無し、これから根室を良くしたいのなら、商店等を他から入れて根室人の心を入れ替えさせる必要がある。（マックやピザ、マッサージ店入ってほしい）
18	今現在、根室から若い人達が減っているの若い人達が「根室にいたい」と思うような対策を考えた方がいいと思う。
40	食べ物が美味しく、とても魅力的な街であることに満足していますが、市街地以外の下水道が整備されていないのがとても残念です。何とかありませんか。
65・74	根室市は人口が少なくなっています。若い人が外に出ないよう、市に何か、地元における若者がここで暮らせる、そういうことを考える取組みが大事かと思う
18	せっかくの眠郎君の活躍場所がまだまだ少ない気がするの、イラスト大会や塗り絵大会で触れ合える場が欲しいです。色々なイラストでラインスタンプを作るとかも面白いと思う。公式のラインスタンプも第二弾を発売して宣伝してみるとか。
18	センターみたいなスポーツができる体育館を増やしてほしい。
50	今回の調査により分からない事が少し分かりました。 ・ 根室はふるさと納税が好評です。その分地元の企業も忙しくもありますが、利益が有る事はとても良い事です。又、その税で少しでも街の施設等が良くなり活用出来る事を望みます。 ・ 回りに子供達が少なくなり自分達も含め高齢が進んでいます。もっと仕事出来る企業が有って、生活出来て若い方が地元から離れないで働けて、高齢者が最後までこの街で安心して過ごす事が出来る施設を望みます。
40	高齢化が進んでいる根室に対して老人ホーム的な施設が少なく、あっても料金が高等などの理由で入れない人が私のまわりにもいます。 仕事をしながら高齢の両親の面倒をみなければいけなく会社にも迷惑をかけてしまうのが現状。子育てに力を入れたいのはわかるが、実際のところ高校卒業を期に地方へでてしまう子供が大半で、戻ってくる子供もいない。私自身、自分の子供に将来根室での就職は希望していない。未来がみえない町だと思う。
50	給与が少なく、又残業も多い中、家庭と仕事に追われ、子育てする心の余裕が無くなっている。ひとり親家庭でも、心やお金にもう少し余裕があれば根室市に対して視野が広がるのでは・・・と思う毎日です。 買い物をするにも店と店が離れたところにあるため常に車での移動が必要。もっと市民の方々が暮らしやすい、又人の多く集まれる様な店や施設があればこれからの子供達や老人が、根室に残ってくれるのではと思います。それと、観光にももっと力を入れて欲しい。
40	明るく活気ある街にしてください。
30	MTB を使った観光振興を提案したい。 先日バイクで別当賀から林道を通って落石海岸三里浜まで出たが、北海道でもこのようなすばらしい景色と体験ができる所は少ないと感じた。きっと他にも感動する道があると思う。なぜなら根室には、戦争時に造ったものの痕跡やアイヌのひとの痕跡が散らばっているからである。ご検討いただければさいわいです。
65・74	子供の場所(遊び場)は、運動公園につくるとの事。では高齢者の冬の遊び場の建物も必要では。
50	・ 根室市の良さは、大きすぎない街であることだと感じています。U ターンや I ターンで根室に住んでいる方々に、大きな街にはない根室の良さをもっと宣伝していただきたいです。

年齢	問 22 意見・提案
	・市議会の議員定数について。人口比で定数を決めることはできないのでしょうか。議員さんが多すぎませんか。 ・根室市の財政が、ふるさと納税や地方交付税に頼らずとも成り立つ、盤石なものであってほしいと願っております。
75	私達 2 人 94 才と 86 才 2 人で居ますが、息子嫁孫が居るので、今のところ年金をもらいながら心配なく暮らしております。
40	根室にはおいしい食べ物(カニ、鮭、エスカロップ)などたくさんあるのに、地方の人にはあまり知られていません。納沙布岬もすばらしい場所です。もっと地方の人が(コロナ終息したら)行ってみたいと思ってもらえるようになればと思います。
75	コロナ禍の中、市長さん初め大変がんばっている姿が見えて根室に住んでいて良かったなと思っています。まだまだ気がぬけない毎日ですが、病院(市立)が普通診療にもどったとの新聞記事を見てホッと安心しているところです。
18-19	・空き家やくずれそうな建物を整備して景観を良くしてほしい。目にする根室がさびれて行くみたいでがっかりする。 ・ゴミの分別をしているけど、回収された後どのように再生されているのかわからない。もっとたくさん情報発信してリサイクルを進めると環境も良くなると思う。 ・根室市も色々な事業をしているのが知れたけど、ほとんどわからなかったの、チラシなど使って学生にもわかるようにしてほしい。
65-74	根室のすぐれた特産を扱う道の駅等に市場を併設。
65-74	市立病院の玄関から受付までの距離が長く足の悪い高齢者など困っている。
75	市立病院の医師・看護師の充実をしてほしい。
20	根室は好きなまちでこの先も住み続けたいと思ってます。 しかしながら、20 代夫婦としてはこの先不安に思うこともたくさんあります。初産は根室で出来ないし、学校はどんどん少なくなるし、この先子供を産んで育てていく中でなんだか先が見えません。病院は立派だけども費用が足りなくて結局釧路にかかります。家賃の相場も高いので経済的なことを考えると、子供は 2 人欲しいけど 1 人が精一杯かなと思ってます。少子化が進むこの世の中で子育てがしやすい、サポートが充実したまちになりますように。若い人たちが出て行かず根室でずっと暮らしていけるような住みやすいまちにもっとなればいいなと思ってます。
60-64	若者が帰って来てくれる様な環境
30	・子供用品がそろわない。必要なものが売ってないのでネットが頼りになっている。西松屋など大型チェーン店がひとつあってほしい。 ・フィールドアスレチックの再構築 ・スポーツや音楽等たずさわっている学生が本物(プロ)を肌で感じられるよう試合や演奏会を開催してほしい。
65-74	今の根室市はなに事にも対応が早く良いと思います。これからもその調子でお願いします。
75	・車道は整備されていますが、歩道は段差があり足もとが危ない。 ・冬はバス停、歩道の除雪がしてないので車道を歩いている。特に岬町は雪の吹き溜まりが多くバス利用の時車道に出ている。 ・空き家を利用して町会活動や老人クラブ利用等出来る様に願いたい。 ・緑町がさみしいです。昔の緑町に戻る様に私達も協力します。 ・空地を無くしてシャッターを上げなければならないと思っています。アンケート調査を進めます。 ・10 万円の給付、ワクチンの手配等、根室市は市民の為に全力で早く活動してくれました事感謝します。ありがとうございました。
40	とにかく、雇用が無さすぎる。転職したいが職はないし、どんどん他市へみんな引っ越している。空地ばかり。
75	市立病院の脳外科がいつも患者さん多勢で 10 時に入っても夕方 5 時に終わる事もあります。その間、水を買ったり、トイレにも行けません。その間に呼ばれたら困るからです。そのうち血圧が高くなり具合悪くなります。どうか脳外科、月水曜日だけでなくもう 1 回何曜日か増やしてほしいです。どうぞよろしくお願い致します。
30	・「ふるさと納税」で根室は有名だが、美味しいものを食べようとして観光に訪れた時にランチ営業している寿司屋、海鮮の店がほとんどないのはもったいない。市民としても美味しい海鮮を普段から味わいたいものだ。 ・根室市のごみのリサイクル率ほどの程度なのか知らないが、10 年以上前に「ごみの分別ガイドブック」が配布されてから更新されておらず、市外から引越してきた人は「根室は何でも燃えるごみの袋に入れば持って行ってくれる」と勘違いしている人が多い。もっとしっかりやってほしい。
50	・周囲の話を聞くと、子育てをしづらい地と言われています。なので、子供は根室の学校には通わせたくないとも聞きます。「ネウボラ」を目指し、根室で育つ子どもを豊かに成長させる事はできないでしょうか。 ・早期の発達支援をするために支援センターの設立、専門の心理士さんの配置、保育士さん、保健師さんの専門性の強化。基盤からの取り組みが大切だと思います。
50	中標津空港を利用し、根室に来る人にとってはバスが大変便利です。 空港に到着する時間帯に合わせ根室行きがあります。 では、釧路空港を利用した場合はどうでしょう。J R、バス共に全く時間が合わず大変苦勞します。午前中に空港に到着しても、夕方にならないと根室には着けません。 根室をもっと観光してもらうには、連結を重視する必要性があると思います。J R、バス何方でも構いません。是非、乗り継ぎがスムーズに出来る公共交通機関の充実をお願いします。

年齢	問 22 意見・提案
60・64	根室市は全面海に囲まれた町です。当然漁業(関連性も含めて)がうるおわないと成り立たない家庭が多数あります。その漁業の先が全く見えて来ません。となると水産関係の会社も倒産という型が見えて来ます。雇用も当然減ります。どのような企業を誘致すれば雇用が増えるのでしょうか。
65・74	・空地に雑草が生えている所に宿根草ルピナスなど植えて、きれいにしたいのと、フキがどこにでも生えているのが暗い町に感じる。 ・廃墟になった建物を撤却してほしい。
60・64	高校生へのパソコン貸与、昨年の特別給付金の迅速な給付等、この1～2年「市役所頑張っているな」という印象を持っていました。 ただ、今回のコロナワクチン接種の予約については、市役所の対応の悪さを色々と耳にしました。特に電話で予約できず困り果てて市役所に電話した方々に対して不親切な対応があったようです。一部の職員だとは思いますが、市職員は「公僕」だということを忘れていない人もいます。私自身、数年前ですが母の介護認定にかかわって、窓口で大変不快な思いをしました。研修など行うなどして常に市民の側に立って物事を考えるようにしてもらいたいと思います。 市民参加の会議等でも「あまり改善する気がないな」「会議をやったという事実だけがほしいのだな」と感じたことが再三。本気で根室のために働いてほしいです。
20	水産業に力をいれないと、この先根室は落ちていくだけだと思います。
65・74	運動公園の時計が止まったまま、時間も狂ったままです。各地方の公園では温度計が設置されているが設定予定はないのか。
40	子育て世代への支援が増えて大変ありがたいです。このような支援がいつまでも続けばいいのですが、市の財政は大丈夫なのか？とも思います。
75	有意義なアンケートありがとうございました。
65・74	・わが町には自慢の出来る施設がない。別海町、中標津町では目に見える程の施設の充実が伺える。屋内でも屋外でもきれいで安心だ。市から町へ出かけて行っても楽しいと思える。知っていましたか？夏場は良く中標津のどこどこに行ってきたよと聞きます。根室も力を入れてとりくんでほしい。子供と高齢者のためになると思う。 ・上下道工事の終了後の舗装の出来が悪いのかマンホール付近が陥没して応急処置のまま何か月です。舗装は波うって少しの雨でも水たまりがヒドイです。どうにかしてほしいです。見えるとこだけのまちづくりはいらない。
40	高齢者児童障がい者と共に生活できる環境の場、出来る事を生かす場の提供作りを、市で作り老後も根室にいたいと思える医療の充実を考えてほしい。
40	・非常識な出し物はとりやめてほしい。コロナ禍でも自分達の儲けのために屋台を出すとか、子どもを集めるような行動をなぜ認めているのか理解できない。 ・花火、そろそろ飽きる。そのお金あるなら子ども達に物の1つでも与える、プレゼントしたほうがよっぽどためになる。
20	子どもが安心してあそべるような所が少ないと思うのでもう少し増やして欲しいです。あと住宅街になってきているのにバス停がありません。買い物に行ったりするのに車が欠かせない状態なので、年をとったら運転出来なくなり、バス頼りになると思うのでもっと増やして欲しいなと思います。よろしくお願いします。
20	・LGBT等のマイノリティな人が住みやすい環境にして欲しい。 ・いじめ等により学校に通えなくなってしまう子へのカウンセリングやフリースクールが有るなどもっと広く知られて欲しい。親への理解ももっと深まって欲しい。
65・74	大変な事件も少なく、食べ物美味しく安心していられる(住んで)町だと思います。 最近(市政が変わってから)は色々な事がスムーズに流れて対応が早い事はうれしく感謝です。今、世界中が苦しい状況ですが、町作りにかかわる方々と共に明るく乗り越えて行ければ良いですね。
65・74	日本一遅い桜の開花をもっと有効活用し観光客の増加を図り外資を根室で使ってもらうためにも、チシマザクラ、エゾヤマザクラの街道を穂香から根室振興局までの区間に造成し話題として取り上げられてもらう策を是非とも執りおこなって頂ければ常々感じています。
60・64	根室市内のゴミ等をもっと整理してもらいたい。それと道路わきの草刈り等などもっと丁寧に視界が悪い。
40	・このようなアンケートがあるのは良いと思いますが、複数回答可だとさらに良かったと思います。1つだけだと十分に意見が反映されない気がします。あと、それぞれにコメントできる記述欄があると具体的に書けるのではと思いました。 <意見>せっかくの機会なので、日頃感じていることを色々書きます。 小学校の教員です。 ① 根室の自然や産物を気軽に利用できる手段が少ない。フットパスなどよく利用しますが、いつも誰も歩いておらずもったいないなあと感じます。根室の加工品やお菓子のパッケージも少し古めかしい気がします。厚岸などに行くと見た目がおしゃれで購買意欲がわきます。そのような商品開発、財政支援があると良いのかなあと感じます。中身がどこにでもあるようなもので残念です。オリジナルが欲しい。 ② 根室の学校に来て5年目になりますが、市の教育委員会の関わりが少ないと感じます。アンケート内にも書きましたが、委員会とのつながりが少なく最近では通級指導教室の開設や給食費の値上げ(教職員)なども事後報告で少しさみしいなと思いました。その政策自体は良いと思うのですが、事前に報告や連絡があるとうれしいです。根室は転勤してくる人も多いので、そのような人と共に市政を行っていくという気持ちが欲しいです。

年齢	問 22 意見・提案
20	ここ数ヶ月の間に、風車やソーラーパネルが急激に増えました。せっかく美しかった景観が損なっていると思います。これ以上増えると観光客も減るのでは。
60-64	半島地区にここ 2 年でたくさんの風力発電・太陽光発電が建設されていますが、景観をそこなっているのではと思います。これからは風車や太陽光パネルが設置されるとまちがいなく景観がそこなわれ、観光客も減る(半島方面)と思います。
65-74	公園の整備、遊び場の整備等々に力を注がれているのは、理解しています。例えば、道端の雑草がのびほうだいはどのように感じていますか？歩いていていつも思うのですが、道路がキレイでも雑草がずっとのび放題はどうしても気になっています。キレイな街並には程遠く思います。どうしたらよいのでしょうか？協力は惜しみません。何か考えましょう。
30	以前にも計画はあったかも知れませんが、ノサップ岬に温泉施設の新計画を「ふるさと納税」の基金を元に採択して温泉調査をしていただき、今道内の他の人々にスルーの町、端の町と言われていることを見直し「北方領土」を見てその後「一泊できる町」一番のノサップ岬に温泉施設の計画は「朝日に一番近い町ねむろ」市長みずから公言しているように、元旦に朝日を温泉につかり見ることでできれば、それは漁業の町から観光の町に進めていけると考えるからです。前向きな検討をお願いします。
65-74	漁業の街と言われる根室市ですが、サンマ、秋サケ、コンブ等が不漁で冬には出かせぎに行く人も多いと聞いていますが、冬でも地元で働ける場所を作る事が大事だと思います。農業、漁業のワクを取りのぞいて新しい産業を作るべきだと思います。たとえば、キノコのさいばい(ビニールハウス)等を年中通して働ける産業作るべきだと思います。(農協、漁協)協同で取り組むと良いと思います。
40	大人も子供も遊びに出かける場所がなく、ストレスが溜まる。せめて、街並みのキレイさがあって欲しい。
50	・若者が意欲的に働ける会社など、働く間口が必要です。 ・上と並行して学校では子ども達に何を育てるか市民に向けて明確にすべきです。(教科内容を身につけるだけでは「若者が働く」ことにつながりません) ・町内会の有志で花壇整備をしてくれていますが、高齢の方ばかりです。交差点にたまった雪や春先の氷など放置されています。自分達の生活環境は自分たちで整える仕組みが必要です。市がやってあたり前と思っているところが多いと思います。 ・特産品や根室のよさ(都会と比べたら何もないのが魅力という人もいます)を発信する力を企業が持たないと発展性が弱いと思います。
30	新型コロナウイルスの状況もありますが、大手チェーンのホテルを誘致し、観光客を短期間でも滞在させることができれば、根室市の経済に影響すると思います。それに伴い観光施設・商業施設の整備を実施し、根室市民及び観光客にも楽しんでもらえるような「まちづくり」が必要かと思います。宿泊施設等が整備されれば、飲食店や商業施設、子供達が遊べる施設・公園が展開・建設しやすい環境になっていくのではないかと思います。地元企業とチェーン展開する企業がうまく共存し、市として活気のある根室市になることを願っております。
40	まず根室市は空港や根室にない SHOP(ユニクロ、ニトリ、コンビニなど)、映画館などを建てるべきだと思います。そうすれば、とても活気あふれる“まち”になると思います。それから、商店街の魅力 UP に力を注ぎ、まちの緑化などを進めていけばいいと思います。これから若い人たちへのアピールをし、人口を増やし、根室をもっと活気あふれるまちにしてほしいと思います。
40	大規模な体育館・陸上競技場・野球場・キャンプ場など、古い施設や無い施設をしっかりとした規模(作り)で新設してほしいです。子供達の学業に力を入れるのもわかりませんが、運動能力の低下やスポーツ(部活)離れも深刻です。心と体の成長も未来の根室には大事です。
30	・中標津町に負けない市にして下さい。
20	現在、コロナ感染防止対策で市長をはじめ市の皆さんにはとても感謝していますが、転勤族の方や専業主婦の子育て中のママからすると、遊ぶ場所もなく、とても生きにくい思いをしています。特に子どもと 2 人きりで 1 日を過ごしている母親たちは支援センターの利用が唯一の心の寄り所となっているので、少人数の利用でも、予約制でも良いので、支援センターを開けるかそういった家庭に保育士さんが定期的に訪問するなどして、お母さんの心の回復に寄り添ってほしいです。また、飲食業のみなさんも大変な思いをしていると思いますが、子どもと母親が 2 人で気軽に入って利用できるお店を増やしてほしいです。私の周りにいる 1~3 才のママさん達は辛い思いをしています。助けてあげて下さい。
30	・テレワーク主体企業の誘致→通勤の必要が無いので法人税が安い地域に移る動向 ・個人投資家の育成→高額納税又専業展開の可能性も視野 ・最東端から最先端を発信する街 ・外部を受け入れやすい街 ・空き家情報を全面解放し、すぐに移り住める街
20	4 月に根室市に引っ越してきたが、根室市は何かと不便なかんじがする。また、人々のコミュニケーション能力の不足が激しく近所付き合いもわるく思える。もう少し人々が活発になるようにしてほしい。
65-74	漁業の町根室での特産物の立ち上げ
40	・社会人や学生のボランティアサークルがあればいいと思う。 ・以前はあったと思うが、人口の減少などの理由で無くなったのではないかとと思っている。音楽のイベントなどがあると良いと思う。

年齢	問 22 意見・提案
50	・根室新聞がなくなり、全く根室市役所が何をしているのかわからなくなった。その分役所 HP を使いやすくしてほしい。今回のアンケートにある事業すら HP に書かれているのだろうか。 ・コロナ以前から市長、市幹部が厚床等の公聴会を開いたことは無く、行政と住民の一体感は全く感じない。農業分野についても同様。 ・働く場所が無いと住民は増えないのだから、農家のリース事業(牛、牛舎、住宅付リース農場)など今迄に無い政策が必要。 ・観光に力を入れて産業にして行くつもりが見えない。食材、景観は一流なのに・・・。事業者まかせでは拡大出来ない。
75	私は年令的に意見や提案を言うほどの事は申し上げるつもりはございません。ただ、ここ 2 年間コロナがなかったらもっと違った毎日が有ったのかもしれない。 私の住んでいる地域は、交通の便(バス等の公共機関)が悪く自家用車の無い老人の暮らしは本当に不便です。お店も近くに無く特に冬は除雪も遅く経済的にハイヤーを利用も出来ません。 せめて、バスの待合所に大がかりでなくても雨風をしのげる屋根だけでも設置していただけたら、どんなにか皆が助かると思います。 大がかりな目立つ事だけが街作りではないと思います。歩く道も無い様な冬の道を必死に歩いている人を見ると、もう少し細かい所に目を向けてほしいと思います。町内会単位での聞き取り等もう少し状況を知ってほしいと思います。
40	根室市に戻ってきて数年経ちましたが、ただでさえ不便だったバスの時間が減ったのがショックでした。 これから車を利用する人はまちがいなく減るので、バスを増やして欲しい。若い人が使わないのは、とてもわかりづらいのが原因です。「～線」と言われてもどこを周っているのかわからない為、必要にせまられた人達しか乗っていません。 バス停の場所や「～線」を一度見直して頂いて本数を増やし、一度各家に新しい路線図を配布する等してみてはどうでしょうか？ あとは各バス停に大きく止まる場所を貼っておいてもらえると、みんなが乗りやすく分かりやすい交通機関にする事が可能になっていくと思います。
40	素通りの町、ねむろを脱却するため朝日にいちばん近い町ねむろをイメージにノサップ岬に温泉施設の建設を計画して欲しいです。元旦の初日の出の観光客を集客でき、温泉を掘りあてればリゾート会社(グループ)もホテル建設をこころみらるだろうし、良いと思う。是非計画していただきたい。
30	・納沙布岬のお土産屋さんを新しくする。周辺の廃棄した建物のとりこわし。観光客、地元の人が行きたいと思える施設や色を塗り直すなどが必要。 ・緑町や飲食店の駐車場を増やしてほしい。空き地であっても使えないようになっていてもったいない。 ・閉店したお店の取り壊し。緑町に人が増えてほしい。 ・駄菓子屋さんがほしい。昔は駄菓子屋さんがあり小さい頃買ったのを今でも思い出せるが、今の子どもたちは駄菓子屋さんで買い物をした事がない。駄菓子屋でいくら分買えるなど、お金の計算も出来、大人もまた買いたいと思える。 ・若者、子どもたちがいつでも根室にいて楽しい、この場所が好きと思えるように。
20	根室市が抱えている課題が多いような気がしております。 コロナという言葉が毎日のように聞こえてきており、多くの人達に与えている影響が多く、早く収まることをただ祈るばかりであります。 まず、コロナが落ち着くまでは政策に取り組むのが厳しいように感じます。根室市だけに限りませんが、どうか皆様の生きる希望がある対策が必要なのでは？と感じる昨今です。
50	根室管内として北方領土を含めた「最東端ブランド」の創出。
75	除雪の件でお願いがあります。 積雪の少ない道路の方をブルが通ります。多い方の道路の除雪が大変です。せめて公平に道路の中心の除雪をお願い致します。
30	土木工事現場などでケガをした時に、対処の仕方がわからないので現場向けのパンフレット等を配布してほしい。
40	・医療の充実(総合病院(皮膚科や耳鼻科など)は市内に、市立根室病院しかないのでは仕方なく受診するが、受付や助手の人は私語が多い。点滴や注射の下手な看護師が多く残念です。) ・公共施設の整備(草刈りなどは 6 月上旬くらいから入ってほしいです。)
75	激動の現代社会未来を担う青年達の勇氣ある人材の育成が必要かと思います。
75	私は高齢でもう何もできませんが、これからの根室のためにぜひがんばってほしいです。
30	・子どもの学力向上。道内最下位レベル。 ・高齢者を寝たきりにさせない。 ・資源をとるだけではなく、育てる努力。 ・無駄にならないよう利用者などの意見を十分に聞く。 ・他の市に負けない子育てのしやすい環境と魅力的プラン
30	娯楽施設が乏しいのが課題と考えます。
75	若い人が外に出て行かなくても良いように若い人の働く所を作って下さい。若い人が根室に残って生活が出来るような市になって欲しいです。(海の事が学べる学校とか)何かないか。

年齢	問 22 意見・提案
60・64	(市立根室病院について) ・分娩体制ですが、やはり初産の分娩の再開を望みます。又医師の(各科の)充実を計り病院での待ち時間が少なくなる様になると良いと思います。
30	子どもの遊び場がほしい。公園の遊具をもっと充実させてほしい。
75	高齢者に対し病院、介護付老人ホームの建設を望む。
18・19	・道路や街灯の整備をきちんとしてほしい。 ・商業施設を増やしてほしい。 ・保育士・介護士の給料を増やすべき 質問があります。なぜ男性の方が給料が高いのでしょうか。
65・74	私の地域では FM 根室の受信が出来ません。 市内の情報が毎日聞ける事で、市民一体感が生まれ毎日の活力と安心感が発生します。一日も早い実現をお願いします。
30	どうしても良いところに固執していて、肝心なところは臨機応変に対応してくれないので、正直面倒くさいと思う所があります。話も伝わりにくく、同じ書類が2~3度と届くことがあったりと要領が悪く混乱します。もっと、広い視野を持って取り組んでいったらいいんじゃないでしょうか(自分も含め)
40	・道内に住んでいる知人でも「根室までは行った事がない」という人が沢山います。距離的な問題もありますが、どうしても行ってみたいと思うような新たな特産品や施設があるといいと思います ・すばらしい自然や動物が沢山あるのに活かしきれていないような気がします。ボート・カヌー、船などの体験施設や自然動物を見るツアー、また鹿肉料理など充実されているといいと思います ・気軽に宿泊できる所や車中泊、キャンプ場などがあると良いと思います。
30	限られた財源と思いますが、次世代を担う若者がこの街に住み続けたいと思える環境づくり、また住み続け標準的な生活を送れる環境づくりが今の課題かと思っています。その為には現状に甘えずより先を見越した整備にもっと力を入れるべきだと思います。(根室市の特色を生かした施設作りや観光地作りなど) また、ある意味孤立した地域であるので、医療技術の向上はさらに力を入れ充実させてほしいと思います(高齢者に限らず、根室市民、さらには市を守るために絶対に必要です) 後は、政策を行い、それを市内外さらには道外の方に知っていただく事も同じく大切だと思います。広報にも力を注いでいただきたいと思います。
65・74	地域に何が不足しているかを見聞と実施
30	今ある施設の設備を有効利用するために、改築したり、整備・増設したりともっと工夫できはしないだろうか。 新しい施設も大事だが今現在使用している公共施設や学童施設の改築も視野に入れてほしい。人員は確保が難しいのは仕方ないと思うが、ならば今いる人数で QOL を落とさず尚より良く利用するまたは利用できるようにすることが必要ではないだろうか。
50	根室市は自分にとってとても大切で大好きな街です。これからも医療や高齢者問題、さまざまな課題がありますが、地域一体となって皆で協力していく事が大事だと思います。
30	・0~3 才未満児の保育所無料化にしてほしい。 ・大学等がない為、根室に帰ってくる思いがある方には生活費や通学にかかる費用を補助してもいいと思う。(保育や医療等に限らず) 他の市や県には大学や専門学校もあり、学費のみだが、根室市だと生活費等をもかかる為) 最近子どもが進学につれ、親も一緒に引っ越す人が多いため。 ・住民税が高い。利便性も良くなく、税金も高いと、住む人もいなくなるし、移住したいと思う人はいないと思う。 ・根室市の方々、地域性もあるのか、口が軽い人も多く、情報が漏れやすいのも住みにくさに繋がっている。 ・ディズニーや富士急みたいなパークがあると人が沢山きそう。遠くても。
18	・教育関係で、もっと ICT を授業に導入してほしい。根室高校で一人一台パソコンが配布されましたが、教員が使いこなしておらず、ICT への偏見が強く、授業でほぼ使っていないのが現実です。
40	根室市をもっと(何かで)有名にしたいです。もっと盛り上げたいです
30	ふるさと納税で成功したように、根室の水産資源はネット通販、サブスク等の販路拡大に可能性を感じます。(水産加工業はもっと充実しても良いと思います)
30	・学校のアンケート、職場アンケートを増やす。ひとり親だけでなく、子育てをしている親への負担を減らしてほしい。現在、コロナが増えているにもかかわらず、根室外に出かけている人が多く見えます。呼びかけをお願いします。子供を守りたいです。 ・公園のブランコがねじれて(光和)直したときにけがをしました。見回りしてください。中学生の遊びが危険で、小さな子供が遊べない。ゴミは捨てていく。
40	中学校など使用していないところで使用が可能ならイベントや体育館の開放などした方がいいと思う。取り壊すだけでなく、活用した方がいいのでは。
40	・ふるさと納税が好調な今、これからの根室を支える若者たちが地方に進学後、戻って来たくするようなまちづくりにお金を使ってもらいたいです。 ・市民の主体性が大切だとあるが、市民が主体性を持つためには、市役所職員の自覚や質を改善することも必要かと思っています。市役所へ行っても、暗い顔でめんどくさそうな対応をされることが多くてがっかり。根室の顔がこんなんでは市民は諦めの気持ちが募るばかりです。

年齢	問 22 意見・提案
50	根室半島で地震災害があった時に半島地区に災害連絡道路を作ってもらいたいと思います。牧の内から納沙布地区まで砂利道でもいいのでそれでないことと孤立になることから生活支援が行き届かないことも考えらえると思います。自衛隊、市としても生命または緊急事態が起きた時にスムーズに人を運んでいくのではないかと思います。私自身も消防団に入っておりまた高齢者、障がい者を病院または公共施設などに運んでいけると思います。なるべく陸の孤島は避けたいと考えています。この 30 年間で 80%と高い確率なので半島地区の高い所に考えていただけないでしょうか。コロナ禍ではありますがお願いします。
18	瑠瑠瑠地区に住んでいるのですが、街灯が少ないため、バスから降りて自宅まで歩く道のりが真っ暗で怖いです。旧瑠瑠瑠小学校は避難所になっているのに、窓ガラスは割れているし、中は虫の死骸などでひどい状態だと聞きました。もし、避難することになった時、そんなところへ集まれるのかな。普段から清掃などが大事だと思います。避難して、一番初めにやる事が掃除だと違うと思う。地域の人達に協力してもらって定期的に掃除したらどうですか。あと、瑠瑠瑠地区に公園が欲しいです。街の中ばかり整えないで郊外にも力を入れて下さい。
40	・ひとり親に対する助成があるのは良い事だが、一般家庭でも子供が 1 人でも大変な家庭がある。少し不公平を感じる。 ・学校の給食がひどい。以前は花咲小からだったが今は北斗から来ている。量、味、どちらもひどいと子供が言っている。
30	北海道出身ではないので、冬に子供と何をして過ごせばいいのか分からず、引きこもりがちにかなりストレスがたまりました。車が無くても子供と一緒に遊べるような場や交通が整っていると助かると思いました。子育て支援として遊ぶ場もありますが時間や日数が少なく、いつでも利用できる施設があるといいと思います。なかなか利用できていません。
65・74	宝林パークゴルフ場は多くの人が利用されていますが、管理棟が小さく利用しにくい。
60・64	・沿岸による養殖事業の充実。ウニ、ホタテ、カキ、ズワイガニ、ハタハタ、海藻類等結構の種類はやっている。新たなものというのは特別にないが、今までの事をさらに充実させる。 ・ふるさと納税の一層の充実とさらなる呼びかけ ・風力発電等自然エネルギーの増加、振興。根室の風の強さをフルに利用、設備投資のコストを下げられればの話。 ・波力エネルギーの活用 ・根室十景の観光巡り、1 日ルートと半日ルートの選択（十景観光バス、タクシーなど市内交通会社等連携して）十景に東根室駅も加える。昼食など途中でとれば 1 日日程でも暇をもてあまさないのでは。日帰りだけではなく、宿泊プランもあれば地域での経済効果が大きい。ノサップに宿泊施設があると観光で来る人も多くなると思う。パックで宿泊して次の日帰る、食費・お土産・交通費・宿泊費等で行くという商品にするのはどうでしょうか。特産のお土産を持っていく。もう実施しているものが多いので、種類や数を広げると言う事で考えてみました。 ・地震研究所、観測所等もあれば良いと思います。大地震の予想もあり、国の施設として必要ではないかと考えます。
40	・買い物に行くにもほとんどの人が釧路、中標津へ行きます。 ・広大な土地が根室にあります。もっと企業を入れて、住、食を地元で買い物も地元で出来るようにし、逆に根室に買い物来るようにして下さい。子供たちの遊ぶ所が無さすぎです。だからネットに走る、インドアになる、コミュニケーションが取れなくなる。 ・スーパー銭湯を作るべき。バイヤー等の地方客が来た時の複合施設を作ってください。
75	後期高齢者の意見でなく、若い人にどんどん参加できる意見を聞いて下さい。
30	鹿を時々見かけます。とても動物に興味があり、鹿の角拾いや海の貝殻拾いをし、リングやアクセサリー等を作るイベントがあったら面白いなと思いました。
30	・ごみ処理：プラごみの回収を毎週にして欲しい。（ペットボトルはさほどたまらないが、プラは 1 週間で 1 袋以上になる） ・ごみ拾い：風が強いためかマナーの問題か道端によくゴミが落ちている。市のごみ拾いをもっと多くても良いかと思う。子どもも参加したい。 ・北方領土問題（国に言うべきことなのにすみません）：転勤族として根室に来てようやく北方領土の歴史を知った。道産子なのに知らないことが多かった。毎年同じ時期に同じニュースで定型文ばかりを聞くだけでは「国民の総意で取り戻そう」は無理だと思う。納沙布岬から島を見て喜ぶだけではなく、影響力のある方にまず知ってもらい、など堅物な方をあえて外して日本全国民への発信の役目を担ってもらえたら良いと思う（インフルエンサーを使うなど）
30	光洋町の市営団地に向かう道路にある古い誰も住んでいない公住がとても不気味で怖いです。そしてその道路の歩道が人 1 人歩けないほどに細く、小学生や中学生の子どもたちも車道を歩いています。市営団地を作る前に古い団地をとりこわすか、改築して街灯をつけるなどして、不審な人がひそむような場所をつくらないこと、子供達が安心して歩ける道路を作って欲しい。部活帰りなどで帰宅が遅い時は、車のライトとライトでまったく歩く人の姿が見えなくなることもあるので、心配になります。老人も毎日みなさんウォーキングをしています。光洋町には海も近く木も多くウォーキングにもとてもいい場所なので、こういった不安な場所、不便な場所が改善されるといいなあと考えています。
75	・若者の雇用 ・市立病院の充実 ・大学・専門学校の誘致
20	・子育て世帯ですが、天候の悪い日があっても屋内で遊べる施設(屋内にアスレチック等の遊具がある)がないので、子どものストレス発散させるのが、難しくなる時があります。子どもの同じ年代の親御さんとの交流もないので、そのような施設があることで、きっかけができればと思います。

年齢	問 22 意見・提案
	・子どもの生活用品(衣類など)が市内で買いたいと思っても中標津、釧路まで行かなければいけなかったり、ネットで買ったりするので、街でお金を回すためにも、お店を増やしてほしいです。食材以外の買い物は、他の住民の方も市外でしている方が多いです。 ・根室は、北海道の端のまちなので、他の地域の方がもっと来たくくなるような、住みたくくなるような魅力のあるまちづくりを期待します。(他の地域にはないけど根室にはあるなど)
50	子供たちは高校卒業後、進学や就職で根室を出て行きます。10年後、20年後には自分世代を含め、高齢者ばかりになるといっても過言ではありません。医療・介護等相談出来る場所、人材を作って増えてほしいです。 少子化対策等で、子供達に恩恵があることも大切だとは思いますが、恩恵を受けただけでは根室には戻りません。進学をしたものが、根室に戻って来たいと思うような対策や支援が必要だと思います。
40	・まず、公園、道路環境の整備だったり(雑草、ゴミすごすぎだと思います)、病院の状況をすこしでも良くしてほしいと思っています。 ・今、運動公園に新しく室内公園みたいなものを作ってくれと聞きましたが、実際、今建ててもらっている場所の山は子供達に大人気でしたので、なくなってしまうのがとても残念だと結構みんな話してます。(明治公園じゃだめだったの?) ・又、今も近くに川(水)が流れてて、増水とかした時は、大丈夫なのか?と心配してる方もいますし、小さい子と大きい子が一緒に遊ぶようになると、事故とか大丈夫?と思う方もいるので。でも今以上に良くなる事を期待しているので宜しくお願いします。 ・あと、全体的にみんな優しくない気がしています。病院の人も役所の人も不愛想で話し方が、面倒臭そうにしている人も多々いるので、とても残念です。
40	・夏場の月一程度で、朝市などの産業の活性化につながるイベントはどうでしょうか。(厚田などで行われている) ・若い人たちの働く場(子育て世代)が創出、持続できるまちをお願いします。 ・水産漁業のまちですが、漁業者がぼい棄て・不法投棄など海を守ろうという意識が薄いように思います。生活環境を大切にすることを市民で共有するまちづくりを希望します。 ・埋め立てごみ・リサイクルについて、子どもたちに学んでもらい、市全体での埋立て量減やリサイクル量がポイントになって、〇点になったら花が咲く、木々が成長するなど、インターネット上でゲーム感覚で変化が見られる仕組みはどうでしょうか(家庭での行動促進)
50	・少子化、人口減少はもう止められない気がします。 ・ここでは、初産の人は2時間、1時間もかけて釧路、中標津で子供を産まなければなりません。冬場の道路に気を付けながら大きいお腹で通院する事は大変なストレスです。 ・市役所を新しくしますが、これから人口がどんどん減少して行くのに何億もかけて新設する事に疑問です。無駄なエントランスなどいらないので、もっと子供が遊べる所や図書館といったところにお金を使ってくれたらいいなと思います。 ・観光で人を呼ぶ(ルピナスやコスモスなどの花畑の丘を作るなど)事も考えた根室の自然をいかしたものをやってみてはどうでしょうか?
50	・保育士・介護士の待遇面の向上(休日・給与) ・観光案内施設の充実
30	・まちの小ささを活かす。無理に大きくする必要もない ・都市デザイン。私は大都市がキライです。全体的な景観がゴチャゴチャして汚く見えます。アクセスも良いと助かります。 ・周りのまちとのネットワーク。まちも学び、成長していける。 ・水産業がんばってください。
30	道路がガタガタすぎる。補修、改善を求めます。自転車も自動車も歩行者も安全にすごせるような道にしてください。
18	・道路をキレイにし、観光客が来やすいようにして欲しい。 ・コロナで市民が困っているのもっと支援して欲しい。
40	・緑町商店街の整備 ・飲食店の誘致 ・今回の調査結果やまとめた内容をきちんと報告して、どの様なものを採用して反映しているのか教えて欲しい。調査を郵送している人を把握しているのであれば、その人達に結果やまとめた内容を教えるべき。根室市のHPの充実、病院のHPの改善を希望。もっと見やすく調べやすいものを希望。 ・車で根室に着いた時、駅前が汚いので整備 ・大型商業施設の誘致 ・テレワークが主流になるのであれば、ネット環境の整備と企業誘致
50	直接まちづくりに関係ないかもしれませんが、市民の皆様お子様から年配の方まで全員にかかわる最も身近な困った案件かと思ひ書かせて頂きます。 数十年前からの市民認知の事と思いますが、市内の医療環境の不安から最低でも片道4時間かかる釧路へ、余裕のある方は札幌へと通っているのが現状です。病院難民の方は、退職定年後、子供のいる札幌への移住を決意する人も少なくありません。年配になればなるほど、健康に敏感で、ここ生まれ育った根室については不安でいっぱいなのが一番の理由かと思ひます。財政難で医師を確保するのに精一杯なのかもしれませんが、1人でも優秀な医師を確保して、安心して暮らせる町にして欲しいです。このままでは、若者はおろか年配の人達までが市外流出し、50年後の根室が本当の過疎地になってしまいます。
30	・若者が市外に流出していて人口も減っているが、初産の分娩ができなかったり、医療にも不安があると安心して住むことができない。根室市がにぎわい活気のある街であるためには、若者の意見をどんどん取り込める場を増やし

年齢	問 22 意見・提案
	てほしい。 子どもたちを育てる環境(学校・学童など)は手厚い政策もたくさんあると思うが、そこで働く人は守られていない気がする。働く人も守ってこそ、子供にもあたたかい環境になると思う。
65・74	オートキャンプ場の建設
60・64	- 若者達のほこれる仕事先ができれば良いと思うし、都会へ行く事もない。 - 老人も元気な人は仕事があれば良いと思う。
65・74	- 新たな提案についての前に 1 つだけ選ぶには難しかったです。 - 市民意識はあっても、体力年が伴わずスマホ、インターネット使用も出来ない人が多く感じています。もう少し、わかりやすく細かな選択があればいいと思いました。 - 記入後なんとなくモヤモヤ。根室は好きです。地方在住の息子には、“ふるさと”として帰る場所を残したいと思い住み続けたいです。
50	ワークライフバランスが実現できるよう行政から企業へ積極的に呼びかける必要があると思います。
50	根室のすばらしい自然を守って欲しいと思います。
40	- しばらく仕事から離れていた人達のための復職セミナーのようなことを、行っていただきたいです。(各事業所が可能であれば)実際に現場に出て指導をしてもらいながら、再度自分たちの持っている資格を生かして再就職が出来るよう、講義や実習を受けられる場があると良いと思います。 - また、今はコロナ関係で難しいですが、成人学校のようなものも増やしてほしい。昼間だけでなく、仕事が終わってからでも参加できるよう、夜間の時間帯も希望。手芸や料理、スポーツ、文化、根室市の歴史などを学んだり色々なことを体験できる場がほしいです。
30	- ふるさと納税から、給食費が無料になった事は、とてもありがたいですが、コロナ対応でもそうだが、ひとり親家庭に優遇されすぎだと思う。普段から、ひとり親家庭は色々な支援があるのに、子供 1 人につき 5 万支給等、2 人親家庭は納得している人は少ないと思う。2 人親でも子供が多ければ多いほど、マスク、消毒、ハンドソープ等買わなければならないものが多い。収入は減ってなくても、感染しないようにさせないようにと消耗品購入の為に支出はかなり増えている。そういった事もふまえ、子供に対しての給付ならば一律にすべきだと思う。 - 出産祝金制度もとてもありがたいと思う。他の地域では第 3 子以降に 2、30 万支給とかもあるので、そちらも検討してみてください。 - もう少し、ベビー用品売り場等充実させて欲しいです。わざわざ、釧路や中標津に行くのは、大変すぎる。大きな物はネットで購入しても送料がかかりすぎます。(ベビーカー/チャイルドシート等)
65・74	- ふるさと納税の資金を活用してもう一度温泉を掘り当ててもらいたいと思います。 - 水族館を作ったら、観光客が増えると思います。 - 厚床から根室の国道に桜並木道を作る。
50	これから人口減少、企業衰退が進み税収低下が見込まれます。10 年先の根室市財政基盤の強化。
30	公共施設の休館日を統一してほしい。祝日に休館している図書館、資料館はおかしい。休みの日だからこそ利用できる場所なのにナゼ。
75	根室が大好きな市民の一人ですが、このアンケートで気づいた事は、すでに実施されている政策や対策が有りながら、知らない事が多くあることでした。普段もう少しこうだったらとか、こうしたら？とか思う事は沢山あるけれども、アイデアと言われるとすぐ思いつく事は難しい。でも、色々な人達と交流を持ち、集会等に参加する中で、これからの町作りを皆で語り合う事が大事なことで改めて感じました。
30	どこの市町もそうですが、税金のむだ使いがみられる。いい町づくりをしたいなら、もっともっと考える必要がある。一個人としての考えです。お金を使う所もっと他にあるのでは？とりあえず予算があるから使っとけみたいな感じがみられます。
20	応援しています。
30	子どもの室内の遊ぶ場所がないのと、ゲームセンターとか時間をつぶせる施設がない。買い物も行くのにも、中標津にわざわざ行かないといけない。何もかもが住みにくい街です。どうかしてください。
50	- 地震にどれだけ対応できるのかとても心配です。 - 市民は地元愛が強いと思います。(私は旭川出身です)その地元愛でみんなで何か出来たらいいのと思っています。心の中にある不満は発信しない市民性ですね。・ぶっとんだアイデアひとつ。「あげます・ください」的な何かあればおもしろいです。ジモティ的。お金が動かない条件で。ゴミもへります。みんなもつたいないと思いながらゴミすてます。
40	このアンケートの意味が解らない。ふるさと納税が良いんだか知らないが、一部の市民が良くて全市民が良くなる様に考えたかどうか？給食費無料とか飲食店に一律何万とかでなく、全市民に一律何万円とか支給とかすれば良いのではないかな。コロナで困っている人は飲食店、子供がいる家庭だけではないですよ。
20	市民のための税金使。無駄な道路工事の減少。除雪のスピード他。
20	鉄道職員の一社員として、これからも根室市の花咲線維持の為に協力して欲しいと思っています。
20	- 中高生以上の若者 30 代くらいまでが遊べるようなところの整備。(例) 市民体育館でバスケットボールや筋トレ器具があるだけでかなり良くなると思う。 - 全国的チェーン店の誘致 (例) ローソン、居酒屋等 みんなが知っているお店があれば釧路まで買い物に行く回数が減りとてもうれしい。

年齢	問 22 意見・提案
	・アジア系の外国人を街中でよく見かけるが、その人たちとの交流がない。→交流の機会があれば国際交流につながるのでは？
75	市民病院の医者の充実 釧路まで行かないよう技術の高度化
40	今回、回答するにあたりありがたく思っています。私の子は障がい児でございます。今、年長児で来年4月より小学校へ入学いたします。私自身はサービス業ではありますがフルタイムで働いており、ひとり親です。保育所は5時以降の保育もあり安心して預けて働ける環境がありますが、小学校へ入学後は学童に入るのが流れですが、障がいのある子供達が預かって頂ける施設が少なすぎるという事です。学童では預ける事が難しいですと言われてしまうと仕事を短くするなり、転職したりと生活の質も下がりますし、親や子にメリットも無く不安・不満だけが出てくると思います。昔みたいにおじいちゃんおばあちゃんに預けるのも今は年寄りも仕事しているので厳しい問題です。根室市は障がい者福祉にあまり目を向けてないし現実的に施設が足りてません。運営を考えてる人がいたりしましたら市からの協力する等施設の拡充をお願いしたいです。
75	・コロナワクチン接種について一言。この度は大変でしたが、ワクチンに係わる医療の方々事務的なことのほか、とても皆様方テキパキと親切さに感謝しています。有難うございました。 ・花を沢山植えてきれいなまちにしたいです。
30	友知方面子ども達があそべる公園を作ってほしいです。市内にはたくさん公園がありますが、こっちには何もありません。市内では子どもの遊べる施設が建設されるそうですが、屋内で遊べることも必要だと思いますが、友知方面に住んでるとなかなか行けないし、それよりも天気の良い日に子どもたちが元気に外で遊べるように公園など作ってほしいです。根室市は不自由なことが多すぎるので。より住みよいまち作りを謳うのであれば小さなところから目を向けてほしいです。
40	こどもの医療を無料にしてほしい
18・19	このようなアンケートをもっと活用し、市民の意見を集めるべき。全部できなくとも、本当に必要なものを厳選して、行動していくと良いと思う。
65・74	人口減少を止めること 企業を呼び込む。
65・74	若者がいないと高齢者も最後までこの街に住めなくなります。それが人口の流出につながります。どうか若者が夢と希望を持って住み続けられるような街づくりをしてください。
40	・私は漁業に従事していますが、これからは衰退していくでしょう。 ・根室市には観光に力を入れてほしいと思います。 ・キャンプ場は温泉などに力を入れてほしいです。 ・不妊治療など少子化対策にもお金を使ってくれると税金も納めやすいです。
40	市内のいたる所にソーラーパネルがあつて景色が台無し!! 風車はまだ許せる、ソーラーパネルは多すぎて美しくない。根室の景気、北海道の景色が台無し!! 中学生の子供達も言ってるので自然エネルギーも大事だけど、とっても残念。
30	商店街が寂しい。魚屋と飲食店が協力し、地産地消の施設を作ることが望ましい。 採れたての海産物を食べれる施設がないことが問題 市の活気がない、やる気がない だから人口が減る一方
20	昨年、第一子を出産しましたが中標津病院だったため通院が大変でした。第一子も根室で出産できるようになると妊婦さんの負担が少ないと思います。交通費（3万円）を支給してくれるのは嬉しかったです。
30	・現在のコロナの影響で人々の生活が変わりつつあるので、街づくりもいろいろな面で少しずつ変えていかないとはいけません。 ・働く場を増やし、働き方もバリエーションを増やし、人々の生活に豊かさを実感しやすい状況が望ましいと思います。 ・また、少子高齢化もあって高齢者への様々なサービス等が充実してきている中、若者や青年が無理を強いられがちな部分があるのを感じます(自分の実体験もあり)なので、まずはこれからのまちづくりをしていく立場の若者・青年に対しての様々な面での待遇を良くして行く所からやっていく事が大事なのではないのでしょうか。高齢の親を支えながら暮らすものとしては、そういう次第です。
65・74	根室は農水産業があつての根室、水産資源の減少は死活問題。後継者問題は深刻で、このままでは漁業者も漁協も衰退の一途です。もう相当進んでいる現状ではないか。高価な魚種に関わらずにこれからは海面、陸上養殖が生き延びる得策と思うが、ただ年数と資金が必要。失敗が頭を過ってなかなか前へ進まない。ブランド化製品化を進めても同じことが言える。 1人では何もできない。ノウハウもない。自然淘汰で消えるだけだろうか。
30	・小さな子どもがいるとどうしても子どもの遊び場所に困ります。冬は中標津まで行くことが多いです(道立ゆめの森公園)。身近に子どもが思いっきり遊べる所があるといいと思います。 ・消防のイベントに先日参加しました。とても楽しめました。早くコロナが収まってお祭りなどのイベントが得できるようになるといいです。ぜひ根室の特色あるイベントに参加したいです。楽しみにしています
40	・保育所の給食が無償なのはとてもありがたいです。 ・去年の5月頃にひとり親に市が手当てを出してくれたのでごく助かりました。よその町に自慢できる取り組みだと思うので、これからも続けられるように頑張って下さい。

年齢	問 22 意見・提案
75	・高齢者支援についてはいろいろ政策的に行っていますが、これからの事を考えると、少子化に歯止めを考えないと人口減少が続いていくと思います。少子化対策として色々やっていますが、新生児給付だけでなく、第2子、第3子にも給付を広げたらと思います。 ・交通については鉄道の確保をもっと進めていかないと廃線になり、駅が無くなったら市の衰退に繋がると思います。他の地域の例を見ていると分かると思います。
20	市営住宅など、一般の人でも気軽に賃貸できるようになれば良いと思う。そうすると世帯が増え人口が増えると思う。
18・19	・若者が楽しめるような場所をイオン等に入れてほしい。(例えば、フードコート設ける等、根室の外から来た人も休憩できる場所になるフロアを作る等) ・病院が少し足りないと感じた。
30	厚床にも子どもが遊べる場(保育所の開放や公園)がほしいです。
30	根室で仕事をするのは無理です。
75	・老人が気楽に暮らせる街にして下さい。 ・安く暮らせるホームを作ってください。
75	・今の根室のイメージは灰色です。年寄りがわびしく暮らしている感じ。 ・基本産業（漁業加工業）が衰退して活気がなく財政が厳しく（お金がない）何をするにも先立つお金がないので、子供から年寄りまで市民が楽しく過ごせる場（施設がほしいがそれも大変で。若者は都市へ、子育て世代はパート等に忙しく、都市よりは暇で。 ・自然も当初は山も何もなく四季もはっきりせず年中変わらない感じで不満でしたが、今になれば、山崩れ、川の氾濫等災害がなく、夏は涼しく冬も割と温暖で雪が少なくいい所、空気はいいし静か。人もいいのでお金をかけない人の集いで楽しくして良ければ（今はコロナでだめだが）お金のない中、市政に携わる人は労多く功少なく大変ですが、自然や人の良さを活かしてお金かけなくても幸せに楽しく暮らせる部分が出来ればと願っています。
75	花咲線（バス）、花咲港→市内行、朝の時間8時代の便を取り入れてほしいです。今の時間体では病院通いが不便です。
20	道路などへのゴミを捨てられている場面が多くみられるため、どうにかしてもらいたい。
50	今はコロナなど色々あるので大変ですが、根室は昔みたいな活気をつけてほしい。
20	・医療従事者へ給付金は配られないのでしょうか。ゴールデンウィーク明け大変な状況だったので配布しても良いのではと考えます ・TSUTAYAの2階にジムが出来たのはとても良いと思います。例えば、映画館やカラオケを増やす、ゲームセンターを作るなど若年層の娯楽施設を増やしていただけるとありがたいです。マクドナルドやミスタードーナツなども良いのでは。経済面を考えなければならないので簡単な事ではありませんがご検討をよろしくお願いします
65・74	・高齢者が都合の良い時に気軽に歓談できる場所があるかどうか分からないし、交通の便が良くないだけに引きこもりが多くなっている。 ・障がい者に対し、A型、B型の就労場所が開かれていないのではないかな。高齢の親と（精神）障がいを持った親子が支えあっている家庭が取り残されている気がする。親は自分の体力に限界を感じながら将来を案じている現状です。
40	公共施設の建て替え、改修等厳しい予算状況中でやっていると思うが、長期的に使用するのであれば、中途半端なものにせずしっかりとした予算を使用してほしい。
60・64	・鮭のふ化事業を再開すべき、大きな雄雌を選び、交配させることによって、鮭の小型化に歯止めができる。 ・初田牛、別当賀の小川の海の入口がふさがっており、遡上できていないので、コンクリートで遡上道を作ることにによってししゃもも遡上できる
50	根室の街は全体的に街灯が少ない気がします。小、中、高と学校の周りはいさし明るくした方がいいと思います。
50	・観光客が楽しむ場所や根室を活かした食事ができる所がない。特に昼間、海鮮物など。 ・市民が余暇を楽しめる場所やお店がない
20	漢字の送り仮名がないので、読めない人の事も考えてほしいです。
75	・海に囲まれた地なので、水産資源の増大、加工品に今以上に力を入れてほしい（魚を増やすためには森林を多くする） ・これから市の人口も減少すると思われるので国道を中心とする（44号線）コンパクトな市街地形成をすべきだと思います。（空き家対策もどうすべきか）光洋団地のように郊外に建てると上下水道、除雪、交通などの維持管理にかかります。 ・市を訪れる人に綺麗な街と印象を与えるためには道路の雑草など花を植えた後もとってほしい
40	学校施設について。少子化による影響があり、郡部の小中学校は統合等が進められ、校舎も改築されております。しかし市街地にある小中学校は昭和40年代に建設された学校ばかりで、とても教育施設としての環境が良いと言い切れません。他にも給食センターや放課後教室等、関連性の高い施設との全体的な建設、整備計画をしっかりと市民にもわかるように見せていただきたい。
30	つどいの広場クルクルの予約制をやめてほしい。コロナ禍なのは理解できるが、予約制にすることで予約しているから行かなければならないという心理が働くのは明らかで、本来その日の子どもの機嫌・体調・天候等によって利用する場でなくてはならないと思う。予約制をやめたからと言って一日に20組以上利用するとは考え難い。市側に合わ

年齢	問 22 意見・提案
	せなければならぬにしたらそれはもう子育て支援事業にはなっていない。ただでさえ、クルクルが利用しづらくなった中で、ピヨピヨルーム・ふれあいルームを同施設で行うのは理解しがたい。早急にふれあい等ルームの場所を確保変更して頂きたい。子供にはクルクルがっている子もいればルームがっている子もいる。同じ場所でも微妙にルールが違い子供が混乱するので別の場所にして欲しい。
20	・若者の働ける場所、住居等、環境を整備し、子供を育てやすいことが必要だと思います。根室の地場産業、漁業では増養殖の事業の拡大する事により、それに携われる若い人材を増やす。 ・酪農では品質の良い乳牛の生産の補助、休業中による土地を利用してビニールハウス等による野菜等の生産による人材の通年雇用、漁業、酪農の品のブランド品を生産することにより、ふるさと納税返礼品にあてられるのではないかと思います。両親も昆布漁をしています、昆布も返礼品に加えてもらいたいといっていました。根室の人口を増す方法にもなるのではないかと思います。
65・74	まちづくりではありませんが電柱にでも海拔の高さ表示をシールか何かで明示する。
75	・運動公園、公園、屋外スポーツ、パークゴルフほかの施設の維持は各業者に委託し、市として管理責任を果たしていないので、管理責任者として一か月程度は施設の点検整備状況を把握し管理すること(業者に一切任せです)。
50	・若者にも住みやすく、魅力ある市にしないとますます人口減に繋がっていくと思います。 ・医療についても、他市への病院通いは大変なので市立病院でも大丈夫なようになってほしいです。 ・学校教育について：各市内の小学校でも同じ内容でないものも多くあり不思議に思います。教育委員会が各小学校に任せているのかもしれませんが、運動会などもそうですが、市内の小学校で集まって話し合ったりしているのでしょうか、父母としては不公平なく行ってほしいです。
60・64	スポーツ施設の充実、体育館(多目的体育館)野球場(芝生付)。 全道大会開催できる施設の新設を検討お願いします。
50	本当の生活弱者に対する助けをできる市政作り
65・74	水産関係者の保護
75	・根室市内があまりにも汚い町で、市民の協力を呼び掛ける方法を考えて、美しい緑や花のある町にしてほしいと考えます。 ・根室市議会の議員の活動の様子が見えにくいのもっと見える状況を作してほしいです。
65・74	・自宅近くには魚の加工をしている工場が何件あります。魚の獲れない日が続く、以前のような賑わいは近年ありません。淋しい限りです。それを生活の糧にしている方は大変だと思います。 ・高齢者になりましたが、努力し勉強しています。高齢者福祉事業団に入り活動を続けております。若い方達ともっと交流出来たらと思っています。経験や技術を若い方に伝承したい。個々の方がそれを受け取る力を養ってほしいです。これからのまちづくりのために。
50	・災害が起きた時の避難所の確保や津波に対する防災対策をもっと進めてほしいです。障がいのある息子や高齢の両親がいるので災害に強い根室になって頂きたい。 ・母子家庭に甘すぎだと思います。母子じゃなくても生活困難な家庭もあるのに、母子家庭という理由で私達より良い暮らししている様に見られます。
40	根室の自然が好きです。海・森・湿原。人工物のない風景、年を重ねると余計に素晴らしいと感じています。それなのに、ソーラーパネルに埋めつくされる野原を見ると悲しくなります。個人の土地を持ち主がどうしようと他人がどうこう言えませんが悲しいです。 市で景観の観点などから規制できないのでしょうか。ソーラーが老化した場合、持ち主は取り壊しもせずそのまま置き去りゴミになったままになるのが目に浮かぶ。
40	根室に移住したいと思えるような街づくり。学生は札幌方面に進学し、帰って来ない人が多い。もう少し働く場所があったり、進学校などがあれば良いと思う。過去に看護学校もあったようですし、根室にも若い人が住んでいられるような所があればと思います。人口が少なく、学校も少なくなっている。ライバル校がなく学生(高校生)に張り合いがない。勉強のレベル低下。まずはどうしたら人口が増えるのかと言う事を考えるべきだと思います
60・64	昨年 11 月に 13 年ぶりに根室に戻ってきましたが、一つ気になるのが国道沿いの廃業スタンドの建物が非常に根室の街の印象を悪くしている事です。諸々問題があると思われるが撤去をして欲しいです
20	まちづくりにおいて、重要なのは人、すなわち子供であり、核家族化が進む中男性側の育休確保、定時での帰宅や休日の確保がなされていない事を多く聞く。夫婦が協力して子育てを行えるまちづくりとして、調査や対応して頂きたい。
75	弁天島と海を観光のイメージとして本日迄過ごさせていただきました。ありがたく感謝します。
30	・運動公園について：河畔グラウンドや奥側の活用方法について、期間限定でキャンプ場を開いたり、バーベキューが出来る場を作ったりしてはどうでしょうか。子どもの遊び場もあるので、親子連れの家族は行きたいと思いますし、地方からの客も活用することによって、根室の活性化にもつながるのではないのでしょうか。 ・根室市の防災について：市内のスピーカーの数が少ないと思います。毎回、何を言っているのか分かりません。今後、巨大地震も想定されています。市民に聞こえているのか確認した方が良いでしょう。
40	学校給食、無償化について。児童がいない市民にとって何のありがたみもない。同じ根室市民なのに何の得もない、無償化になって喜んでいるのは子育て中の家庭だけ。子育てが終わっている家庭や子供のいない家庭の人達は何か得していますか。経済的に楽になったのが子育て中の家庭だけとはどうなのか。
30	4月に転入してきました。根室市は学力が低いと聞いてきましたがやはり低くて、心配になりました。転勤が多い仕事に就いています。子供と一緒に引っ越してみたい街なるといいと思います。

年齢	問 22 意見・提案
30	・市内に温泉施設があれば、宿泊客も増え市財政の一助になるのではないのでしょうか。 ・子育て家庭の水道料金の負担軽減。他の市より水道料金がかなり高い。
65・74	市立根室病院を中心に、福祉関係のネットワークを充実させてほしい。私の環境では訪問リハビリがあるといいと思っている。要介護高い方のために院内だけではなく、退院後のケアが大切である。特に脳に疾患の場合、理学、作業、言語聴覚士を揃えて訪問リハビリを考えてほしい。施設入所の方はケアされていると思うが、在宅介護には必要な事得ある。
30	R Vパーク作って下さい
40	根室市のスーパーや飲食店は締まるのが早すぎる。せめて 21 時位まではやってほしい
65・74	自然豊かなまちの一方で根室半島には、人口的構築物の風力発電が数多く見られますが、今以上の数は制限するべきだと思います(一定の規制が必要と考えます)。自然を売りの観光とギャップがあります。
65・74	昔のような町の中が活気あふれる町にして欲しい。今の状況では町の中が寂れてしまう。
30	・交通違反無くしてほしい。 ・舗道もガタガタ、狭すぎたりするところが多い。路上駐車車の車も止まっていって通れない。指定駐車場空いているのに駐車違反する車が多いにも多すぎる(イオン、北洋銀行、郵便局、ときわ医院他) ・一旦停止しない・左折する車が路肩を使って抜いてくる ・カーブをスピードつけたまま曲がってくる ・危ない場所に路上駐車(カーブや横断歩道) ・狭い所に無理やり入り込む・信号待たずに発信してくる ・譲り合わない ・ベビー用品店やローソン、ミスタードーナツなど、もう少しお店があるとうれしい。
65・74	新規や企業誘致をして人口流出を抑えて活気ある根室を期待したい。
60・64	高齢者の福祉施設が足りない。またスタッフも足りない。自分達もいずれ入所するにあたり、選択する施設がないので夫婦で入れる、また一人でも入れる介護付きの住宅が何件かあると助かる。
65・74	①交通の問題について：根室交通に補助を行っていると思うが市内大型バスを小さなバス、マイクロバスなどに転換し他都市でやっているようなクルリンバス、要所を回るような改善が必要だと思う。(大型バスに 1 人か 2 人程度。時にはカラで走っている。ガソリンをまき散らしている様なものだ) 9 人乗り位の車で赤色(花咲ガニ)にして病院、商業施設、市内を回る、1 か月 1000 円位で年寄りが外出の機会が増えて良いと思う。 ②漁業を育てる漁業に転換している様に、農業等の一次産業のてこ入れ付加価値をつけて産業を応援する起業家、中小商品開発で個別のビジネスセミナー等市が中心に産業を盛り上げて良いのではないか。 ③農業酪農製品など付加価値をつけインターネットで支援する。育て上げるまで支援する
75	・壊れそうになっている建物の処理 ・使われていない学校その他の公共施設の利用促進 ・役所その他の公共施設職員の行動がおそい
30	基幹産業である農業、水産業で互いの産業振興が市街地に必須であることに合意し、そのうえで共通した産業振興対策や実行力のある協力体制を作り上げてほしい。出なければ、自治体として消滅するのみだと思います。
20	・せめてマクドナルドぐらいのチェーン店が無いと誰も根室基地を希望数隊員がいない。ただでさえ盛り場である札幌が遠いのに、近隣のまともな町が中標津というのは悲惨以外の言葉もない。 ・根室の生活は選択肢がイオン一つしかないの灰色の生活になりがち、せめて 2 種類のお店があれば良いのですが。 ・医療体制も貧弱の一言である。まともな診察を受けなければ釧路に行くしかない。 ・立地的なものは仕方ない話ですが、変な喫茶店ばかりで特に魅力もない町並み故衰退していくのも致しかたない。若い人が流出するのも当然。戻って来たい、町を盛り上げたいという気持ちも起こらない。そんな町という感想
60・64	根室の自然を大切に、太陽光発電を少なくしてほしい。空き家の整備
40	人の物を盗み不法侵入をする人が、街には住まず、人気のないような街はずれに住んでいけば根室はもっと住みやすい街になる
20	・若い世代がどんどん根室市から出て行ってしまっているため、何とかして、若い世代が根室市に残って、活性化できればと思います。 ・働きながら資格取りたいのですが、夜の講習を開いたり、資格取得費用の援助などしてくれるととても助かります。 ・商業施設も少ないのではと思います。 ・自然豊かで海もある街並みを活かして人を呼び込むことはできないかと思います。
75	今の生活に別に不便を感じていません。
30	・根室に移住し 2 年が経過しました。とても良い街だと思います。ですが、長期的に生活をしていく上ではやはり不便な面も多々あります。医師の安定しない病院、情報があれど届きにくい環境(移住者だからと言う事もあるかもしれませんが、根室は人づてでないと情報が入らない事が多くあります。良くも悪くも)。 ・草が生えっぱなし、荒れたままの歩道、交通に関しても 1 時間に 1 本のバス(利用者減で大変なのは重々承知です)子を産み育てていく上でのサポートの不足(療育、ファミリーサポート事業の不足)住居事情(新しく住み替えたとしても変わりがない、空き家バンクが活用されていない)など、あげればきりがありませんが、近隣の市町村の活

年齢	問 22 意見・提案
	動を見本にしながら“より住みよい街根室“を模索する必要があるがもっともっと(今も色々と発信や活動されている方もいますが)あると感じます。 ・できればこの地から離れたくないです。でも現状のままでは住み続けられません。この2年様々な活動をお手伝いさせていただいて感じた正直な思いです。こんなにも素敵な街なのに、根室市民はどうして「もう根室は終わりの街だから」と口をそろえて言うのでしょうか
20	医療関係をもう少し安心できるようにしてほしい。何かあればどうしても釧路に頼ってしまう所があります。根室に安心して住み続けたいのでお願いします。高齢者、乳幼児がいれば特に思います。 病院は新しくとても良いですが、中身がしっかりしていなければ何の意味もないと思います。
18・19	スーパー銭湯と健康ランドを作ってほしいです。
50	①一年を通して温度が一定に保たれた施設でランニングやウォーキングができるといい。少しずつ毎日運動を続けることで健康が保たれるので、健康増進を目的としてウォーキング自分はしたいし根室市民に勧めたい。医療費の削減にもつながっていく。 ②草刈りをしてくれるのはありがたいが、刈りっぱなしは景観が悪い。きちんと集めて捨ててほしい。刈り方もとても雑でせっかくしてくれるのならきれいにしてほしい。
50	若者がもう少し遊べる場所があっても良いのではと思う。近い施設があったとしても早く閉まってしまうので、遊んだり娯楽の場所が限られてしまうような気がする。
40	市議会議員の人数が多い。
40	官民協働のまちづくりを進めていただきたい。
50	5年前位も、人材確保対策、資格取得の助成をして欲しかった。そしたら、子どもも帰ってきていたかも。

市民意識調査

「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分娩の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の 16 歳以上の住民の方々の中から、無作為に 3,000 名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和 3 年 6 月

根室市総合政策部

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、() 内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和 3 年 7 月 4 日（日）までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部

TEL : 0153-23-6111 (内線 2254)

FAX : 0153-24-8692

E-mail : sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 |
| 9. 75歳以上 | | | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 |
| 4. 商業・金融・サービス業 | 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 主婦（専業） | 8. 学生 | 9. 年金受給者 |
| 10. 無職 | 11. その他（ ） | |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄 町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙 町 | 12. 宝 町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本 町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸 町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑 町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 岬 町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂 木 | 42. 花咲港 | 43. 穂 香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東 梅 | 47. 酪 陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長 節 |
| 51. 浜 松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚 床 | 59. 西厚床 | 60. 明 郷 |
| 61. 湖 南 | 62. 川 口 | 63. 槍 昔 | 64. 友 知 | 65. 双 沖 |
| 66. 鹵 舞 | 67. 瑤瑤瑠 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊 里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 明るいまち
2. 清潔なまち
3. 活気のあるまち
4. 個性（特色）のあるまち
5. ふれあいや連帯感のあるまち
6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
7. その他（具体的に： _____）

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. とても住みよい
2. 住みよい
3. 普通
4. 住みにくい（理由： _____）
5. とても住みにくい（理由： _____）

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|---------------|--------|
| 1. ずっと住み続けたい | } ⇒問6へ |
| 2. できれば住み続けたい | |
| 3. できれば住みたくない | } ⇒問5へ |
| 4. 住みたくない | |

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。
そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 自分にあう職業がない
2. 商売や事業経営に不利
3. 交通の便が悪い
4. 買い物などの生活の利便が悪い
5. 物価が高い
6. 進学などの教育上の問題
7. 医療・福祉面が不安
8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
9. 自然が厳しい
10. その他（具体的に： _____）

《保健医療について》

問6. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

(1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. きわめて良好 2. 良好 3. 普通 4. 悪い 5. きわめて悪い

(2) あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1. 努めている 2. 努めていない

(3) あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1. 毎日している 2. 週に2日以上している 3. 週に1日程度している
4. 月に2～3日している 5. 月に1日している 6. ほとんどしていない

(4) あなたは、

平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

(5) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①人材確保対策（医師及び医療従事者として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）	1. はい 2. いいえ
②新生児聴覚検査費助成（新生児の聴覚障害の早期発見及び早期療養につなげるため、検査費用を助成し保護者負担を軽減）	1. はい 2. いいえ
③母子手帳アプリ「すくすくねむろ by 母子モ」の導入（妊娠・子育て期の方に向けた多様な情報発信と母子手帳のサポート機能）	1. はい 2. いいえ

(6) あなたは、市内の病院などの医療機関の状況について、どの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(7) 根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者の医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健（健康づくり）対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 休日夜間などの救急医療対策
6. 人材確保対策
7. その他（具体的に： ）

《少子化・子育て支援について》

問7. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①こども医療費給付の拡充（通院・入院に対する助成範囲を高校生、または18歳以下で保護者の扶養を受けている方まで拡充）	1. はい	2. いいえ
②人材確保対策（保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）	1. はい	2. いいえ
③保育所等における給食費（副食）及び第3子目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい	2. いいえ
④出産祝金支給制度の創設（出産後にかかる経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を給付）	1. はい	2. いいえ
⑤（仮称）ふるさと遊びの広場整備事業（R3.12の利用開始に向けた建設工事を実施）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(4) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり 2. 乳幼児保育の充実（延長保育など） 3. 学童保育の充実 4. 経済的負担の軽減（入院費、保育料の軽減など） 5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備 6. 地域の交通安全や防犯対策の強化 7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり 8. その他（具体的に：	)
---	---

《高齢者支援について》

問8. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある	2. 以前はあったが今はない	3. 以前からない
-------	----------------	-----------

(2) あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける	2. たまに出かける	3. あまり出かけない
-----------	------------	-------------

(3) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①高齢者見守りボランティア（町会やボランティアによる高齢者世帯の安否確認や声掛け活動）	1. はい 2. いいえ
②高齢者等緊急通報サービス（警備会社による緊急時の駆けつけ確認）	1. はい 2. いいえ
③人材確保対策（介護職員資格取得費用に対する助成、介護従事者として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）	1. はい 2. いいえ

(4) あなたは、高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(5) あなたは、高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(6) あなたは、高齢者が健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 健康診断、検診機会の充実 2. 寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実 3. スポーツや学習機会の充実 4. 高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり 5. 若い世代との交流の機会の充実 6. 段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善 7. 介護付き高齢者専用住宅の充実 8. 自治会などの地域活動への参加促進 9. その他（具体的に：	)
---	---

《社会福祉全般について》

問9. 根室市の社会福祉政策について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者のための施策の充実 2. 障がい者のための施策の充実 3. ひとり親家庭対策の充実 4. 子育て支援対策の充実 5. 保育サービスの充実 6. 地域ボランティア活動の推進 7. その他（具体的に：	)
--	---

《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)下記の事業をご存知でしたか。

①市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う 代替バスへの財政支援	1. はい	2. いいえ
②JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み(花咲線存続に 向けたブランド再構築や魅力の情報発信)	1. はい	2. いいえ
③街路灯LED化事業(街路灯の長寿命化や消費電力の削減を図るた めLED化を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(4) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(5) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他(具体的に: _____)

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新(既設遊具の定期点検・維持補修等整備)	1. はい	2. いいえ
②市営住宅整備事業(市営住宅(光洋団地)の建替を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①高校生への1人1台ノートPCの貸与（ICT利活用能力の向上）	1. はい 2. いいえ
②学力向上対策事業（きめ細かな指導のため、市内7校に授業をサポートする補助教員を配置等）	1. はい 2. いいえ
③ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進 2. 標準学級（1クラス40人）による教育の推進 3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実 4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実 5. 個性や才能を伸ばす教育の充実 6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実 7. 情報化社会に適合した教育内容の充実 8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成 9. その他（具体的に：	）
--	---

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成 2. 各種サークル活動の充実 3. 各種講座・教室などの充実 4. 各種講座・教室などの利用施設の整備 5. 青少年の健全育成 6. その他（具体的に：	）
---	---

《スポーツ・レクリエーション・文化について》

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい 2. いいえ
②総合文化会館整備事業（トイレ洋式化や大ホール音響機器等の更新）	1. はい 2. いいえ
③北方資料研究活用事業（歴史と自然の資料館に寄贈された考古資料の確認、収蔵、展示体制の整備）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備 2. 芸術・文化の振興・文化施設の整備 3. 文化財や史跡の保護・伝承 4. 音楽会・講演等の開催 5. 学校施設開放の推進 6. その他（具体的に：	)
--	---

《産業・地域の振興について》

問16. 根室市の産業・地域振興についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興（ホタテ資源増大、ベニザケ養殖、沿岸漁業資源の高付加価値化、水産品の普及、販路拡大等）	1. はい 2. いいえ
②農業の振興（根室産農畜産物のブランド化、酪農業担い手確保等）	1. はい 2. いいえ
③観光の振興（観光パンフレット作成、各種イベントへの負担金等）	1. はい 2. いいえ
④移住交流の促進（地域おこし協力隊の受入れ、都市部との交流等）	1. はい 2. いいえ

(2) 根室市の産業・地域振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 水産業基盤及び生産体制の整備 2. 農林業基盤及び生産体制の整備 3. 農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成 4. 企業誘致による雇用の場の確保 5. 魅力ある商店街づくり 6. 後継者の育成・確保 7. 観光開発、観光関連産業の育成 8. 特色あるイベントの展開 9. 新たな特産品の開発 10. その他（具体的に：	)
--	---

《情報の共有化について》

問17. 市政情報等の共有化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①行政情報のメール配信サービス「ねむろメール」による情報発信（防災・子育て・イベント等）	1. はい 2. いいえ
②フェイスブックやツイッター「ねむろのぼうさい」など、SNSを活用した行政情報の配信	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他（具体的に： _____）

《市民協働について》

問18. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 清掃活動や花いっぱい運動
2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
4. 自然保護活動
5. リサイクル活動、省資源活動
6. 子ども会などの青少年育成のための活動
7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
8. 交通安全や防災・防犯活動
9. 新しい特産品や土産品の研究開発
10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
11. 特にない
12. その他（具体的に： _____）

《市民参画の方法について》

問19. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
7. あまり必要性を感じない（理由： _____）
8. その他（具体的に： _____）

《男女共同参画について》

問20. あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうに優遇されている
3. 男女平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている
6. わからない

問21. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 言葉・意味ともに知っていた。
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。（内閣府ホームページより引用）

《新たな提案について》

問22. 根室市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

*記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、7月4日（日）までに、投函してください。